

**識字・日本語教育体制に関する
実態・ニーズ調査報告書**

令和4年2月

大阪市

目 次

I. 本調査の目的.....	1
II. 大阪市の外国人の状況.....	2
1. 外国人住民数.....	2
III. 外国人住民調査.....	8
1. アンケート調査概要.....	8
2. アンケート調査結果.....	9
3. ヒアリング調査概要.....	97
4. ヒアリング調査結果.....	98
IV. 識字・日本語教室調査.....	105
1. アンケート調査概要.....	105
2. アンケート調査結果.....	106
V. 日本語学校調査.....	132
1. アンケート調査概要.....	132
2. アンケート調査概要.....	133
VI. 中学校夜間学級調査.....	148
1. アンケート調査概要.....	148
2. アンケート調査結果.....	149
VII. 外国人支援団体調査.....	160
1. アンケート調査概要.....	160
2. アンケート調査結果.....	161
VIII. 仲介事業者調査.....	167
1. アンケート調査概要.....	167
2. アンケート調査結果.....	168
IX. 考察.....	185
資料編.....	193

I. 本調査の目的

新しい在留資格の創設等の国の政策によって、今後、在留外国人の更なる増加が見込まれ、令和元年 6 月には「日本語教育の推進に関する法律」も策定される中で、日本語能力が十分でない外国人が生活等に必要な日本語能力を身につけるとともに、地域社会の一員として、コミュニティに根ざして暮らしていけるよう、関係機関等と有機的に連携して日本語教育環境を強化するための総合的な体制づくりに取り組む必要がある。

本調査では、識字・日本語に対する学習ニーズや、既存の識字・日本語教育体制の現状等について調査し、今後の識字・日本語教育体制の構築に向けた具体的な検討や、施策の実施に向けた基本的な方針の策定を行うにあたっての基礎資料とすることを目的にする。

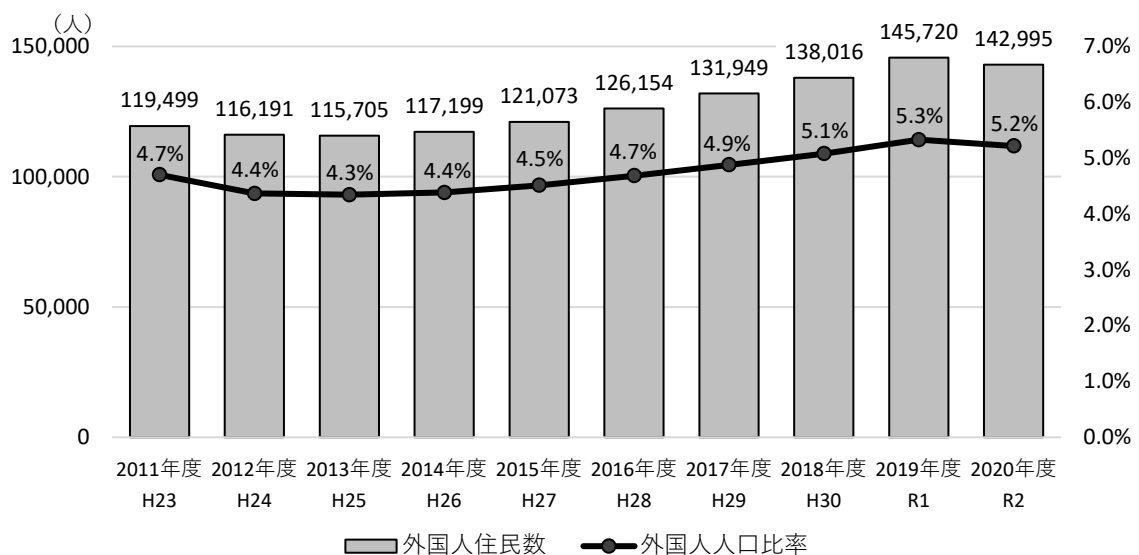
II. 大阪市の外国人の状況

1. 外国人住民数

(1) 外国人住民数の推移

大阪市の外国人住民数は、2020年度末時点で、142,995人、総人口(2,740,458人)に占める外国人比率は5.2%となっている。外国人住民数、外国人人口比率は、新型コロナウイルスの影響で2019年度末から2020年度末では減少しているが、全体として2013年度末以降増加傾向にある。

図表 1 外国人住民数の推移、外国人人口比率



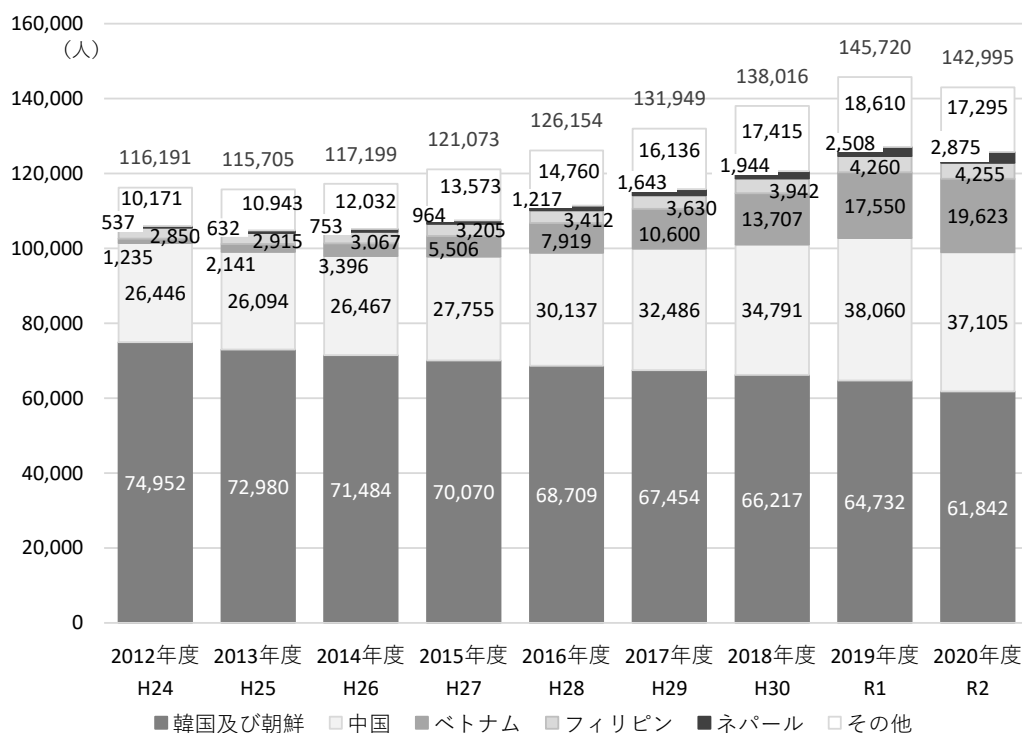
(出所) 大阪市
(時点) 各年度末時点

(2) 国籍別の外国人住民数

国籍別にみると、2020年度末時点で、韓国及び朝鮮が61,842人(43.2%)と最も多く、次いで中国が37,105人(25.9%)、ベトナムが19,623人(13.7%)となっている。この3か国で外国人住民の9割近く(87.9%)を占めている。中国、ベトナムは増加傾向にあるが、韓国及び朝鮮は減少傾向にある。

また、割合は少ないが、2020年度末時点で、外国人住民の国籍数は147か国となっており、多様な外国人住民が大阪市に住んでいる状況である。

図表 2 国籍別の外国人住民数の推移



	2012年度 H24	2013年度 H25	2014年度 H26	2015年度 H27	2016年度 H28	2017年度 H29	2018年度 H30	2019年度 R1	2020年度 R2
韓国及び朝鮮	74,952	72,980	71,484	70,070	68,709	67,454	66,217	64,732	61,842
中国	26,446	26,094	26,467	27,755	30,137	32,486	34,791	38,060	37,105
ベトナム	1,235	2,141	3,396	5,506	7,919	10,600	13,707	17,550	19,623
フィリピン	2,850	2,915	3,067	3,205	3,412	3,630	3,942	4,260	4,255
ネパール	537	632	753	964	1,217	1,643	1,944	2,508	2,875
米国	1,238	1,301	1,356	1,408	1,469	1,539	1,665	1,703	1,575
インドネシア	409	469	566	804	941	1,118	1,366	1,623	1,793
タイ	869	872	898	958	1,009	1,097	1,148	1,191	1,106
ブラジル	998	933	870	910	918	936	950	1,029	970
インド	479	471	486	498	540	594	653	761	714
その他	6,178	6,897	7,856	8,995	9,883	10,852	11,633	12,303	11,137
合計	116,191	115,705	117,199	121,073	126,154	131,949	138,016	145,720	142,995
国数	135	134	132	136	138	136	138	143	147

(出所) 大阪市

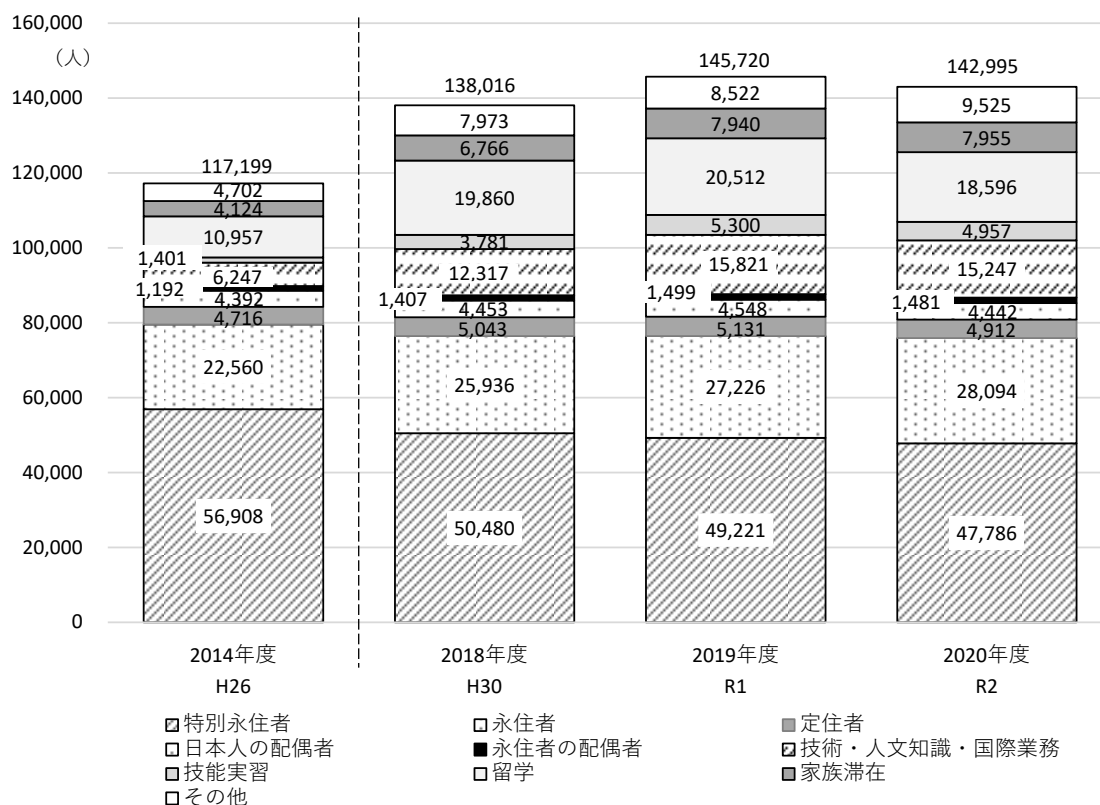
(時点) 各年度末時点 ※2011年度末の国籍別人数は公表されておらず

(3) 在留資格別の外国人住民数

在留資格別にみると、2020年度末時点では、特別永住者が47,786人(33.4%)と最も多く、次いで、永住者が28,094人(19.6%)、留学が18,596人(13.0%)となっている。

2014年度末と2020年度末を比べると、技能実習、技術・人文知識・国際業務、家族滞在が増加している。

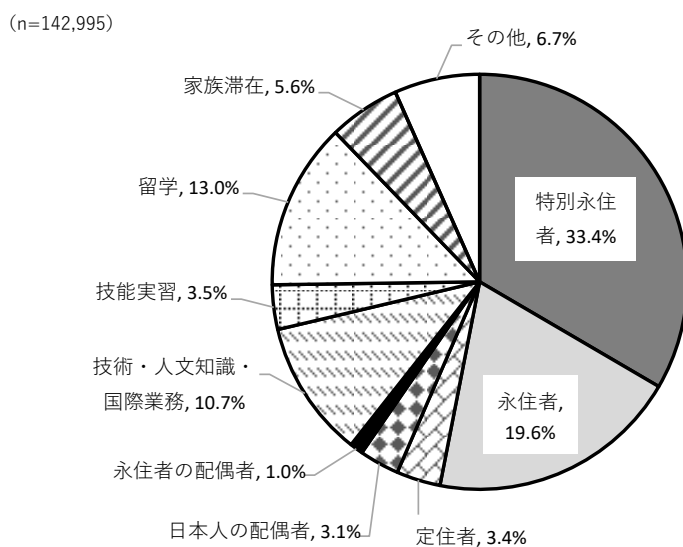
図表3 在留資格別の外国人住民数の推移



(出所) 大阪市

(時点) 各年度末時点 ※2011～2013、2015～2017年度末の在留資格別人数は公表されておらず

図表4 在留資格別の割合 (2020 (R2) 年度末)

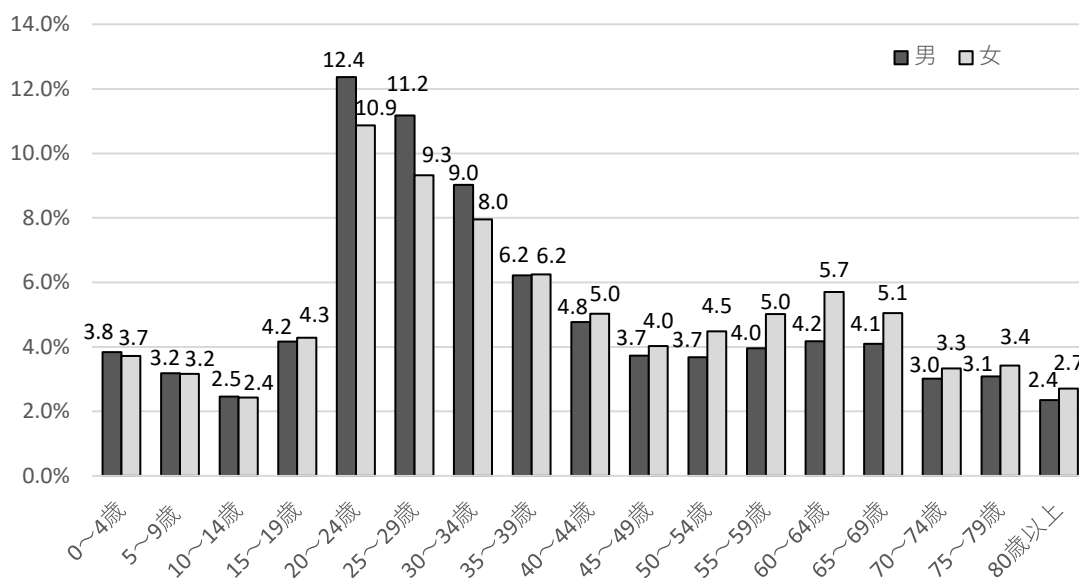


(出所) 大阪市

(4) 性別・年齢別外国人住民の割合

性別・年齢別に大阪市の総人口に占める外国人住民の割合をみると、男女ともに 20~24 歳で最も割合が高く、男性で 12.4%、女性で 10.9%となっている。20 代、30 代で総人口に占める外国人住民の割合が高くなっている。

図表 5 性別・年齢別総人口に占める外国人住民の割合



(出所) 大阪市

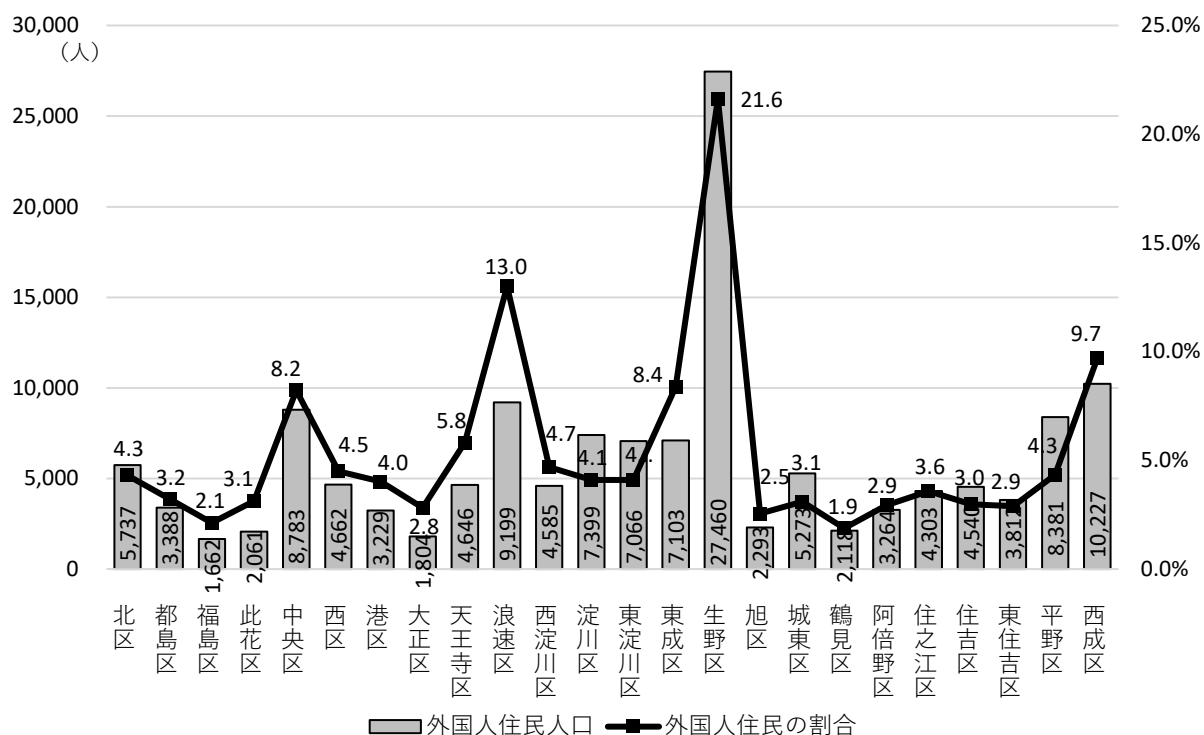
(時点) 2020 (R2) 年度末時点

(5) 区別の外国人住民数と割合

区別に総人口に占める外国人住民の割合をみると、生野区が21.6%と最も高く、次いで浪速区13.0%、西成区9.7%となっている。

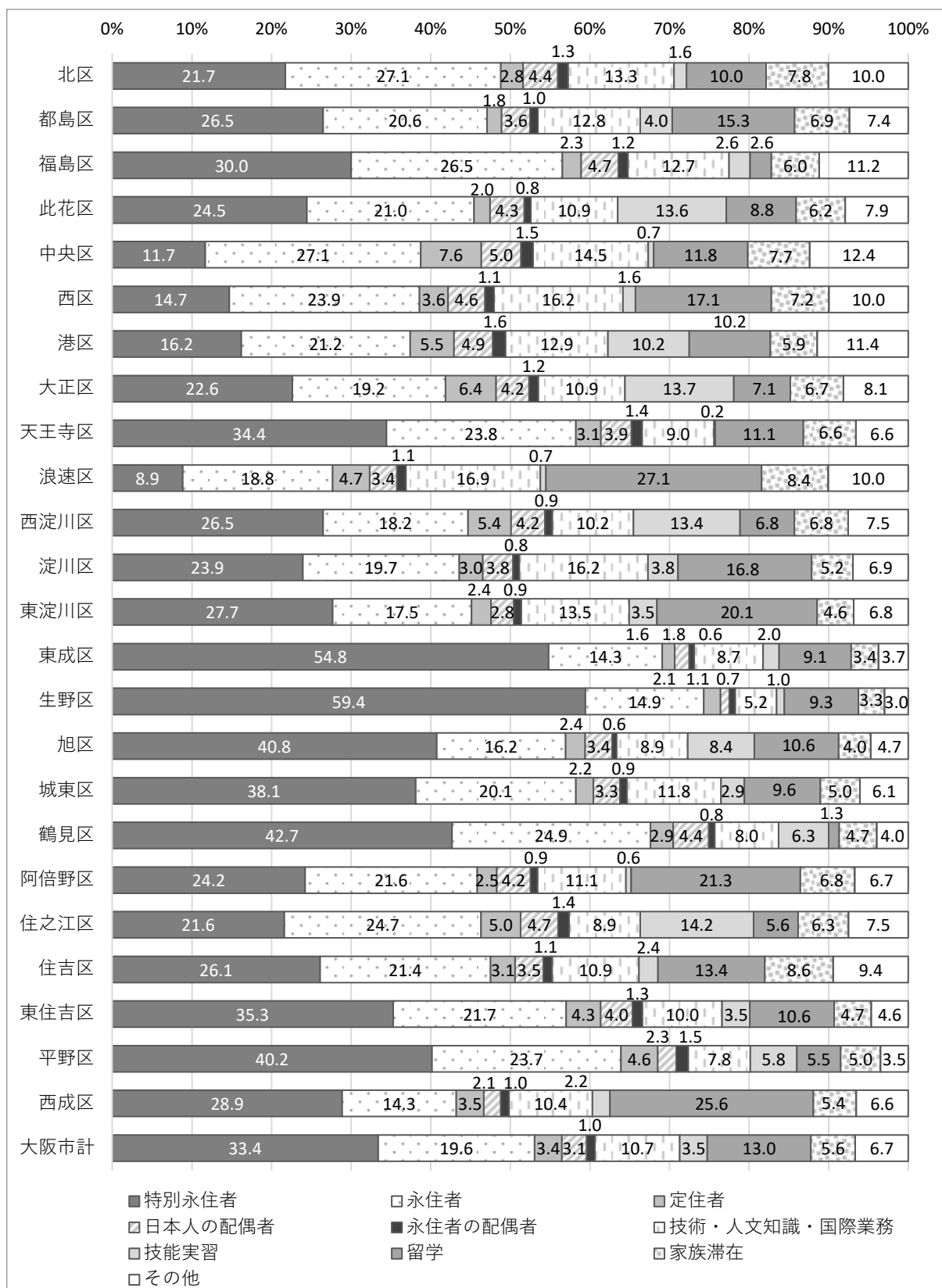
区別で在留資格別の外国人住民の割合をみると、永住者は北区、中央区、福島区などで割合が高く、留学生は浪速区、西成区、阿倍野区などで割合が高い。

図表 6 区別外国人住民数と割合



(出所) 大阪市
(時点) 2020 (R2) 年度末時点

図表 7 区別在留資格別の外国人住民の割合



(出所) 大阪市
(時点) 2020 (R2) 年度末時点

III. 外国人住民調査

1. アンケート調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、本市における今後の日本語の学習環境の検討に向けた基礎データを得ることを目的に、実態やニーズについて把握するために実施した。

(2) 調査対象

2021年10月1日現在、本市に在住する18歳以上の外国人（特別永住者除く）から3,000人を無作為抽出した。

(3) 調査方法

アンケートの案内を郵送で配布し、Webで回収した。

やさしい日本語、中国語、韓国語、ベトナム語、フィリピン語、英語で実施した。

(4) 調査時期

令和3年11月26日（金）～12月15日（水）

(5) 回収状況

発送数	不着	回収数	回収率
3,000件	49件	555件	18.5% (不着を除く18.8%)

(6) 調査結果の表示方法

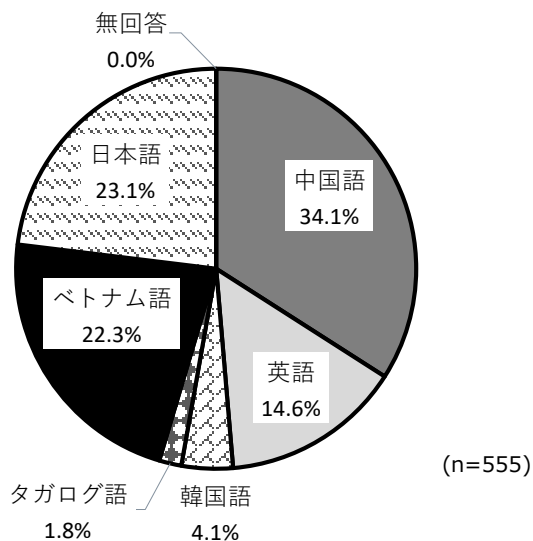
- ・ 設問ごとの集計母数はグラフ中に（n = ○○）と表記。
- ・ 集計結果の百分率（%）は、小数点第2位を四捨五入した値を表記している。このため、回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・ 複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めている。そのため、構成比率の合計は通常100.0%とならない。
- ・ 外国人住民アンケートにおいて、n数が19人以下についてのものについては、参考値とし、分析の対象としていない。
- ・ 外国人住民アンケートのクロス集計においては、表側項目（表の左側の項目）別に、表頭項目（表の上側の項目）をみたときに、他と比べて有意に差があった項目についてコメントしている（残差分析）。他の項目より割合が高くて、n数が小さいと有意差がない場合がある。

2. アンケート調査結果

(1) 回答言語

回答言語は、「中国語」が34.1%と最も高く、次いで「日本語」が23.1%、「ベトナム語」が22.3%となっている。

図表 8 回答言語



(%)

	回答数	韓国・朝鮮	中国	ベトナム	フィリピン	台湾	ネパール	インドネシア	アメリカ	タイ	ブラジル	インド	その他	無回答
全体	555	6.5	39.6	23.2	3.8	7.6	2.5	2.9	2.3	1.1	0.9	0.4	9.2	0.0
回答言語	中国語	189	0.0	89.9	0.0	0.5	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
	英語	81	0.0	0.0	1.2	11.1	1.2	9.9	17.3	11.1	3.7	2.5	39.5	0.0
	韓国語	23	95.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
	タガログ語	10	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ベトナム語	124	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本語	128	10.9	39.1	3.1	0.8	19.5	4.7	1.6	3.1	2.3	2.3	0.0	12.5

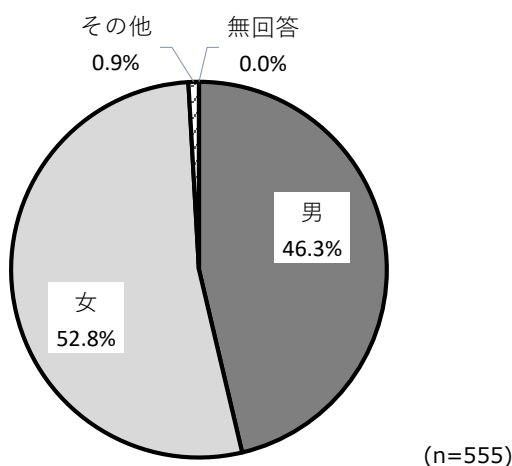
(2) 性別

性別は、「女」が52.8%、「男」が46.3%となっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、ベトナムで男性の割合が高く、台湾、フィリピンで女性の割合が高い。

在留資格別では、他の在留資格と比べて技能実習、留学で男性の割合が高い。

図表 9 性別



		回答数	男	女	その他	無回答
全体		555	46.3	52.8	0.9	0.0
出身地	韓国・朝鮮	36	44.4	52.8	2.8	0.0
	中国	220	45.5	54.1	0.5	0.0
	ベトナム	129	55.8	44.2	0.0	0.0
	フィリピン	21	23.8	76.2	0.0	0.0
	台湾	42	19.0	81.0	0.0	0.0
	ネパール	14	42.9	57.1	0.0	0.0
	インドネシア	16	43.8	56.3	0.0	0.0
	アメリカ	13	84.6	15.4	0.0	0.0
	タイ	6	16.7	83.3	0.0	0.0
	ブラジル	5	80.0	20.0	0.0	0.0
	インド	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	51	49.0	45.1	5.9	0.0
	在留資格	永住者	110	37.3	62.7	0.0
定住者		19	31.6	68.4	0.0	0.0
日本人の配偶者等		28	35.7	64.3	0.0	0.0
永住者の配偶者等		11	27.3	72.7	0.0	0.0
技術・人文知識・国際業務		125	47.2	51.2	1.6	0.0
技能実習		34	70.6	26.5	2.9	0.0
特定技能		13	46.2	53.8	0.0	0.0
技能		7	100.0	0.0	0.0	0.0
留学		138	53.6	45.7	0.7	0.0
家族滞在		38	36.8	63.2	0.0	0.0
特定活動		15	33.3	66.7	0.0	0.0
その他		17	47.1	47.1	5.9	0.0

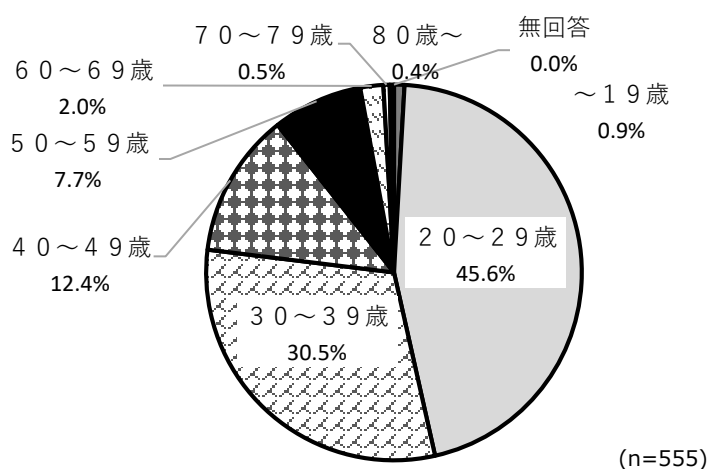
(3) 年齢

年齢は、「20～29歳」が45.6%と最も高く、次いで「30～39歳」が30.5%となっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、韓国・朝鮮では50代、60代、70代、フィリピン、中国では40代、ベトナムでは20代、台湾では30代の割合が高くなっている。

在留資格別では、他の在留資格と比べて、永住者で40代、50代、60代、70代、日本人の配偶者等で50代、技術・人文知識・国際業務で30代、留学、技能実習で20代、家族滞在で30代の割合が高くなっている。

図表 10 年齢



(n=555)

		回答数	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	無回答
全体		555	0.9	45.6	30.5	12.4	7.7	2.0	0.5	0.4	0.0
出身地	韓国・朝鮮	36	0.0	22.2	22.2	19.4	19.4	11.1	5.6	0.0	0.0
	中国	220	1.4	33.6	35.0	18.2	10.0	0.9	0.5	0.5	0.0
	ベトナム	129	1.6	82.2	15.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フィリピン	21	0.0	23.8	28.6	28.6	14.3	4.8	0.0	0.0	0.0
	台湾	42	0.0	26.2	47.6	7.1	11.9	4.8	0.0	2.4	0.0
	ネパール	14	0.0	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インドネシア	16	0.0	93.8	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	アメリカ	13	0.0	7.7	46.2	30.8	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	タイ	6	0.0	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	ブラジル	5	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インド	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	51	0.0	35.3	43.1	13.7	5.9	2.0	0.0	0.0	0.0

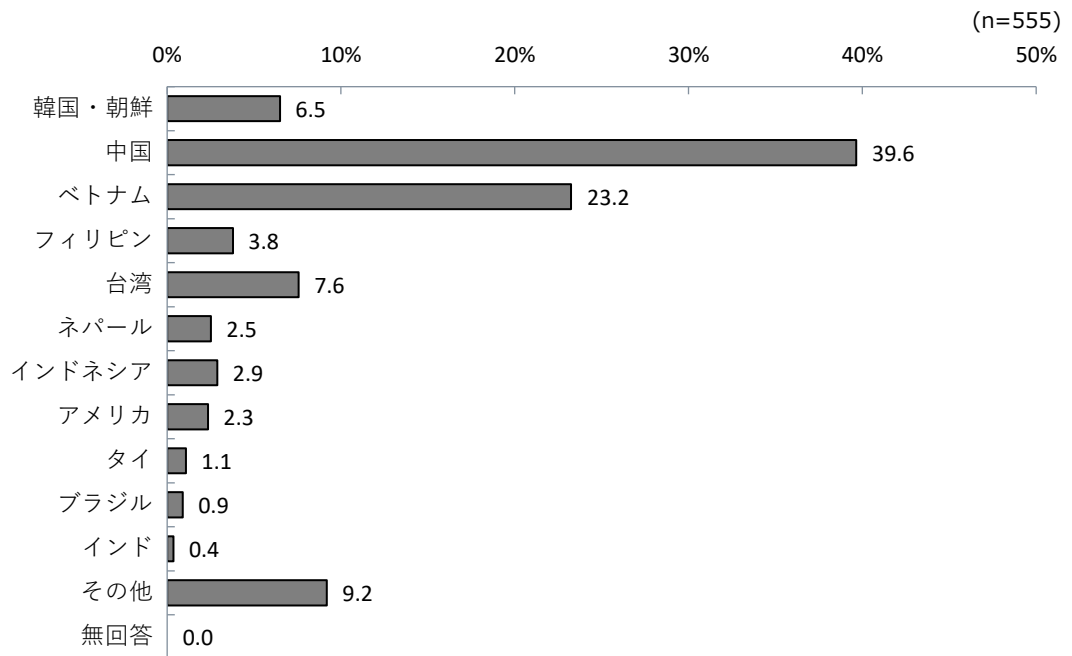
(%)

		回答数	～19 歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 ～	無回答
全 体		555	0.9	45.6	30.5	12.4	7.7	2.0	0.5	0.4	0.0
在 留 資 格	永住者	110	0.9	4.5	26.4	33.6	20.9	10.0	2.7	0.9	0.0
	定住者	19	0.0	21.1	42.1	26.3	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人の配偶者等	28	0.0	17.9	46.4	17.9	17.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	永住者の配偶者等	11	0.0	18.2	45.5	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	技術・人文知識・国際業務	125	0.0	41.6	46.4	8.8	2.4	0.0	0.0	0.8	0.0
	技能実習	34	0.0	79.4	20.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	特定技能	13	0.0	69.2	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	技能	7	0.0	0.0	42.9	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	留学	138	2.2	89.1	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族滞在	38	0.0	36.8	44.7	15.8	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	特定活動	15	6.7	53.3	33.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	17	0.0	23.5	47.1	11.8	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
現 在 の 居 住 地	北区	29	0.0	17.2	55.2	20.7	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	都島区	21	0.0	61.9	28.6	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	福島区	9	0.0	11.1	88.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	此花区	8	0.0	50.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中央区	43	2.3	44.2	27.9	14.0	11.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	西区	30	0.0	46.7	20.0	20.0	10.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	港区	14	0.0	28.6	35.7	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0
	大正区	6	0.0	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	天王寺区	20	0.0	25.0	55.0	15.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	浪速区	52	0.0	51.9	28.8	5.8	11.5	0.0	0.0	1.9	0.0
	西淀川区	18	0.0	38.9	50.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0
	淀川区	31	3.2	45.2	32.3	16.1	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	東淀川区	35	0.0	57.1	31.4	5.7	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0
	東成区	18	0.0	55.6	27.8	0.0	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0
	生野区	56	1.8	50.0	19.6	8.9	10.7	7.1	1.8	0.0	0.0
	旭区	5	0.0	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	城東区	13	0.0	46.2	30.8	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0
	鶴見区	7	0.0	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	阿倍野区	12	0.0	33.3	16.7	33.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0
	住之江区	22	0.0	27.3	36.4	22.7	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	住吉区	24	0.0	58.3	25.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	東住吉区	10	0.0	50.0	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	平野区	26	0.0	26.9	42.3	11.5	11.5	7.7	0.0	0.0	0.0
	西成区	43	4.7	65.1	18.6	9.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
区名が分からない方	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(4) 出身地

出身地は、「中国」が 39.6%と最も高く、次いで「ベトナム」が 23.2%となっている。

図表 11 出身地



〈その他の国籍〉

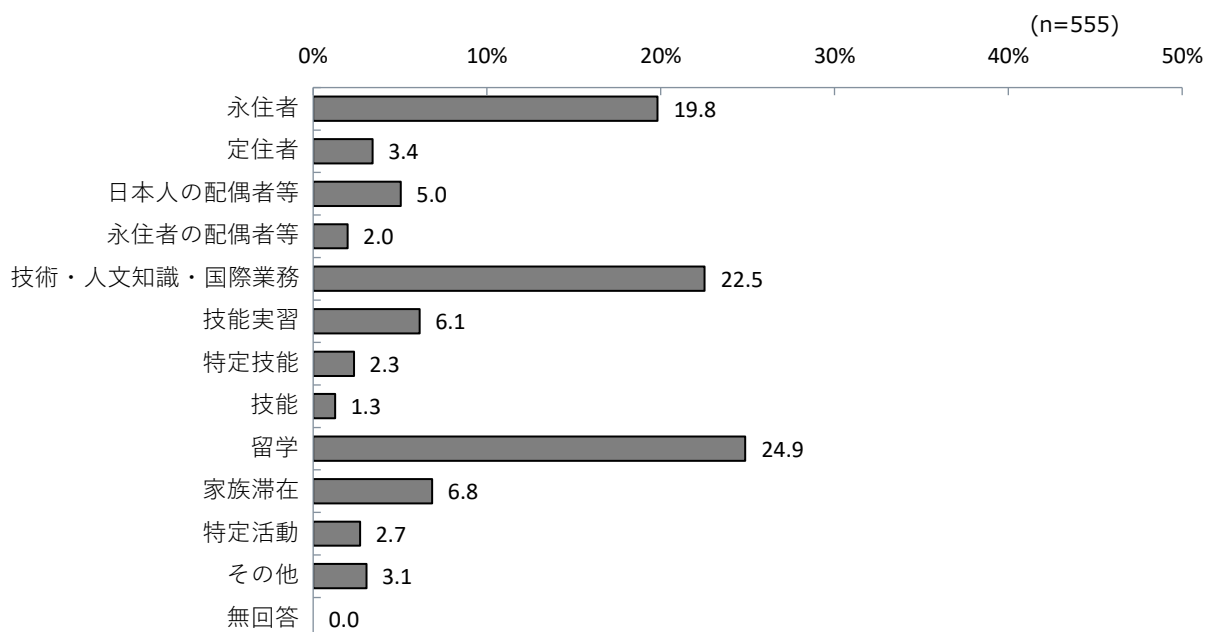
ミャンマー、ロシア、オーストラリア、マレーシア、イギリスなど 28 か国

(5) 在留資格

在留資格は、「留学」が24.9%と最も高く、次いで「技術・人文知識・国際業務」が22.5%、「永住者」が19.8%、となっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、韓国・朝鮮では永住者、中国では永住者、永住者の配偶者、ベトナムでは技能実習、特定技能、留学、フィリピンでは定住者、台湾では技術・人文知識・国際業務の割合が高くなっている。

図表 12 在留資格



		回答数	永住者	定住者	日本人の配偶者等	永住者の配偶者等	技術・人文知識・国際業務	技能実習
全体		555	19.8	3.4	5.0	2.0	22.5	6.1
出身地	韓国・朝鮮	36	38.9	2.8	2.8	2.8	22.2	0.0
	中国	220	26.8	2.3	4.1	3.6	22.7	0.9
	ベトナム	129	0.8	0.0	1.6	0.0	12.4	24.0
	フィリピン	21	28.6	23.8	9.5	4.8	4.8	0.0
	台湾	42	23.8	0.0	9.5	2.4	47.6	0.0
	ネパール	14	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
	インドネシア	16	0.0	18.8	0.0	0.0	6.3	0.0
	アメリカ	13	38.5	7.7	7.7	0.0	23.1	0.0
	タイ	6	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0
	ブラジル	5	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
	インド	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	その他	51	19.6	7.8	13.7	0.0	31.4	2.0

(前表続き)

(%)

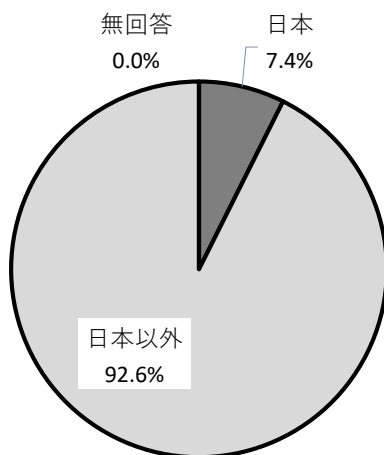
	特定技能	技能	留学	家族滞在	特定活動	その他	無回答	
全 体	2.3	1.3	24.9	6.8	2.7	3.1	0.0	
出身地	韓国・朝鮮	0.0	2.8	16.7	5.6	5.6	0.0	0.0
	中国	0.0	0.9	23.2	9.1	2.3	4.1	0.0
	ベトナム	5.4	1.6	41.9	8.5	1.6	2.3	0.0
	フィリピン	4.8	0.0	9.5	0.0	4.8	9.5	0.0
	台湾	0.0	0.0	9.5	7.1	0.0	0.0	0.0
	ネパール	7.1	14.3	42.9	7.1	0.0	0.0	0.0
	インドネシア	25.0	0.0	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0
	アメリカ	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0
	タイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ブラジル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(6) 出生地

出生地は、「日本以外」が92.6%、「日本」が7.4%となっている。

日本生まれの割合について、出身地別では、他と比べて、ベトナム、韓国・朝鮮で高く、在留資格別では、他と比べて、技能実習、永住者で高い。

図表 13 出生地



(n=555)

(%)

		回答数	日本	日本以外	無回答
全 体		555	7.4	92.6	0.0
出身地	韓国・朝鮮	36	11.1	88.9	0.0
	中国	220	2.7	97.3	0.0
	ベトナム	129	20.2	79.8	0.0
	フィリピン	21	4.8	95.2	0.0
	台湾	42	4.8	95.2	0.0
	ネパール	14	0.0	100.0	0.0
	インドネシア	16	0.0	100.0	0.0
	アメリカ	13	7.7	92.3	0.0
	タイ	6	0.0	100.0	0.0
	ブラジル	5	0.0	100.0	0.0
	インド	2	0.0	100.0	0.0
	その他	51	2.0	98.0	0.0
在留資格	永住者	110	11.8	88.2	0.0
	定住者	19	5.3	94.7	0.0
	日本人の配偶者等	28	3.6	96.4	0.0
	永住者の配偶者等	11	0.0	100.0	0.0
	技術・人文知識・国際業務	125	1.6	98.4	0.0
	技能実習	34	17.6	82.4	0.0
	特定技能	13	7.7	92.3	0.0
	技能	7	0.0	100.0	0.0
	留学	138	9.4	90.6	0.0
	家族滞在	38	7.9	92.1	0.0
	特定活動	15	6.7	93.3	0.0
その他	17	0.0	100.0	0.0	

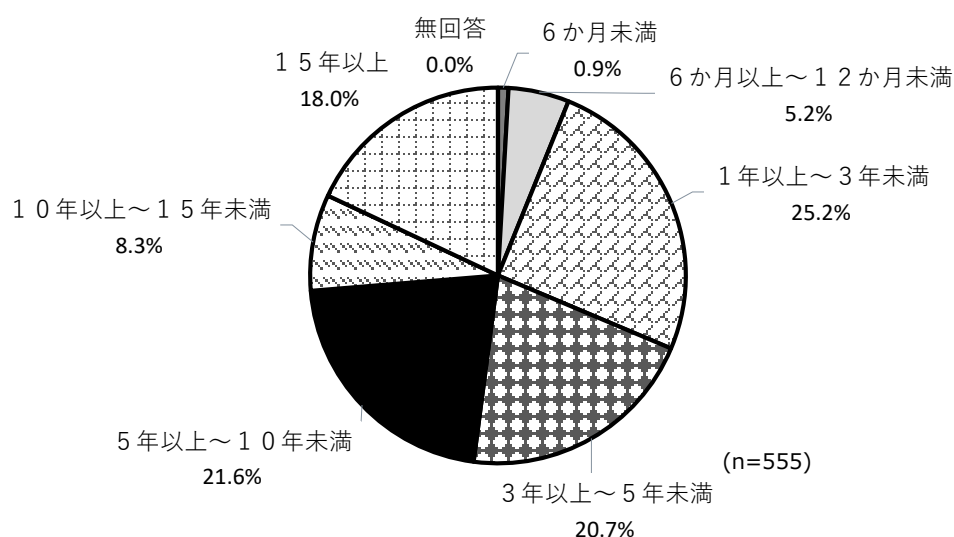
(7) 在日期間

在日期間は、「1年以上～3年未満」が25.2%と最も高く、次いで「5年以上～10年未満」が21.6%、「3年以上～5年未満」が20.7%となっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、韓国・朝鮮で「15年以上」、中国で「5年以上～10年未満」、「10年以上～15年未満」、ベトナムで「1年以上～3年未満」、「3年以上～5年未満」の割合が高くなっている。

在留資格別では、他の在留資格と比べて、永住者で「10年以上～15年未満」、「15年以上」、技術・人文知識・国際業務で「5年以上～10年未満」、技能実習で「1年以上～3年未満」、留学で「6か月以上～12か月未満」、「1年以上～3年未満」、「3年以上～5年未満」の割合が高くなっている。

図表 14 在日期間



		回答数	6か月未満	6か月以上～12か月未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上	無回答
全体		555	0.9	5.2	25.2	20.7	21.6	8.3	18.0	0.0
出身地	韓国・朝鮮	36	0.0	5.6	16.7	11.1	8.3	8.3	50.0	0.0
	中国	220	0.5	5.5	19.1	14.1	26.4	12.7	21.8	0.0
	ベトナム	129	0.0	7.8	44.2	34.1	13.2	0.8	0.0	0.0
	フィリピン	21	0.0	4.8	4.8	33.3	14.3	19.0	23.8	0.0
	台湾	42	0.0	0.0	16.7	23.8	28.6	4.8	26.2	0.0
	ネパール	14	0.0	0.0	21.4	42.9	21.4	0.0	14.3	0.0
	インドネシア	16	18.8	18.8	18.8	25.0	18.8	0.0	0.0	0.0
	アメリカ	13	7.7	0.0	15.4	7.7	30.8	23.1	15.4	0.0
	タイ	6	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	50.0	0.0
	ブラジル	5	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0
	インド	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	その他	51	0.0	2.0	33.3	11.8	27.5	9.8	15.7	0.0

(%)

		回答数	6か月未満	6か月以上～12か月未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上	無回答
全体		555	0.9	5.2	25.2	20.7	21.6	8.3	18.0	0.0
在留資格	永住者	110	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	22.7	68.2	0.0
	定住者	19	0.0	5.3	15.8	15.8	21.1	15.8	26.3	0.0
	日本人の配偶者等	28	0.0	3.6	14.3	10.7	32.1	14.3	25.0	0.0
	永住者の配偶者等	11	0.0	0.0	27.3	9.1	36.4	9.1	18.2	0.0
	技術・人文知識・国際業務	125	0.0	1.6	17.6	23.2	46.4	7.2	4.0	0.0
	技能実習	34	0.0	5.9	73.5	20.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	特定技能	13	15.4	7.7	7.7	61.5	7.7	0.0	0.0	0.0
	技能	7	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	57.1	0.0
	留学	138	0.0	13.8	44.2	34.8	7.2	0.0	0.0	0.0
	家族滞在	38	2.6	2.6	28.9	21.1	34.2	7.9	2.6	0.0
	特定活動	15	6.7	6.7	33.3	26.7	20.0	6.7	0.0	0.0
	その他	17	5.9	5.9	29.4	23.5	29.4	0.0	5.9	0.0

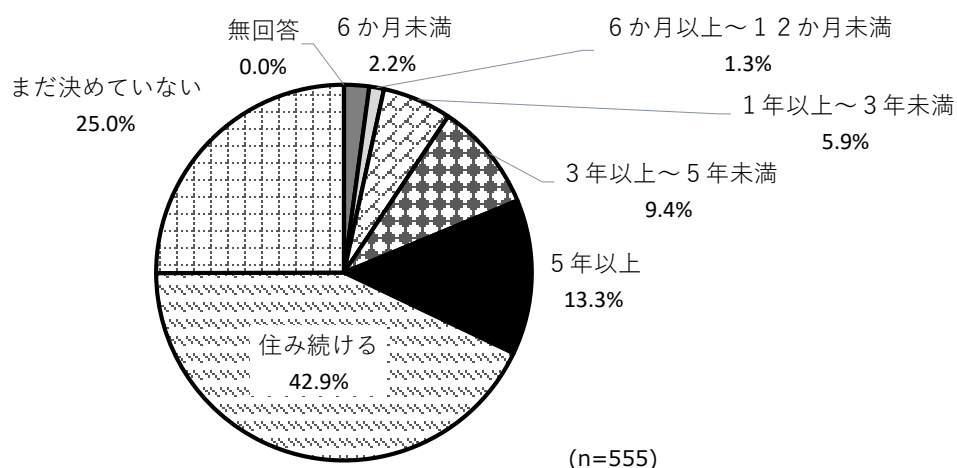
(8) これからの居住意向予定

これからの居住意向予定は、「住み続ける」が42.9%と最も高く、次いで「まだ決めていない」が25.0%、「5年以上」が13.3%となっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、韓国・朝鮮、中国で「住み続ける」、ベトナムでは「1年以上～3年未満」、「3年以上～5年未満」、フィリピンでは「まだ決めていない」の割合が高くなっている。

在留資格別では、他の在留資格と比べて、永住者で「住み続ける」、技能実習で「6か月～12か月未満」、「1年以上～3年未満」、「3年以上～5年未満」、留学で「5年以上」の割合が高くなっている。

図表 15 これからの居住意向予定



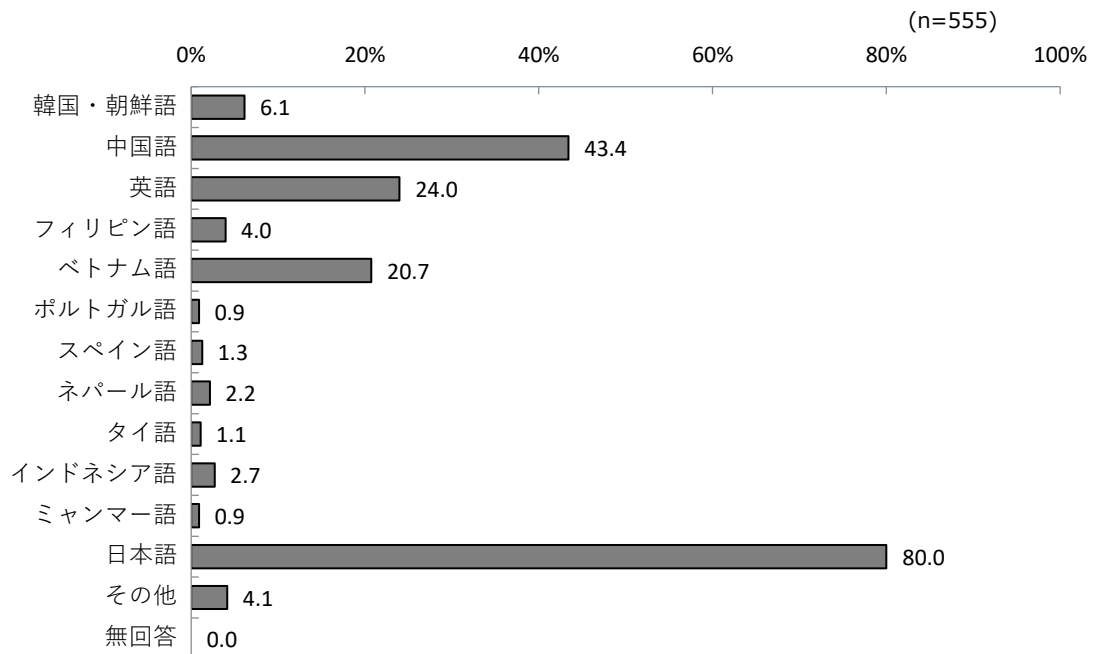
(%)

	回答数	6か月未満	6か月以上～12か月未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上	住み続ける	まだ決めていない	無回答	
全体	555	2.2	1.3	5.9	9.4	13.3	42.9	25.0	0.0	
出身地	韓国・朝鮮	36	0.0	0.0	2.8	2.8	0.0	69.4	25.0	0.0
	中国	220	0.5	0.9	2.3	5.0	13.2	52.3	25.9	0.0
	ベトナム	129	2.3	2.3	11.6	17.8	16.3	38.8	10.9	0.0
	フィリピン	21	0.0	0.0	0.0	9.5	4.8	28.6	57.1	0.0
	台湾	42	0.0	0.0	4.8	4.8	9.5	52.4	28.6	0.0
	ネパール	14	0.0	0.0	0.0	14.3	7.1	35.7	42.9	0.0
	インドネシア	16	12.5	12.5	12.5	31.3	31.3	0.0	0.0	0.0
	アメリカ	13	15.4	0.0	15.4	0.0	7.7	15.4	46.2	0.0
	タイ	6	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0
	ブラジル	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0
	インド	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	その他	51	5.9	0.0	7.8	11.8	19.6	21.6	33.3	0.0
在留資格	永住者	110	0.9	0.0	1.8	0.9	1.8	68.2	26.4	0.0
	定住者	19	15.8	0.0	0.0	5.3	15.8	42.1	21.1	0.0
	日本人の配偶者等	28	0.0	0.0	3.6	0.0	3.6	57.1	35.7	0.0
	永住者の配偶者等	11	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	72.7	18.2	0.0
	技術・人文知識・国際業務	125	0.0	0.0	4.8	8.0	12.0	45.6	29.6	0.0
	技能実習	34	2.9	11.8	23.5	38.2	11.8	8.8	2.9	0.0
	特定技能	13	15.4	0.0	15.4	23.1	0.0	15.4	30.8	0.0
	技能	7	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	42.9	0.0
	留学	138	2.9	1.4	8.0	13.0	28.3	23.2	23.2	0.0
	家族滞在	38	0.0	0.0	0.0	5.3	13.2	55.3	26.3	0.0
	特定活動	15	6.7	0.0	6.7	26.7	6.7	33.3	20.0	0.0
	その他	17	0.0	5.9	11.8	0.0	5.9	52.9	23.5	0.0

(9) 日常で使用する言語

日常で使用する言語は、「日本語」が80.0%と最も高く、次いで「中国語」が43.4%、「英語」が24.0%となっている。

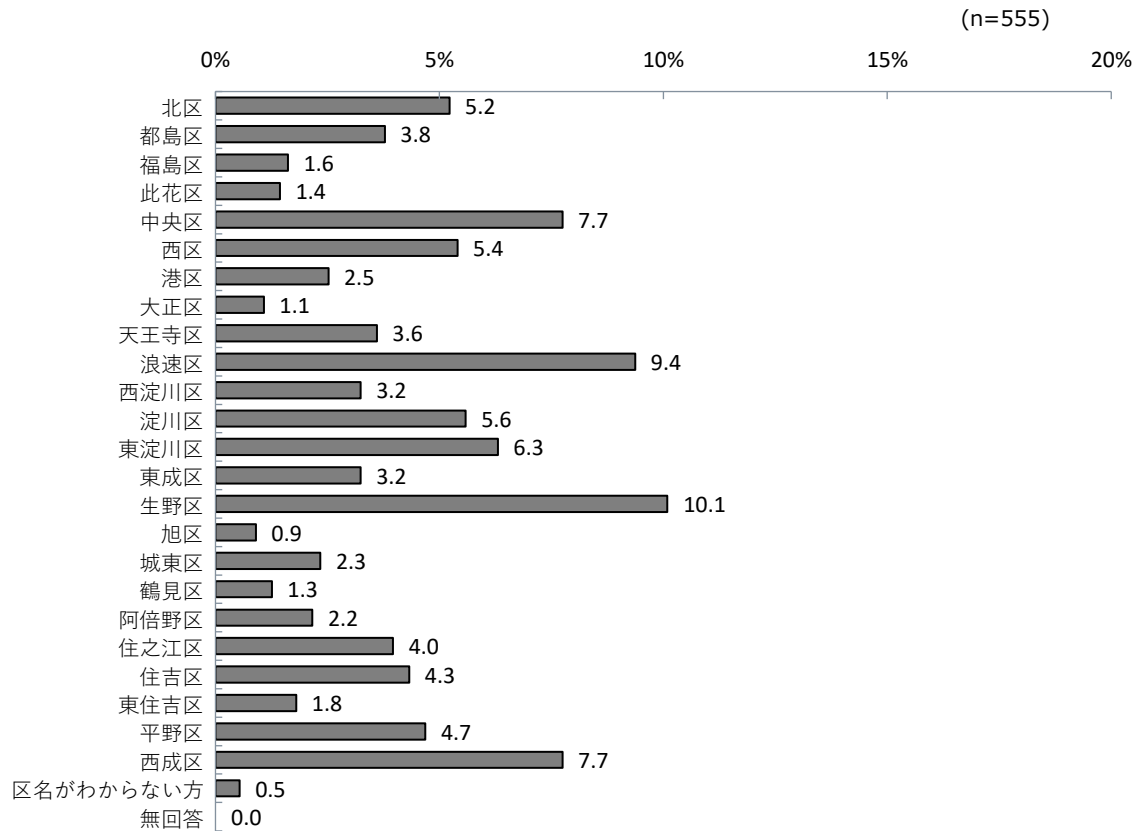
図表 16 日常で使用する言語〔複数回答〕



(10) 現在の居住地

現在の居住地は、「生野区」が最も高く 10.1%、次いで「浪速区」が 9.4%、「中央区」、「西成区」が 7.7%となっている。

図表 17 現在の居住地



(%)

	回答数	北区	都島区	福島区	此花区	中央区	西区	港区	大正区	
全 体	555	5.2	3.8	1.6	1.4	7.7	5.4	2.5	1.1	
出身地	韓国・朝鮮	36	0.0	2.8	2.8	0.0	16.7	8.3	2.8	0.0
	中国	220	5.5	5.5	1.8	1.4	6.8	7.3	2.7	0.5
	ベトナム	129	2.3	1.6	0.8	3.1	3.1	0.8	2.3	2.3
	フィリピン	21	4.8	0.0	0.0	0.0	9.5	4.8	4.8	0.0
	台湾	42	11.9	4.8	4.8	0.0	16.7	4.8	0.0	2.4
	ネパール	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0
	インドネシア	16	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
	アメリカ	13	15.4	7.7	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0
	タイ	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	ブラジル	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インド	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	51	9.8	2.0	0.0	2.0	13.7	7.8	2.0	2.0

	天王寺区	浪速区	西淀川区	淀川区	東淀川区	東成区	生野区	旭区	城東区	
全 体	3.6	9.4	3.2	5.6	6.3	3.2	10.1	0.9	2.3	
出身地	韓国・朝鮮	0.0	8.3	0.0	0.0	5.6	8.3	22.2	0.0	0.0
	中国	5.9	11.8	2.3	3.6	5.0	3.2	8.6	0.5	2.7
	ベトナム	0.8	8.5	4.7	11.6	6.2	3.1	13.2	1.6	2.3
	フィリピン	0.0	0.0	4.8	9.5	4.8	0.0	4.8	0.0	4.8
	台湾	9.5	11.9	0.0	2.4	7.1	0.0	7.1	2.4	0.0
	ネパール	0.0	21.4	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0
	インドネシア	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3	0.0	0.0
	アメリカ	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7
	タイ	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	ブラジル	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	インド	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	その他	2.0	5.9	7.8	7.8	7.8	2.0	5.9	0.0	2.0

	鶴見区	阿倍野区	住之江区	住吉区	東住吉区	平野区	西成区	区名が分からない方	無回答	
全 体	1.3	2.2	4.0	4.3	1.8	4.7	7.7	0.5	0.0	
出身地	韓国・朝鮮	0.0	8.3	2.8	2.8	2.8	0.0	5.6	0.0	0.0
	中国	1.4	2.7	3.2	3.2	2.3	6.4	5.5	0.5	0.0
	ベトナム	2.3	1.6	2.3	3.9	0.0	6.2	14.0	1.6	0.0
	フィリピン	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	4.8	14.3	0.0	0.0
	台湾	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0
	ネパール	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	インドネシア	0.0	0.0	6.3	31.3	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0
	アメリカ	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	タイ	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	ブラジル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	3.9	5.9	2.0	3.9	3.9	0.0	0.0

(%)

	回答数	北区	都島区	福島区	此花区	中央区	西区	港区	大正区
全 体	555	5.2	3.8	1.6	1.4	7.7	5.4	2.5	1.1
在留資格									
永住者	110	10.0	2.7	2.7	3.6	8.2	3.6	3.6	0.9
定住者	19	10.5	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	5.3	0.0
日本人の配偶者等	28	14.3	3.6	3.6	0.0	14.3	7.1	0.0	0.0
永住者の配偶者等	11	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	36.4	0.0	9.1
技術・人文知識・国際業務	125	2.4	4.8	1.6	0.0	8.0	6.4	3.2	0.8
技能実習	34	2.9	0.0	2.9	8.8	0.0	0.0	5.9	2.9
特定技能	13	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7
技能	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
留学	138	2.2	7.2	0.0	0.7	6.5	5.1	0.7	0.0
家族滞在	38	5.3	0.0	0.0	0.0	7.9	5.3	5.3	2.6
特定活動	15	0.0	6.7	0.0	0.0	20.0	6.7	0.0	0.0
その他	17	5.9	0.0	5.9	0.0	11.8	5.9	0.0	0.0

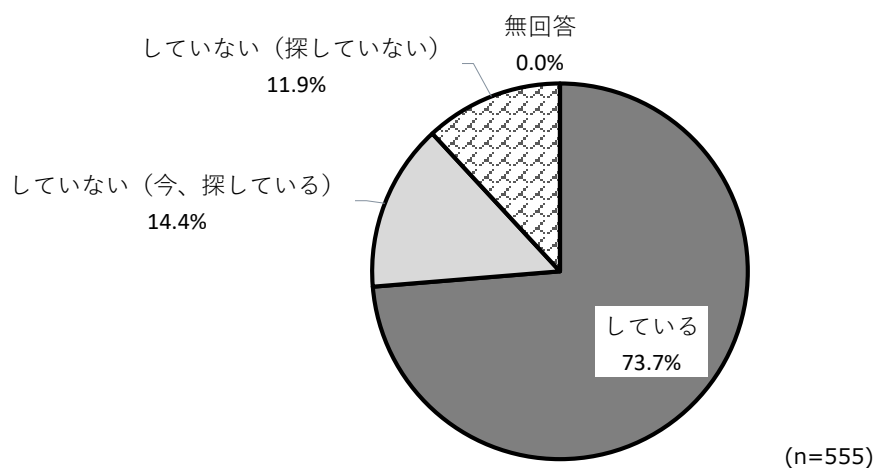
	天王寺区	浪速区	西淀川区	淀川区	東淀川区	東成区	生野区	旭区	城東区
全 体	3.6	9.4	3.2	5.6	6.3	3.2	10.1	0.9	2.3
在留資格									
永住者	2.7	5.5	3.6	4.5	0.9	1.8	14.5	0.9	0.9
定住者	0.0	5.3	0.0	15.8	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0
日本人の配偶者等	3.6	10.7	3.6	7.1	0.0	0.0	3.6	0.0	3.6
永住者の配偶者等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
技術・人文知識・国際業務	3.2	11.2	5.6	4.8	5.6	4.0	9.6	1.6	6.4
技能実習	0.0	2.9	5.9	8.8	5.9	5.9	8.8	2.9	0.0
特定技能	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
技能	0.0	28.6	0.0	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0
留学	4.3	12.3	1.4	4.3	10.9	3.6	13.0	0.0	2.2
家族滞在	13.2	13.2	2.6	0.0	7.9	7.9	5.3	0.0	0.0
特定活動	0.0	13.3	0.0	13.3	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0
その他	5.9	5.9	0.0	11.8	11.8	0.0	5.9	5.9	0.0

	鶴見区	阿倍野区	住之江区	住吉区	東住吉区	平野区	西成区	区名が分からない方	無回答
全 体	1.3	2.2	4.0	4.3	1.8	4.7	7.7	0.5	0.0
在留資格									
永住者	1.8	0.9	6.4	2.7	3.6	9.1	4.5	0.0	0.0
定住者	0.0	0.0	15.8	0.0	5.3	0.0	15.8	0.0	0.0
日本人の配偶者等	0.0	7.1	7.1	3.6	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0
永住者の配偶者等	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
技術・人文知識・国際業務	1.6	2.4	1.6	4.8	0.8	1.6	8.0	0.0	0.0
技能実習	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	14.7	2.9	8.8	0.0
特定技能	0.0	0.0	0.0	38.5	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0
技能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
留学	0.0	2.2	2.9	2.9	2.2	2.2	13.0	0.0	0.0
家族滞在	0.0	5.3	0.0	10.5	0.0	2.6	5.3	0.0	0.0
特定活動	6.7	0.0	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0

(11) 仕事の有無

仕事の有無は、「している」が73.7%と最も高く、「していない(今、探している)」が14.4%、「していない(探していない)」が11.9%となっている。

図表 18 仕事の有無



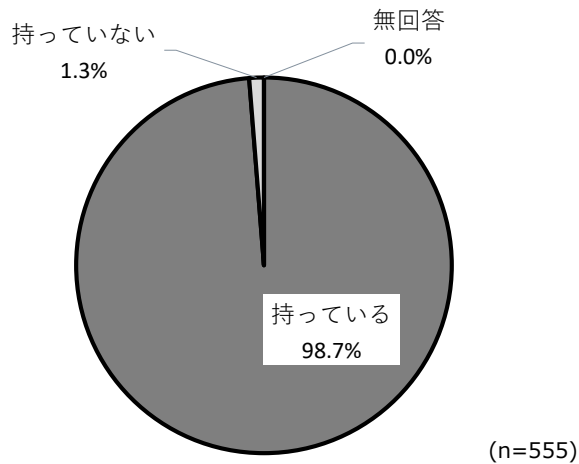
(%)

	回答数	している	していない (今、探 している)	していない (探してい ない)	無回答	
全 体	555	73.7	14.4	11.9	0.0	
出身地	韓国・朝鮮	36	75.0	8.3	16.7	0.0
	中国	220	61.8	22.3	15.9	0.0
	ベトナム	129	91.5	6.2	2.3	0.0
	フィリピン	21	85.7	4.8	9.5	0.0
	台湾	42	69.0	16.7	14.3	0.0
	ネパール	14	85.7	14.3	0.0	0.0
	インドネシア	16	50.0	18.8	31.3	0.0
	アメリカ	13	92.3	0.0	7.7	0.0
	タイ	6	50.0	16.7	33.3	0.0
	ブラジル	5	80.0	20.0	0.0	0.0
	インド	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	51	78.4	9.8	11.8	0.0
	在留資格	永住者	110	70.0	13.6	16.4
定住者		19	73.7	15.8	10.5	0.0
日本人の配偶者等		28	64.3	25.0	10.7	0.0
永住者の配偶者等		11	72.7	9.1	18.2	0.0
技術・人文知識・国際業務		125	95.2	4.8	0.0	0.0
技能実習		34	97.1	2.9	0.0	0.0
特定技能		13	92.3	7.7	0.0	0.0
技能		7	100.0	0.0	0.0	0.0
留学		138	55.8	22.5	21.7	0.0
家族滞在		38	50.0	26.3	23.7	0.0
特定活動		15	80.0	13.3	6.7	0.0
その他		17	76.5	17.6	5.9	0.0

(12) スマホ、タブレット、PCなどの所有

スマホ、タブレット、PCなどの所有は、「持っている」が98.7%、「持っていない」が1.3%となっている。

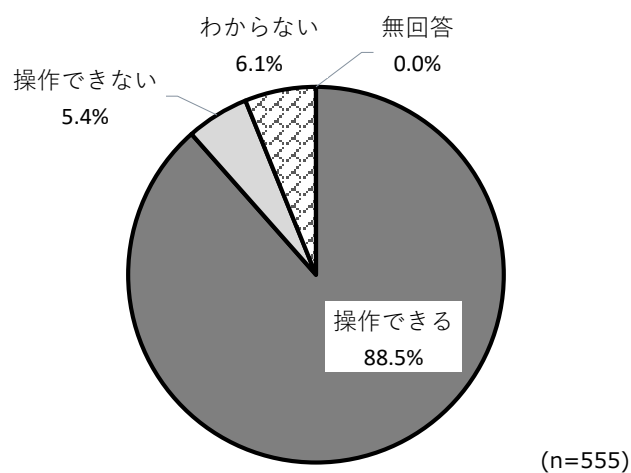
図表 19 スマホ、タブレット、PCなどの所有



(13) ミーティングツールの操作

ミーティングツールの操作は、「操作できる」(88.5%)が最も高く、「わからない」が6.1%、「操作できない」が5.4%となっている。

図表 20 ミーティングツールの操作



(14) 聞くことについて

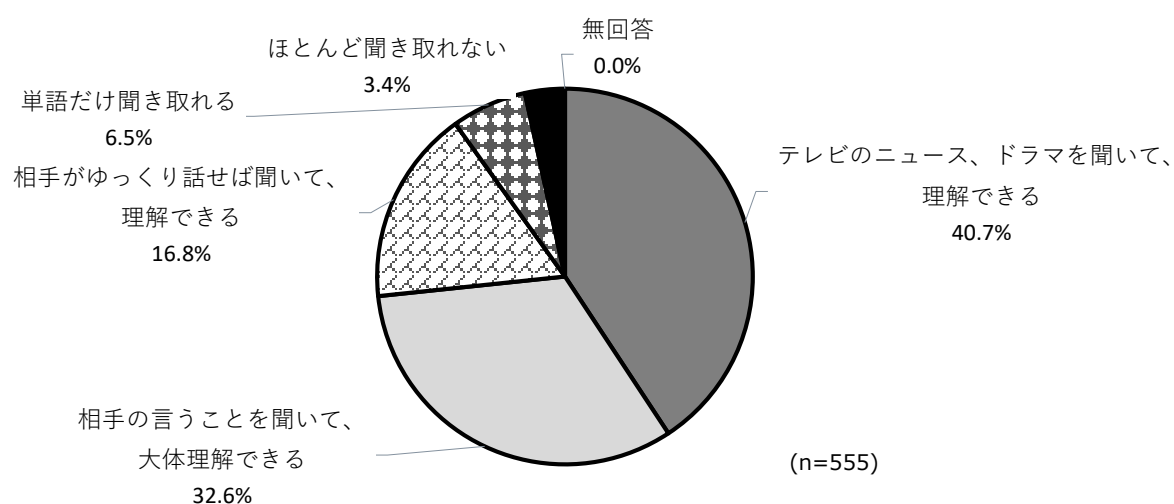
聞くことについては、「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」が最も高く 40.7%、次いで「相手の言うことを聞いて、大体理解できる」が 32.6%となっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、韓国・朝鮮、台湾、中国で、「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」の割合が高くなっている。一方、他の出身地と比べて、ベトナムで「ほとんど聞き取れない」、フィリピンで「単語だけ聞き取れる」となっているの割合が高くなっている。

在留資格別では、他の在留資格と比べて、永住者、技術・人文知識・国際業務で「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」、留学で「相手の言うことを聞いて、大体理解できる」の割合が高くなっている。一方、技能実習、家族滞在で「単語だけ聞き取れる」、「ほとんど聞き取れない」の割合が高くなっている。

仕事の有無別では、他と比べて、仕事をしていない（探していない）で「単語だけ聞き取れる」の割合が高くなっている。

図表 21 聞くことについて



(%)

	回答数	テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる	相手の言うことを聞いて、大体理解できる	相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる	単語だけ聞き取れる	ほとんど聞き取れない	無回答
全体	555	40.7	32.6	16.8	6.5	3.4	0.0
出身地	韓国・朝鮮	36	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	中国	220	50.5	26.8	13.6	6.4	2.7
	ベトナム	129	18.6	46.5	20.2	6.2	8.5
	フィリピン	21	9.5	42.9	23.8	19.0	4.8
	台湾	42	66.7	26.2	7.1	0.0	0.0
	ネパール	14	21.4	28.6	50.0	0.0	0.0
	インドネシア	16	18.8	50.0	25.0	6.3	0.0
	アメリカ	13	15.4	38.5	30.8	7.7	7.7
	タイ	6	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	ブラジル	5	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0
	インド	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
その他	51	37.3	27.5	23.5	11.8	0.0	
在留資格	永住者	110	62.7	20.9	12.7	3.6	0.0
	定住者	19	42.1	21.1	10.5	15.8	10.5
	日本人の配偶者等	28	39.3	28.6	21.4	10.7	0.0
	永住者の配偶者等	11	54.5	27.3	0.0	9.1	9.1
	技術・人文知識・国際業務	125	59.2	27.2	9.6	3.2	0.8
	技能実習	34	2.9	41.2	26.5	17.6	11.8
	特定技能	13	0.0	38.5	46.2	7.7	7.7
	技能	7	0.0	57.1	28.6	0.0	14.3
	留学	138	29.7	50.7	18.8	0.7	0.0
	家族滞在	38	15.8	26.3	28.9	15.8	13.2
	特定活動	15	33.3	33.3	13.3	20.0	0.0
その他	17	29.4	5.9	17.6	23.5	23.5	
仕事の有無	している	409	42.8	31.8	16.4	5.4	3.7
	していない (今、探している)	80	36.3	33.8	18.8	7.5	3.8
	していない (探していない)	66	33.3	36.4	16.7	12.1	1.5

(15) 話すことについて

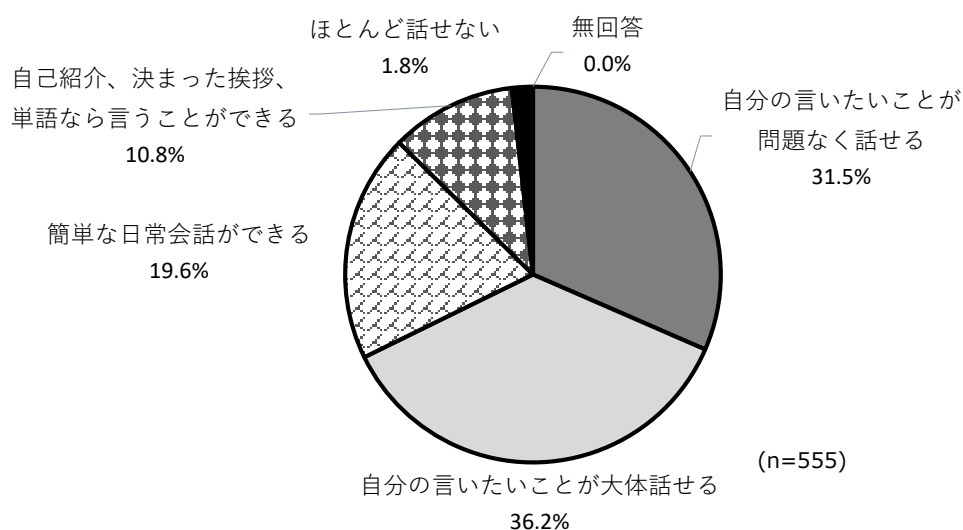
話すことについては、「自分の言いたいことが大体話せる」が最も高く 36.2%、次いで「自分の言いたいことが問題なく話せる」が 31.5%となっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、韓国・朝鮮、中国で、「自分の言いたいことが問題なく話せる」、台湾で「自分の言いたいことが大体話せる」の割合が高くなっている。一方、他の出身地と比べて、ベトナムで「ほとんど話せない」の割合が高くなっている。

在留資格別では、他の在留資格と比べて、永住者、技術・人文知識・国際業務で「自分の言いたいことが問題なく話せる」、留学で「自分の言いたいことが大体話せる」の割合が高くなっている。一方、家族滞在、技能実習で「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」の割合が高くなっている。

仕事の有無別では、他と比べて、仕事をしているで「自分の言いたいことが問題なく話せる」の割合が高く、仕事をしていない（探していない）で「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」の割合が高くなっている。

図表 22 話すことについて



(%)

	回答数	自分の言いたいことが問題なく話せる	自分の言いたいことが大体話せる	簡単な日常会話ができる	自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる	ほとんど話せない	無回答
全体	555	31.5	36.2	19.6	10.8	1.8	0.0
出身地	韓国・朝鮮	36	66.7	30.6	2.8	0.0	0.0
	中国	220	37.7	34.1	15.0	11.4	1.8
	ベトナム	129	15.5	40.3	27.1	13.2	3.9
	フィリピン	21	14.3	33.3	33.3	19.0	0.0
	台湾	42	40.5	52.4	7.1	0.0	0.0
	ネパール	14	28.6	28.6	42.9	0.0	0.0
	インドネシア	16	6.3	43.8	31.3	18.8	0.0
	アメリカ	13	23.1	23.1	30.8	15.4	7.7
	タイ	6	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	ブラジル	5	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	インド	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	51	29.4	31.4	23.5	15.7	0.0	
在留資格	永住者	110	58.2	20.9	16.4	4.5	0.0
	定住者	19	36.8	21.1	26.3	10.5	5.3
	日本人の配偶者等	28	28.6	35.7	21.4	14.3	0.0
	永住者の配偶者等	11	18.2	36.4	27.3	9.1	9.1
	技術・人文知識・国際業務	125	41.6	43.2	8.0	7.2	0.0
	技能実習	34	2.9	23.5	41.2	26.5	5.9
	特定技能	13	7.7	38.5	30.8	23.1	0.0
	技能	7	0.0	28.6	57.1	0.0	14.3
	留学	138	20.3	52.2	22.5	4.3	0.7
	家族滞在	38	10.5	23.7	28.9	31.6	5.3
特定活動	15	26.7	46.7	6.7	20.0	0.0	
その他	17	23.5	17.6	11.8	35.3	11.8	
仕事の有無	している	409	35.7	34.2	19.1	9.0	2.0
	していない (今、探している)	80	17.5	48.8	18.8	13.8	1.3
	していない (探していない)	66	22.7	33.3	24.2	18.2	1.5

(16) 読むことについて

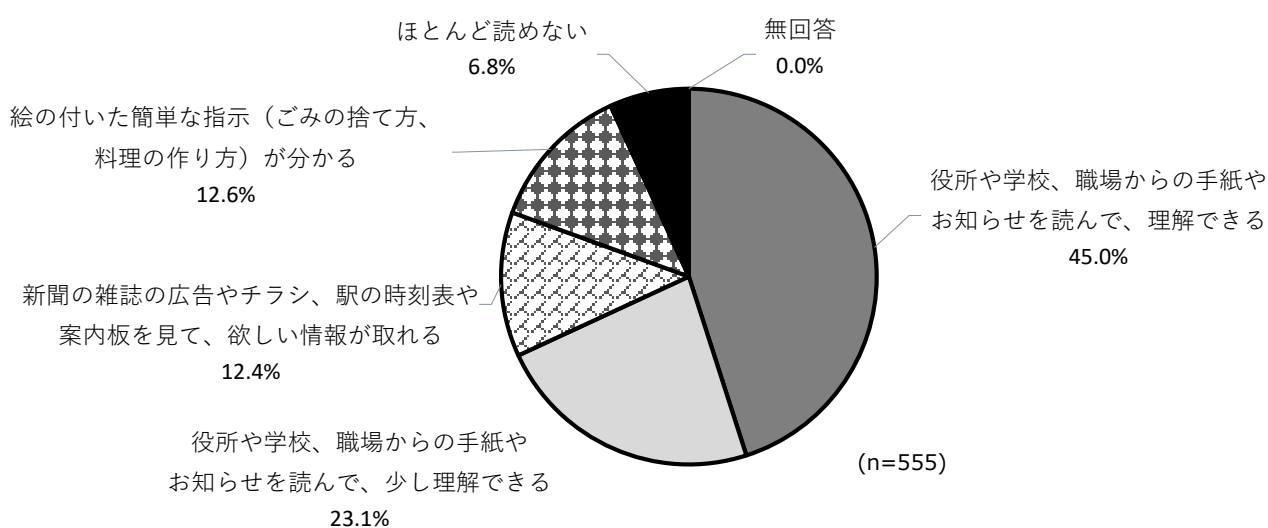
読むことについては、「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」が最も高く45.0%、次いで「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる」が23.1%となっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、韓国・朝鮮、台湾、中国で、「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」、ベトナムで「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる」の割合が高くなっている。一方、他の出身地と比べて、ベトナムでは「絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる」の割合も高くなっている。また、フィリピンでは、「ほとんど読めない」の割合が高くなっている。

在留資格別では、他の在留資格と比べて、技術・人文知識・国際業務、永住者で「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」、留学で「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる」の割合が高くなっている。一方、技能実習で「絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる」、「ほとんど読めない」、日本人の配偶者等で「ほとんど読めない」の割合が高くなっている。

仕事の有無別では、大きな違いはみられなかった。

図表 23 読むことについて



(%)

		回答数	きやお知らせを、読んで、紙	役所や学校、職場から、少し手紙	解読できる	役所や学校、職場から、少し手紙	欲しい時刻表や案内板を見て、	新聞の雑誌の広告やチラシ、	駅の時刻表や案内板を見て、	かかると、料理の作り方が分	絵の付いた簡単な指示（ごみ	の捨て方、料理の作り方が分	ほとんど読めない	無回答
全体		555	45.0	23.1	12.4	12.6	6.8	0.0						
出身地	韓国・朝鮮	36	77.8	16.7	0.0	5.6	0.0	0.0						
	中国	220	60.0	19.5	9.1	8.6	2.7	0.0						
	ベトナム	129	20.2	33.3	17.8	21.7	7.0	0.0						
	フィリピン	21	4.8	23.8	19.0	9.5	42.9	0.0						
	台湾	42	69.0	26.2	4.8	0.0	0.0	0.0						
	ネパール	14	14.3	35.7	14.3	21.4	14.3	0.0						
	インドネシア	16	25.0	25.0	18.8	25.0	6.3	0.0						
	アメリカ	13	23.1	15.4	23.1	15.4	23.1	0.0						
	タイ	6	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0						
	ブラジル	5	40.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0						
	インド	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
その他	51	37.3	15.7	17.6	15.7	13.7	0.0							
在留資格	永住者	110	61.8	17.3	9.1	5.5	6.4	0.0						
	定住者	19	31.6	26.3	10.5	15.8	15.8	0.0						
	日本人の配偶者等	28	32.1	21.4	17.9	10.7	17.9	0.0						
	永住者の配偶者等	11	36.4	27.3	9.1	18.2	9.1	0.0						
	技術・人文知識・国際業務	125	67.2	16.8	6.4	8.0	1.6	0.0						
	技能実習	34	5.9	11.8	17.6	47.1	17.6	0.0						
	特定技能	13	0.0	23.1	46.2	15.4	15.4	0.0						
	技能	7	14.3	14.3	14.3	0.0	57.1	0.0						
	留学	138	43.5	34.8	13.8	8.0	0.0	0.0						
	家族滞在	38	18.4	31.6	21.1	21.1	7.9	0.0						
	特定活動	15	33.3	26.7	6.7	20.0	13.3	0.0						
その他	17	23.5	11.8	11.8	35.3	17.6	0.0							
仕事の有無	している	409	45.7	21.3	13.2	12.2	7.6	0.0						
	していない (今、探している)	80	38.8	30.0	11.3	13.8	6.3	0.0						
	していない (探していない)	66	48.5	25.8	9.1	13.6	3.0	0.0						

(17) 書くことについて

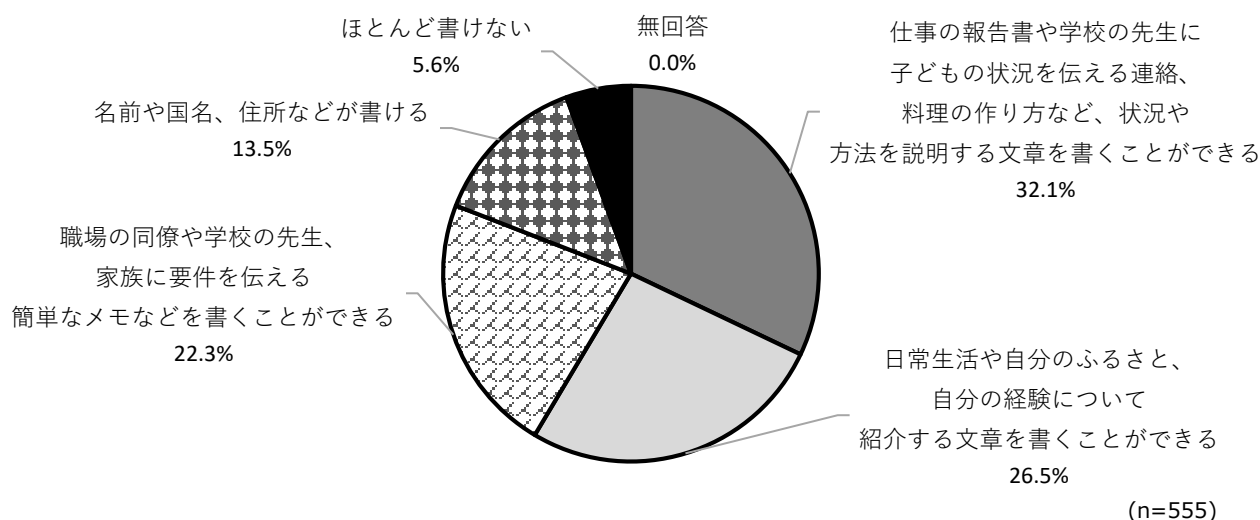
書くことについては、「仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる」が 32.1%と最も高く、次いで「日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる」が 26.5%となっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、台湾、中国で、「仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる」の割合が高くなっている。一方、他の出身地と比べて、フィリピンで「ほとんど書けない」の割合が高くなっている。

在留資格別では、他の在留資格と比べて、技術・人文知識・国際業務、永住者で「仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる」、留学で「日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる」の割合が高くなっている。一方、技能実習、家族滞在で「名前や国名、住所などが書ける」の割合が高くなっている。

仕事の有無別では、他と比べて、仕事をしているで「仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる」の割合が高く、仕事をしていない（探していない）で「名前や国名、住所などが書ける」の割合が高くなっている。

図表 24 書くことについて

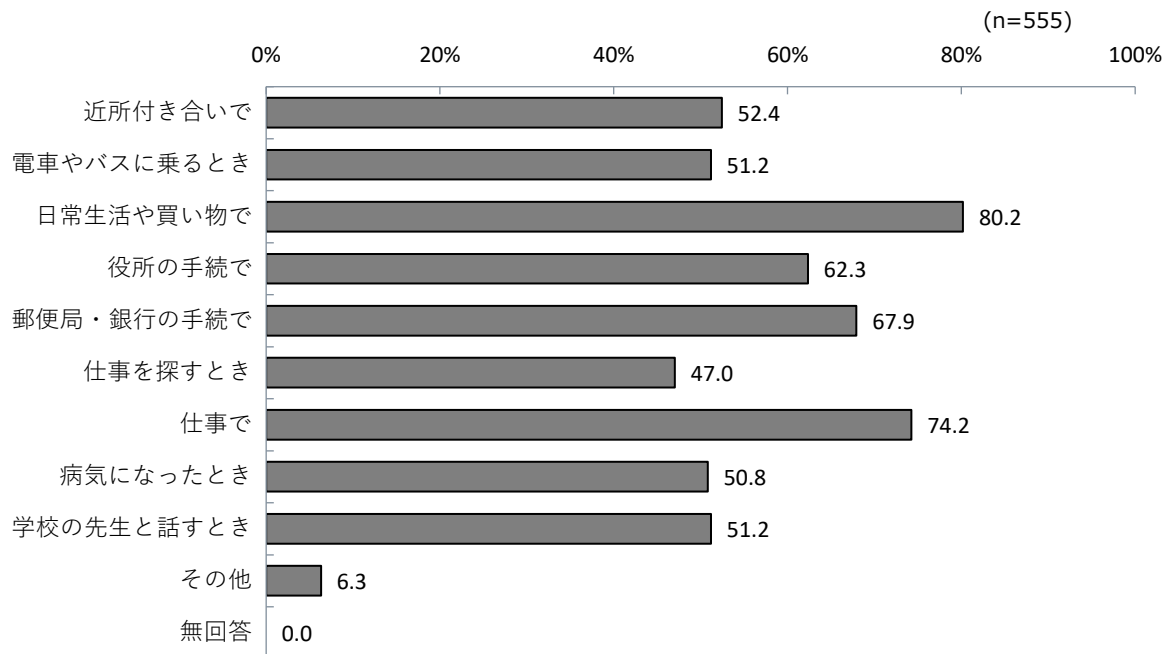


	回答数	仕事の報告書や学校の先生に子どもなどの状況を伝える連絡、料理に関する文章を書くことができる	仕事の報告書や学校の先生に子どもなどの状況を伝える連絡、料理に関する文章を書くことができる	日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる	職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる	名前や国名、住所などが書ける	ほとんど書けない	無回答
全体	555	32.1	26.5	22.3	13.5	5.6	0.0	
出身地	韓国・朝鮮	36	44.4	25.0	19.4	11.1	0.0	0.0
	中国	220	38.6	23.2	22.3	12.7	3.2	0.0
	ベトナム	129	19.4	32.6	26.4	16.3	5.4	0.0
	フィリピン	21	9.5	19.0	19.0	19.0	33.3	0.0
	台湾	42	52.4	26.2	14.3	7.1	0.0	0.0
	ネパール	14	14.3	42.9	28.6	0.0	14.3	0.0
	インドネシア	16	25.0	50.0	18.8	6.3	0.0	0.0
	アメリカ	13	15.4	30.8	15.4	15.4	23.1	0.0
	タイ	6	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0
	ブラジル	5	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0
	インド	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
その他	51	31.4	19.6	23.5	19.6	5.9	0.0	
在留資格	永住者	110	44.5	14.5	21.8	12.7	6.4	0.0
	定住者	19	26.3	21.1	15.8	21.1	15.8	0.0
	日本人の配偶者等	28	25.0	10.7	35.7	21.4	7.1	0.0
	永住者の配偶者等	11	27.3	27.3	36.4	0.0	9.1	0.0
	技術・人文知識・国際業務	125	49.6	25.6	16.8	5.6	2.4	0.0
	技能実習	34	5.9	23.5	20.6	41.2	8.8	0.0
	特定技能	13	7.7	53.8	30.8	7.7	0.0	0.0
	技能	7	0.0	28.6	0.0	14.3	57.1	0.0
	留学	138	26.1	46.4	23.2	4.3	0.0	0.0
	家族滞在	38	10.5	7.9	39.5	31.6	10.5	0.0
	特定活動	15	26.7	33.3	13.3	20.0	6.7	0.0
	その他	17	29.4	0.0	11.8	41.2	17.6	0.0
仕事の有無	している	409	35.9	25.7	20.5	11.7	6.1	0.0
	していない (今、探している)	80	21.3	30.0	27.5	15.0	6.3	0.0
	していない (探していない)	66	21.2	27.3	27.3	22.7	1.5	0.0

(18) 日本語を使う場面

日本語を使う場面は、「日常生活や買い物で」が最も高く 80.2%、次いで「仕事で」が 74.2%、「郵便局・銀行の手続きで」が 67.9%となっている。

図表 25 日本語を使う場面〔複数回答〕



(%)

	回答数	近所付き合いで	電車やバスに乗るとき	日常生活や買い物で	役所の手続で	郵便局・銀行の手続で	仕事を探すとき	仕事で	病気になったとき	学校の先生と話するとき	その他	無回答	
全体	555	52.4	51.2	80.2	62.3	67.9	47.0	74.2	50.8	51.2	6.3	0.0	
出身地	韓国・朝鮮	36	86.1	61.1	83.3	66.7	72.2	61.1	69.4	61.1	50.0	13.9	0.0
	中国	220	55.9	50.9	85.9	75.0	80.0	54.1	67.7	57.3	56.8	7.3	0.0
	ベトナム	129	45.0	51.2	70.5	54.3	61.2	50.4	89.1	46.5	53.5	3.1	0.0
	フィリピン	21	33.3	42.9	66.7	42.9	52.4	23.8	81.0	33.3	38.1	14.3	0.0
	台湾	42	59.5	69.0	97.6	78.6	83.3	59.5	76.2	64.3	52.4	4.8	0.0
	ネパール	14	7.1	14.3	71.4	28.6	28.6	21.4	85.7	35.7	50.0	0.0	0.0
	インドネシア	16	37.5	31.3	50.0	12.5	12.5	12.5	43.8	12.5	62.5	0.0	0.0
	アメリカ	13	61.5	84.6	92.3	61.5	69.2	38.5	69.2	69.2	23.1	0.0	0.0
	タイ	6	33.3	33.3	83.3	33.3	33.3	16.7	83.3	16.7	16.7	0.0	0.0
	ブラジル	5	80.0	60.0	100.0	60.0	60.0	40.0	80.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	インド	2	0.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	51	51.0	43.1	74.5	49.0	56.9	23.5	68.6	39.2	39.2	9.8	0.0	
在留資格	永住者	110	76.4	65.5	87.3	73.6	77.3	55.5	78.2	71.8	53.6	10.9	0.0
	定住者	19	42.1	36.8	63.2	42.1	47.4	31.6	68.4	47.4	31.6	5.3	0.0
	日本人の配偶者等	28	60.7	57.1	89.3	53.6	50.0	35.7	60.7	42.9	28.6	7.1	0.0
	永住者の配偶者等	11	54.5	63.6	90.9	72.7	81.8	36.4	54.5	36.4	36.4	9.1	0.0
	技術・人文知識・国際業務	125	50.4	54.4	84.8	76.8	80.0	53.6	92.8	62.4	31.2	4.0	0.0
	技能実習	34	38.2	47.1	64.7	17.6	26.5	8.8	85.3	41.2	8.8	2.9	0.0
	特定技能	13	38.5	46.2	69.2	23.1	30.8	15.4	76.9	30.8	46.2	7.7	0.0
	技能	7	14.3	42.9	42.9	28.6	28.6	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0
	留学	138	42.8	42.8	81.2	65.2	73.9	57.2	68.8	37.7	89.1	2.2	0.0
	家族滞在	38	50.0	39.5	76.3	52.6	60.5	47.4	42.1	39.5	60.5	15.8	0.0
	特定活動	15	66.7	46.7	60.0	60.0	60.0	60.0	66.7	46.7	53.3	13.3	0.0
その他	17	35.3	47.1	70.6	47.1	64.7	11.8	58.8	35.3	29.4	5.9	0.0	

(19) 日本語が不自由で困った経験（最近1年間）

日本語が不自由で困った経験（最近1年間）は、「役所の手続きで」が37.1%と最も高く、次いで「困ったことはない」が30.1%、「郵便局・銀行の手続きで」が26.8%となっている。

日本語が不自由で困った経験（最近1年間）の回答個数は、平均2.6個で、カテゴリ別には1~2個が42.2%と最も高くなっている。

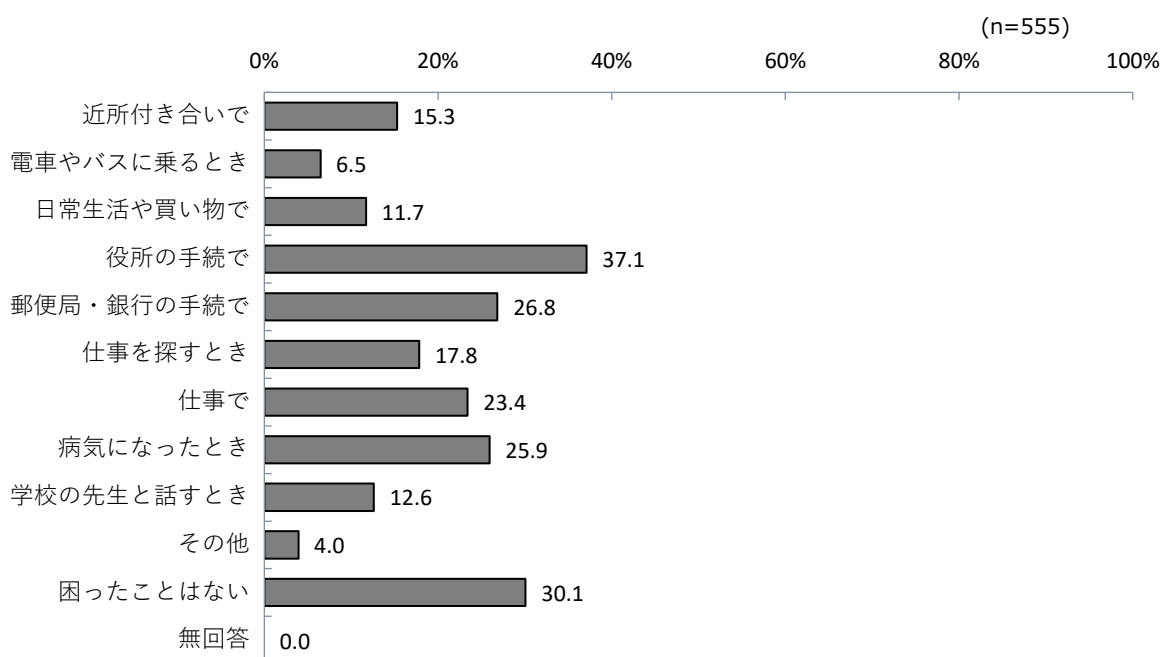
年代別では、他の年代と比べて、20代で「役所の手続きで」、「郵便局・銀行の手続きで」、30代で「仕事で」、「近所付き合いで」、「日常生活や買い物で」、「電車やバスに乗るとき」、の割合が高くなっている。一方、40代、50代で「困ったことはない」の割合が高くなっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、中国で「近所付き合いで」、ベトナムで「役所の手続きで」、「郵便局・銀行の手続きで」、「病気になったとき」、「仕事で」、フィリピンで「役所の手続きで」の割合が高くなっている。一方、韓国・朝鮮や台湾では「困ったことはない」という割合が高くなっている。

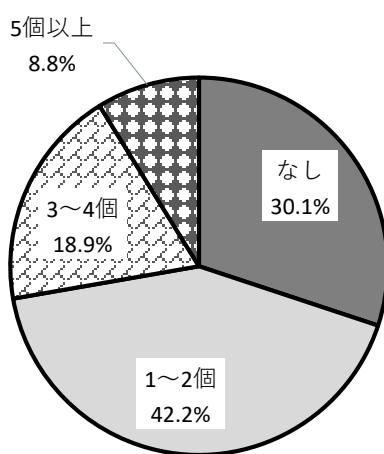
在留資格別では、他の在留資格と比べて、技能実習で「郵便局・銀行の手続きで」、「役所の手続きで」、「仕事で」、「電車やバスに乗るとき」、留学で「役所の手続きで」、「学校の先生と話すとき」、家族滞在で「役所の手続きで」、「病気になったとき」、「近所付き合いで」、「仕事を探すとき」、「学校の先生と話すとき」、「日常生活や買い物で」の割合が高くなっている。一方で、永住者、技術・人文知識・国際業務で「困ったことはない」という割合が高くなっている。

仕事の有無別では、他と比べて、仕事をしていない（今、探している）で、「仕事を探すとき」、「学校の先生と話すとき」、「日常生活や買い物で」、仕事をしていない（探していない）で「学校の先生と話すとき」、「近所付き合いで」の割合が高くなっている。

図表 26 日本語が不自由で困った経験（最近1年間）〔複数回答〕



図表 27 日本語が不自由で困った経験（最近1年間）〔回答個数の割合〕



(n=555)

		回答数	近所付き合いで	電車やバスに乗るとき	日常生活や買い物で	役所の手続きで	郵便局・銀行の手続きで	仕事を探すとき	仕事で	病気になったとき	学校の先生と話すとき	その他	困ったことはない	無回答
全 体		555	15.3	6.5	11.7	37.1	26.8	17.8	23.4	25.9	12.6	4.0	30.1	0.0
年 齢	～19歳	5	40.0	20.0	20.0	60.0	60.0	60.0	40.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	253	12.6	4.7	9.1	41.9	32.4	20.2	24.9	29.2	13.4	4.0	20.6	0.0
	30～39歳	169	20.7	10.7	16.6	39.1	27.2	20.1	29.6	25.4	11.2	3.0	30.8	0.0
	40～49歳	69	13.0	5.8	13.0	23.2	15.9	13.0	17.4	24.6	15.9	8.7	47.8	0.0
	50～59歳	43	11.6	2.3	7.0	25.6	11.6	2.3	7.0	16.3	4.7	2.3	51.2	0.0
	60～69歳	11	18.2	0.0	9.1	36.4	18.2	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	36.4	0.0
	70～79歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	80歳～	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
出 身 地	韓国・朝鮮	36	8.3	0.0	5.6	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	2.8	2.8	69.4	0.0
	中国	220	19.1	4.1	10.9	27.7	19.5	18.2	26.4	25.0	14.5	3.6	32.7	0.0
	ベトナム	129	17.8	8.5	11.6	56.6	46.5	23.3	33.3	38.0	14.0	4.7	13.2	0.0
	フィリピン	21	14.3	4.8	9.5	61.9	42.9	19.0	14.3	33.3	14.3	9.5	19.0	0.0
	台湾	42	4.8	0.0	7.1	16.7	4.8	16.7	14.3	16.7	9.5	2.4	45.2	0.0
	ネパール	14	0.0	7.1	0.0	21.4	7.1	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	42.9	0.0
	インドネシア	16	6.3	12.5	18.8	43.8	31.3	18.8	18.8	37.5	18.8	0.0	6.3	0.0
	アメリカ	13	38.5	38.5	38.5	69.2	61.5	15.4	15.4	38.5	15.4	0.0	30.8	0.0
	タイ	6	16.7	0.0	16.7	66.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	ブラジル	5	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	インド	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	その他	51	9.8	13.7	19.6	45.1	39.2	19.6	21.6	21.6	11.8	5.9	31.4	0.0

		回答数	近所付き合いで	電車やバスに乗るとき	日常生活や買い物で	役所の手続で	郵便局・銀行の手続で	仕事を探するとき	仕事で	病気になったとき	学校の先生と話するとき	その他	困ったことはない	無回答
全 体		555	15.3	6.5	11.7	37.1	26.8	17.8	23.4	25.9	12.6	4.0	30.1	0.0
在留資格	永住者	110	7.3	1.8	7.3	21.8	8.2	7.3	9.1	12.7	9.1	4.5	57.3	0.0
	定住者	19	21.1	15.8	15.8	47.4	31.6	26.3	31.6	31.6	21.1	0.0	26.3	0.0
	日本人の配偶者等	28	10.7	7.1	14.3	50.0	35.7	17.9	28.6	14.3	10.7	10.7	21.4	0.0
	永住者の配偶者等	11	18.2	0.0	9.1	54.5	45.5	27.3	36.4	9.1	9.1	0.0	18.2	0.0
	技術・人文知識・国際業務	125	8.8	4.0	8.0	20.0	15.2	16.0	29.6	26.4	4.0	3.2	40.0	0.0
	技能実習	34	20.6	14.7	14.7	55.9	64.7	26.5	44.1	35.3	11.8	8.8	2.9	0.0
	特定技能	13	7.7	15.4	0.0	46.2	46.2	15.4	15.4	30.8	7.7	0.0	15.4	0.0
	技能	7	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0
	留学	138	16.7	5.1	11.6	45.7	31.9	21.0	20.3	29.0	18.8	3.6	17.4	0.0
	家族滞在	38	39.5	7.9	23.7	55.3	28.9	31.6	31.6	47.4	31.6	0.0	13.2	0.0
	特定活動	15	13.3	6.7	20.0	46.7	53.3	13.3	20.0	6.7	13.3	0.0	33.3	0.0
	その他	17	47.1	35.3	35.3	58.8	47.1	17.6	23.5	58.8	11.8	5.9	17.6	0.0
仕事の有無	している	409	13.0	5.6	9.5	36.7	27.1	14.4	24.0	25.2	8.3	2.7	32.3	0.0
	していない (今、探している)	80	18.8	8.8	18.8	38.8	22.5	35.0	27.5	31.3	26.3	7.5	21.3	0.0
	していない (探していない)	66	25.8	9.1	16.7	37.9	30.3	18.2	15.2	24.2	22.7	7.6	27.3	0.0

(20) 困ったときの相談相手

困ったときの相談相手は、「友人・知り合い（同じ国籍・同じルーツの人）」が56.0%と最も高く、次いで「友人・知り合い（日本人）」が44.5%、「家族（配偶者）」が32.6%となっている。

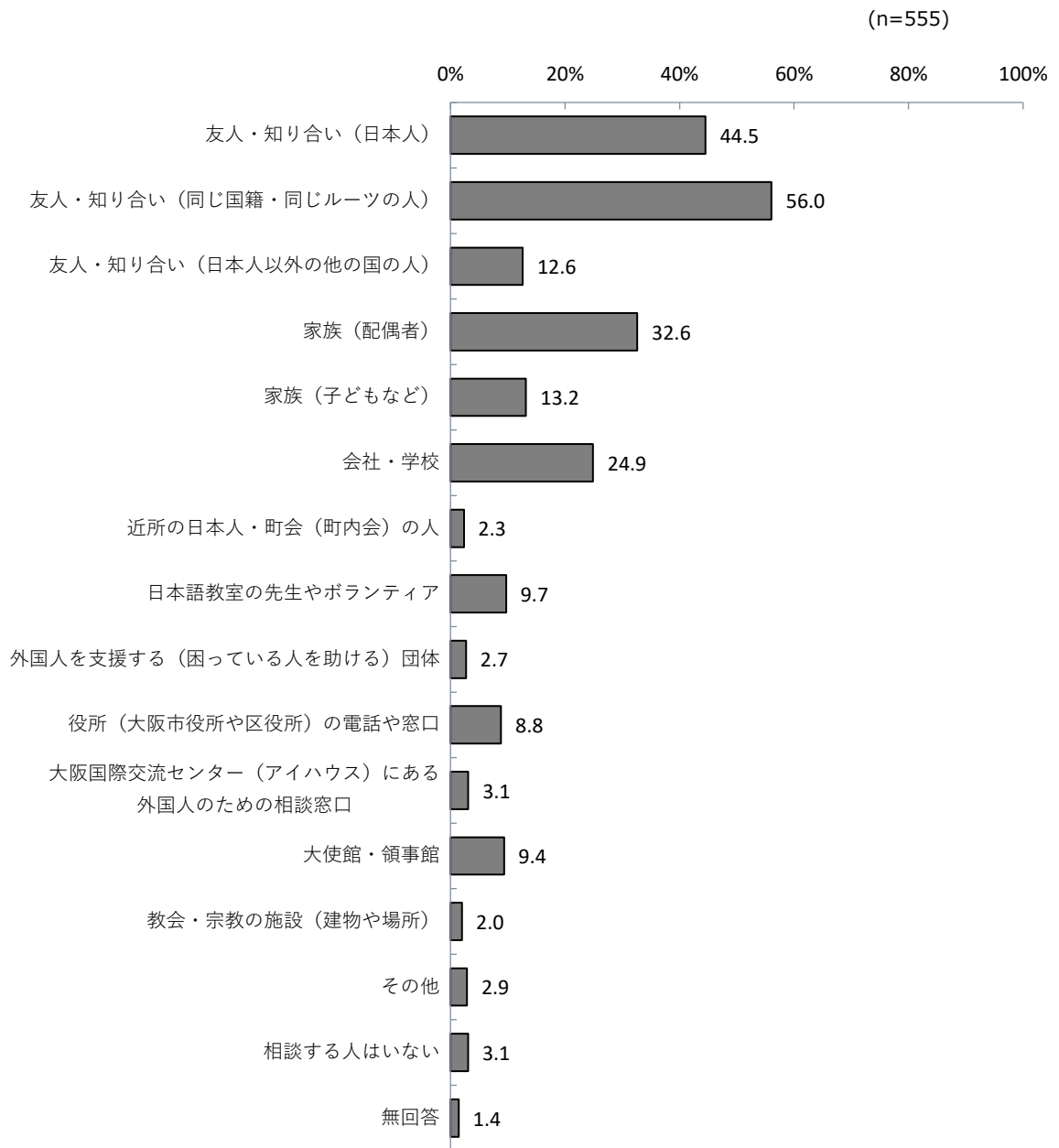
出身地別では、他の出身地と比べて、韓国・朝鮮で「友人・知り合い（日本人）」、「家族（子どもなど）」、中国で「家族（配偶者）」、「大使館・領事館」、ベトナムで「友人・知り合い（同じ国籍・同じルーツの人）」、「会社・学校」、「友人・知り合い（日本人以外の他の国の人）」、「日本語教室の先生やボランティア」、「外国人を支援する（困っている人を助ける）団体」、「近所の日本人・町会（町内会）の人」、フィリピンで「家族（子どもなど）」の割合が高くなっている。

在留資格別では、永住者で「家族（配偶者）」、「友人・知り合い（日本人）」、「家族（子どもなど）」、日本人の配偶者等で「家族（配偶者）」、技術・人文知識・国際業務で「友人・知り合い（日本人）」、「会社・学校」、留学で「友人・知り合い（同じ国籍・同じルーツの人）」、「会社・学校」、「日本語教室の先生やボランティア」、家族滞在で「家族（配偶者）」の割合が高くなっている。技能実習では、「外国人を支援する（困っている人を助ける）団体」、「相談をする人はいない」という割合が高くなっている。

在日期間別にみると、他と比べて、在日期間が6か月以上～12か月未満で「日本語教室の先生やボランティア」、在日期間が1年以上～3年未満で「友人・知り合い（同じ国籍・同じルーツの人）」、「会社、学校」、「日本語教室の先生やボランティア」の割合が高くなっている。一方で、在日期間が5年以上～10年未満、10年以上～15年未満で「家族（配偶者）」、在日期間が15年以上で「家族（配偶者）」、「家族（子どもなど）」の割合が高くなっている。

また、在日期間が10年以上～15年未満で「相談する人はいない」という割合も高くなっている。

図表 28 困ったときの相談相手〔複数回答〕



〈外国人支援団体の名前〉

シナピスなど

	回答数	友人・知り合い（日本人）	友人・知り合い（同じ国籍・同じルーツの人）	友人・知り合い（日本人以外の他の国の人）	家族（配偶者）	家族（子どもなど）	会社・学校	近所の日本人・町会（町内会）の人	日本語教室の先生やボランティア	
全体	555	44.5	56.0	12.6	32.6	13.2	24.9	2.3	9.7	
出身地	韓国・朝鮮	36	63.9	36.1	11.1	33.3	30.6	16.7	2.8	5.6
	中国	220	40.5	60.5	6.4	37.7	11.8	19.5	1.8	7.3
	ベトナム	129	42.6	68.2	18.6	22.5	9.3	35.7	4.7	16.3
	フィリピン	21	38.1	52.4	9.5	52.4	33.3	9.5	0.0	9.5
	台湾	42	52.4	50.0	14.3	28.6	14.3	31.0	2.4	2.4
	ネパール	14	50.0	35.7	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3
	インドネシア	16	37.5	81.3	18.8	31.3	12.5	37.5	0.0	37.5
	アメリカ	13	69.2	30.8	15.4	30.8	0.0	46.2	0.0	7.7
	タイ	6	33.3	50.0	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	ブラジル	5	20.0	40.0	0.0	80.0	40.0	40.0	0.0	0.0
	インド	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	51	49.0	35.3	21.6	31.4	11.8	23.5	2.0	5.9

	外国人を支援する（困っている人を助ける）団体	役所（大阪市役所や区役所）の電話や窓口	大阪国際交流センター（アイハウス）にある外国人のための相談窓口	大使館・領事館	教会・宗教の施設（建物や場所）	その他	相談する人はいない	無回答
全体	2.7	8.8	3.1	9.4	2.0	2.9	3.1	1.4
出身地	韓国・朝鮮	0.0	16.7	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6
	中国	1.8	9.5	4.1	13.6	0.9	2.3	1.4
	ベトナム	5.4	9.3	4.7	8.5	3.9	2.3	0.8
	フィリピン	4.8	9.5	4.8	14.3	4.8	0.0	4.8
	台湾	0.0	4.8	0.0	0.0	2.4	2.4	2.4
	ネパール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	インドネシア	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0
	アメリカ	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0
	タイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ブラジル	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	インド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	その他	2.0	9.8	2.0	7.8	2.0	9.8	5.9

	回答数	友人・知り合い(日本人)	友人・知り合い(同じ国籍・同じルーツの人)	友人・知り合い(日本人以外の他の国の友人)	家族(配偶者)	家族(子どもなど)	会社・学校	近所の日本人・町会(町内会)の人	日本語教室の先生やボランティア	
全体	555	44.5	56.0	12.6	32.6	13.2	24.9	2.3	9.7	
在留資格	永住者	110	51.8	33.6	7.3	53.6	29.1	14.5	3.6	0.0
	定住者	19	52.6	42.1	10.5	26.3	21.1	5.3	0.0	10.5
	日本人の配偶者等	28	39.3	32.1	14.3	85.7	21.4	10.7	0.0	0.0
	永住者の配偶者等	11	45.5	63.6	0.0	81.8	27.3	0.0	9.1	0.0
	技術・人文知識・国際業務	125	56.0	56.8	14.4	25.6	5.6	33.6	1.6	3.2
	技能実習	34	47.1	70.6	20.6	17.6	2.9	32.4	5.9	5.9
	特定技能	13	30.8	84.6	23.1	53.8	30.8	7.7	0.0	23.1
	技能	7	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
	留学	138	31.2	72.5	13.8	5.8	5.1	39.9	2.9	25.4
	家族滞在	38	28.9	55.3	7.9	71.1	10.5	5.3	0.0	2.6
	特定活動	15	73.3	73.3	26.7	6.7	6.7	26.7	0.0	40.0
	その他	17	35.3	58.8	5.9	17.6	17.6	17.6	0.0	5.9

	外国人を支援する(困っている人を助ける)団体	役所(大阪市役所や区役所)の電話や窓口	大阪国際交流センター(アイハウス)にある外国人のための相談窓口	大使館・領事館	教会・宗教の施設(建物や場所)	その他	相談する人はいない	無回答
全体	2.7	8.8	3.1	9.4	2.0	2.9	3.1	1.4
在留資格	永住者	1.8	10.9	4.5	7.3	1.8	3.6	3.6
	定住者	0.0	5.3	0.0	5.3	0.0	5.3	0.0
	日本人の配偶者等	3.6	3.6	0.0	3.6	0.0	3.6	7.1
	永住者の配偶者等	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0
	技術・人文知識・国際業務	1.6	12.8	3.2	12.0	3.2	2.4	4.0
	技能実習	14.7	8.8	5.9	14.7	5.9	5.9	8.8
	特定技能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	技能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	留学	1.4	7.2	2.2	9.4	1.4	0.7	0.0
	家族滞在	0.0	7.9	7.9	10.5	2.6	2.6	2.6
	特定活動	20.0	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	11.8	0.0	11.8	0.0	11.8	5.9

	回答数	友人・知り合い(日本人)	友人・知り合い(同じ国籍・同じルーツの人)	友人・知り合い(日本人以外の他の国の友人)	家族(配偶者)	家族(子どもなど)	会社・学校	近所の日本人・町会(町内会)の人	日本語教室の先生やボランティア
全体	555	44.5	56.0	12.6	32.6	13.2	24.9	2.3	9.7
在 日 期 間	6か月未満	5	0.0	60.0	0.0	60.0	20.0	0.0	40.0
	6か月以上～12か月未満	29	17.2	62.1	0.0	10.3	10.3	0.0	37.9
	1年以上～3年未満	140	42.1	72.9	17.1	20.7	4.3	37.9	14.3
	3年以上～5年未満	115	46.1	65.2	14.8	20.9	10.4	28.7	12.2
	5年以上～10年未満	120	44.2	50.0	14.2	43.3	10.0	19.2	5.0
	10年以上～15年未満	46	56.5	37.0	10.9	52.2	13.0	19.6	0.0
	15年以上	100	51.0	36.0	7.0	46.0	33.0	10.0	1.0

	外国人を支援する(困っている人を助ける)団体	役所(大阪市役所や区役所)の電話や窓口	大阪国際交流センター(アイハウス)にある外国人のための相談窓口	大使館・領事館	教会・宗教の施設(建物や場所)	その他	相談する人はいない	無回答
全体	2.7	8.8	3.1	9.4	2.0	2.9	3.1	1.4
在 日 期 間	6か月未満	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6か月以上～12か月未満	0.0	13.8	3.4	10.3	0.0	3.4	3.4
	1年以上～3年未満	4.3	4.3	3.6	10.7	2.9	4.3	0.0
	3年以上～5年未満	1.7	7.8	0.9	10.4	0.0	1.7	0.9
	5年以上～10年未満	2.5	11.7	3.3	10.0	3.3	3.3	1.7
	10年以上～15年未満	2.2	6.5	0.0	2.2	2.2	0.0	10.9
	15年以上	2.0	13.0	6.0	9.0	2.0	3.0	2.0

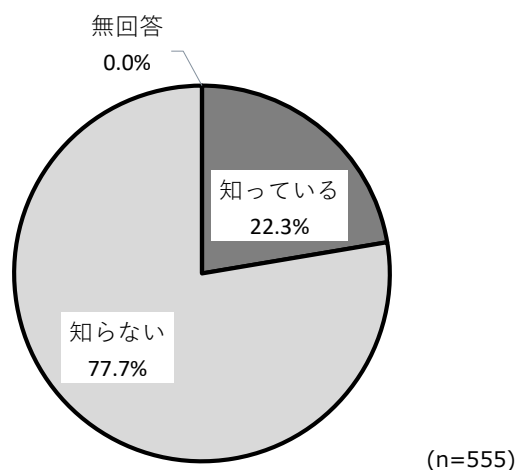
(21) 大阪市運営の識字・日本語教室

大阪市運営の識字・日本語教室は、「知らない」が77.7%、「知っている」が22.3%となっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、ベトナムで「知らない」割合が高くなっている。

識字・日本語教室を知っている人は、地域活動に参加している割合が高い傾向がうかがえる。

図表 29 大阪市運営の識字・日本語教室



(%)

		回答数	知っている	知らない	無回答
全 体		555	22.3	77.7	0.0
出身地	韓国・朝鮮	36	27.8	72.2	0.0
	中国	220	20.9	79.1	0.0
	ベトナム	129	12.4	87.6	0.0
	フィリピン	21	23.8	76.2	0.0
	台湾	42	23.8	76.2	0.0
	ネパール	14	50.0	50.0	0.0
	インドネシア	16	56.3	43.8	0.0
	アメリカ	13	38.5	61.5	0.0
	タイ	6	33.3	66.7	0.0
	ブラジル	5	0.0	100.0	0.0
	インド	2	50.0	50.0	0.0
	その他	51	25.5	74.5	0.0
	在留資格	永住者	110	29.1	70.9
定住者		19	36.8	63.2	0.0
日本人の配偶者等		28	10.7	89.3	0.0
永住者の配偶者等		11	18.2	81.8	0.0
技術・人文知識・国際業務		125	17.6	82.4	0.0
技能実習		34	2.9	97.1	0.0
特定技能		13	38.5	61.5	0.0
技能		7	42.9	57.1	0.0
留学		138	19.6	80.4	0.0
家族滞在		38	34.2	65.8	0.0
特定活動		15	33.3	66.7	0.0
その他		17	23.5	76.5	0.0

■地域活動などの参加状況

(%)

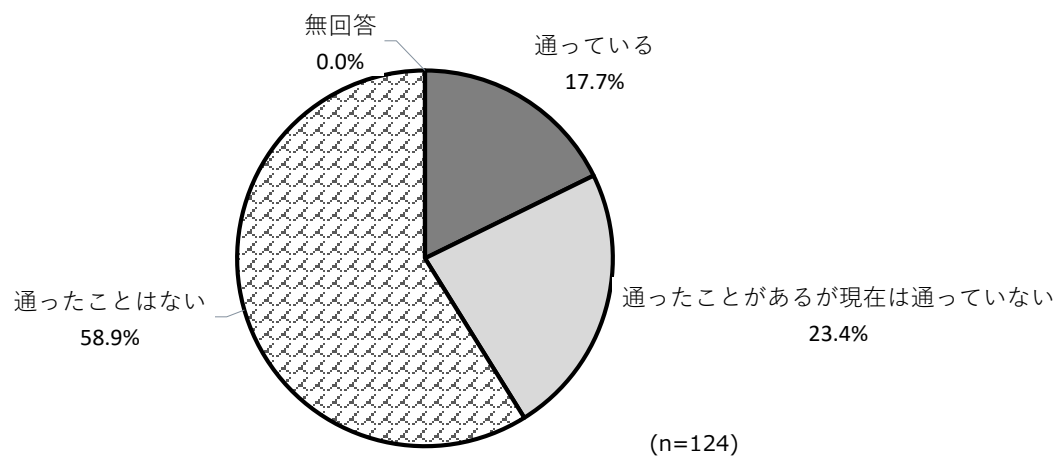
		回答数	母文化を伝える活動	外国人等に日本語を教える活動	母語を教える活動	同じ国籍・ルーツ等の人の通訳（コミュニティ通訳）	同じ国籍・ルーツ等の人のコミュニティ内での生活支援・相談	同じ国籍・ルーツ等の人の発信	同じ国籍・ルーツ等の人の日本語情報の翻訳・
全体		555	11.7	5.8	10.3	8.1	7.2	5.9	
大阪市運営の識字・日本語教室の認知度	知っている	124	17.7	13.7	18.5	6.5	12.1	9.7	
	知らない	431	10.0	3.5	7.9	8.6	5.8	4.9	

		地域のお祭り・イベント	地域の清掃活動	地域の防犯活動、防災活動	保護者会・PTAなど子どもに関わる活動	その他	特になし	無回答
全体		13.3	5.4	1.8	7.6	4.0	56.4	0.0
大阪市運営の識字・日本語教室の認知度	知っている	17.7	4.8	2.4	12.9	2.4	40.3	0.0
	知らない	12.1	5.6	1.6	6.0	4.4	61.0	0.0

(22) 大阪市運営の識字・日本語教室に通ったことの有無

大阪市運営の識字・日本語教室を知っている人のうち、通ったことの有無は、「通ったことはない」が58.9%と最も高い。

図表 30 大阪市運営の識字・日本語教室に通ったことの有無



(23) 日本語学習の経験の有無

日本語学習の有無は、「ある」が89.7%、「ない」が10.3%となっている。

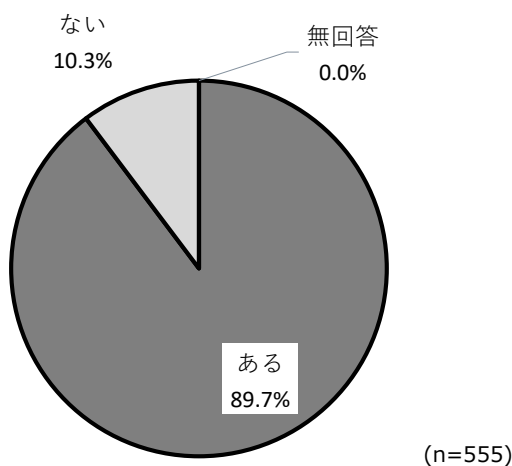
年齢別では、他の年代と比べて、20代で日本語学習の経験が「ある」割合が高く、40代、50代で日本語学習の経験が「ない」割合が高くなっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、ベトナムで日本語学習の経験が「ある」割合が高く、フィリピンで日本語学習の経験が「ない」割合が高くなっている。

在留資格別では、他の在留資格と比べて、留学で日本語学習の経験が「ある」割合が高く、永住者で日本語学習の経験が「ない」割合が高くなっている。

日本語学習の経験がない人の特徴をみると、日本語能力が学習経験のある人よりも低く、日本語が不自由で困った経験も多い傾向がうかがえる。

図表 31 日本語学習の経験の有無.



(%)

		回答数	ある	ない	無回答
全 体		555	89.7	10.3	0.0
性 別	男	257	92.2	7.8	0.0
	女	293	87.4	12.6	0.0
	その他	5	100.0	0.0	0.0
年 齢	～19歳	5	100.0	0.0	0.0
	20～29歳	253	97.2	2.8	0.0
	30～39歳	169	89.3	10.7	0.0
	40～49歳	69	82.6	17.4	0.0
	50～59歳	43	67.4	32.6	0.0
	60～69歳	11	63.6	36.4	0.0
	70～79歳	3	66.7	33.3	0.0
	80歳～	2	50.0	50.0	0.0

(%)

	回答数	ある	ない	無回答	
全 体	555	89.7	10.3	0.0	
出身地	韓国・朝鮮	36	83.3	16.7	0.0
	中国	220	90.5	9.5	0.0
	ベトナム	129	98.4	1.6	0.0
	フィリピン	21	61.9	38.1	0.0
	台湾	42	83.3	16.7	0.0
	ネパール	14	100.0	0.0	0.0
	インドネシア	16	87.5	12.5	0.0
	アメリカ	13	76.9	23.1	0.0
	タイ	6	83.3	16.7	0.0
	ブラジル	5	100.0	0.0	0.0
	インド	2	100.0	0.0	0.0
	その他	51	86.3	13.7	0.0
在留資格	永住者	110	75.5	24.5	0.0
	定住者	19	84.2	15.8	0.0
	日本人の配偶者等	28	82.1	17.9	0.0
	永住者の配偶者等	11	90.9	9.1	0.0
	技術・人文知識・国際業務	125	93.6	6.4	0.0
	技能実習	34	97.1	2.9	0.0
	特定技能	13	100.0	0.0	0.0
	技能	7	57.1	42.9	0.0
	留学	138	99.3	0.7	0.0
	家族滞在	38	92.1	7.9	0.0
	特定活動	15	86.7	13.3	0.0
	その他	17	82.4	17.6	0.0

■日本語能力：聞く

(%)

		回答数	解をリスレる大と相るてり相 で聞スレビの体のを手の けるいて、ドのニ理解聞いて、こ 理マユでき	32.6	16.8	6.5	3.4	0.0
全体		555	40.7	32.6	16.8	6.5	3.4	0.0
日本語学習の 経験の有無	ある	498	42.6	33.3	16.7	5.2	2.2	0.0
	ない	57	24.6	26.3	17.5	17.5	14.0	0.0

■日本語能力：話す

(%)

		回答数	話自自る自簡が せること分の分のこと ること言言言言 たいたたいたい たいたいたい たいたいたい	36.2	19.6	10.8	1.8	0.0
全体		555	31.5	36.2	19.6	10.8	1.8	0.0
日本語学習の 経験の有無	ある	498	32.5	38.2	18.7	9.8	0.8	0.0
	ない	57	22.8	19.3	28.1	19.3	10.5	0.0

■日本語能力：読む

(%)

		回答数	きせら役 るのを所 読手や んで紙や で、学校、 理お職 解知場 でらか	23.1	12.4	12.6	6.8	0.0
全体		555	45.0	23.1	12.4	12.6	6.8	0.0
日本語学習の 経験の有無	ある	498	47.8	23.3	13.1	11.6	4.2	0.0
	ない	57	21.1	21.1	7.0	21.1	29.8	0.0

■日本語能力：書く

(%)

		回答数	く や 絡、 に 仕事 の 報 告 書 や 学 校 の 先 生 に 子 ど も の 状 況 を 伝 え る 連 絡、 料 理 の 作 り 方 な ど、 状 況 を 書 く こ と が で き る	自 分 の 経 験 に つ い て 紹 介 す る 文 章 を 書 く こ と が で き る	日 常 生 活 や 自 分 の ふ る さ と、 自 分 の 経 験 に つ い て 紹 介 す る 文 章 を 書 く こ と が で き る	職 場 の 同 僚 や 学 校 の 先 生、 家 族 に 要 件 を 伝 え る 簡 単 な メ モ な ど を 書 く こ と が で き る	名 前 や 国 名、 住 所 な ど が 書 け る	ほ と ん ど 書 け な い	無 回 答
全 体		555	32.1	26.5	22.3	13.5	5.6	0.0	
日本語学習の 経験の有無	ある	498	34.1	28.1	23.1	11.6	3.0	0.0	
	ない	57	14.0	12.3	15.8	29.8	28.1	0.0	

■日本語が不自由で困った経験（最近1年間）

(%)

		回答数	近 所 付 き 合 い で	電 車 や バ ス に 乗 る と き	日 常 生 活 や 買 い 物 で	役 所 の 手 続 で	郵 便 局・ 銀 行 の 手 続 で	仕 事 を 探 す と き	仕 事 で	病 気 に な っ た と き	学 校 の 先 生 と 話 す と き	そ の 他	困 っ た こ と は な い	無 回 答
全 体		555	15.3	6.5	11.7	37.1	26.8	17.8	23.4	25.9	12.6	4.0	30.1	0.0
日本語学習 の経験の 有無	ある	498	14.5	5.2	9.8	35.7	25.9	17.9	23.7	25.3	12.2	4.0	30.3	0.0
	ない	57	22.8	17.5	28.1	49.1	35.1	17.5	21.1	31.6	15.8	3.5	28.1	0.0

(24) 現在の日本語学習の状況

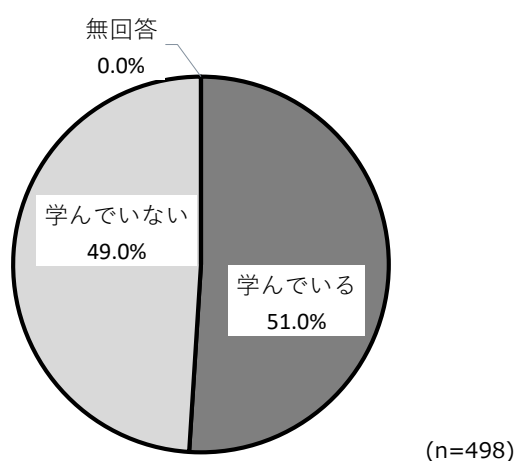
日本語を学んだことがある人のうち、現在の日本語学習の状況は、「学んでいる」が51.0%、「学んでいない」が49.0%、となっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、ベトナムで「学んでいる」割合が高く、韓国・朝鮮で「学んでいない」割合が高くなっている。

在留資格別では、他の在留資格と比べて、留学で「学んでいる」割合が高く、日本人の配偶者等、永住者で「学んでいない」割合が高くなっている。

日本語を学んでいる人の方が、在日期間が短く、日本語能力が低い傾向がうかがえる。また、日本語が不自由で困った経験も多い傾向にある。これからの居住意向としては3年以上～5年未満、5年以上の割合が高くなっている。

図表 32 現在の日本語学習の状況



(%)

		回答数	学んでいる	学んでいない	無回答
全体		498	51.0	49.0	0.0
出身地	韓国・朝鮮	30	16.7	83.3	0.0
	中国	199	49.2	50.8	0.0
	ベトナム	127	66.9	33.1	0.0
	フィリピン	13	7.7	92.3	0.0
	台湾	35	40.0	60.0	0.0
	ネパール	14	78.6	21.4	0.0
	インドネシア	14	71.4	28.6	0.0
	アメリカ	10	40.0	60.0	0.0
	タイ	5	0.0	100.0	0.0
	ブラジル	5	60.0	40.0	0.0
	インド	2	50.0	50.0	0.0
	その他	44	50.0	50.0	0.0

(%)

		回答数	学んで いる	学んで いない	無回答
全 体		498	51.0	49.0	0.0
在 留 資 格	永住者	83	24.1	75.9	0.0
	定住者	16	18.8	81.3	0.0
	日本人の配偶者等	23	21.7	78.3	0.0
	永住者の配偶者等	10	30.0	70.0	0.0
	技術・人文知識・国際業務	117	45.3	54.7	0.0
	技能実習	33	54.5	45.5	0.0
	特定技能	13	53.8	46.2	0.0
	技能	4	75.0	25.0	0.0
	留学	137	81.8	18.2	0.0
	家族滞在	35	40.0	60.0	0.0
	特定活動	13	69.2	30.8	0.0
	その他	14	50.0	50.0	0.0

■在日期間

(%)

		回答数	6 か 月 未 満	6 か 月 以 上 1 2 か 月 未 満	1 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上 1 5 年 未 満	1 5 年 以 上	無 回 答
全 体		555	0.9	5.2	25.2	20.7	21.6	8.3	18.0	0.0
現 在 の 日 本 語 学 習	学んでいる	254	1.6	10.2	38.6	24.8	15.0	2.8	7.1	0.0
	学んでいない	244	0.0	0.8	14.8	19.7	27.0	13.1	24.6	0.0

■これからの居住意向予定

(%)

		回答数	6 か 月 未 満	6 か 月 以 上 1 2 か 月 未 満	1 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上	住 み 続 け る	い な い ま だ 決 め て い な い	無 回 答
全 体		555	2.2	1.3	5.9	9.4	13.3	42.9	25.0	0.0
現 在 の 日 本 語 学 習	学んでいる	254	1.2	2.0	5.5	13.4	20.9	32.3	24.8	0.0
	学んでいない	244	3.7	0.4	5.3	6.1	6.6	51.2	26.6	0.0

■聞くことについて

(%)

		回答数	テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる	相手の言うことを聞いて、大理解できる	相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる	単語だけ聞き取れる	ほとんど聞き取れない	無回答
全体		555	40.7	32.6	16.8	6.5	3.4	0.0
現在の日本語学習	学んでいる	254	29.1	42.1	22.0	4.7	2.0	0.0
	学んでいない	244	56.6	24.2	11.1	5.7	2.5	0.0

■話すことについて

(%)

		回答数	自分の言いたいことが問題なく話せる	自分の言いたいことが大話せる	簡単な日常会話ができる	自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる	ほとんど話せない	無回答
全体		555	31.5	36.2	19.6	10.8	1.8	0.0
現在の日本語学習	学んでいる	254	18.5	46.1	23.2	11.8	0.4	0.0
	学んでいない	244	47.1	29.9	13.9	7.8	1.2	0.0

■読むことについて

(%)

		回答数	役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる	役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる	新聞の雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板をみて、ほしい情報が取れる	絵の付いた簡単な指示(ごみの捨て方、料理の作り方)が分かる	ほとんど読めない	無回答
全体		555	45.0	23.1	12.4	12.6	6.8	0.0
現在の日本語学習	学んでいる	254	38.6	28.7	16.5	13.8	2.4	0.0
	学んでいない	244	57.4	17.6	9.4	9.4	6.1	0.0

■書くことについて

(%)

		回答数	仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況や方法を説明する文章を書くことができる	日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる	職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる	名前や国名、住所などが書ける	ほとんど書けない	無回答
全体		555	32.1	26.5	22.3	13.5	5.6	0.0
現在の日本語学習	学んでいる	254	22.8	39.0	26.0	9.8	2.4	0.0
	学んでいない	244	45.9	16.8	20.1	13.5	3.7	0.0

■日本語が不自由で困った経験（最近1年間）

(%)

		回答数	近所付き合いで	バスに乗るとき	電車やバスで買い物を日常生活	役所の手続き	郵便局・銀行の手続き	仕事を探すとき	仕事で
全体		555	15.3	6.5	11.7	37.1	26.8	17.8	23.4
現在の日本語学習	学んでいる	254	16.5	7.9	11.8	42.5	31.9	22.4	28.3
	学んでいない	244	12.3	2.5	7.8	28.7	19.7	13.1	18.9

		回答数	病気になる時	学校の先生と話すとき	その他	困ったことはない	無回答
全体		555	25.9	12.6	4.0	30.1	0.0
現在の日本語学習	学んでいる	254	29.1	14.6	5.1	19.3	0.0
	学んでいない	244	21.3	9.8	2.9	41.8	0.0

■同居の18歳以下の子どもの有無

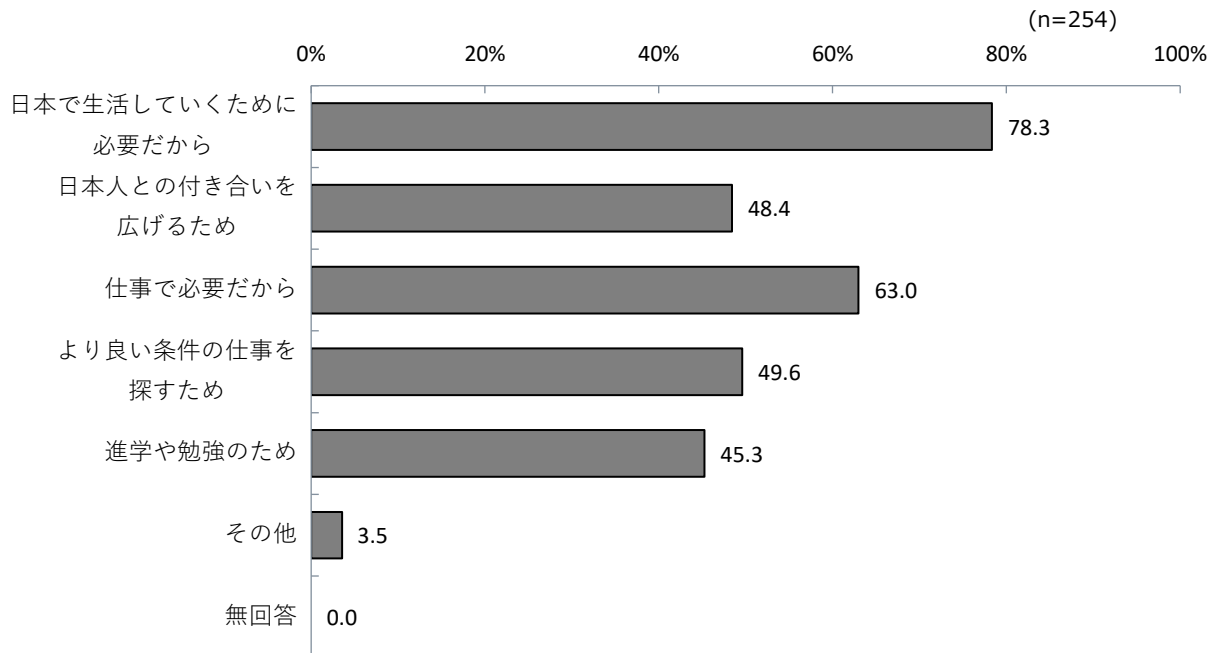
(%)

		回答数	いる	いない	無回答
全体		555	22.7	77.3	0.0
現在の日本語学習	学んでいる	254	12.6	87.4	0.0
	学んでいない	244	30.3	69.7	0.0

(25) 日本語を学ぶ理由

現在、日本語を学んでいる人に、日本語を学ぶ理由を聞いたところ、「日本で生活していくために必要だから」が78.3%と最も高く、次いで「仕事で必要だから」が63.0%となっている。

図表 33 日本語を学ぶ理由〔複数回答〕



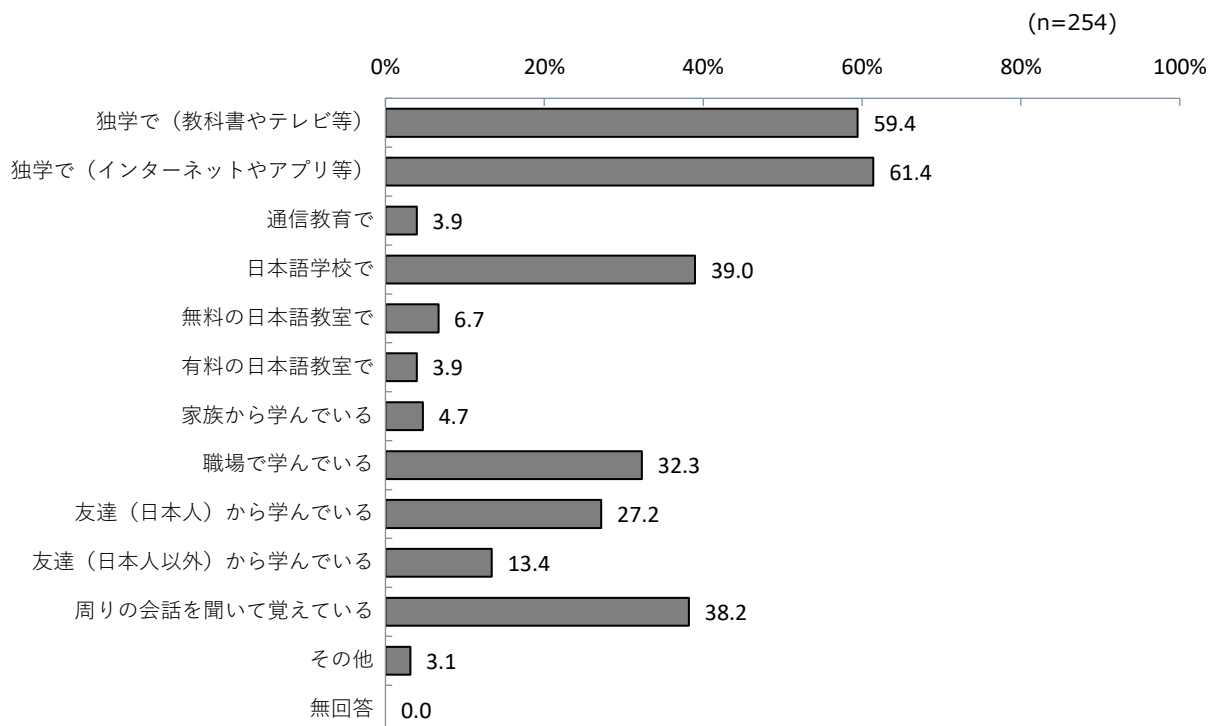
(%)

	回答数	らく日本で生活していか	日本人との付き合いを広げるため	仕事で必要だから	より良い条件の仕事を探すため	進学や勉強のため	その他	無回答	
全 体	254	78.3	48.4	63.0	49.6	45.3	3.5	0.0	
出身地	韓国・朝鮮	5	80.0	40.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0
	中国	98	85.7	49.0	50.0	40.8	40.8	5.1	0.0
	ベトナム	85	74.1	49.4	82.4	67.1	65.9	4.7	0.0
	フィリピン	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	台湾	14	85.7	50.0	71.4	64.3	14.3	0.0	0.0
	ネパール	11	72.7	18.2	45.5	18.2	27.3	0.0	0.0
	インドネシア	10	30.0	40.0	60.0	20.0	40.0	0.0	0.0
	アメリカ	4	100.0	100.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	タイ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ブラジル	3	100.0	66.7	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	インド	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	22	77.3	54.5	50.0	45.5	31.8	0.0	0.0
在留資格	永住者	20	85.0	50.0	55.0	30.0	10.0	10.0	0.0
	定住者	3	66.7	66.7	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0
	日本人の配偶者等	5	100.0	100.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	永住者の配偶者等	3	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	技術・人文知識・国際業務	53	83.0	52.8	83.0	54.7	22.6	3.8	0.0
	技能実習	18	66.7	33.3	83.3	33.3	38.9	16.7	0.0
	特定技能	7	71.4	71.4	100.0	14.3	14.3	0.0	0.0
	技能	3	66.7	0.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	留学	112	73.2	45.5	51.8	58.0	69.6	0.9	0.0
	家族滞在	14	100.0	50.0	57.1	57.1	35.7	7.1	0.0
	特定活動	9	66.7	33.3	55.6	33.3	55.6	0.0	0.0
	その他	7	100.0	71.4	57.1	42.9	28.6	0.0	0.0

(26) 日本語の学習方法

現在、日本語を学んでいる人に、日本語の学習方法を聞いたところ、「独学で（インターネットやアプリ等）」が61.4%と最も高く、次いで「独学で（教科書やテレビ等）」が59.4%、「日本語学校で」が39.0%、「周りの会話を聞いて覚える」が38.2%となっている。独学、教室等、家族・友人等別にみると、「独学+家族・友人等」が32.7%と最も高く、次いで「独学+教室等+家族・友人等」が19.3%となっている。

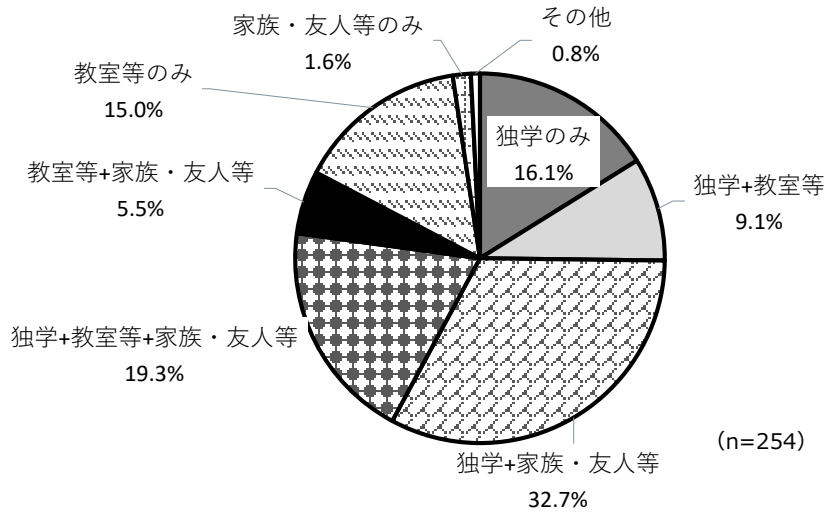
図表 34 日本語の学習方法〔複数回答〕



〈無料または有料の日本語教室の名前〉

- ・ 難波市民学習センター
- ・ にほんごなんば
- ・ 平野日本語教室
- ・ あべの市民学習センター
- ・ 八幡屋おやこにほんご教室「かるがも」
- ・ 八尾市国際交流センター
- ・ 新時代日本語教室
- ・ RINxs Online
- ・ 監理団体・登録支援機関の日本語教室
- ・ 会社の日本語教室（会社が教師を雇用）

図表 35 日本語の学習方法（独学、教室等、家族・友人等別）



※以下のように分類している。

教室等：「通信教育で」、「日本語学校で」、「無料の日本語教室で」、「有料の日本語教室で」

家族・友人等：「家族から学んでいる」、「職場で学んでいる」、「友達（日本人）から学んでいる」、「友達（日本人以外）から学んでいる」、「周りの会話を聞いて覚えている」

(%)

	回答数	独学で (教科書やテレビ 等)	独学で(インターネット やアプリ等)	通信教育で	日本語学校で	無料の日本語教室で	有料の日本語教室で	
全体	254	59.4	61.4	3.9	39.0	6.7	3.9	
出身地	韓国・朝鮮	5	60.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0
	中国	98	58.2	48.0	1.0	34.7	9.2	4.1
	ベトナム	85	57.6	76.5	7.1	43.5	9.4	3.5
	フィリピン	1	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	台湾	14	71.4	64.3	7.1	21.4	0.0	0.0
	ネパール	11	36.4	63.6	9.1	54.5	0.0	9.1
	インドネシア	10	50.0	50.0	0.0	80.0	0.0	10.0
	アメリカ	4	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	タイ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ブラジル	3	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インド	1	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	その他	22	68.2	63.6	0.0	27.3	0.0	0.0

	家族から学んでいる	職場で学んでいる	友達(日本人)から学 んでいる	友達(日本人以外)か ら学んでいる	周りの会話を聞いて 覚えている	その他	無回答	
全体	4.7	32.3	27.2	13.4	38.2	3.1	0.0	
出身地	韓国・朝鮮	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	中国	5.1	20.4	21.4	6.1	26.5	2.0	0.0
	ベトナム	1.2	57.6	36.5	27.1	55.3	3.5	0.0
	フィリピン	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	台湾	7.1	14.3	28.6	0.0	57.1	7.1	0.0
	ネパール	0.0	18.2	27.3	0.0	18.2	0.0	0.0
	インドネシア	0.0	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0
	アメリカ	25.0	25.0	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	タイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ブラジル	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	4.5	22.7	22.7	13.6	40.9	9.1	0.0

(%)

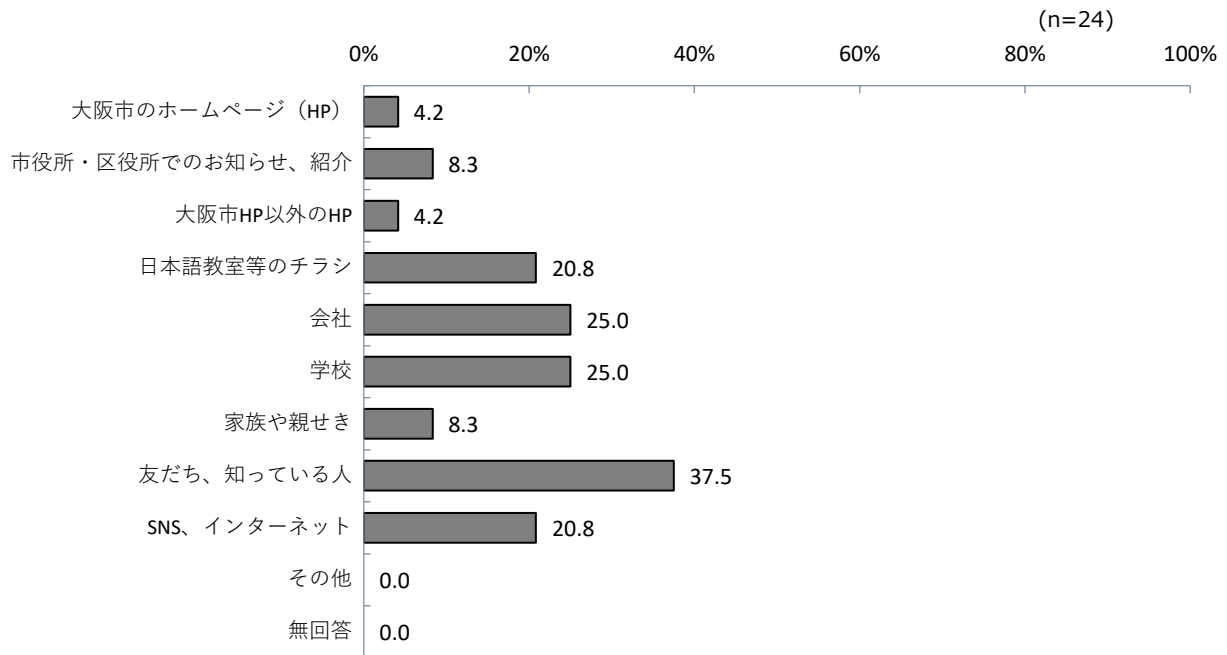
		回答数	独学で レビ等) (教科書やテ	独学で ットやア プリン等) ターネ	通信教育で	日本語学校で	無料の日本語教室で	有料の日本語教室で
全体		254	59.4	61.4	3.9	39.0	6.7	3.9
性別	男	131	59.5	66.4	4.6	38.2	6.1	4.6
	女	121	59.5	57.0	3.3	39.7	7.4	3.3
	その他	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
年齢	～19歳	4	50.0	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	20～29歳	164	53.0	61.0	3.0	52.4	5.5	3.7
	30～39歳	56	69.6	62.5	7.1	19.6	1.8	3.6
	40～49歳	20	80.0	70.0	5.0	0.0	20.0	5.0
	50～59歳	8	75.0	50.0	0.0	0.0	12.5	12.5
	60～69歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70～79歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳～	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		家族から学んでいる	職場で学んでいる	友達(日本人)から学んでいる	友達(日本人以外)から学んでいる	周りの会話を聞いて覚えている	その他	無回答
全体		4.7	32.3	27.2	13.4	38.2	3.1	0.0
性別	男	4.6	30.5	26.0	12.2	29.0	2.3	0.0
	女	5.0	33.9	28.1	14.9	47.1	4.1	0.0
	その他	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢	～19歳	4.6	30.5	26.0	12.2	29.0	2.3	0.0
	20～29歳	5.0	33.9	28.1	14.9	47.1	4.1	0.0
	30～39歳	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	40～49歳	4.6	30.5	26.0	12.2	29.0	2.3	0.0
	50～59歳	5.0	33.9	28.1	14.9	47.1	4.1	0.0
	60～69歳	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	70～79歳	4.6	30.5	26.0	12.2	29.0	2.3	0.0
	80歳～	5.0	33.9	28.1	14.9	47.1	4.1	0.0

(27) 現在通っている日本語教室をどこで知ったか

無料または有料の日本語教室で日本語を学習している人に、現在通っている日本語教室をどこで知ったかを聞いたところ、「友だち、知っている人」が37.5%と最も高く、次いで「会社」、「学校」が25.0%となっている。

図表 36 現在通っている日本語教室をどこで知ったか〔複数回答〕



(28) 日本語を学んでない理由

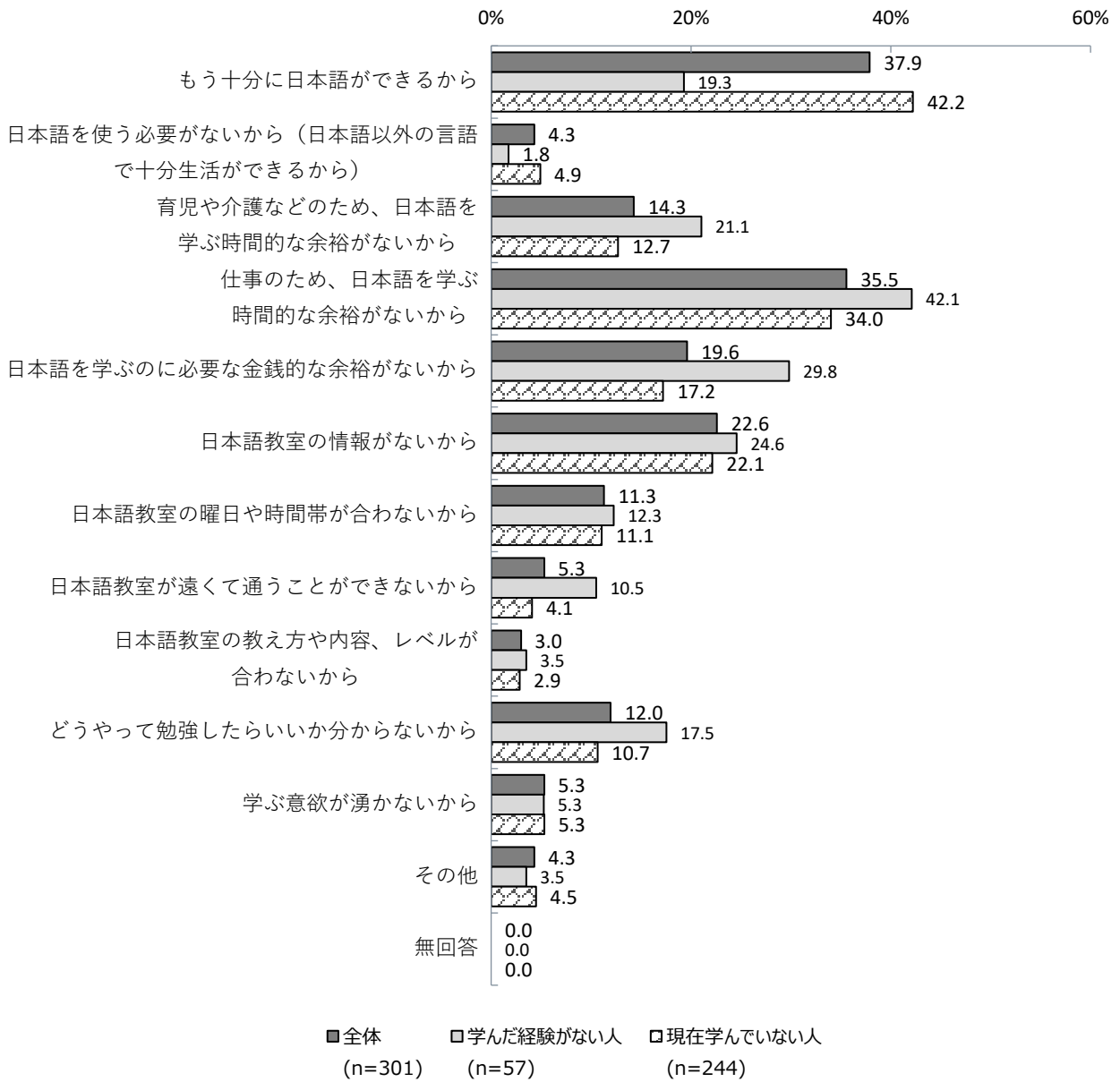
日本語を学んだことがない人、または現在日本語を学んでいない人に、日本語を学んでない理由を聞いたところ、「もう十分に日本語ができるから」が37.9%と最も高く、次いで「仕事のため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから」が35.5%、「日本語教室の情報がないから」が22.6%となっている。日本語を学んでいない理由について回答個数をみると、平均1.75個となっている。

日本語を学んだ経験がない人、現在学んでいない人別にみると、現在学んでいない人では「もう十分に日本語ができるから」が42.2%と最も高く、次いで「仕事のために、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから」が34.0%となっているが、日本語を学んだ経験がない人では「仕事のために、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから」が42.1%と最も高く、次いで「日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから」が29.8%となっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、韓国・朝鮮、中国で「もう十分に日本語ができるから」の割合が高くなっている。一方で、他の出身地と比べて、ベトナムで「仕事のために、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから」、「日本語教室の情報がないから」、「どうやって勉強したらいいかわからないから」、「日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから」、「日本語教室の曜日や時間帯が合わないから」、「日本語教室が遠くて通うことができないから」、フィリピンで「日本語教室の情報がないから」、「日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから」、「日本語教室が遠くて通うことができないから」の割合が高くなっている。

在留資格別では、他の在留資格と比べて、永住者で「もう十分に日本語ができるから」の割合が高くなっている。一方で、技術・人文知識・国際業務で「仕事のため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから」、家族滞在で「育児や介護などのため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから」の割合が高くなっている。

図表 37 現在日本語を学んでない理由〔複数回答〕



(%)

	回答数	もう十分に日本語ができるから	日本語を使う必要がないから(日本語以外の言語で十分生活ができる)	日本語を学ぶ時間的な余裕がないから	育児や介護などのため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから	仕事のため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから	日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから	日本語教室の情報がないから
全体	301	37.9	4.3	14.3	35.5	19.6	22.6	
出身地	韓国・朝鮮	31	61.3	6.5	3.2	29.0	9.7	3.2
	中国	122	49.2	3.3	16.4	27.9	14.8	18.0
	ベトナム	44	4.5	2.3	18.2	56.8	38.6	47.7
	フィリピン	20	10.0	0.0	20.0	50.0	40.0	45.0
	台湾	28	46.4	10.7	7.1	28.6	3.6	10.7
	ネパール	3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3
	インドネシア	6	16.7	0.0	16.7	50.0	16.7	50.0
	アメリカ	9	22.2	11.1	0.0	33.3	0.0	11.1
	タイ	6	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
	ブラジル	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	インド	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
その他	29	34.5	3.4	20.7	37.9	31.0	17.2	

	時間帯が合わない日か	日本語教室が遠くないから	日本語教室のレベルが合わないから	日本語教室の教員が合わないから	どうやって勉強したいか分からないから	学ぶ意欲が湧かないから	その他	無回答
全体	11.3	5.3	3.0	12.0	5.3	4.3	0.0	
出身地	韓国・朝鮮	0.0	0.0	3.2	0.0	3.2	6.5	0.0
	中国	7.4	4.1	3.3	7.4	6.6	4.9	0.0
	ベトナム	22.7	13.6	2.3	45.5	6.8	4.5	0.0
	フィリピン	20.0	15.0	0.0	10.0	5.0	5.0	0.0
	台湾	7.1	0.0	3.6	3.6	3.6	3.6	0.0
	ネパール	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インドネシア	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	アメリカ	33.3	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0
	タイ	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	ブラジル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	13.8	3.4	0.0	6.9	3.4	3.4	0.0	

(%)

	回答数	もう十分に日本語ができるから	日本語を使う必要がないから（日本語以外の言語で十分生活ができるから）	日本語を学ぶ時間的な余裕がないから	育児や介護などのため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから	仕事のため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから	金銭的な余裕がないから	日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから	日本語教室の情報がないから
全体	301	37.9	4.3	14.3	35.5	19.6	22.6		
在留資格	永住者	90	56.7	4.4	13.3	22.2	13.3	14.4	
	定住者	16	18.8	6.3	31.3	56.3	25.0	25.0	
	日本人の配偶者等	23	21.7	0.0	26.1	43.5	34.8	34.8	
	永住者の配偶者等	8	25.0	0.0	37.5	37.5	12.5	25.0	
	技術・人文知識・国際業務	72	45.8	5.6	2.8	45.8	16.7	15.3	
	技能実習	16	6.3	6.3	6.3	50.0	50.0	56.3	
	特定技能	6	0.0	0.0	0.0	83.3	33.3	33.3	
	技能	4	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	25.0	
	留学	26	38.5	3.8	7.7	26.9	19.2	26.9	
	家族滞在	24	12.5	4.2	45.8	20.8	16.7	29.2	
	特定活動	6	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	
その他	10	30.0	0.0	10.0	40.0	20.0	20.0		

	時間帯が合わないから	日本語教室の曜日が遠くないから	日本語教室のレベルが合わないから	内容、教室の教員など	いろいろな言葉が分かって勉強したいから	学ぶ意欲が湧かないから	その他	無回答
全体	11.3	5.3	3.0	12.0	5.3	4.3	0.0	
在留資格	永住者	6.7	6.7	2.2	5.6	4.4	0.0	0.0
	定住者	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3	0.0
	日本人の配偶者等	13.0	4.3	4.3	8.7	0.0	8.7	0.0
	永住者の配偶者等	0.0	0.0	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0
	技術・人文知識・国際業務	13.9	4.2	4.2	6.9	2.8	2.8	0.0
	技能実習	31.3	25.0	0.0	68.8	18.8	0.0	0.0
	特定技能	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	技能	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	留学	3.8	0.0	3.8	7.7	7.7	11.5	0.0
	家族滞在	20.8	8.3	4.2	20.8	0.0	16.7	0.0
	特定活動	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0	

	回答数	もう十分に日本語ができるから	日本語を使う必要がないから(日本語以外の言語で十分生活ができるから)	日本語を学ぶ時間的な余裕がないから	育児や介護などのため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから	仕事のため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから	日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから	日本語教室の情報がないから
全体	301	37.9	4.3	14.3	35.5	19.6	22.6	
日本語が不自由で困った(最近1年間)	近所付き合いで	43	7.0	4.7	37.2	48.8	30.2	46.5
	電車やバスに乗るとき	16	6.3	0.0	31.3	43.8	43.8	50.0
	日常生活や買い物で	35	8.6	2.9	34.3	42.9	28.6	37.1
	役所の手続で	98	7.1	2.0	19.4	48.0	32.7	44.9
	郵便局・銀行の手続で	68	5.9	2.9	19.1	57.4	39.7	45.6
	仕事を探すとき	42	9.5	4.8	28.6	38.1	40.5	42.9
	仕事で	58	17.2	3.4	22.4	41.4	29.3	32.8
	病気になったとき	70	15.7	5.7	17.1	45.7	32.9	40.0
	学校の先生と話すとき	33	9.1	0.0	39.4	45.5	33.3	42.4
	その他	9	11.1	0.0	11.1	33.3	33.3	55.6
困ったことはない	118	72.0	5.9	8.5	24.6	5.1	5.9	

	時間帯が合わないから	日本語教室の曜日が遠くないから	日本語教室の曜日や内容から	日本語教室のレベルが合わないから	どうやって勉強したいか	学ぶ意欲が湧かないから	その他	無回答
全体	11.3	5.3	3.0	12.0	5.3	4.3	0.0	
日本語が不自由で困った(最近1年間)	近所付き合いで	23.3	4.7	4.7	23.3	7.0	2.3	0.0
	電車やバスに乗るとき	31.3	6.3	0.0	18.8	6.3	0.0	0.0
	日常生活や買い物で	22.9	14.3	2.9	25.7	2.9	0.0	0.0
	役所の手続で	20.4	10.2	5.1	22.4	6.1	6.1	0.0
	郵便局・銀行の手続で	27.9	14.7	7.4	29.4	7.4	0.0	0.0
	仕事を探すとき	21.4	14.3	9.5	23.8	4.8	4.8	0.0
	仕事で	20.7	6.9	5.2	19.0	10.3	0.0	0.0
	病気になったとき	24.3	8.6	5.7	22.9	5.7	5.7	0.0
	学校の先生と話すとき	27.3	6.1	6.1	9.1	9.1	9.1	0.0
	その他	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	22.2	0.0
困ったことはない	3.4	2.5	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0	

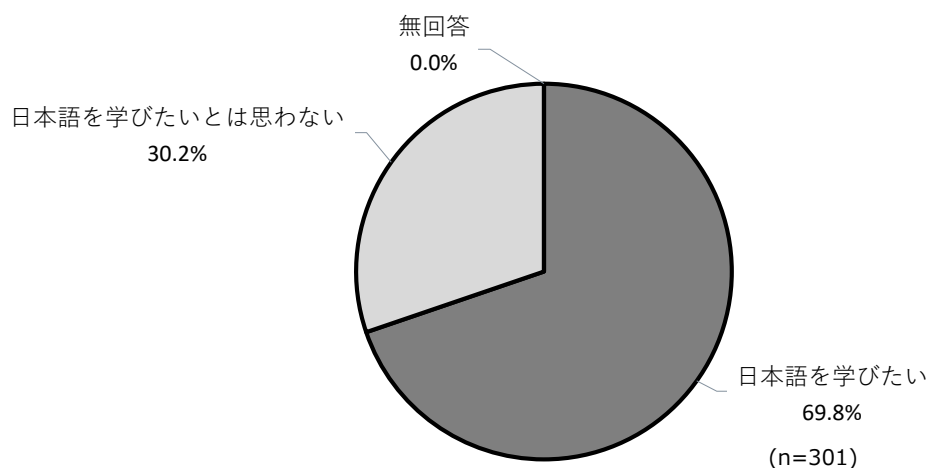
(29) 日本語を学びたいか

日本語を学んだことがない人、または現在日本語を学んでいない人に、日本語を学びたいか聞いたところ、「日本語を学びたい」が69.8%となっている。

性別では他と比べて、女性の方が「日本語を学びたい」と回答した割合が高く、出身地別では他の出身地と比べて、フィリピンで「日本語を学びたい」と回答した割合が高くなっている。在留資格別では、他の在留資格と比べて、家族滞在で「日本語を学びたい」と回答した割合が高くなっている。

日本語を学びたい人の方が、日本語が不自由で困った経験が多い傾向がうかがえる。また、日本語を学びたい人の方が、日本語を学んでいない理由として、「もう十分に日本語ができるから」、「学ぶ意欲が湧かないから」の割合は低く、「日本語を使う必要がないから（日本語以外の言語で十分生活ができるから）」、「その他」を除くすべての項目で割合が高くなっている。

図表 38 日本語を学びたいか



		回答数	た日本 語を学 び	ない日本 語を学 び	無回 答
全体		301	69.8	30.2	0.0
性別	男	126	63.5	36.5	0.0
	女	172	74.4	25.6	0.0
	その他	3	66.7	33.3	0.0
年齢	～19歳	1	100.0	0.0	0.0
	20～29歳	89	69.7	30.3	0.0
	30～39歳	113	72.6	27.4	0.0
	40～49歳	49	67.3	32.7	0.0
	50～59歳	35	57.1	42.9	0.0
	60～69歳	10	100.0	0.0	0.0
	70～79歳	2	50.0	50.0	0.0
	80歳～	2	50.0	50.0	0.0

(%)

(%)

	回答数	日本語を学びたい	日本語を学びたいとは思わない	無回答	
全体	301	69.8	30.2	0.0	
出身地	韓国・朝鮮	31	51.6	48.4	0.0
	中国	122	69.7	30.3	0.0
	ベトナム	44	79.5	20.5	0.0
	フィリピン	20	90.0	10.0	0.0
	台湾	28	60.7	39.3	0.0
	ネパール	3	33.3	66.7	0.0
	インドネシア	6	100.0	0.0	0.0
	アメリカ	9	66.7	33.3	0.0
	タイ	6	66.7	33.3	0.0
	ブラジル	2	100.0	0.0	0.0
	インド	1	100.0	0.0	0.0
	その他	29	65.5	34.5	0.0
在留資格	永住者	90	56.7	43.3	0.0
	定住者	16	81.3	18.8	0.0
	日本人の配偶者等	23	82.6	17.4	0.0
	永住者の配偶者等	8	75.0	25.0	0.0
	技術・人文知識・国際業務	72	68.1	31.9	0.0
	技能実習	16	68.8	31.3	0.0
	特定技能	6	66.7	33.3	0.0
	技能	4	75.0	25.0	0.0
	留学	26	69.2	30.8	0.0
	家族滞在	24	95.8	4.2	0.0
	特定活動	6	83.3	16.7	0.0
	その他	10	80.0	20.0	0.0

■日本語が不自由で困った経験（最近1年間）

(%)

	回答数	近所付き合いで	電車やバスに乗るとき	日常生活や買い物で	役所の手続で	郵便局・銀行の手続で	仕事を探すとき	仕事で	病気になったとき	学校の先生と話すとき	その他	困ったことはない	無回答	
全体	555	15.3	6.5	11.7	37.1	26.8	17.8	23.4	25.9	12.6	4.0	30.1	0.0	
日本語の学習希望	学びたい	210	18.6	6.7	15.7	41.0	29.5	18.1	24.8	28.1	13.3	3.8	25.2	0.0
	学びたいとは思わない	91	4.4	2.2	2.2	13.2	6.6	4.4	6.6	12.1	5.5	1.1	71.4	0.0

■日本語を学んでいない理由

(%)

	回答数	もう十分に日本語ができるから	日本語を使う必要がないから（日本語以外の言語で十分生活ができるから）	日本語を学ぶ時間的余裕がないから	育児や介護などのため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから	仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから	日本語を学ぶのに必要な金銭的余裕がないから	日本語教室の情報がないから
全体	301	37.9	4.3	14.3	35.5	19.6	22.6	
日本語の学習希望	学びたい	210	21.9	2.9	18.6	44.3	31.4	
	学びたいとは思わない	91	74.7	7.7	4.4	15.4	2.2	

	日本語教室の曜日や時間帯が合わないから	日本語教室が遠くて通うことができないから	日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから	どうやって勉強したらいいかわからないから	学ぶ意欲が湧かないから	その他	無回答
全体	11.3	5.3	3.0	12.0	5.3	4.3	0.0
日本語の学習希望	学びたい	15.2	7.1	4.3	16.2	5.2	0.0
	学びたいとは思わない	2.2	1.1	0.0	2.2	2.2	0.0

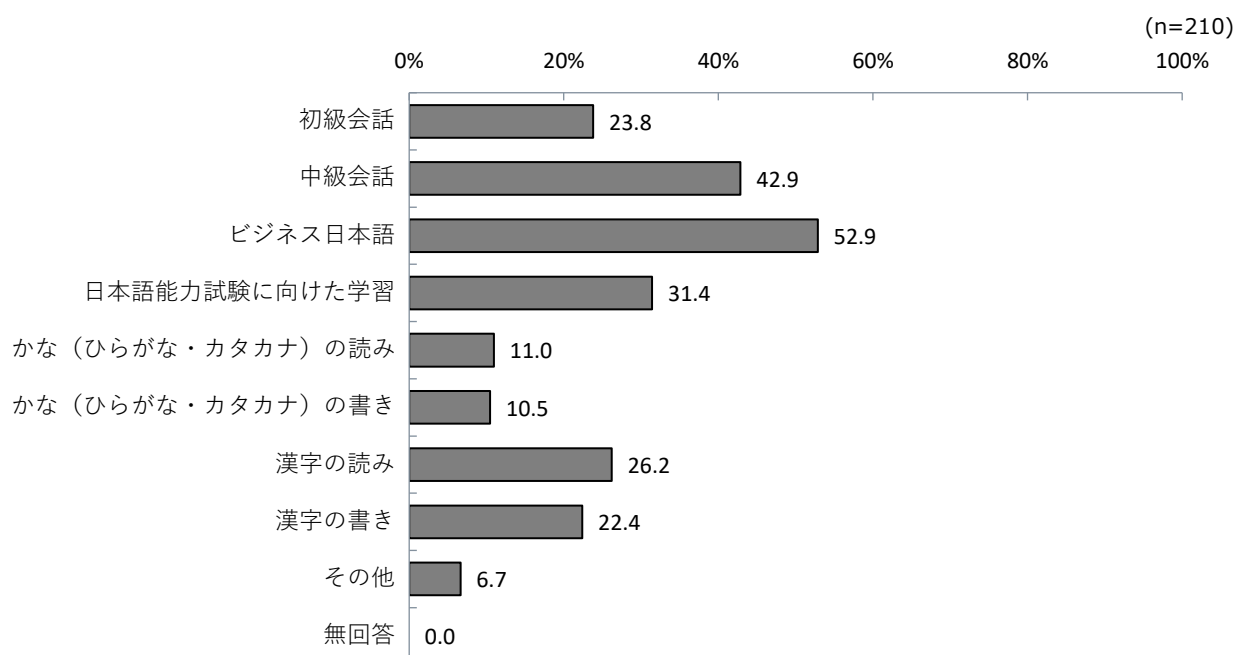
(30) どのような日本語を学びたいか

日本語を学びたい人に、どのような日本語を学びたいか聞いたところ、「ビジネス日本語」が52.9%と最も高く、次いで「中級会話」が42.9%となっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、韓国・朝鮮で「漢字の書き」、中国で「ビジネス日本語」、ベトナムで「日本語能力試験に向けた学習」の割合が高くなっている。

在留資格別では、他の在留資格と比べて、家族滞在で「中級会話」、「初級会話」、技術・人文知識・国際業務で「ビジネス日本語」の割合が高くなっている。

図表 39 どのような日本語を学びたいか〔複数回答〕



(%)

	回答数	初級会話	中級会話	ビジネス日本語	日本語能力試験に向けた学習	かな(ひらがな)カタカナ)の読み	かな(ひらがな)カタカナ)の書き	漢字の読み	漢字の書き	その他	無回答	
全体	210	23.8	42.9	52.9	31.4	11.0	10.5	26.2	22.4	6.7	0.0	
出身地	韓国・朝鮮	16	6.3	25.0	43.8	6.3	0.0	0.0	43.8	56.3	12.5	0.0
	中国	85	16.5	35.3	67.1	17.6	2.4	2.4	4.7	1.2	8.2	0.0
	ベトナム	35	28.6	60.0	42.9	65.7	8.6	11.4	42.9	31.4	0.0	0.0
	フィリピン	18	50.0	66.7	33.3	55.6	55.6	50.0	66.7	66.7	11.1	0.0
	台湾	17	23.5	29.4	64.7	23.5	5.9	5.9	23.5	17.6	0.0	0.0
	ネパール	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	インドネシア	6	16.7	16.7	66.7	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
	アメリカ	6	66.7	50.0	16.7	33.3	16.7	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0
	タイ	4	25.0	75.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	ブラジル	2	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インド	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	19	31.6	52.6	36.8	31.6	15.8	15.8	36.8	36.8	15.8	0.0	
在留資格	永住者	51	21.6	39.2	43.1	7.8	7.8	7.8	29.4	29.4	5.9	0.0
	定住者	13	38.5	38.5	30.8	30.8	30.8	30.8	38.5	38.5	7.7	0.0
	日本人の配偶者等	19	21.1	63.2	57.9	36.8	15.8	15.8	36.8	26.3	5.3	0.0
	永住者の配偶者等	6	16.7	33.3	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0
	技術・人文知識・国際業務	49	8.2	30.6	73.5	36.7	4.1	2.0	12.2	10.2	8.2	0.0
	技能実習	11	27.3	81.8	9.1	81.8	18.2	27.3	72.7	45.5	0.0	0.0
	特定技能	4	25.0	50.0	75.0	75.0	25.0	25.0	75.0	75.0	25.0	0.0
	技能	3	66.7	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	留学	18	5.6	22.2	77.8	50.0	0.0	0.0	11.1	5.6	0.0	0.0
	家族滞在	23	43.5	65.2	39.1	26.1	8.7	8.7	21.7	17.4	4.3	0.0
	特定活動	5	40.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
その他	8	75.0	50.0	62.5	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	
仕事の有無	している	154	21.4	42.2	53.2	33.1	10.4	9.7	25.3	22.7	7.8	0.0
	していない(今、探している)	29	27.6	34.5	55.2	31.0	17.2	17.2	27.6	20.7	3.4	0.0
	していない(探していない)	27	33.3	55.6	48.1	22.2	7.4	7.4	29.6	22.2	3.7	0.0
同居の18歳以下の子どもの有無	いる	71	26.8	52.1	52.1	25.4	9.9	9.9	28.2	23.9	5.6	0.0
	いない	139	22.3	38.1	53.2	34.5	11.5	10.8	25.2	21.6	7.2	0.0

(31) 日本語を学ぶために必要な環境

日本語を学んだことがない人、または現在日本語を学んでいない人に、どのような環境があれば日本語を学びたいか聞いたところ、1位～3位ではいずれも「時間的な余裕があれば学びたい」、「無料・安価な日本語教室があれば学びたい」の割合が高い。2位、3位では「日本語教室が家や職場の近くなどの都合のいい場所にあれば学びたい」も高くなっている。

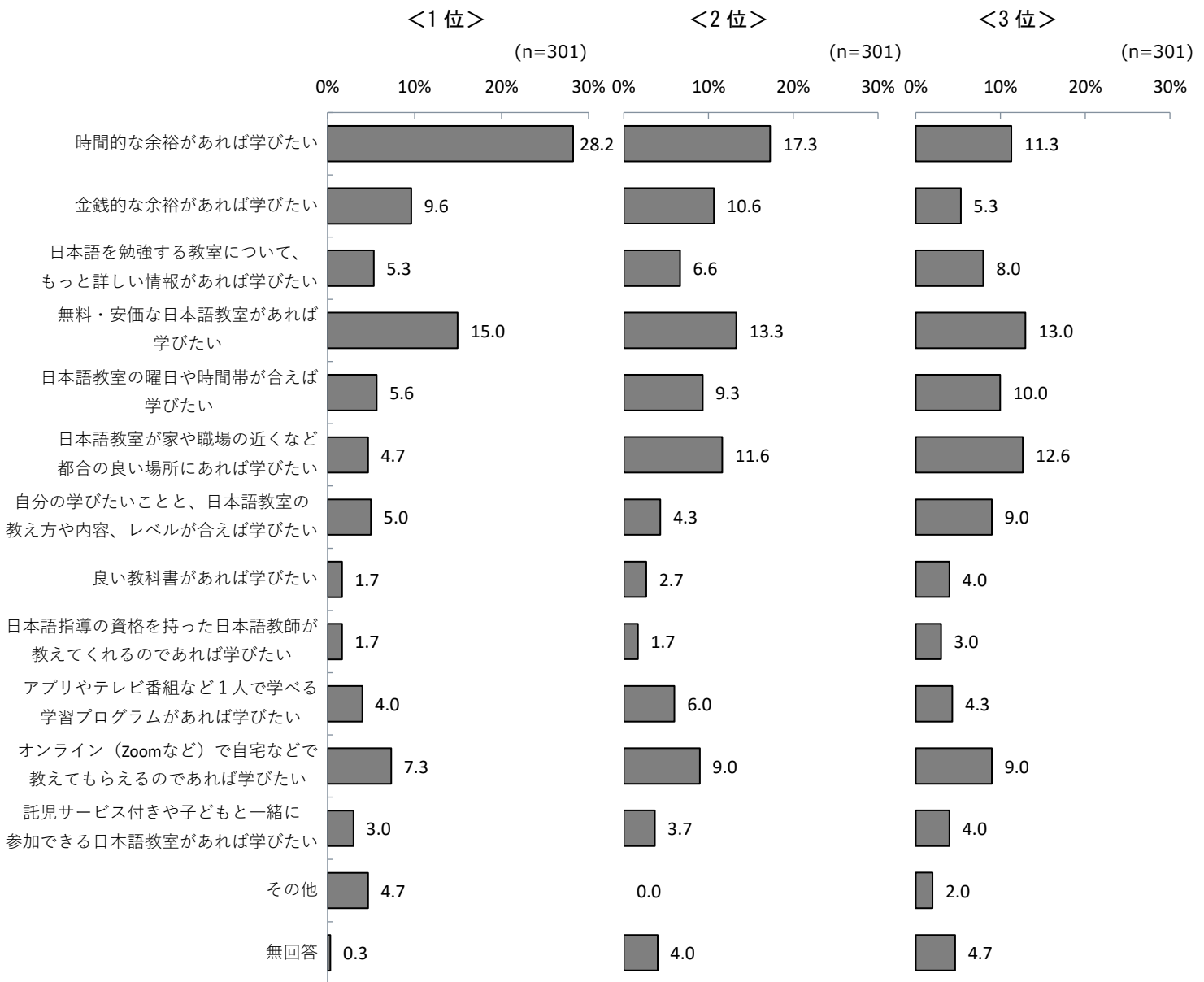
出身地別で、必要な環境1位をみると、他の出身地と比べて、中国で「自分の学びたいことと、日本語教室の教え方や内容、レベルが合えば学びたい」、ベトナムで「日本語を勉強する教室について、もっと詳しい情報があれば学びたい」、フィリピンで「無料・安価な日本語教室があれば学びたい」、「日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい」の割合が高くなっている。必要な環境2位をみると、他の出身地と比べて、韓国・朝鮮で「金銭的な余裕があれば学びたい」、「オンライン（Zoomなど）で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい」、中国で「良い教科書があれば学びたい」、フィリピンで「託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい」の割合が高くなっている。必要な環境3位をみると、他の出身地と比べて、ベトナムで「オンライン（Zoomなど）で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい」、台湾で「無料・安価な日本語教室があれば学びたい」の割合が高くなっている。

在留資格別で、必要な環境1位をみると、大きな違いはみられなかった。必要な環境2位をみると、他の在留資格と比べて、日本人の配偶者等で「アプリやテレビ番組など1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい」の割合が高くなっている。必要な環境3位をみると、他の在留資格と比べて、技術・人文知識・国際業務で「自分の学びたいことと、日本語教室の教え方や内容、レベルが合えば学びたい」、留学で「金銭的な余裕があれば学びたい」、「日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい」、家族滞在で「託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい」の割合が高くなっている。

仕事の有無別では、必要な環境1位、3位で大きな違いはみられないが、必要な環境2位をみると、他と比べて、仕事をしているで「日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい」の割合が高くなっている。

同居の18歳以下の子どもの有無別では、必要な環境1位では大きな違いがみられないが、必要な環境2位、3位をみると、子どもがいる人の方が「託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい」の割合が高くなっている。

図表 40 日本語を学ぶために必要な環境〔上位3位〕



※上記以外で「特になし・学ぶ必要がない」が4.0%となっている。

図表 41 日本語を学ぶために必要な環境〔得点化〕

項目	点数
時間的な余裕があれば学びたい	393
無料・安価な日本語教室があれば学びたい	254
金銭的な余裕があれば学びたい	167
日本語教室が家や職場の近くなど都合の良い場所にあれば学びたい	150
オンライン（Zoom など）で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい	147
日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい	137
日本語を勉強する教室について、もっと詳しい情報があれば学びたい	112
自分の学びたいことと、日本語教室の教え方や内容、レベルが合えば学びたい	98
アプリやテレビ番組など1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい	85
託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい	61
その他	48
良い教科書があれば学びたい	43
日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれるのであれば学びたい	34

※ 1位を3点、2位を2点、3位を1点として集計

<必要な環境1位（出身地別）>

(%)

<1位>		回答数	学時間 的余 裕が あ れ ば	学金 銭的 な 余 裕 が あ れ ば	情日 報本 があ れば 学語 びを 勉 強 す る 教 室	が無 料・ 安 価 な 日 本 語 教 室 が あ れ ば 学 び た い	間日 帯本 が語 合教 え室 ばの 曜 日 や 時	場日 所本 にあ語 れば教 室が 家 や 職 場	自 分 の 学 び た い こ と と 日 本 語 教 室 の 教 え 方 や 内 容 、 レ ベ ル が 合 え ば 学 び た い
全 体		301	28.2	9.6	5.3	15.0	5.6	4.7	5.0
出 身 地	韓国・朝鮮	31	41.9	3.2	0.0	9.7	0.0	9.7	0.0
	中国	122	32.8	9.8	4.1	10.7	3.3	4.9	9.0
	ベトナム	44	22.7	6.8	18.2	18.2	2.3	6.8	4.5
	フィリピン	20	10.0	20.0	0.0	30.0	20.0	5.0	0.0
	台湾	28	21.4	7.1	0.0	17.9	7.1	0.0	3.6
	ネパール	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	インドネシア	6	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	アメリカ	9	44.4	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0
	タイ	6	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7
	ブラジル	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インド	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他	29	24.1	6.9	6.9	24.1	13.8	0.0	0.0

<1位>		良 い 教 科 書 が あ れ ば 学 び た い	日 本 語 指 導 の 資 格 を 持 っ た 日 本 語 教 師 が 教 え て く れ る の で あ れ ば 学 び た い	ア プ リ や テ レ ビ 番 組 な ど 1 人 で 学 べ る 学 習 プ ロ グ ラ ム が あ れ ば 学 び た い	オ ン ラ イ ン (<u>Zoom</u> な ど) で 自 宅 な ど で 教 え て も ら え る の で あ れ ば 学 び た い	一 緒 に 参 加 で き る 日 本 語 教 室 が あ れ ば 学 び た い	託 児 サ ー ビ ス 付 き や 子 ど も と 一 緒 に 参 加 で き る 日 本 語 教 室 が あ れ ば 学 び た い	そ の 他	特 に な し ・ 学 ぶ 必 要 が な い	無 回 答
全 体		1.7	1.7	4.0	7.3	3.0	4.7	4.0	0.3	
出 身 地	韓国・朝鮮	6.5	3.2	9.7	3.2	3.2	3.2	6.5	0.0	
	中国	0.8	2.5	3.3	5.7	4.9	5.7	2.5	0.0	
	ベトナム	2.3	0.0	2.3	9.1	2.3	4.5	0.0	0.0	
	フィリピン	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	
	台湾	3.6	3.6	7.1	10.7	3.6	0.0	14.3	0.0	
	ネパール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
	インドネシア	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	アメリカ	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	
	タイ	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ブラジル	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	インド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	0.0	0.0	3.4	3.4	0.0	6.9	10.3	0.0	

<必要な環境2位（出身地別）>

(%)

<2位>		回答数	学時間 的余 裕が あれ ば	学金 銭的 な余 裕が あれ ば	情に 報が あれ ば学 びた い	日本 語を 勉強 する 教室 が あれ ば学 びた い	無料 ・安 価な 日本 語教 室が あれ ば学 びた い	間日 帯が 合え ば学 びた い	日本 語教 室が 家や 職場 の近 くな ど都 合の 良い 場所 に あれ ば学 びた い	自 分の 学 びた いこ と、 日本 語教 室の 教え 方や 内 容、 レ ベル が合 え ば学 び たい
全 体		301	17.3	10.6	6.6	13.3	9.3	11.6	4.3	
出 身 地	韓国・朝鮮	31	3.2	25.8	6.5	12.9	3.2	3.2	6.5	
	中国	122	17.2	4.9	6.6	13.9	9.8	15.6	4.1	
	ベトナム	44	25.0	4.5	4.5	13.6	13.6	13.6	4.5	
	フィリピン	20	25.0	10.0	5.0	10.0	5.0	20.0	0.0	
	台湾	28	17.9	14.3	14.3	7.1	3.6	7.1	10.7	
	ネパール	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	
	インドネシア	6	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	
	アメリカ	9	22.2	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	
	タイ	6	16.7	16.7	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	
	ブラジル	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	インド	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	その他	29	20.7	17.2	3.4	6.9	10.3	6.9	3.4	

<2位>		良 い 教 科 書 が あれ ば 学 び た い	日 本 語 指 導 の 資 格 を 持 つ た 日 本 語 教 師 が 教 え て く れ る の で あ れ ば 学 び た い	ア プ リ や テ レ ビ 番 組 な ど 1 人 で 学 べ る 学 習 プ ロ グ ラ ム が あ れ ば 学 び た い	オ ン ラ イ ン (<u>Zoom</u> など)で 自 宅 な ど で 教 え て も ら え る の で あ れ ば 学 び た い	託 児 サ ー ビ ス 付 き や 子 ど も と 一 緒 に 参 加 で き る 日 本 語 教 室 が あ れ ば 学 び た い	そ の 他	無 回 答
全 体		2.7	1.7	6.0	9.0	3.7	0.0	4.0
出 身 地	韓国・朝鮮	0.0	3.2	9.7	19.4	0.0	0.0	6.5
	中国	4.9	2.5	6.6	8.2	3.3	0.0	2.5
	ベトナム	2.3	0.0	6.8	9.1	2.3	0.0	0.0
	フィリピン	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0	0.0	5.0
	台湾	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	10.7
	ネパール	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	インドネシア	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0
	アメリカ	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0
	タイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ブラジル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	3.4	3.4	6.9	3.4	3.4	0.0	10.3

<必要な環境3位（出身地別）>

(%)

<3位>		回答数	学時間 的余 裕が あれ ば	学金 銭的 な余 裕が あれ ば	情日 報本 があ れば 学語 びを た強 す る 教 室	が無 料・ 安価 な日 本語 教室 が あれ ば学 びた い	間日 帯本 が語 合教 え室 ばの 曜日 や時	場日 所本 にあ れば 学語 びを た強 す る 教 室	の近 くな ど都 合の 良い 職場	自 分の 学語 びを た強 す る 教 室 の 教 え 方 や 内 容 、 レ ベ ル が 合 え ば 学 び た い
全 体		301	11.3	5.3	8.0	13.0	10.0	12.6	9.0	
出身地	韓国・朝鮮	31	6.5	6.5	16.1	9.7	12.9	9.7	9.7	
	中国	122	12.3	4.1	8.2	13.1	10.7	9.8	12.3	
	ベトナム	44	4.5	9.1	11.4	13.6	4.5	15.9	0.0	
	フィリピン	20	20.0	10.0	0.0	10.0	15.0	10.0	0.0	
	台湾	28	14.3	0.0	7.1	25.0	7.1	10.7	7.1	
	ネパール	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	インドネシア	6	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	
	アメリカ	9	11.1	0.0	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	
	タイ	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	ブラジル	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
	インド	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	その他	29	6.9	3.4	6.9	10.3	10.3	17.2	10.3	

<3位>		良い教科書があれば学びたい	日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれるのであれば学びたい	アプリやテレビ番組などで学べる学習プログラムがあれば学びたい	オンライン（Zoomなど）で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい	託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい	その他	無回答
全 体		4.0	3.0	4.3	9.0	4.0	2.0	4.7
出身地	韓国・朝鮮	0.0	0.0	3.2	12.9	3.2	3.2	6.5
	中国	5.7	4.1	4.9	4.9	4.9	2.5	2.5
	ベトナム	2.3	6.8	6.8	18.2	6.8	0.0	0.0
	フィリピン	5.0	0.0	5.0	10.0	0.0	0.0	15.0
	台湾	3.6	0.0	0.0	10.7	3.6	0.0	10.7
	ネパール	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	インドネシア	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	アメリカ	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	タイ	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ブラジル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	3.4	0.0	0.0	13.8	3.4	3.4	10.3

<必要な環境1位（在留資格別）>

(%)

<1位>	回答数	時間的な余裕があれば学びたい	金銭的な余裕があれば学びたい	日本語を勉強する教室にあって、もっと詳しい情報があれば学びたい	無料・安価な日本語教室があれば学びたい	日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい	近所など都合の良い場所があれば学びたい	日本語教室が家や職場のレベルが合えば学びたい	自分の学びたいこと、日本語の教え方や内容、日本語の学びたい
全体	301	28.2	9.6	5.3	15.0	5.6	4.7	5.0	
在留資格	永住者	90	27.8	8.9	2.2	15.6	5.6	4.4	6.7
	定住者	16	18.8	12.5	0.0	18.8	12.5	6.3	0.0
	日本人の配偶者等	23	17.4	13.0	4.3	17.4	0.0	0.0	8.7
	永住者の配偶者等	8	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	技術・人文知識・国際業務	72	29.2	8.3	8.3	13.9	9.7	2.8	2.8
	技能実習	16	31.3	12.5	18.8	18.8	0.0	0.0	6.3
	特定技能	6	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	技能	4	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	留学	26	34.6	11.5	3.8	15.4	0.0	7.7	7.7
	家族滞在	24	29.2	4.2	4.2	8.3	4.2	12.5	8.3
	特定活動	6	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
その他	10	30.0	0.0	10.0	20.0	10.0	20.0	0.0	

<1位>	良い教科書があれば学びたい	日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれるのであれば学びたい	アプリやテレビ番組など1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい	オンライン(Zoomなど)で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい	託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい	その他	特になし・学ぶ必要がない	無回答	
全体	1.7	1.7	4.0	7.3	3.0	4.7	4.0	0.3	
在留資格	永住者	2.2	1.1	3.3	2.2	4.4	5.6	8.9	1.1
	定住者	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	6.3	6.3	0.0
	日本人の配偶者等	4.3	4.3	4.3	13.0	8.7	0.0	4.3	0.0
	永住者の配偶者等	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	技術・人文知識・国際業務	1.4	2.8	5.6	11.1	1.4	2.8	0.0	0.0
	技能実習	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0
	特定技能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	技能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	留学	3.8	0.0	3.8	7.7	0.0	3.8	0.0	0.0
	家族滞在	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	4.2	0.0
	特定活動	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

<必要な環境2位（在留資格別）>

(%)

<2位>		回答数	時間的な余裕があれば学びたい	金銭的な余裕があれば学びたい	日本語を勉強する教室にあって、もっと詳しい情報があれば学びたい	無料・安価な日本語教室があれば学びたい	日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい	日本語教室が家や職場の近くなど都合の良い場所にあるれば学びたい	自分の学びたいこと、レベルが合えば学びたい
全体		301	17.3	10.6	6.6	13.3	9.3	11.6	4.3
在留資格	永住者	90	16.7	11.1	8.9	12.2	4.4	12.2	4.4
	定住者	16	18.8	18.8	0.0	12.5	12.5	6.3	0.0
	日本人の配偶者等	23	13.0	8.7	8.7	17.4	8.7	8.7	0.0
	永住者の配偶者等	8	0.0	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0
	技術・人文知識・国際業務	72	20.8	11.1	5.6	8.3	11.1	13.9	6.9
	技能実習	16	18.8	12.5	6.3	25.0	6.3	0.0	6.3
	特定技能	6	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
	技能	4	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	留学	26	26.9	11.5	7.7	7.7	7.7	7.7	3.8
	家族滞在	24	12.5	0.0	4.2	25.0	16.7	16.7	4.2
	特定活動	6	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
その他	10	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0	30.0	10.0	

<2位>		良い教科書があれば学びたい	日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれるのであれば学びたい	アプリやテレビ番組など1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい	オンライン(Zoomなど)で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい	託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい	その他	無回答
全体		2.7	1.7	6.0	9.0	3.7	0.0	4.0
在留資格	永住者	3.3	3.3	3.3	7.8	3.3	0.0	8.9
	定住者	0.0	0.0	6.3	6.3	12.5	0.0	6.3
	日本人の配偶者等	0.0	0.0	17.4	8.7	4.3	0.0	4.3
	永住者の配偶者等	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0
	技術・人文知識・国際業務	4.2	1.4	6.9	8.3	1.4	0.0	0.0
	技能実習	6.3	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0
	特定技能	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	技能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	留学	0.0	3.8	7.7	11.5	3.8	0.0	0.0
	家族滞在	0.0	0.0	0.0	12.5	4.2	0.0	4.2
	特定活動	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7
その他	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	

<必要な環境3位（在留資格別）>

(%)

<3位>	回答数	時間的な余裕があれば学びたい	金銭的な余裕があれば学びたい	日本語を勉強する教室にあって、もっと詳しい情報があれば学びたい	無料・安価な日本語教室があれば学びたい	日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい	近所など都合の良い場所があれば学びたい	日本語教室が家や職場の近くに合えば学びたい	自分の学びたいこと、レベルが合えば学びたい
全体	301	11.3	5.3	8.0	13.0	10.0	12.6	9.0	
在留資格	永住者	90	12.2	2.2	10.0	7.8	8.9	11.1	
	定住者	16	18.8	12.5	6.3	25.0	12.5	0.0	
	日本人の配偶者等	23	13.0	0.0	4.3	0.0	17.4	0.0	
	永住者の配偶者等	8	12.5	0.0	12.5	12.5	25.0	25.0	
	技術・人文知識・国際業務	72	8.3	5.6	5.6	19.4	4.2	15.3	
	技能実習	16	12.5	6.3	6.3	18.8	0.0	0.0	
	特定技能	6	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	
	技能	4	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	
	留学	26	3.8	15.4	3.8	15.4	23.1	3.8	
	家族滞在	24	8.3	8.3	12.5	8.3	12.5	4.2	
	特定活動	6	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	
その他	10	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0		

<3位>	良い教科書があれば学びたい	日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれるのであれば学びたい	アプリやテレビ番組など1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい	オンライン(Zoomなど)で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい	託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい	その他	無回答
全体	4.0	3.0	4.3	9.0	4.0	2.0	4.7
在留資格	永住者	4.4	2.2	4.4	8.9	3.3	11.1
	定住者	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3
	日本人の配偶者等	8.7	4.3	4.3	17.4	4.3	4.3
	永住者の配偶者等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	技術・人文知識・国際業務	4.2	1.4	4.2	11.1	4.2	0.0
	技能実習	6.3	6.3	6.3	18.8	0.0	0.0
	特定技能	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	技能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	留学	3.8	3.8	11.5	11.5	3.8	0.0
	家族滞在	0.0	4.2	0.0	0.0	25.0	4.2
	特定活動	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
その他	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	

<必要な環境 1位（仕事の有無別）>

(%)

< 1位 >		回答数	時間的な余裕があれば学びたい	金銭的な余裕があれば学びたい	日本語を勉強する教室にあって、もっと詳しい情報があれば学びたい	無料・安価な日本語教室があれば学びたい	日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい	日本語教室が家や職場の近くなど都合の良い場所があれば学びたい	自分の学びたいこと、レベルが合えば学びたい内容、日
全体		301	28.2	9.6	5.3	15.0	5.6	4.7	5.0
仕事の有無	している	227	29.5	8.4	5.7	13.7	7.0	5.3	3.5
	していない (今、探している)	40	17.5	15.0	2.5	20.0	2.5	2.5	10.0
	していない (探していない)	34	32.4	11.8	5.9	17.6	0.0	2.9	8.8

< 1位 >		良い教科書があれば学びたい	日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれるのであれば学びたい	アプリやテレビ番組など1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい	オンライン (Zoom など) で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい	託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい	その他	特になし・学ぶ必要がない	無回答
全体		1.7	1.7	4.0	7.3	3.0	4.7	4.0	0.3
仕事の有無	している	2.2	1.3	3.5	7.5	2.6	4.8	11.1	0.4
	していない (今、探している)	0.0	2.5	2.5	10.0	2.5	7.5	6.3	0.0
	していない (探していない)	0.0	2.9	8.8	2.9	5.9	0.0	4.3	0.0

<必要な環境2位（仕事の有無別）>

(%)

<2位>		回答数	時間的な余裕があれば学びたい	金銭的な余裕があれば学びたい	日本語を勉強する教室にあって、もっと詳しい情報があれば学びたい	無料・安価な日本語教室があれば学びたい	日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい	日本語教室が家や職場の近くなど都合の良い場所にあるれば学びたい	自分の学びたいこと、レベルが合えば学びたい内容、
全体		301	17.3	10.6	6.6	13.3	9.3	11.6	4.3
仕事の有無	している	227	15.9	11.5	5.7	11.9	11.9	12.3	4.8
	していない (今、探している)	40	22.5	10.0	7.5	17.5	2.5	7.5	2.5
	していない (探していない)	34	20.6	5.9	11.8	17.6	0.0	11.8	2.9

<2位>		良い教科書があれば学びたい	日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれるのであれば学びたい	アプリやテレビ番組など1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい	オンライン(TOPIなど)で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい	託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい	その他	無回答
全体		2.7	1.7	6.0	9.0	3.7	0.0	4.0
仕事の有無	している	3.1	1.8	6.2	7.5	3.1	0.0	4.4
	していない (今、探している)	2.5	0.0	7.5	12.5	2.5	0.0	5.0
	していない (探していない)	0.0	2.9	2.9	14.7	8.8	0.0	0.0

<必要な環境3位（仕事の有無別）>

(%)

<3位>		回答数	時間的な余裕があれば学びたい	金銭的な余裕があれば学びたい	日本語を勉強する教室について、もっと詳しい情報があれば学びたい	無料・安価な日本語教室があれば学びたい	日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい	日本語教室が家や職場の近くなど都合の良い場所にあるれば学びたい	自分の学びたいこと、レベルが合えば学びたい内容、
全体		301	11.3	5.3	8.0	13.0	10.0	12.6	9.0
仕事の有無	している	227	12.3	4.4	7.5	13.7	8.4	12.8	9.7
	していない (今、探している)	40	12.5	7.5	12.5	10.0	12.5	7.5	2.5
	していない (探していない)	34	2.9	8.8	5.9	11.8	17.6	17.6	11.8

<3位>		良い教科書があれば学びたい	日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれるのであれば学びたい	アプリやテレビ番組など1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい	オンライン(TOPIなど)で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい	託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい	その他	無回答
全体		4.0	3.0	4.3	9.0	4.0	2.0	4.7
仕事の有無	している	3.5	2.2	4.0	10.1	3.5	2.6	5.3
	していない (今、探している)	5.0	7.5	5.0	5.0	7.5	0.0	5.0
	していない (探していない)	5.9	2.9	5.9	5.9	2.9	0.0	0.0

<必要な環境 1 位（同居の 18 歳以下の子どもの有無別）>

(%)

< 1 位 >		回答数	時間的な余裕があれば学びたい	金銭的な余裕があれば学びたい	日本語を勉強する教室について、もっと詳しい情報があれば学びたい	無料・安価な日本語教室があれば学びたい	日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい	日本語教室が家や職場の近くなど都合の良い場所であれば学びたい	自分の学びたいこと、レベルが合えば学びたい
全体		301	28.2	9.6	5.3	15.0	5.6	4.7	5.0
同居の 18 歳以下の子どもの有無	いる	94	28.7	8.5	5.3	14.9	5.3	6.4	8.5
	いない	207	28.0	10.1	5.3	15.0	5.8	3.9	3.4

< 1 位 >		良い教科書があれば学びたい	日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれるのであれば学びたい	アプリやテレビ番組など 1 人で学べる学習プログラムがあれば学びたい	オンライン (Zoom など) で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい	託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい	その他	特になし・学ぶ必要がない	無回答
全体		1.7	1.7	4.0	7.3	3.0	4.7	4.0	0.3
同居の 18 歳以下の子どもの有無	いる	1.1	1.1	5.3	3.2	5.3	3.2	2.1	1.1
	いない	1.9	1.9	3.4	9.2	1.9	5.3	4.8	0.0

<必要な環境2位（同居の18歳以下の子どもの有無別）>

(%)

<2位>		回答数	時間的な余裕があれば学びたい	金銭的な余裕があれば学びたい	日本語を勉強する教室について、もっと詳しい情報があれば学びたい	無料・安価な日本語教室があれば学びたい	日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい	日本語教室が家や職場の近くなど都合の良い場所があれば学びたい	自分の学びたいこと、レベルが合えば学びたい内容、日
全体		301	17.3	10.6	6.6	13.3	9.3	11.6	4.3
同居の18歳以下の子どもの有無	いる	94	17.0	6.4	6.4	13.8	9.6	12.8	3.2
	いない	207	17.4	12.6	6.8	13.0	9.2	11.1	4.8

<2位>		良い教科書があれば学びたい	日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれるのであれば学びたい	アプリやテレビ番組など1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい	オンライン（Zoomなど）で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい	オンライン（Zoomなど）で一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい	託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい	その他	無回答
全体		2.7	1.7	6.0	9.0	3.7	0.0	4.0	
同居の18歳以下の子どもの有無	いる	4.3	2.1	4.3	9.6	8.5	0.0	2.1	
	いない	1.9	1.4	6.8	8.7	1.4	0.0	4.8	

<必要な環境3位（同居の18歳以下の子どもの有無別）>

(%)

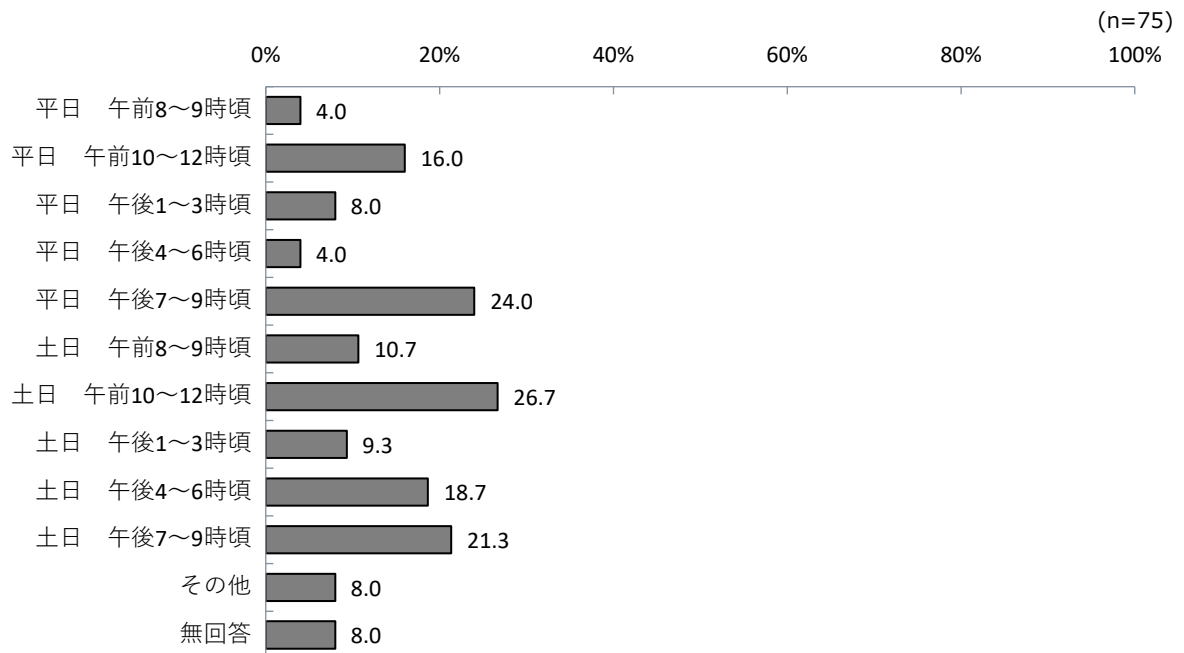
<3位>		回答数	時間的な余裕があれば学びたい	金銭的な余裕があれば学びたい	日本語を勉強する教室について、もっと詳しい情報があれば学びたい	無料・安価な日本語教室があれば学びたい	日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい	日本語教室が家や職場の近くなど都合の良い場所があれば学びたい	自分の学びたいこと、レベルが合えば学びたい内容、日
全体		301	11.3	5.3	8.0	13.0	10.0	12.6	9.0
同居の18歳以下の子どもの有無	いる	94	12.8	4.3	9.6	12.8	8.5	10.6	8.5
	いない	207	10.6	5.8	7.2	13.0	10.6	13.5	9.2

<3位>		良い教科書があれば学びたい	日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれるのであれば学びたい	アプリやテレビ番組など1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい	オンライン（Zoomなど）で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい	託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい	その他	無回答
全体		4.0	3.0	4.3	9.0	4.0	2.0	4.7
同居の18歳以下の子どもの有無	いる	3.2	3.2	3.2	7.4	11.7	1.1	3.2
	いない	4.3	2.9	4.8	9.7	0.5	2.4	5.3

(32) 日本語を学びたい時間帯

日本語を学ぶために必要な環境で「日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい」と回答した人に、日本語を学びたい時間帯を聞いたところ、「土日 午前10～12時頃」が26.7%と最も高く、次いで「平日 午後7～9時頃」が24.0%、「土日 午後7～9時頃」が21.3%となっている。

図表 42 日本語を学びたい時間帯

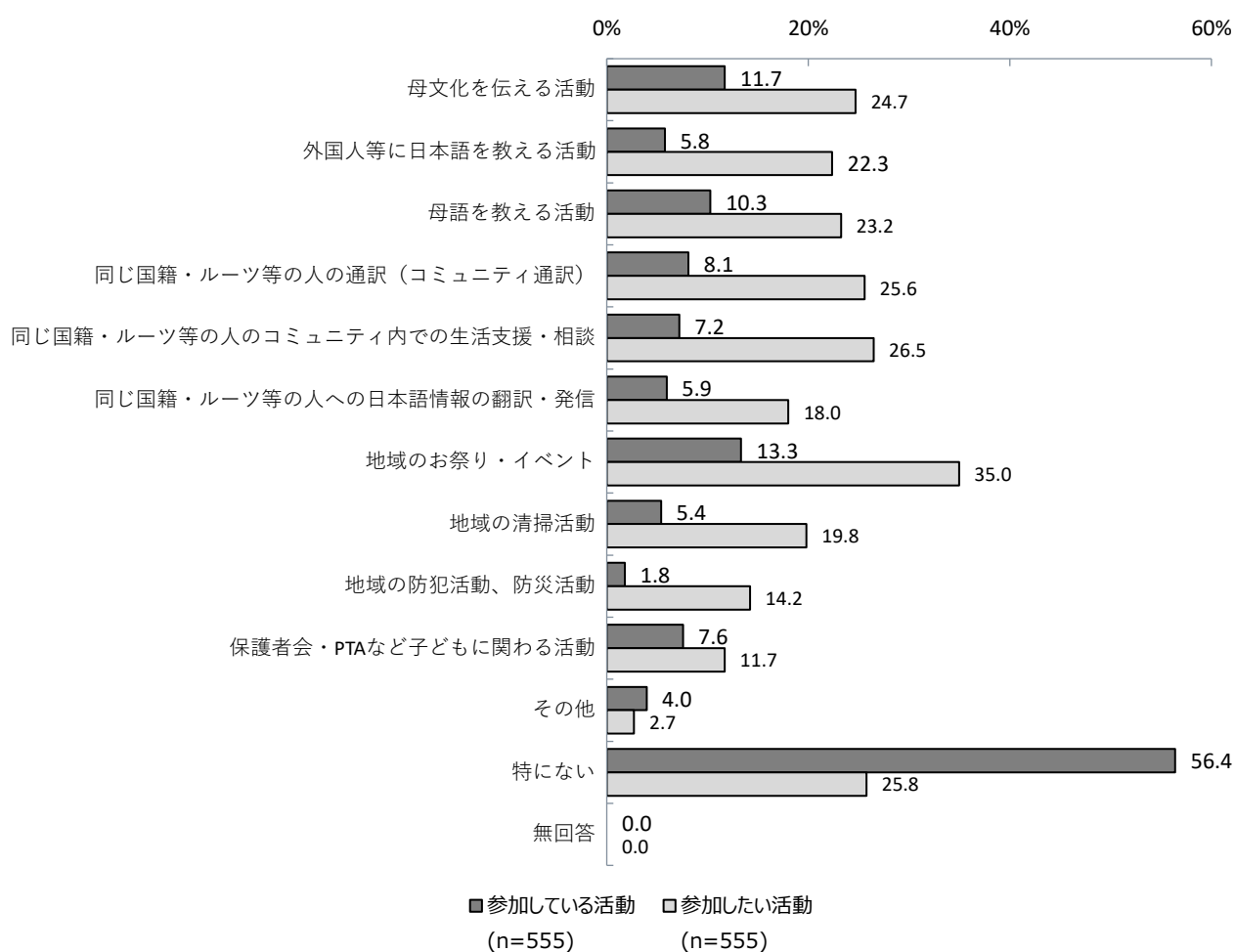


(33) 地域活動などの参加状況、参加希望

地域活動などの参加状況は、「特にない」が56.4%と最も高くなっている。それ以外では「地域のお祭り・イベント」が13.3%、「母文化を伝える活動」が11.7%、「母語を教える活動」が10.3%となっている。

ほぼすべての項目において、現在、活動に参加している割合に比べて、今後、活動に参加したいという割合が高いという結果となっている。参加したい活動としては、「地域のお祭り・イベント」が35.0%と最も高い。

図表 43 地域活動などの参加状況、参加希望〔複数回答〕



(34) 同居の18歳以下の子どもの有無

同居の18歳以下の子どもの有無は、「いない」が77.3%、「いる」が22.7%となっている。

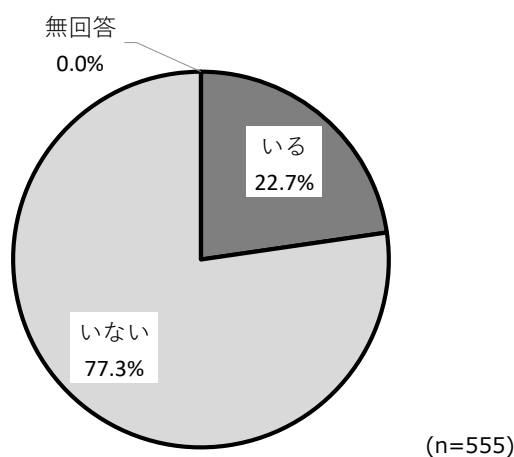
年齢別では、他の年代と比べて、30代、40代で子どもが「いる」割合が高く、20代では子どもが「いない」割合が高くなっている。

出身地別では、他の出身地と比べて、中国で子どもが「いる」割合が高く、ベトナムで子どもが「いない」割合が高くなっている。

在留資格別では、他の在留資格と比べて、家族滞在、日本人の配偶者等、永住者で子どもが「いる」割合が高く、技能実習、留学、技術・人文知識・国際業務で子どもが「いない」割合が高くなっている。

仕事の有無別では、他と比べて、仕事をしていない（今、探している）で子どもが「いる」割合が高くなっている。

図表 44 同居の18歳以下の子どもの有無



(%)

		回答数	いる	いない	無回答
全 体		555	22.7	77.3	0.0
年 齢 別	～19歳	5	20.0	80.0	0.0
	20～29歳	253	6.7	93.3	0.0
	30～39歳	169	35.5	64.5	0.0
	40～49歳	69	58.0	42.0	0.0
	50～59歳	43	18.6	81.4	0.0
	60～69歳	11	0.0	100.0	0.0
	70～79歳	3	0.0	100.0	0.0
	80歳～	2	0.0	100.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0

(%)

	回答数	いる	いない	無回答	
全 体	555	22.7	77.3	0.0	
出身地	韓国・朝鮮	36	13.9	86.1	0.0
	中国	220	33.2	66.8	0.0
	ベトナム	129	8.5	91.5	0.0
	フィリピン	21	33.3	66.7	0.0
	台湾	42	16.7	83.3	0.0
	ネパール	14	7.1	92.9	0.0
	インドネシア	16	18.8	81.3	0.0
	アメリカ	13	0.0	100.0	0.0
	タイ	6	0.0	100.0	0.0
	ブラジル	5	40.0	60.0	0.0
	インド	2	0.0	100.0	0.0
	その他	51	33.3	66.7	0.0

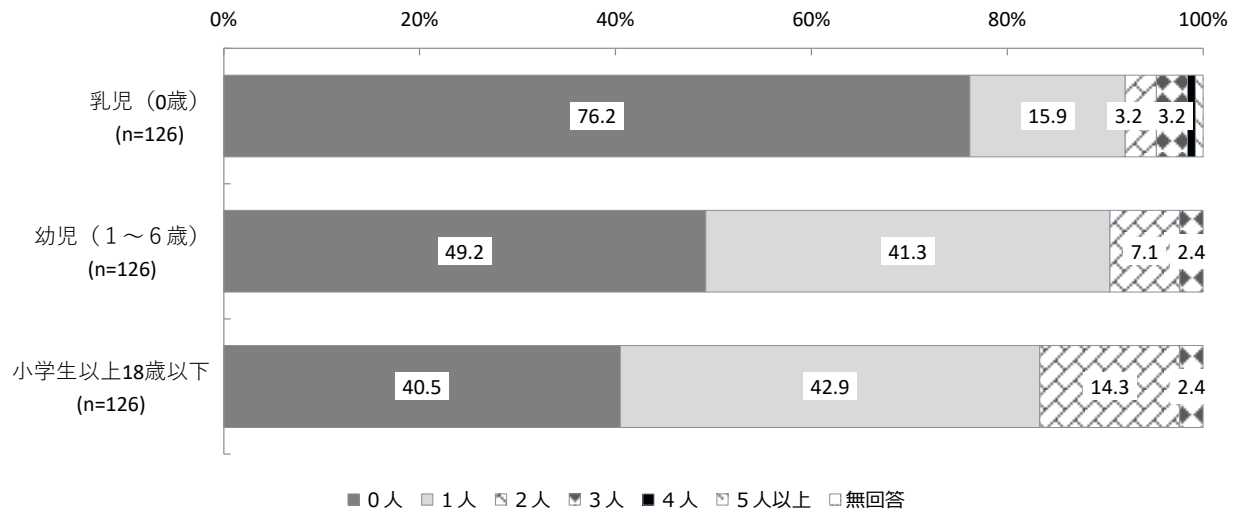
(%)

	回答数	いる	いない	無回答	
全 体	555	22.7	77.3	0.0	
在留資格	永住者	110	42.7	57.3	0.0
	定住者	19	42.1	57.9	0.0
	日本人の配偶者等	28	50.0	50.0	0.0
	永住者の配偶者等	11	54.5	45.5	0.0
	技術・人文知識・国際業務	125	12.8	87.2	0.0
	技能実習	34	0.0	100.0	0.0
	特定技能	13	7.7	92.3	0.0
	技能	7	0.0	100.0	0.0
	留学	138	1.4	98.6	0.0
	家族滞在	38	65.8	34.2	0.0
	特定活動	15	20.0	80.0	0.0
	その他	17	23.5	76.5	0.0
仕事の有無	している	409	20.5	79.5	0.0
	していない (今、探している)	80	32.5	67.5	0.0
	していない (探していない)	66	24.2	75.8	0.0

(35) 同居している子どもの年齢別人数

同居している18歳以下の子どもがいる人に子どもの年齢別人数を聞いたところ、乳児（0歳）がいる人は約24%、幼児（1～6歳）がいる人は約50%、小学生以上18歳以下がいる人は約60%となっている。

図表 45 子どもの年齢別人数



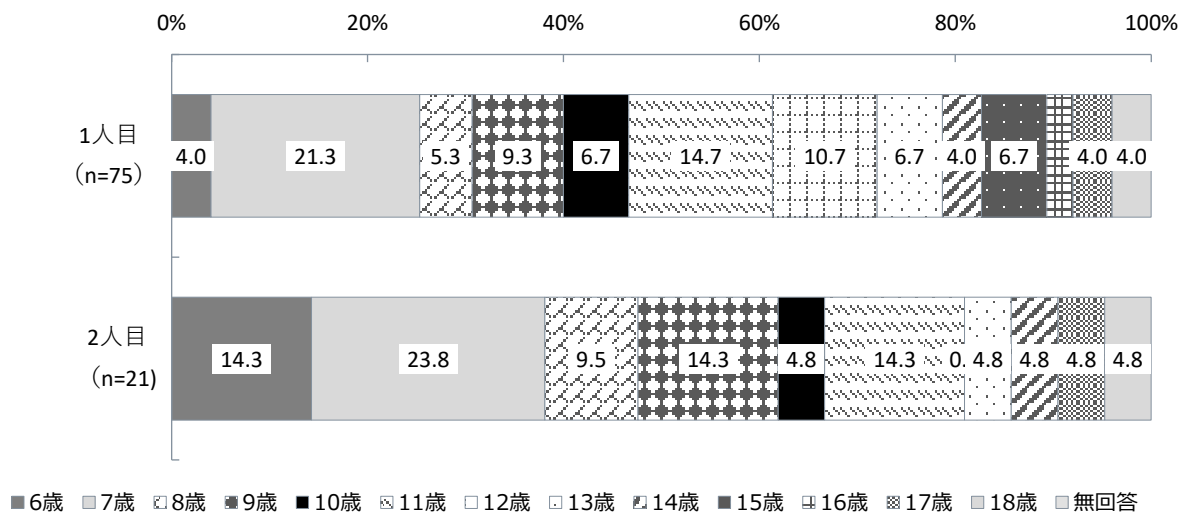
(36) 子どもについて

※件数が少ないため、3人目以降については記載していない。

① 年齢

1人目、2人目ともに、年齢は、「7歳」が最も高い。

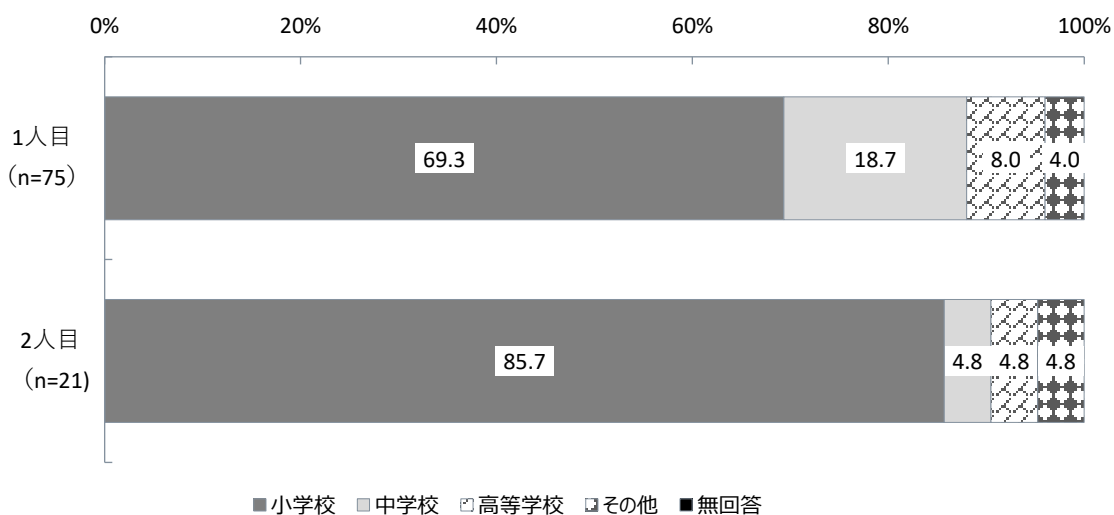
図表 46 年齢



② 学校の種類

1人目、2人目とも、「小学校」の割合が最も高い。

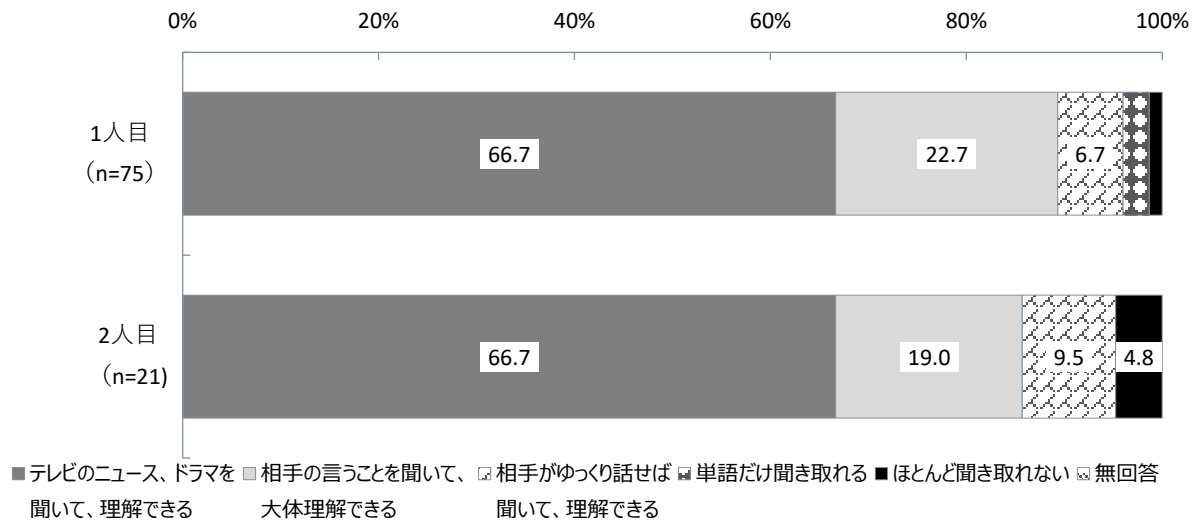
図表 47 学校の種類



③ 聞くことについて

1人目と2人目で大きく傾向は変わらず、約80%が日本語を聞いて概ね理解できている状況である。

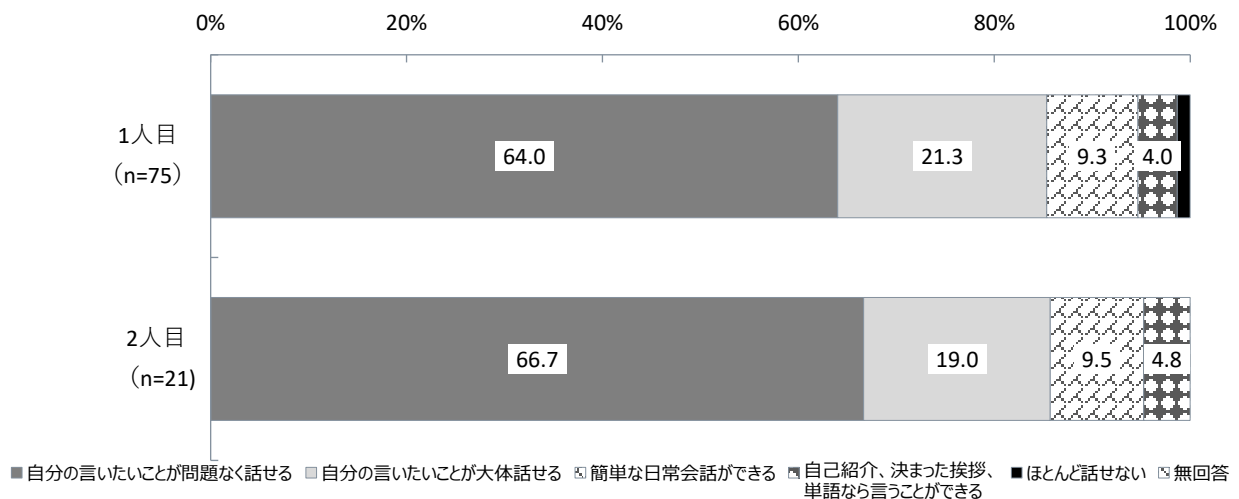
図表 48 聞くことについて



④ 話すことについて

1人目と2人目で大きく傾向は変わらず、約85%が日本語を概ね話すことができている状況である。

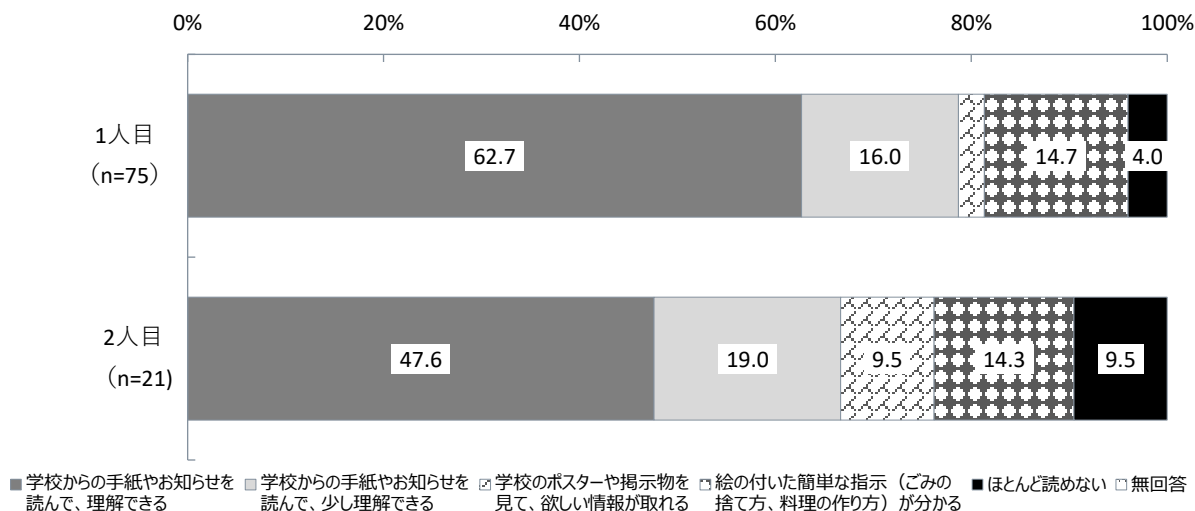
図表 49 話すことについて



⑤ 読むことについて

1人目は約80%が概ね日本語を読むことができているが、2人目では概ね日本語を読むことができている人は約70%となっている。

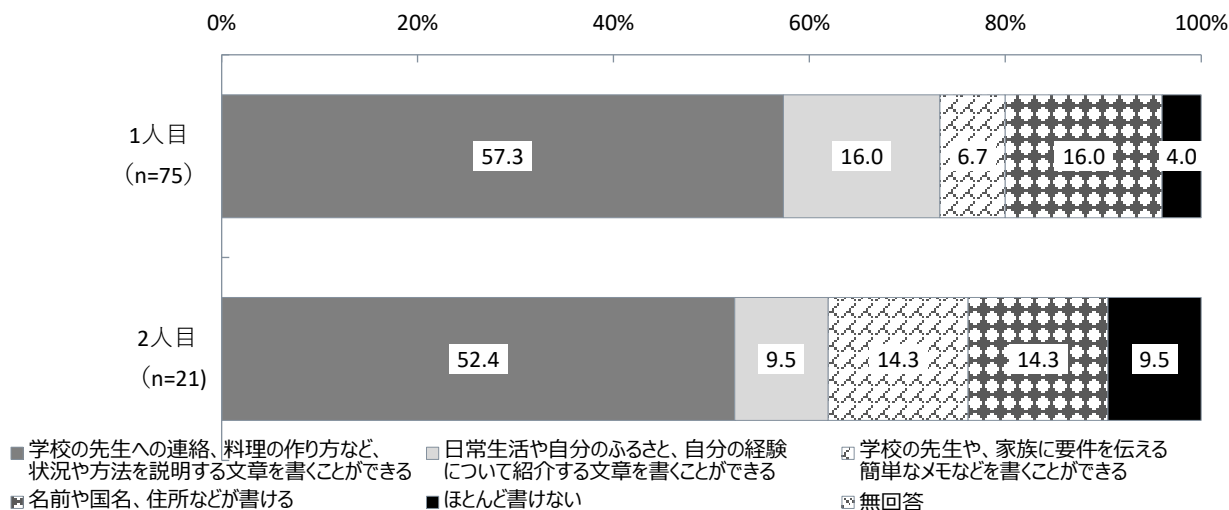
図表 50 読むことについて



⑥ 書くことについて

1人目では概ね日本語を書くことができている人は約70%であるが、2人目では概ね日本語を書くことができている人は約60%となっている。

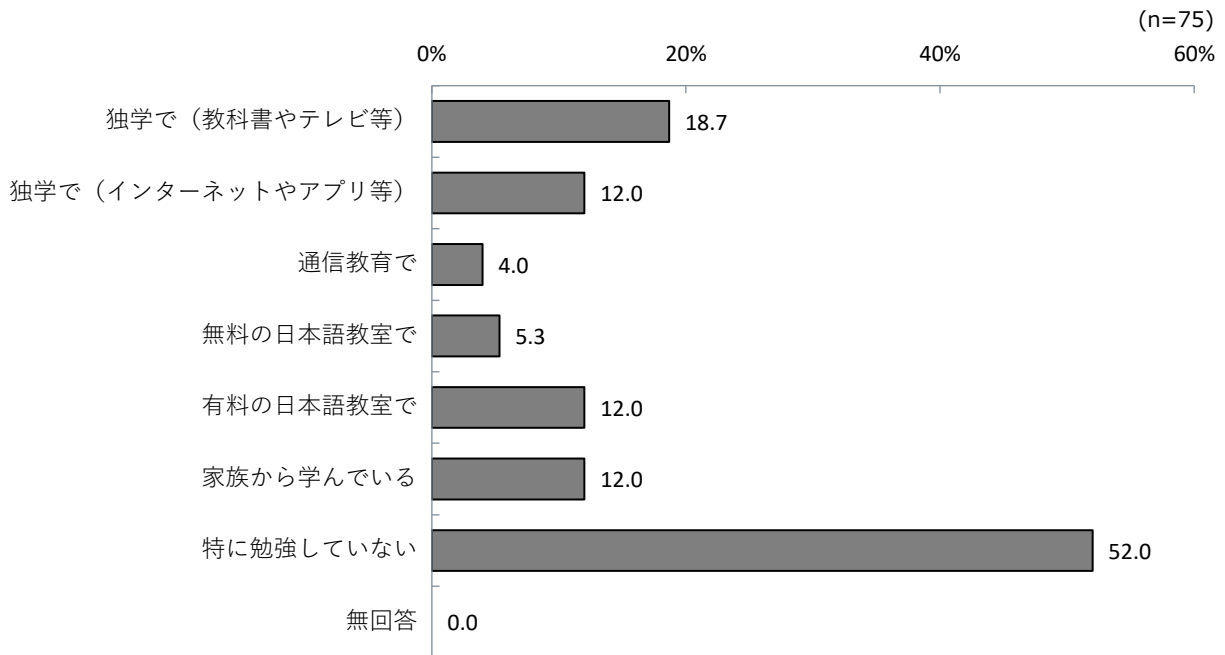
図表 51 書くことについて



(37) 学校以外での日本語学習

同居している小学生以上の子どもがいる人に、子どもの学校以外での日本語学習について聞いたところ、「特に勉強していない」が52.0%と最も高くなっている。それ以外では、「独学で（教科書やテレビ等）」が18.7%と最も高くなっている。

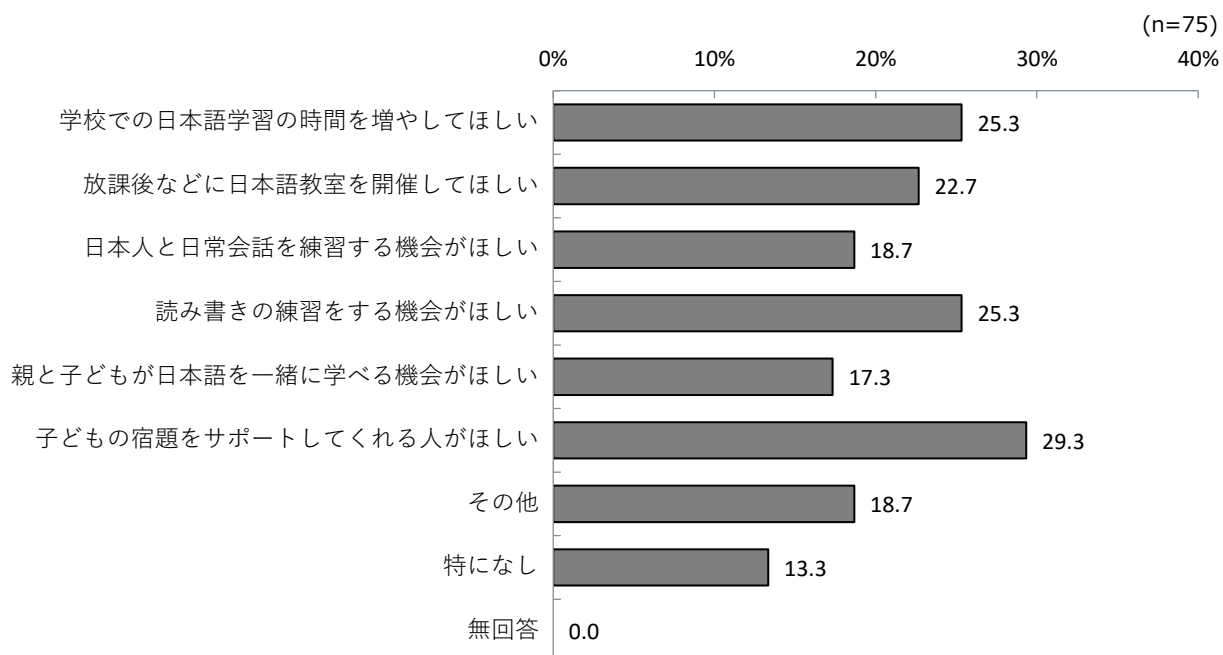
図表 52 学校以外での日本語学習〔複数回答〕



(38) 子どもの日本語学習で支援してほしいこと

同居している小学生以上の子どもがいる人に、子どもの日本語学習で支援してほしいことを聞いたところ、「子どもの宿題をサポートしてくれる人がほしい」が 29.3%と最も高く、次いで、「学校での日本語学習の時間を増やしてほしい」、「読み書きの練習をする機会がほしい」が 25.3%となっている。

図表 53 子どもの日本語学習で支援してほしいこと〔複数回答〕



3. ヒアリング調査概要

(1) 調査対象

アンケートでヒアリングに協力可能と回答いただいた方の中から、在留資格、在日期间、識字・日本語教室の学習経験等を踏まえて候補者を選定し、最終的に4名の方に協力いただいた。参加者の概要は以下のとおりである。

	国籍	在留資格	在日期间	識字・日本語教室での学習経験
Aさん	中国	永住者	20年	有
Bさん	中国	留学	5年	無
Cさん	中国	技術・人文知識・国際業務	1年	有
Dさん	ベトナム	技能実習	4年	無

(2) 調査方法

オンラインにて、グループインタビューを行った。インタビューにあたってはやさしい日本語を使用した。

(3) 調査時期

令和4年2月4日（土）

4. ヒアリング調査結果

(1) 来日前の日本語学習

- ・ 来日前はあまり日本語を勉強しておらず、「あいうえお」が分かる程度だった。(Aさん)
- ・ 来日半年前にインターネットを使って独学で日本語を学んだ程度である。(Bさん)
- ・ 日本に来る前に、中国の大学で4年間日本語を学んだ。4年生の時は、オンラインで日本人と1対1で勉強した。(Cさん)
- ・ 研修センターで半年間日本語を学んだ。(Dさん)

(2) 来日初期の困りごと、困ったときの相談相手

① 困りごと

(Aさん)

- ・ 来日初期は電車に乗ることができなかった。今は中国語表記もあることが多いが、当時はなく、電車に乗るときは、メモに漢字で降りる駅を書いて、周りの人に見せたり、ジェスチャーで伝えたりしていた。
- ・ 買い物をするときに困った。中国と食文化が違うので、日本の食材をどのように調理したらよいか分からなかった。

(Bさん)

- ・ 銀行口座の開設、住まい探し、電気・ガス・水道の開設など、生活に関するあらゆることで困った。訪問販売が来て、よくわからずに受け取ってしまったことがある。
- ・ 日本語学校で1年間日本語を学んだ後、大学に進学したが、関西弁がわからず、困った。日本語ができるようになったと思っていたのに、がっかりした。

(Cさん)

- ・ 中国の大学で日本語を勉強していたが、最初は電話対応や敬語など、ビジネス日本語ができず、仕事が全然うまくいかなかった。

(Dさん)

- ・ 日本語がわからず仕事で困っている。

② 相談相手

(Aさん)

- ・ 困ったときは、アルバイト先の中国人の先輩に相談していた。

(Bさん)

- ・ 困ったときは、中国人留学生向けの情報サイトで調べたり、Google 翻訳を使って調べたりした。日本人学校の先生も丁寧に教えてくれた。

(Cさん)

- ・ 役所に行ったときに、「暮らしサポート窓口」という名前の窓口を見つけて、生活の相談にのってくれるところだろうと思い、相談に行った。その他、会社の先輩がやさしく、困ったときは相談している。

(Dさん)

- ・ 辞書で調べたり、会社の先輩に聞いたりしている。監理団体にベトナム語の分かる人がいるが、会社の先輩がやさしいので、監理団体に相談することはあまりない。

(3) 来日初期の日本語の学習方法

(Aさん)

- ・ 理系の大学進学を目指して日本語学校で日本語を勉強していたが、日本語学校の勉強だけでは足りず、専門学校に進学した。専門学校の授業は、一方通行であまり理解ができなかった。
- ・ 区役所で日本語教室のチラシをみて、週 1 回か 2 週間に 1 回日本語教室に通っていた。1 年ほど通った。

(Bさん)

- ・ 大学進学を目指して、日本語学校で 1 年間日本語を勉強した。大学入試のためには、日本語の勉強が足りないと思ったので、日本人の家庭教師に教えてもらった。日本語学校でも面接や小論文の対策はあるが、時間が限られている。

(Cさん)

- ・ 大阪国際交流センターの日本語教室や吹田市国際交流協会のオンライン教室、大阪市内の複数の日本語教室に通っているほか、自分で探した日本語教師2人に教えてもらっている。
- ・ マンションの入り口で、大阪国際交流センターの外国人相談窓口の案内を見つけて、大阪国際交流センターに行ったところ、当センターの日本語教室や吹田市の日本語教室のチラシがあり、その存在を知った。それ以外の日本語教室は、大阪国際交流センターの日本語教室で出会った人に教えてもらったり、インターネットで調べたりして見つけた。

(Dさん)

- ・ 仕事が忙しく、来日して1年程は日本語を勉強できていなかった。最近は、毎日仕事が終わった後に1時間ほど本やインターネットを使って独学で勉強している。その他、分からない言葉は会社の先輩に聞いて覚えている。

(4) 日本語レベルが高い人の現在の困りごと

(Aさん)

- ・ 職場など日本人同士の会話はスピードが速いので、会話についていくのが難しい。仕事の話であれば分かるが、日本のドラマや歌などの日本文化に関する話のときは困ることが多い。
- ・ PTAや近所の人と話すときも、どのような話題がでてくるのか分からないので、話をするときはとても緊張する。
- ・ カタカナの言葉は苦手である。例えば、インフルエンザが最初は分からなかった。特に新しいカタカナの言葉は苦手である。

(Cさん)

- ・ 日本文化をもっと知りたい。例えば、野球のことが分からなかった。
- ・ 若者文化や若者言葉が分からない。日本人の若者とは壁があるように感じている。

(5) 日本語レベルが高い人の現在の日本語の学習方法

(Aさん)

- ・ アプリで日本語の単語や文法を勉強している。日本語能力試験向けのアプリである。

(Bさん)

- ・ 今はあまり日本語を勉強しているという意識はない。大学院の勉強の中で日本語を使っている。

(Cさん)

- ・ 仕事の場面で分からなかった言葉は、その時に聞くようにしている。同じ言葉でも場面によって意味が異なってくる。

(6) 読み書きで困ったこと

(Bさん)

- ・ 役所からもらった書類は分からないことが多い。

(Cさん)

- ・ 年金、健康保険、年末調整の書類などは何度みても難しい。国際交流センターに相談に行っている。

(Dさん)

- ・ 書くことは難しい。毎日、仕事の終わりに日報を書いており、それを先輩に直してもらっている。
- ・ 読み書きは1人で勉強できないので、勉強したい。もっと日本語を読めるようになって、いろいろなことを知りたい。

(7) 学びたい日本語、希望する学習方法

① 学びたい日本語

(Aさん)

- ・ 難しい日本語でなくてよいので、日常会話を練習できる場があるといい。

(Bさん)

- ・ 日本語の基礎は日本語学校で教えてもらったので、学んだ日本語を使う場面があるといい。日本人と交流できる場があるといい。大学の授業もオンラインなので、日本人と話す機会が少ない。
- ・ 演劇を学んでいるが、演劇では互いにコミュニケーションをとることが多く、ジェスチャーで伝わることも多い。演劇やダンスなどを通じて、日本語を学べる機会があるといい。

(Cさん)

- ・ 同じ年代の若い人と会話する機会がほしい。
- ・ ハイキングや美術館、博物館などに行って学ぶ機会があるといい。

② 希望する学習方法

(Aさん)

- ・ 勤務先が市外なので平日は時間がとりにくい。オンラインの日本語教室があれば参加したい。妻も日本語教室に通っていたが、参加する時間がなかなかとれず、参加したくても参加できなかった。オンラインであれば、移動時間がかからないので、参加しやすい。

(Bさん)

- ・ 対面でもオンラインでも構わない。

(Cさん)

- ・ 対面、オンラインどちらもメリット、デメリットがある。対面だと表情やジェスチャーで伝えることができるという点ではよいし、オンラインだとコロナ感染者の対策という点ではよい。

(Dさん)

- ・ オンライン授業があったら絶対に参加したい。インターネットでは質問ができない。残業があるので、平日の夜8時からか、土日がよい。

(8) 識字・日本語教室のよいところ、改善してほしいこと

① よかったこと

(Aさん)

- ・ 1対1で話すことができ、日本語の会話がとても上達した。日本語を話す自信もついた。また、相談にもよくのってもらい、聞きたいことを全部相談していた。

② 改善してほしいこと

(Aさん)

- ・ 当時、日本語教室の数が少なく、遠くの日本語教室まで通っていた。電車代を出す余裕がなかったので、バイクで30分かけて通っていた。遠い教室に通っていたので、アルバイトやさまざまな用事で行けないことも多かった。

(Cさん)

- ・ 外国人に日本語教室をあることをもっと知らせてほしい。
- ・ 日本語教師は外国人に教える方法を知っているが、ボランティアはそうではない。ボランティアは別の表現などを教えてくれない。
- ・ ボランティアは40代、50代などが多く、若者文化、若者言葉を教えてもらえない。若者と会話する機会がほしい。
- ・ 友人の話だが、1対2で日本語を教えてもらったが、1人の外国人の日本語レベルが低く、上級者にとっては勉強にならなかったとのことである。

(9) 識字・日本語教室を知ってもらうための方法

(Aさん)

- ・ 日本語教室を知る方法として、区役所のチラシか友人からの紹介くらいしかなかったのですが、日本語教室のスケジュールや学習内容などを記載したアプリがあるといい。日本語教室のアプリがあれば、ダウンロードして、日本語教室を調べることができる。

(Bさん)

- ・ Instagramはみているので、Instagramで宣伝してもらえればみるかもしれない。
- ・ 区役所に手続きに行った際に、チラシを渡してもらうのもよいと思う。

(Cさん)

- ・ 外国人の多いマンションに案内を配ったり、外国人の働いている会社に宣伝したりするのがよい。

(Dさん)

- ・ 外国人の働いている会社にチラシを配るのがいいと思う。

(10) 子どもの日本語学習、支援してほしいこと

① 子どもの日本語学習

(Aさん)

- ・ 子どもが来日時、日本語が話せなかったのですが、小学校に日本語の先生が週1回来てくれたが、1年間だけだった。特に社会と国語が苦手で、現在は塾に行かせて国語を勉強させている。自分も正しい日本語を使えているか分からないので、子どもに日本語を教えるのは難しい。
- ・ 保護者は算数であれば教えられるが、社会などその他の教科を教えることは難しい。教科書に書いてある内容は分かるが、教科書に載っていない内容は分からない。子どもに質問された際には、スマホで調べて答えているが、毎回するのは手間である。

② 支援してほしいこと

(Aさん)

- ・ 学校で日本語を学べる期間が 1 年間だけでは少ないので、もっと増やしてほしい。また、他の子どもが体育や図工の時間に、外国人の子どもが日本語を学ぶ形となっているが、外国人の子どもとしては他の子どもと一緒に授業に受けたいという思いがあるので、放課後などに日本語を勉強できる形にしてくれるとありがたい。
- ・ 学校以外に日本語を学べるところがないので、子どもの日本語教室があるといい。時間帯としては仕事のある保護者でも送迎ができる土日か、平日の夜がよい。
- ・ 未就学の子どもがおり、1 人で家に置いておくわけに行かないので、できれば未就学の子どもも連れていける場所だとよい。

IV. 識字・日本語教室調査

1. アンケート調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、本市における今後の日本語の学習環境の検討に向けた基礎データを得ることを目的に、実態やニーズについて把握するために実施した。

(2) 調査対象

本市に立地する大阪市の運営する識字・日本語教室、民間等が実施する日本語教室

(3) 調査方法

大阪市の運営する識字・日本語教室は大阪市を通じて配布、その他は郵送により調査票を配布し、いずれも郵送で回収した。

(4) 調査時期

令和3年11月16日(火)～12月10日(金)

(5) 回収状況

発送数	回収数	回収率
49件	47件	95.9%

(6) 調査結果の表示方法

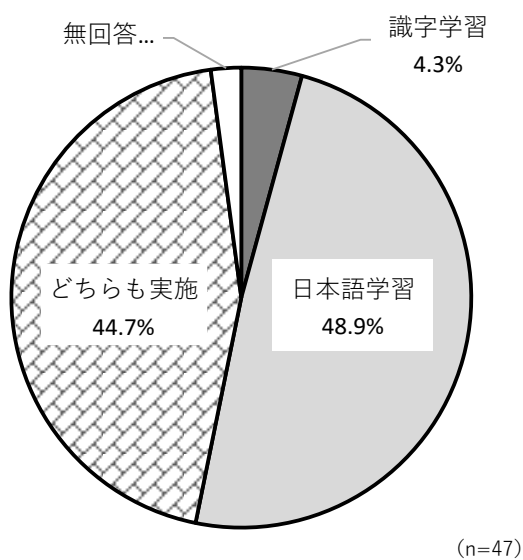
- ・ 設問ごとの集計母数はグラフ中に (n = ○○) と表記。
- ・ 集計結果の百分率 (%) は、小数点第2位を四捨五入した値を表記している。このため、回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が 100.0%にならない場合がある。
- ・ 複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めている。そのため、構成比率の合計は通常 100.0%とならない。

1. アンケート調査結果

(1) 教室で実施している学習

教室で実施している学習は、「日本語学習」のみが 48.9%と最も高く、次いで「どちらも実施」が 44.7%となっている。

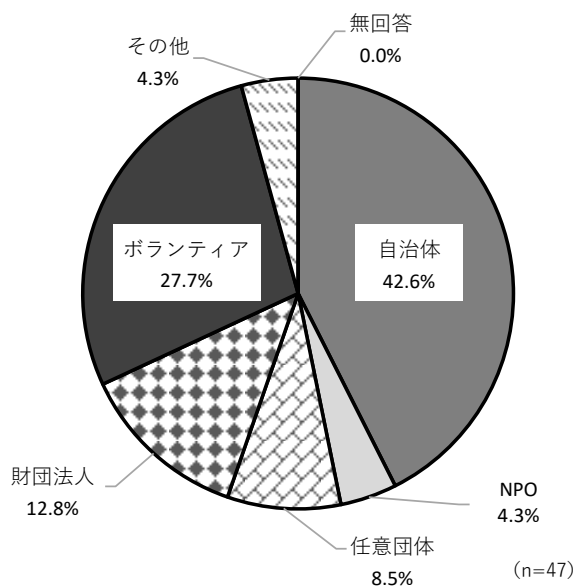
図表 54 教室で実施している学習



(2) 教室の運営主体

教室の運営主体は、「自治体」が42.6%と最も高く、次いで「ボランティア」が27.7%となっている。

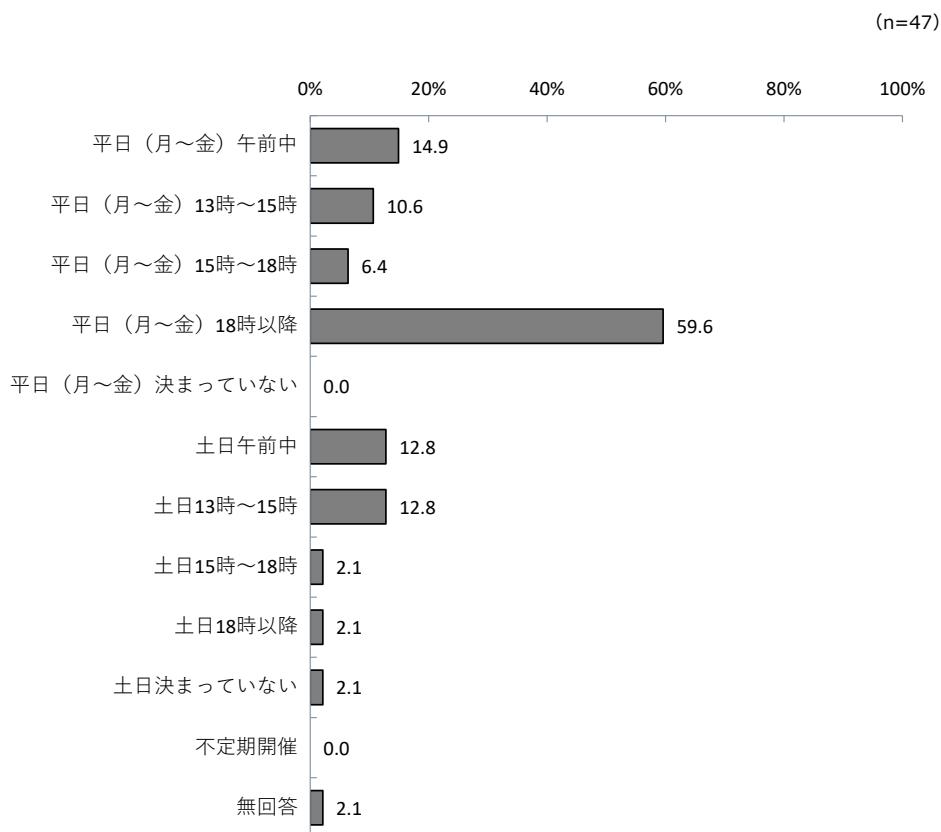
図表 55 教室の運営主体



(3) 教室の開催日と時間帯

教室の開催日・時間帯は、「平日（月～金）18時以降」が59.6%と最も高くなっている。そのほかでは、「平日（月～金）午前中」が14.9%、「土日午前中」「土日13時～15時」がいずれも12.8%であった。

図表 56 教室の開催日・時間帯〔複数回答〕

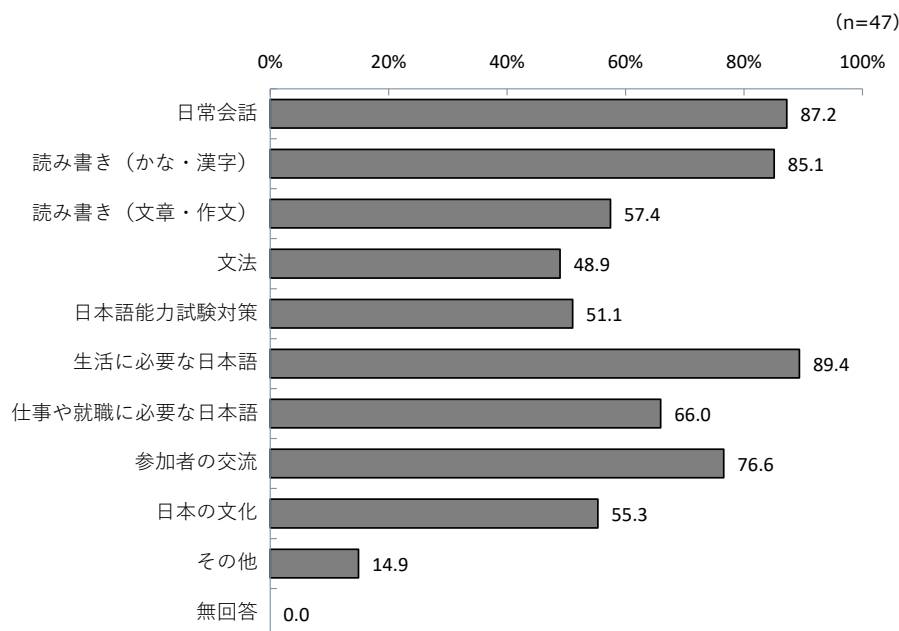


(4) 教室の学習内容

教室の学習内容は、「生活に必要な日本語」(89.4%)、「日常会話」(87.2%)、「読み書き(かな・漢字)」(85.1%)が高くなっている。

実施している学習別にみると、識字学習を行っている教室、識字・日本語学習どちらも実施している教室では、回答したすべての教室で「読み書き(かな・漢字)」を実施している。

図表 57 教室の学習内容〔複数回答〕



上段：件数、下段：%

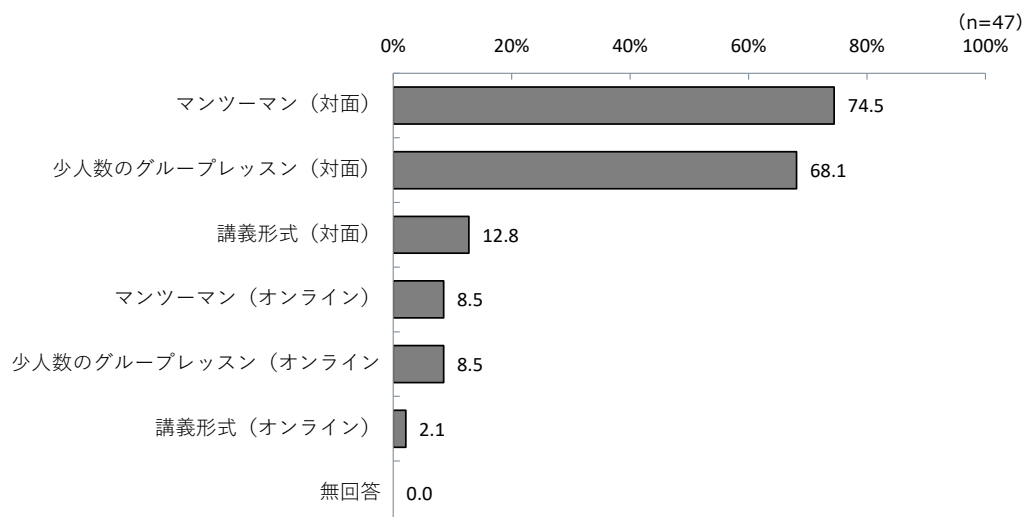
		回答数	日常会話	読み書き (かな・漢字)	読み書き (文章・作文)	文法	日本語能力 試験対策	生活に必要な 日本語	仕事や就職に 必要な日本語	参加者の交流
全体		47	41	40	27	23	24	42	31	36
		100.0	87.2	85.1	57.4	48.9	51.1	89.4	66.0	76.6
実施して いる学習	識字学習	2	1	2	2	0	1	1	0	2
		100.0	50.0	100.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
	日本語学習	23	19	16	11	14	15	21	16	15
		100.0	82.6	69.6	47.8	60.9	65.2	91.3	69.6	65.2
	どちらも実施	21	20	21	14	9	8	19	15	18
		100.0	95.2	100.0	66.7	42.9	38.1	90.5	71.4	85.7

(5) 教室での学習形態

教室の学習形態は、「マンツーマン（対面）」が74.5%と最も高く、次いで「少人数のグループレッスン（対面）」が68.1%となっている。

実施している学習別にみると、日本語学習のみを実施している教室の方が、オンラインで実施している割合が高くなっている。

図表 58 教室での学習形態〔複数回答〕



上段：件数、下段：%

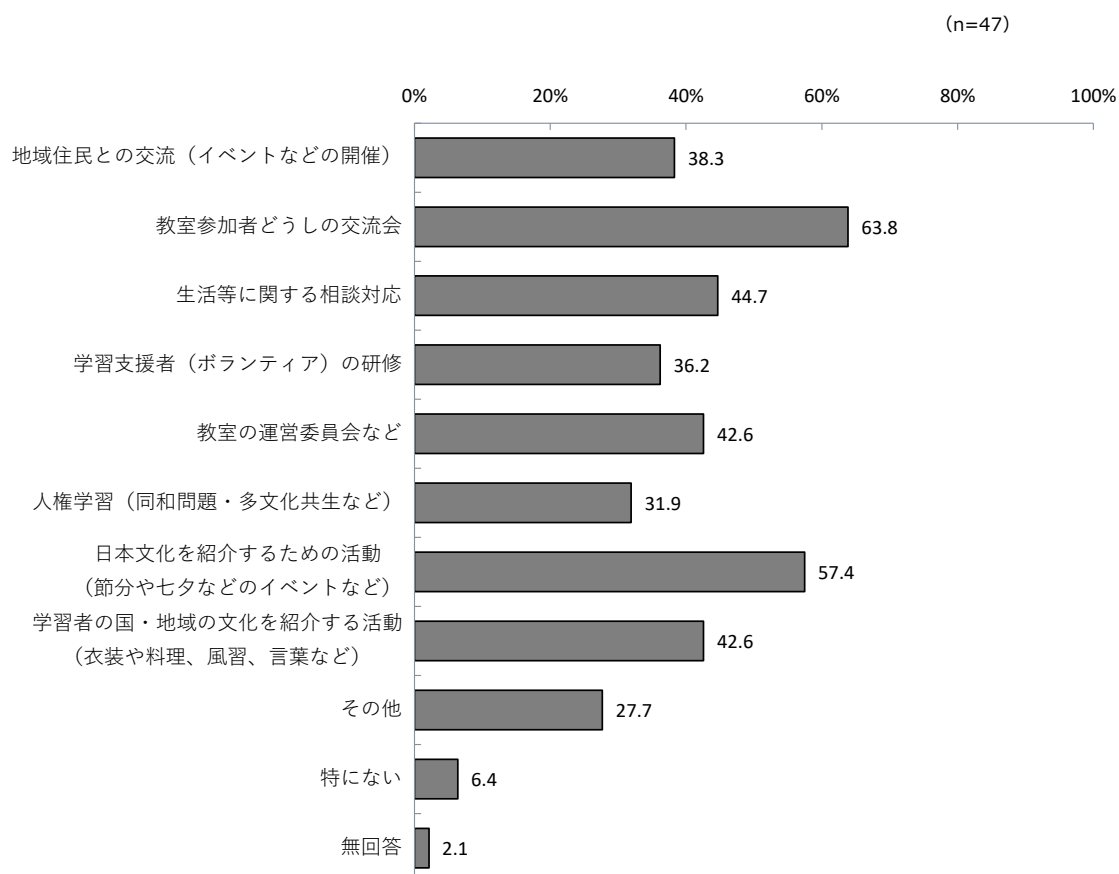
		合計	マンツーマン（対面）	少人数のグループレッスン（対面）	講義形式（対面）	マンツーマン（オンライン）	少人数のグループレッスン（オンライン）	講義形式（オンライン）	無回答
全体		47	35	32	6	4	4	1	0
		100.0	74.5	68.1	12.8	8.5	8.5	2.1	0.0
実施している学習	識字学習	2	1	1	1	0	0	0	0
		100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本語学習	23	17	13	3	4	3	1	0
		100.0	73.9	56.5	13.0	17.4	13.0	4.3	0.0
	どちらも実施	21	16	17	2	0	1	0	0
		100.0	76.2	81.0	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0

(6) 過去3年程度において、教室で識字・日本語学習以外で実施した活動

過去3年程度において、教室で識字・日本語学習以外で実施した活動は、「教室参加者どうしの交流会」が63.8%と最も高く、次いで「日本文化を紹介するための活動（節分や七夕などのイベントなど）」が57.4%となっている。

実施している学習別にみると、識字学習を行っている教室、識字・日本語学習どちらも実施している教室では、日本語学習のみを実施している教室に比べて、「人権学習（同和問題・多文化共生など）」を実施する割合が高くなっている。

図表 59 過去3年程度において、教室で識字・日本語学習以外で実施した活動〔複数回答〕



〈その他〉

社会見学、防災学習、差別体験の共有 など

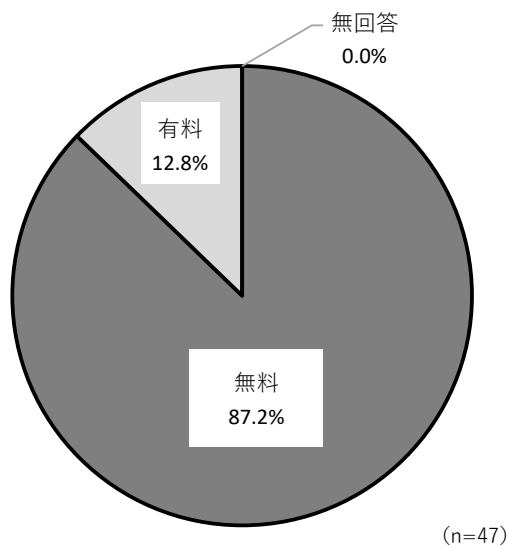
		回答数	地域住民との交流 (イベントなどの開催)	教室参加者どうしの交流会	生活等に関する相談対応	学習支援者(ボランティア)の研修	教室の運営委員会など	人権学習(同和問題・多文化共生など)	日本文化を紹介するための活動 (節分や七夕などのイベントなど)	学習者の国・地域の文化を紹介する活 動(衣装や料理、風習、言葉など)
全体		47 100.0	18 38.3	30 63.8	21 44.7	17 36.2	20 42.6	15 31.9	27 57.4	20 42.6
実施して いる学習	識字学習	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0
	日本語学習	23 100.0	8 34.8	17 73.9	10 43.5	6 26.1	7 30.4	4 17.4	14 60.9	9 39.1
	どちらも実施	21 100.0	9 42.9	12 57.1	8 38.1	9 42.9	13 61.9	9 42.9	11 52.4	10 47.6

		回答数	その他	特 に な い	無 回 答
全体		47 100.0	13 27.7	3 6.4	1 2.1
実施して いる学習	識字学習	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	日本語学習	23 100.0	4 17.4	2 8.7	0 0.0
	どちらも実施	21 100.0	7 33.3	1 4.8	1 4.8

(7) 教室の受講費用

教室の受講費用は、「無料」が87.2%とほとんどを占めている。

図表 60 教室の受講費用

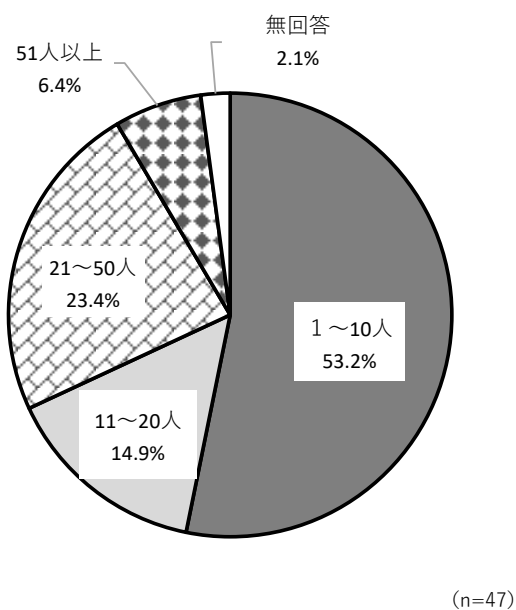


(8) 現在、教室に在籍している学習者について

① 学習者数の合計

学習者数は、「1～10人」が53.2%と最も高く、次いで、「21～50人」が23.4%となっている。平均は、20.4人である。

図表 61 学習者数の合計



② 国籍別の人数

国籍別では、全体で中国が平均 6.62 人と最も高く、次いでベトナムが平均 3.36 人となっている。

実施している学習別では、識字を実施している教室では、ベトナムが平均で 6.50 人と最も多く、次いで日本が 5.50 人となっている。日本語学習のみを実施している教室では、中国が平均で 8.70 人と最も多く、次いでベトナムが 3.23 人となっている。どちらも実施している教室では、中国が 4.89 人と最も多く、次いで韓国・朝鮮が 3.90 人となっている。

図表 62 国籍別・実施している学習別の人数 (n=47)

国籍		識字 (n=2)	日本語学習 (n=23)	どちらも実施 (n=21)	無回答 (n=1)	合計
日本	合計 (人)	11	2	59	2	74
	平均 (人)	5.5	0.10	2.95	2.00	1.68
韓国・朝鮮	合計 (人)	0	29	78	1	108
	平均 (人)	0	1.32	3.90	1.00	2.40
中国	合計 (人)	3	200	93	2	298
	平均 (人)	1.5	8.70	4.89	2.00	6.62
ベトナム	合計 (人)	13	71	63	1	148
	平均 (人)	6.5	3.23	3.32	1.00	3.36
フィリピン	合計 (人)	0	59	15	0	74
	平均 (人)	0.00	2.57	0.79	0.00	1.64
ネパール	合計 (人)	0	11	10	0	21
	平均 (人)	0.00	0.48	0.53	0.00	0.47
アメリカ	合計 (人)	0	8	6	0	14
	平均 (人)	0.00	0.36	0.32	0.00	0.32
インドネシア	合計 (人)	0	11	5	0	16
	平均 (人)	0.00	0.50	0.25	0.00	0.36
タイ	合計 (人)	0	13	8	0	21
	平均 (人)	0.00	0.59	0.42	0.00	0.48
ブラジル	合計 (人)	0	7	0	0	7
	平均 (人)	0.00	0.32	0.00	0.00	0.16
インド	合計 (人)	0	4	8	0	12
	平均 (人)	0.00	0.18	0.42	0.00	0.27
その他	合計 (人)	0	67	65	1	133
	平均 (人)	0.00	2.91	3.42	1	2.96
不明	合計 (人)	0	11	1	0	12
	平均 (人)	0.00	0.48	0.05	0.00	0.26

※平均は無回答を除いている

③ 年齢別の人数

年齢別では、全体で 30 代が平均 5.49 人と最も高く、次いで 20 代が平均 3.91 人、60 代以上が平均 3.39 人となっている。ただし、年齢が不明の人数も多い。

実施している学習別では、識字を実施している教室では、20 代が平均で 6.00 人と最も多く、次いで 30 代が 4.00 人となっている。日本語学習のみを実施している教室では、30 代が平均で 6.45 人と最も多く、次いで 20 代が 4.14 人となっている。どちらも実施している教室では、60 代以上が 6.42 人と最も多く、次いで 30 代が 4.38 人となっている。

図表 63 年齢別・実施している学習別の人数 (n=47)

年齢		識字 (n=2)	日本語学習 (n=23)	どちらも実施 (n=21)	無回答 (n=1)	合計
16 歳未満	合計 (人)	0	54	6	0	60
	平均 (人)	0.00	2.70	0.33	0.00	1.46
16~19 歳	合計 (人)	0	18	2	0	20
	平均 (人)	0.00	0.90	0.12	0.00	0.50
20 代	合計 (人)	12	91	65	0	168
	平均 (人)	6.00	4.14	3.61	0.00	3.91
30 代	合計 (人)	8	142	70	5	225
	平均 (人)	4.00	6.45	4.38	5.00	5.49
40 代	合計 (人)	0	77	37	1	115
	平均 (人)	0.00	3.67	2.31	1.00	2.88
50 代	合計 (人)	0	18	26	0	44
	平均 (人)	0.00	0.90	1.73	0.00	1.16
60 代以上	合計 (人)	7	10	121	1	139
	平均 (人)	3.50	0.50	6.72	1.00	3.39
不明	合計 (人)	0	84	73	0	157
	平均 (人)	0.00	3.65	3.84	0.00	3.49

※平均は無回答を除いている

④ 在留資格別の人数

在留資格別では、全体で在留資格が不明、その他である人数が多いが、それ以外では技能実習が平均 3.26 人と最も高く、次いで日本人が平均 3.00 人となっている。

実施している学習別では、識字を実施している教室では、日本人が平均で 5.50 人と最も多く、次いで技能実習が 4.00 人となっている。日本語学習のみを実施している教室では、その他、不明が多いが、それ以外では技能実習が平均で 4.50 人と最も多い。どちらも実施している教室では、不明が多いが、それ以外では、日本人が 4.20 人となっている。

図表 64 在留資格別・実施している学習別の人数 (n=47)

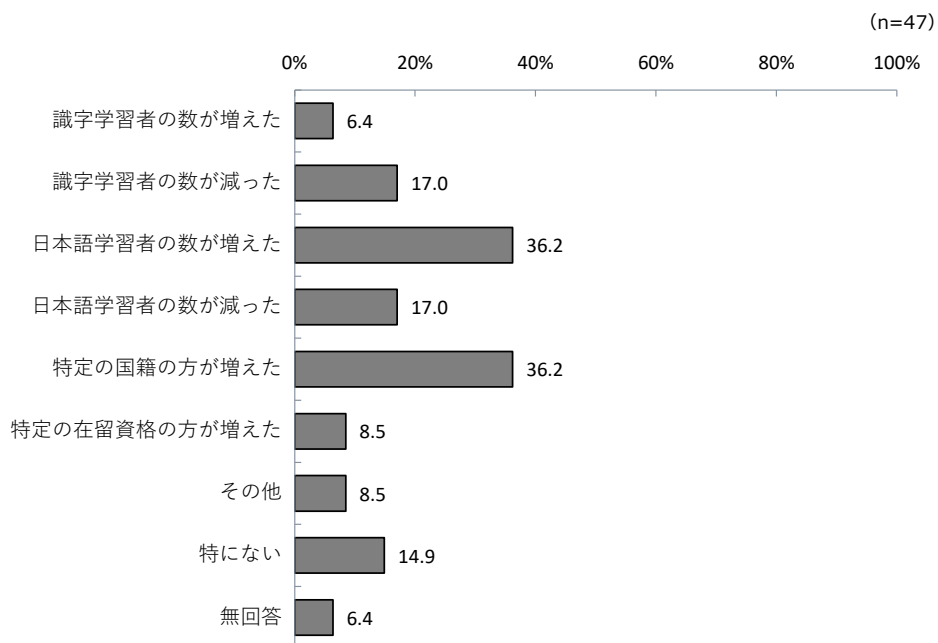
在留資格		識字 (n=2)	日本語学習 (n=23)	どちらも実施 (n=21)	無回答 (n=1)	合計
日本人	合計 (人)	11	4	42	0	57
	平均 (人)	5.50	0.57	4.20	0.00	3.00
特別永住者	合計 (人)	0	2	0	0	2
	平均 (人)	0.00	0.33	0.00	0.00	0.15
留学	合計 (人)	1	5	5	0	11
	平均 (人)	0.50	0.83	0.71	0.00	0.73
技能実習	合計 (人)	8	45	9	0	62
	平均 (人)	4.00	4.50	1.29	0.00	3.26
定住者	合計 (人)	0	30	13	0	43
	平均 (人)	0.00	3.00	1.86	0.00	2.26
日本人の 配偶者等	合計 (人)	0	35	8	0	43
	平均 (人)	0.00	3.50	0.89	0.00	2.05
家族滞在	合計 (人)	2	11	7	0	20
	平均 (人)	1.00	1.57	1.17	0.00	1.33
技術・人文知 識・国際業務	合計 (人)	5	3	3	0	11
	平均 (人)	2.50	0.50	0.50	0.00	0.79
特定技能	合計 (人)	0	10	1	0	11
	平均 (人)	0.00	1.43	0.20	0.00	0.79
技能	合計 (人)	0	7	0	0	7
	平均 (人)	0.00	1.17	0.00	0.00	0.54
特定活動	合計 (人)	0	2	0	0	2
	平均 (人)	0.00	0.33	0.00	0.00	0.15
永住者の 配偶者等	合計 (人)	0	2	3	0	5
	平均 (人)	0.00	0.33	0.50	0.00	0.36
その他	合計 (人)	0	86	3	0	89
	平均 (人)	0.00	14.33	0.50	0.00	6.36
不明	合計 (人)	0	176	240	7	423
	平均 (人)	0.00	9.78	16.00	7.00	11.75

※平均は無回答を除いている

(9) ここ5年程度において、教室に参加する学習者の変化

ここ5年程度において、教室に参加する学習者の変化をみると、「日本語学習者の数が増えた」、「特定の国籍の方が増えた」がいずれも36.2%と高くなっている。

図表 65 ここ5年程度において、教室に参加する学習者の変化〔複数回答〕



〈増えた学習者の国籍〉

中国、ベトナム、ネパール、インドネシア、モンゴル、フィリピン

〈増えた在留資格〉

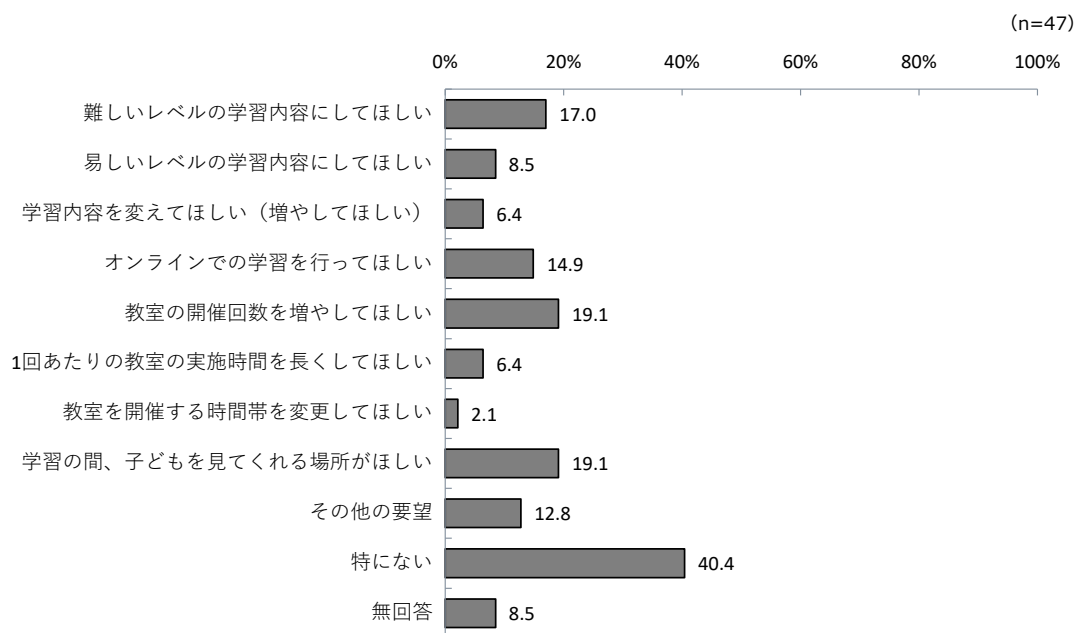
特定技能、技能実習、ビジネス関係者とその家族

(10) 教室に通う学習者からの要望

教室に通う学習者からの要望は、「特にない」が40.4%と最も高くなっている。それ以外では、「教室の回数を増やしてほしい」(19.1%)、「学習の間、子どもを見てくれる場所がほしい」(19.1%)、「難しいレベルの学習内容にしてほしい」(17.0%)が高くなっている。

実施している学習別にみると、日本語学習のみを実施している教室の方が「学習の間、子どもを見てくれる場所がほしい」の割合がやや高い。

図表 66 教室に通う学習者からの要望〔複数回答〕



〈その他〉

- ・オンライン実施だが、対面希望の学習者もいる
- ・広い場所での実施を希望
- ・日本語検定試験の学習がしたい
- ・テキストの種類、数を増やしてほしい
- ・漢字の学習希望者が増加
- ・日々のこと、悩み等を話し合いたい など

上段：件数、下段：%

		回答数	難しいレベルの学習内容にしてほしい	易しいレベルの学習内容にしてほしい	学習内容を変えてほしい(増やしてほしい)	オンラインでの学習を行ってほしい	教室の開催回数を増やしてほしい	一回あたりの教室の実施時間を長くしてほしい	教室を開催する時間帯を変更してほしい	学習の間、子どもを見てくれる場所がほしい
全体		47	8	4	3	7	9	3	1	9
		100.0	17.0	8.5	6.4	14.9	19.1	6.4	2.1	19.1
実施している学習	識字学習	2	0	0	0	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本語学習	23	4	1	2	4	5	1	0	7
		100.0	17.4	4.3	8.7	17.4	21.7	4.3	0.0	30.4
	どちらも実施	21	4	3	1	2	4	2	1	2
		100.0	19.0	14.3	4.8	9.5	19.0	9.5	4.8	9.5

		回答数	その他の要望	特にない	無回答
全体		47	6	19	4
		100.0	12.8	40.4	8.5
実施している学習	識字学習	2	1	0	0
		100.0	50.0	0.0	0.0
	日本語学習	23	3	9	1
		100.0	13.0	39.1	4.3
	どちらも実施	21	2	9	3
		100.0	9.5	42.9	14.3

(11) 学習支援者（ボランティア）の登録数および、活動人数

学習支援者（ボランティア）の登録人数は1教室の平均で13.8人、活動人数は1教室の平均で10.4人である。学習支援者（ボランティア）（活動人数）1人あたりの学習者数は、1教室の平均で1.7人となっている。

図表 67 学習支援者（ボランティア）の登録数および、活動人数規模別の教室の割合（n=47）
 (%) (人)

	0人	1~5人	6~10人	11~20人	21人以上	無回答	平均
登録人数	4.3	19.1	29.8	21.3	19.1	6.4	13.8
活動人数	4.3	31.9	29.8	21.3	10.6	2.1	10.4

※平均は無回答を除いている

図表 68 学習支援者（ボランティア）（活動人数）1人あたりの学習者数別の教室の割合（n=47）
 (%) (人)

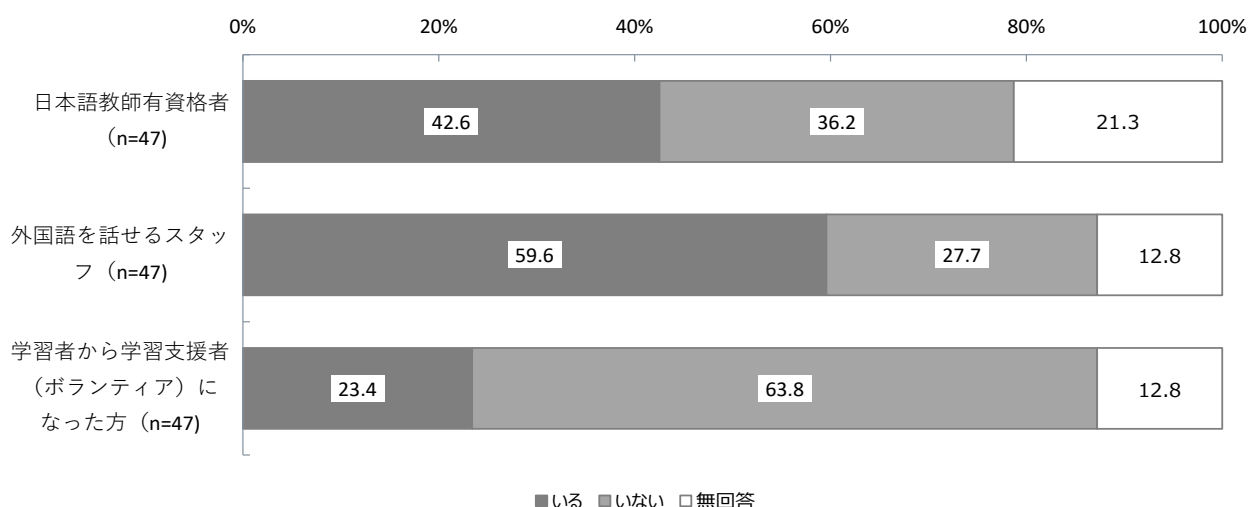
1人未満	1人~2人 未満	2人~3人 未満	3人以上	学習支援者 がいない	無回答	平均
21.3	38.3	21.3	12.8	4.3	2.1	1.7

※平均は無回答を除いている

(12) 在籍している学習支援者について

日本語教師有資格者については「いる」が42.6%、外国語が話せるスタッフについては「いる」が59.6%、学習者から学習支援者になった方については「いる」が23.4%となっている。外国語が話せるスタッフがいる教室は約6割あるが、日本語教師有資格者がいる教室は半数を下回っている。

図表 69 在籍している学習支援者について



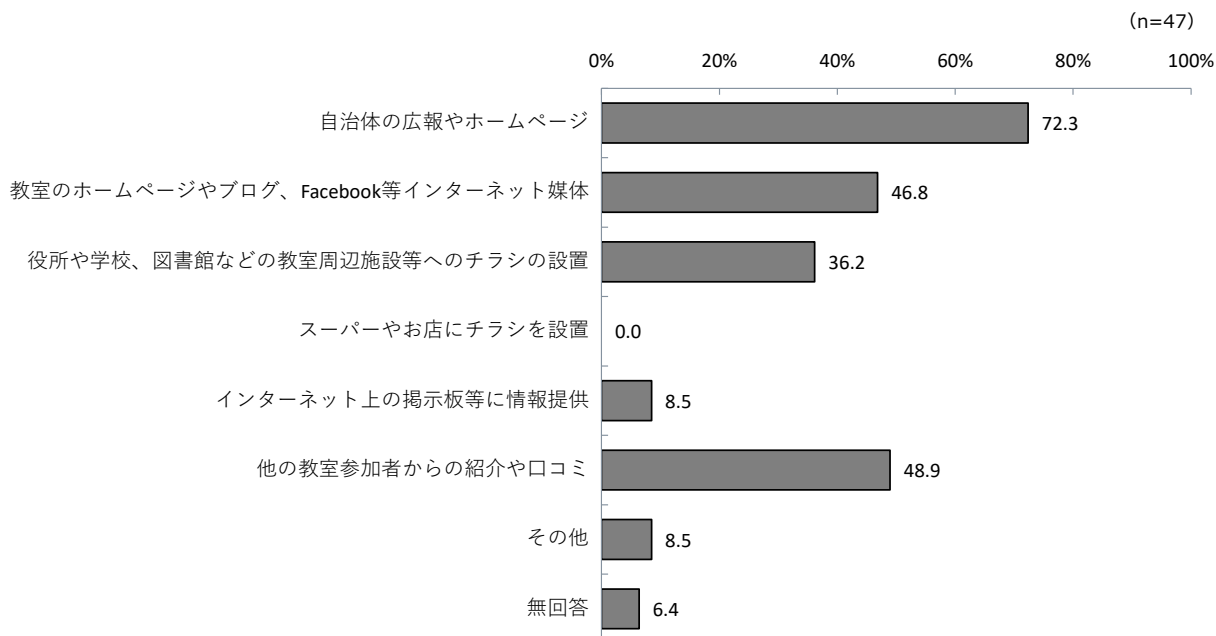
(13) 学習者、および学習支援者（ボランティア）の募集方法

① 学習者の募集方法

学習者の募集方法は、「自治体の広報やホームページ」が 72.3%と最も高くなっている。それ以外では、「他の教室参加者からの紹介や口コミ」(48.9%)、「教室のホームページやブログ、Facebook 等インターネット媒体」(46.8%) が高くなっている。

実施している学習別では、大きな違いはみられない。

図表 70 学習者の募集方法〔複数回答〕



〈その他〉

企業、学校・地域へのチラシの配布

上段：件数、下段：%

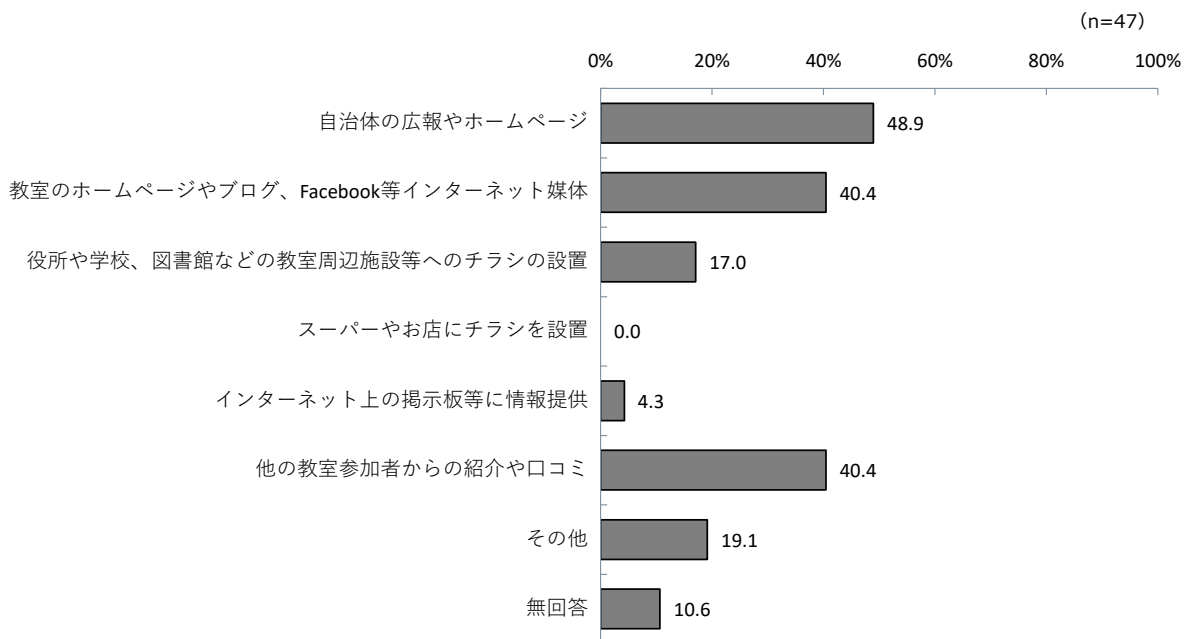
		回答数	自治体の広報やホームページ	インターネット媒体	教室のホームページやブログ、Facebook等	役所や学校、図書館などの教室周辺施設等へのチラシの設置	スーパーやお店にチラシを設置	インターネット上の掲示板等に情報提供	他の教室参加者からの紹介や口コミ	その他	無回答
全体		47	34	22	17	0	4	23	4	3	
		100.0	72.3	46.8	36.2	0.0	8.5	48.9	8.5	6.4	
実施している学習	識字学習	2	2	0	0	0	0	1	1	0	
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	
	日本語学習	23	15	13	7	0	3	13	1	1	
		100.0	65.2	56.5	30.4	0.0	13.0	56.5	4.3	4.3	
	どちらも実施	21	16	9	10	0	1	9	2	2	
		100.0	76.2	42.9	47.6	0.0	4.8	42.9	9.5	9.5	

② 学習支援者（ボランティア）の募集方法

学習支援者の募集方法は、「自治体の広報やホームページ」が48.9%と最も高く、次いで、「教室のホームページやブログ、Facebook等インターネット媒体」、「他の教室参加者からの紹介や口コミ」がいずれも40.4%となっている。

実施している学習別にみると、識字・日本語学習どちらも実施している教室は、日本語学習のみを実施している教室に比べて、「自治体の広報やホームページ」、「役所や学校、図書館などの教室周辺施設等へのチラシの設置」の割合がやや高い。

図表 71 学習支援者（ボランティア）の募集方法〔複数回答〕



〈その他〉

- ・ ボランティア養成講座
- ・ ボランティア情報誌 COMVO
- ・ アイハウスボランティアバンク活動の紹介
- ・ 企業
- ・ 学校・地域へのチラシの配布

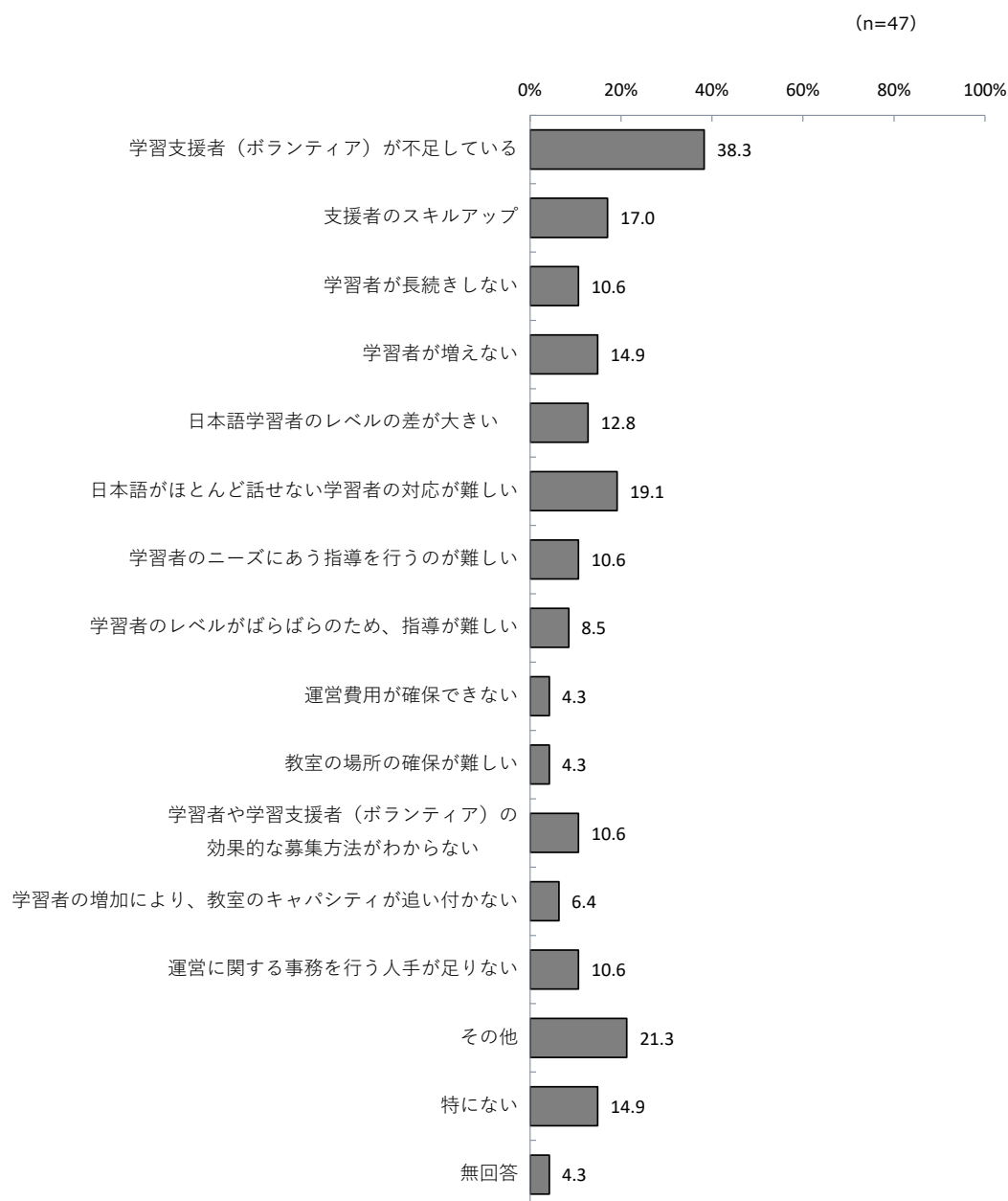
上段：件数、下段：%

		回答数	自治体の広報やホームページ	教室のホームページやブログ、Facebook等インターネット媒体	役所や学校、図書館などの教室周辺施設等へのチラシの設置	スーパーやお店にチラシを設置	インターネット上の掲示板等に情報提供	他の教室参加者からの紹介や口コミ	その他	無回答
全体		47	23	19	8	0	2	19	9	5
		100.0	48.9	40.4	17.0	0.0	4.3	40.4	19.1	10.6
実施している学習	識字学習	2	1	0	0	0	0	1	1	0
		100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	日本語学習	23	8	11	1	0	2	10	4	2
		100.0	34.8	47.8	4.3	0.0	8.7	43.5	17.4	8.7
	どちらも実施	21	13	8	7	0	0	8	4	3
		100.0	61.9	38.1	33.3	0.0	0.0	38.1	19.0	14.3

(14) 教室を運営するにあたり、困っていること

教室を運営するにあたり、困っていることは、「学習支援者（ボランティア）が不足している」が38.3%と最も高く、次いで「その他」が21.3%、「日本語がほとんど話せない学習者の対応が難しい」が19.1%となっている。

図表 72 教室を運営するにあたり、困っていること〔複数回答・3つまで〕



〈その他〉

- ・ ボランティアの高齢化、新規ボランティアが定着しない
- ・ 人権問題や身近な困りごとについて支援者の考え方の違い
- ・ 小中高校生の指導ができる支援者の確保
- ・ 学習者が増えているため、講師料が助成金だけでまかなえない
- ・ 学習者の希望にそった教室開催の時間帯や回数に応えられていない

学習者数別にみると、1～10人、11～20人の教室では、「学習者が長続きしない」、「学習者が増えない」という課題が挙げられているが、一方で、21～50人では、「支援者のスキルアップ」や「教室の確保が難しい」、「学習者の増加により、教室のキャパシティが追い付かない」、「運営に関する事務を行う人手が足りない」などの課題が挙げられている。

上段：件数、下段：%

		回答数	学習支援者（ボランティア）が不足している	支援者のスキルアップ	学習者が長続きしない	学習者が増えない	日本語学習者のレベルの差が大きい	日本語がほとんど話せない学習者の対応が難しい	学習者のニーズにあう指導を行うのが難しい	学習者のレベルがばらばらのため、指導が難しい
全体		47	18	8	5	7	6	9	5	4
		100.0	38.3	17.0	10.6	14.9	12.8	19.1	10.6	8.5
学習者数	1～10人	25	8	3	4	5	3	4	3	1
		100.0	32.0	12.0	16.0	20.0	12.0	16.0	12.0	4.0
	11～20人	7	4	0	1	2	0	3	0	2
		100.0	57.1	0.0	14.3	28.6	0.0	42.9	0.0	28.6
	21～50人	11	5	4	0	0	2	0	0	0
	100.0	45.5	36.4	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	
51人以上	3	1	1	0	0	1	2	2	1	
	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	66.7	33.3	

		回答数	運営費用が確保できない	教室の場所の確保が難しい	学習者や学習支援者（ボランティア）の効果的な募集方法がわからない	学習者の増加により、教室のキャパシティが追い付かない	運営に関する事務を行う人手が足りない	その他	特になし	無回答
全体		47	2	2	5	3	5	10	7	2
		100.0	4.3	4.3	10.6	6.4	10.6	21.3	14.9	4.3
学習者数	1～10人	25	2	0	2	0	2	5	4	1
		100.0	8.0	0.0	8.0	0.0	8.0	20.0	16.0	4.0
	11～20人	7	0	0	2	0	0	3	1	0
		100.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	42.9	14.3	0.0
	21～50人	11	0	2	1	3	3	2	2	0
	100.0	0.0	18.2	9.1	27.3	27.3	18.2	18.2	0.0	
51人以上	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(15) 困りごとに対して取り組んでいることや工夫していること

47 教室中 23 教室からの回答があり、主な回答は以下のとおりである。

カテゴリ		意見
取り組んでいること、工夫していること	学習者の募集	Facebook で絶えず呼びかけて参加者を募っている。教室へ来られた方はすべて受け入れ、新しく来た方を優先して対応できるようにしている。
	ボランティアの募集	月 1 回、ボランティア説明会の開催。
		学習支援者不足で他の任意団体（通訳、翻訳支援団体）より応援参加して頂いている。
		ボランティア確保のため、以前の学習者にも声かけをしている。
	日本語が話せない学習者への対応	日本語教師有資格者に対応してもらう。
		初級クラスの日本語教室を紹介し、学習終了後、本教室に入級してもらう。
	学習者の日本語レベルのばらつきへの対応	レベル別クラスを設定。
		日本語教師有資格者が文法や日本語能力試験受験者、初期の人を教え、無資格者が日常会話を担当している。
		グループ編成を融通させる。
		少人数でマンツーマンの学習を心がけている。
研修部による講師間の実践交流会で対策解決策を話し合う。		
多様な学習者への対応	知的障がい者が参加しやすい全体ゲームや作品づくりを常に心がけている。	
教師・ボランティアのスキルアップ	講師間で勉強会を実施。	
	初級者に教える時の指導法やオンライン（zoom）の操作方法等、支援者のための研修を開催。	
運営資金の獲得	助成金の獲得。	

※1 教室から複数のカテゴリにまたがる意見がある場合は、それぞれのカテゴリに分類して掲載している。

(16) 教室において、コロナ禍で困っていること、工夫していること

47 教室中 33 教室からの回答があり、主な回答は以下のとおりである。

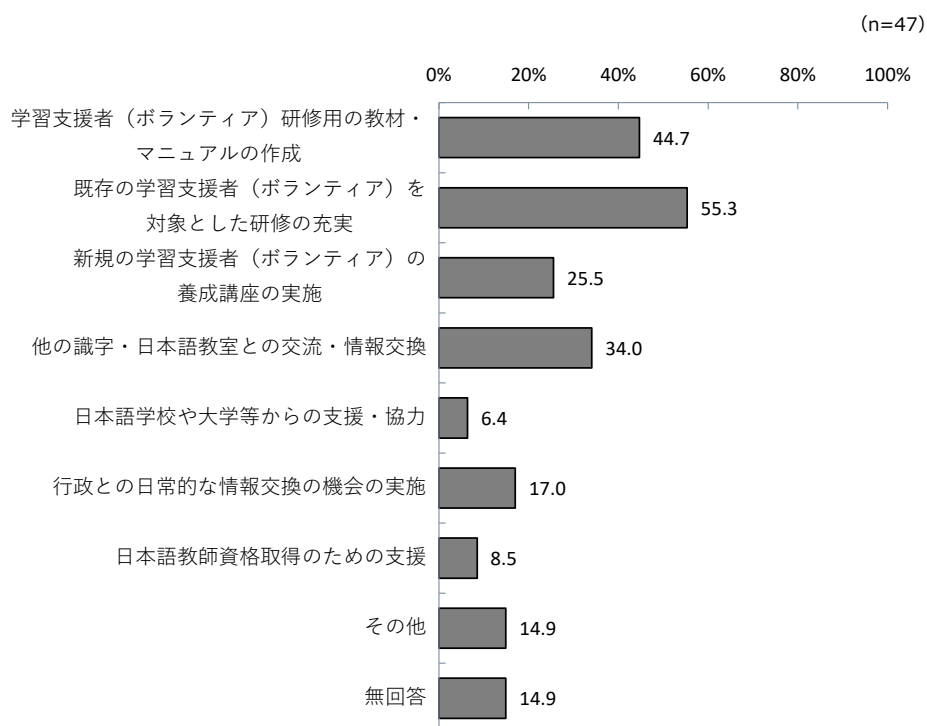
カテゴリ		意見
困っていること	学習者、ボランティアの減少	休講が長かったので、学習者が少なくなっていると思う。
		学習者が減ったまま増えない。
		学習者、ボランティアともに参加希望者が増えない。
	教室の運営方法の見直し・変更	計画を立てて教室を運営できない。
		以前のような学習方法や募集方法が不可能なので、どのように活動をしていくか考えている。
		予約せずに参加できるサロンであったが、今は事前申し込みが必要で人数を制限し、実施しているため、希望者全員の受入れが難しい。
		場所が使えなくなったらと思うと積極的な募集がかけられない。
学習方法の見直し	マンツーマン学習をやめた。	
ボランティア、学習者の交流	飲食ができなくなったので、クリスマスパーティなどの気楽な交流がしにくくなった。	
感染症対策の実施	教室が広くないので、人数が増えれば密になりやすい。	
	アクリル板を使用しているが、お互いの声が聞き取りにくい。	
工夫していること	オンライン授業	授業をオンラインでライブ配信。
		オンラインレッスンを実施。
		ライン（ビデオ）等で学習する。
		緊急事態宣言が発令されたらオンライン（Zoom）開催へと変更している。
		zoom 操作に詳しいボランティアが少ないため、zoom 操作の研修およびオンライン授業で使える教材、教え方を紹介する。
	コロナ対策	参加者の間隔を十分空けている。
		教室定員を減らす。
		換気、マスク、座席の距離、パーティションなど。
		検温、消毒、マスク着用。
	困りごとがないか確認	グループラインでの連絡。
学習者に生活上困難がないか連絡を取り合っている。必要であればパートナーが支援に行く。		
	講師と学習者ではがきを交換し日常を知らせ合う。電話を折々にかけて肉声を届ける（生活上で困っていることはないか）。	
その他	学習者に一定期間ごとにプリントを郵送。	

※1 教室から複数のカテゴリにまたがる意見がある場合は、それぞれのカテゴリに分類して掲載している。

(17) 学習支援者（ボランティア）のスキルアップに向け、必要なこと

学習支援者のスキルアップに向け、必要なことについては、「既存の学習支援者（ボランティア）を対象とした研修の充実」が55.3%と最も高く、次いで、「学習支援者（ボランティア）研修用の教材・マニュアルの作成」が44.7%となっている。

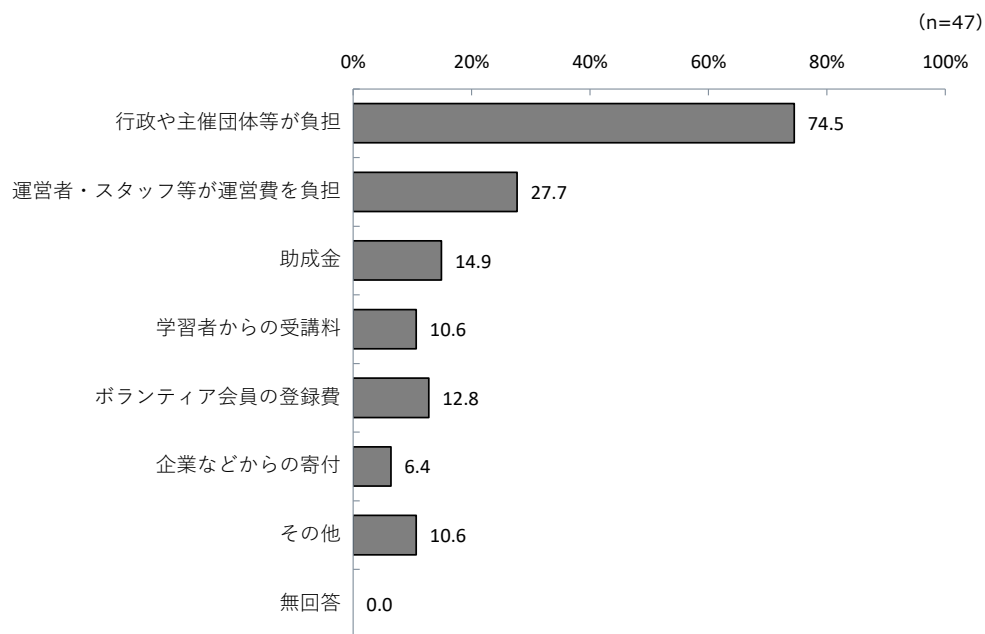
図表 73 学習支援者（ボランティア）のスキルアップに向け、必要なこと〔複数回答〕



(18) 教室の運営費の調達方法

教室の運営費の調達方法は、「行政や主催団体等が負担」が74.5%と最も高くなっている。

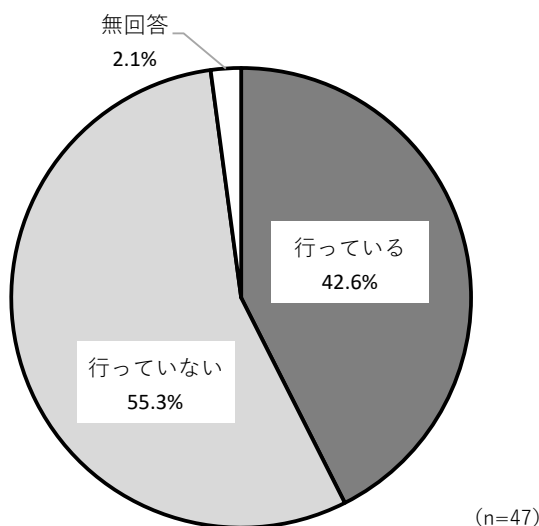
図表 74 教室の運営費の調達方法〔複数回答〕



(19) 他の識字・日本語教室や団体（NPO、日本語学校、企業、地域活動など）との連携や交流について

他の識字・日本語教室や団体との連携や交流については、「行っている」が42.6%と半数を下回っている。

図表 75 他の識字・日本語教室や団体（NPO、日本語学校、企業、地域活動など）との連携や交流について



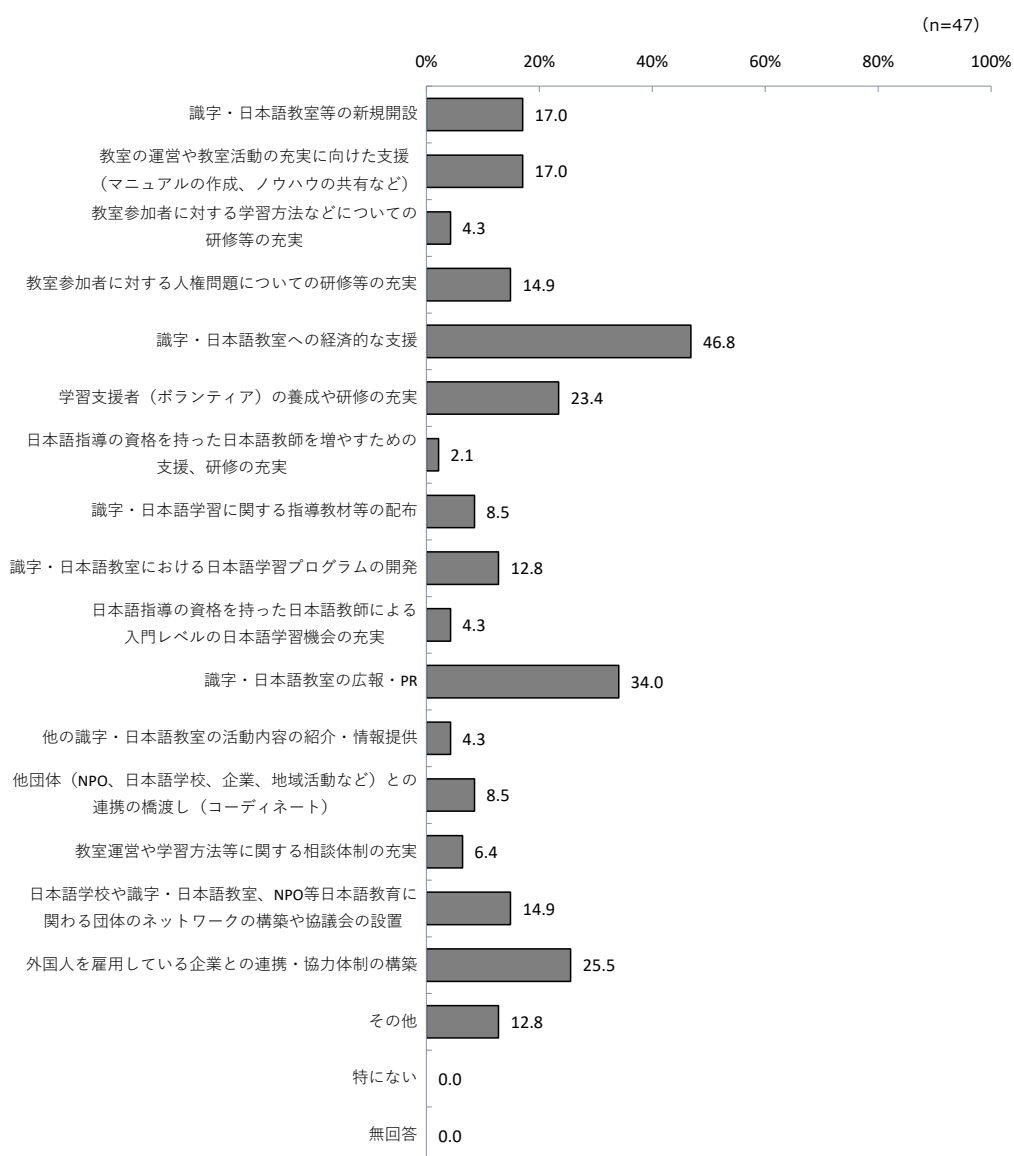
〈具体的な内容〉

- ・ 大阪市内識字・日本語教室連絡会への参加
- ・ よみかきこうりゅうかいへの参加
- ・ 区役所との防災研修（出前授業）
- ・ 大阪国際交流センター、生活相談や法律相談等
- ・ 大阪外国企業誘致センターとの連携
- ・ 地元の NPO と連携し、子育て、子どもたちの活動サポート、連絡会組織と連携
- ・ 子育てサロン、子ども食堂の実施団体
- ・ YMCA の日本語学校と交流・連携

(20) 今後、識字・日本語教育の充実に向けて、行政が行うべき環境整備

今後、識字・日本語教室の充実に向けて、行政が行うべき環境整備について、「識字・日本語教室への経済的な支援」が46.8%と最も高く、次いで「識字・日本語教室の広報・PR」が34.0%、「外国人を雇用している企業との連携・協力体制の構築」が25.5%となっている。

図表 76 今後、識字・日本語教育の充実に向けて、行政が行うべき環境整備〔複数回答・3つまで〕



〈その他〉

- ・ 大阪市の日本語教育における重点目標の設定と達成に向けたプロセスの明示
- ・ 識字推進計画などをつくり取り組みを進める。
- ・ 識字教室を必要としている人が多数いて、支援を必要としていることを教育委員会から文科省、国に強く訴えてほしい。
- ・ 有資格者が正当な報酬を得られる社会環境の整備
- ・ 学習場所のWi-Fi設置。
- ・ 常時利用できる会場と常駐のスタッフ。
- ・ 子どもに対する日本語、強化学習支援教室の新設。
- ・ 一時保育をする日本語教室の新設、または既存の教室で保育できるようにする。

V. 日本語学校調査

1. アンケート調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、本市における今後の日本語の学習環境の検討に向けた基礎データを得ることを目的に、実態やニーズについて把握するために実施した。

(2) 調査対象

本市に立地する日本語学校のうち、日本語教育振興協会の認定校等から 23 校を抽出。

(3) 調査方法

郵送により調査票を配布し、郵送で回収した。

(4) 調査時期

令和3年11月16日(火)～12月10日(金)

(5) 回収状況

発送数	回収数	回収率
23 件	18 件	78.3%

(6) 調査結果の表示方法

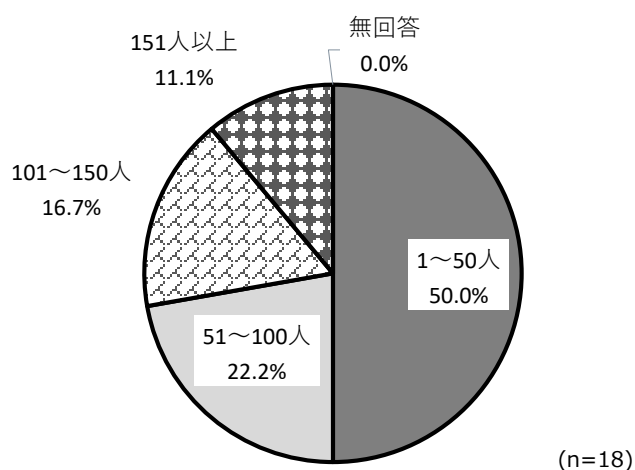
- ・ 設問ごとの集計母数はグラフ中に (n = ○○) と表記。
- ・ 集計結果の百分率 (%) は、小数点第 2 位を四捨五入した値を表記している。このため、回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が 100.0%にならない場合がある。
- ・ 複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めている。そのため、構成比率の合計は通常 100.0%とならない。

2. アンケート調査概要

(1) 学生数（令和3年10月1日時点）

学生数は、平均人数は96人、最も学生数が少ない学校では11人、最も学生数が多い学校では494人となっている。割合で見ると、「1～50人」が50.0%、次いで、「51～100人」が22.2%となっている。

図表 77 学生数



(2) 学生の国籍別人数（令和3年10月1日時点）

国籍別の人数は、下表の通りであり、中国、ベトナムの学生が多くなっている。

図表 78 学生の国籍別人数規模別の学校数

(件)

国籍	1～10人	11～20人	21～50人	51～100人	101～150人	151人以上
韓国	2	2				
中国	7	2	4	2	1	1
ベトナム	2	3	5	3	1	
フィリピン	2		1			
台湾	2	2				
ネパール	1					
インドネシア	3	1	1			
アメリカ	1					
タイ	1					
ブラジル	1					
ミャンマー	4					
バングラデシュ	3					
スリランカ	2					
その他*	4					

※その他…ロシア、ウズベキスタン、フランス、ソロモン

(3) 学生の在留資格別人数（令和3年10月1日時点）

在留資格別の人数は、下表の通りであり、すべての日本語学校で「留学」が最も多くなっている。

図表 79 学生の在留資格別人数規模別の学校数

(件)

在留資格	1～10人	11～20人	21～50人	51～100人	101～150人	151人以上
留学		1	8	4	3	2
永住者	2					
定住者	3					
日本人の配偶者等	3	1				
家族滞在	3	1				
その他※	1					

※その他…母国からのオンライン

(4) 学生の年齢別人数（令和3年10月1日時点）

年齢別の人数は、下表の通りである。各年代の平均人数は、18～19歳は17.8人、20代は69.9人、30代は8.4人、40代は0.9人、50代は0.2人と、20代の学生が多くなっている。

図表 80 学生の年齢別人数規模別の学校数

(件)

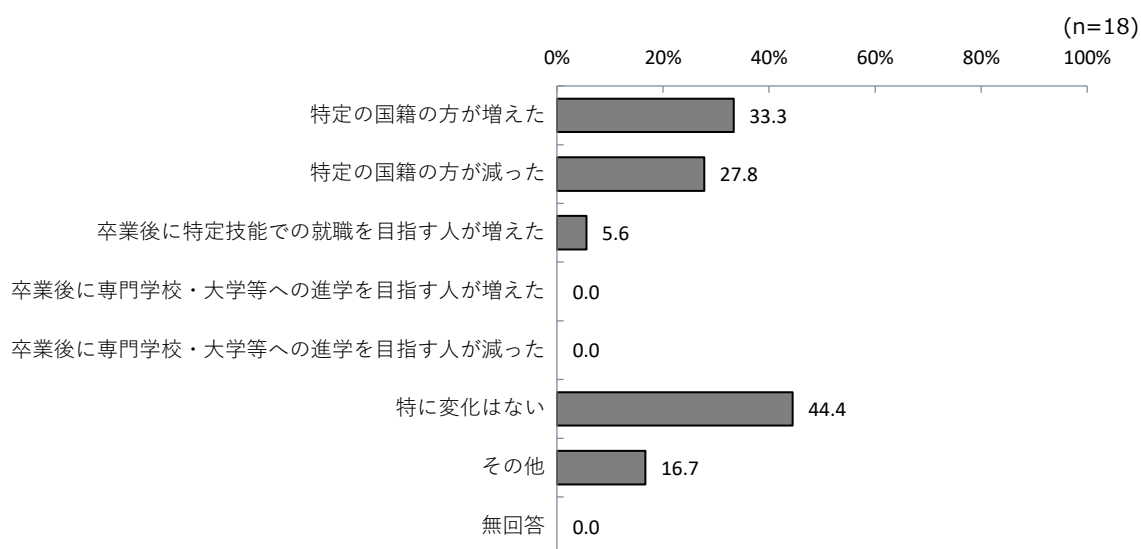
年齢	0人	1～20人	21～50人	51～100人	101人以上
18～19歳	7	7	2	2	
20代		3	8	3	4
30代	7	9	1	1	
40代	15	3			
50代	17	1			
60代以上	18				

(5) ここ5年程度での、学生の国籍、進路等の変化

ここ5年程度での、学生の国籍、進路等の変化は、「特に変化はない」が44.4%と最も高く、次いで、「特定の国籍の方が増えた」が33.3%、「特定の国籍の方が減った」が27.8%となっている。

「特定の国籍の方が増えた」の回答において、挙げられた具体的な国籍は、ベトナム、中国、ミャンマー、ネパール、フィリピン、インドネシアとなっている。一方、「特定の国籍の方が減った」において、挙げられた具体的な国籍は、ベトナム、中国、韓国となっている。また、「その他」の回答では、学生数の減少といった回答が挙げられている。

図表 81 ここ5年程度での、学生の国籍、進路等の変化〔複数回答〕

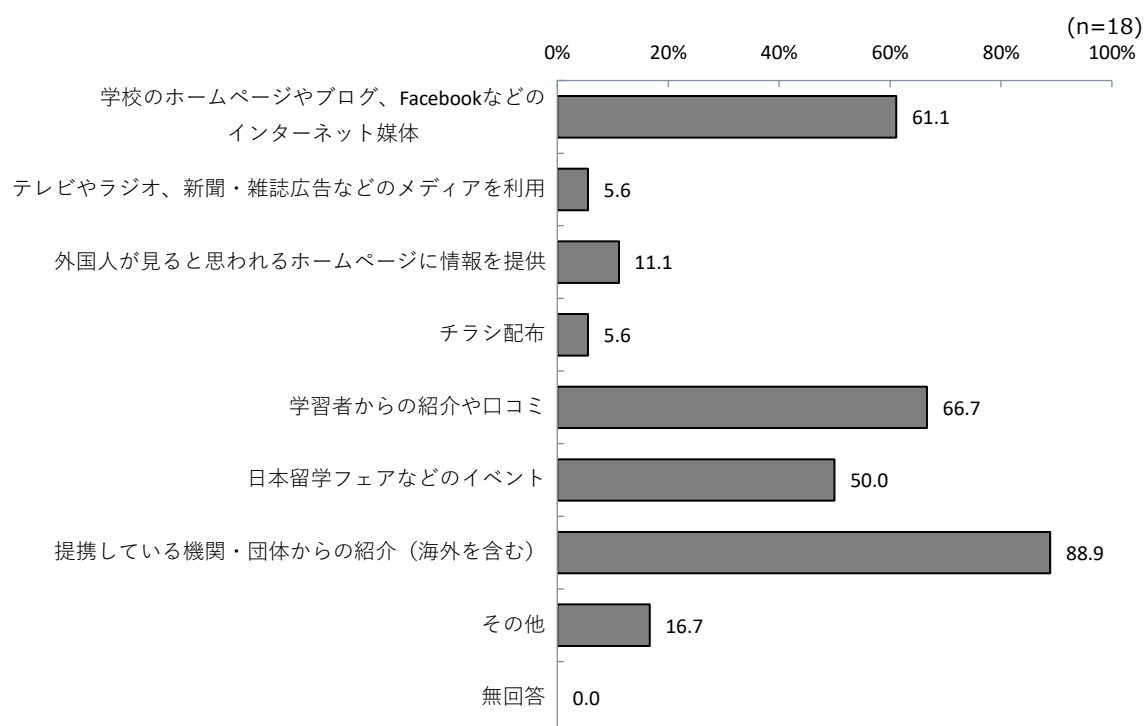


(6) 学習者の募集方法

学習者の募集方法は、「提携している機関・団体からの紹介（海外を含む）」が 88.9%と最も高く、次いで「学習者からの紹介や口コミ」が 66.7%、「学校のホームページやブログ、Facebook などのインターネット媒体」が 61.1%、「日本留学フェアなどのイベント」が 50.0%となっている。

「その他」の回答では、「現地へ行き、直接面接」、「募集を停止している」との回答が挙げられている。

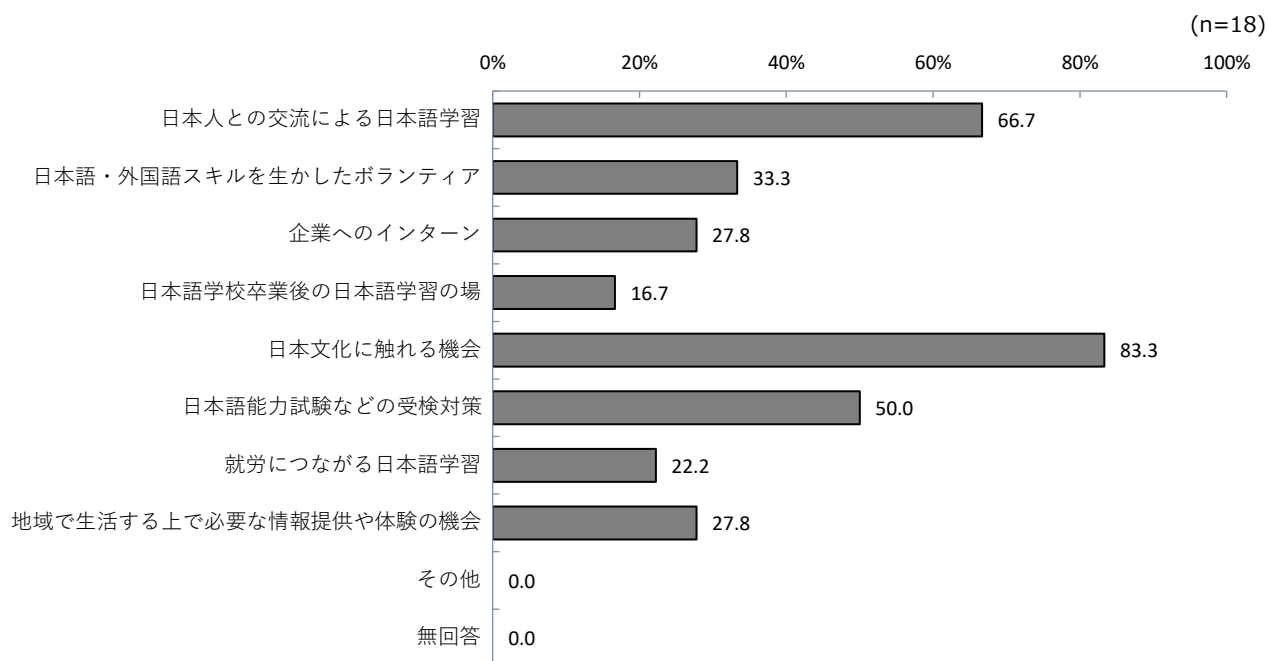
図表 82 学習者の募集方法〔複数回答〕



(7) 日本語学習や交流などについての学生のニーズ

日本語学習や交流などについての学生のニーズは、「日本文化に触れる機会」が83.3%と最も高く、次いで「日本人との交流による日本語学習」が66.7%、「日本語能力試験などの受検対策」が50.0%となっている。

図表 83 日本語学習や交流などについての学生のニーズ〔複数回答〕



(8) 日本語学校卒業後の日本語学習の場としてあればよいもの

18校中7校からの回答があり、「日本人との交流の場」や、「さらなる学習の場」、また「地域や外国人同士のコミュニケーションの場」を求める意見が挙げられている。

カテゴリ	意見
日本人との交流の場	日本人と気軽に交流できるサロンのような場。
	日本人との交流の場。
さらなる学習の場	さらに学習を進めるため、専門学校へ進学している。
	専門的知識が学べる場所があればよい。
	アカデミックジャパニーズ。
地域や外国人同士のコミュニケーションの場	情報交換、コミュニケーション広場のようなもの。
	地域コミュニケーションの場になるような所があればよい。
その他	ニーズに合った勉強環境。

※1校から複数のカテゴリにまたがる意見がある場合は、それぞれのカテゴリに分類して掲載している。

(9) 教員、スタッフの人数（令和3年10月1日時点）

日本語教師、および事務職員の人数は、下表の通りである。正規職員の日本語教師の平均人数は、7.8人、非正規職員の日本語教師の平均人数は、19.1名、事務職員の正規職員は、5.6人、事務職員の非正規職員は、0.4人となっている。

図表 84 日本語教師、事務職員の人数規模別の学校数

(件)

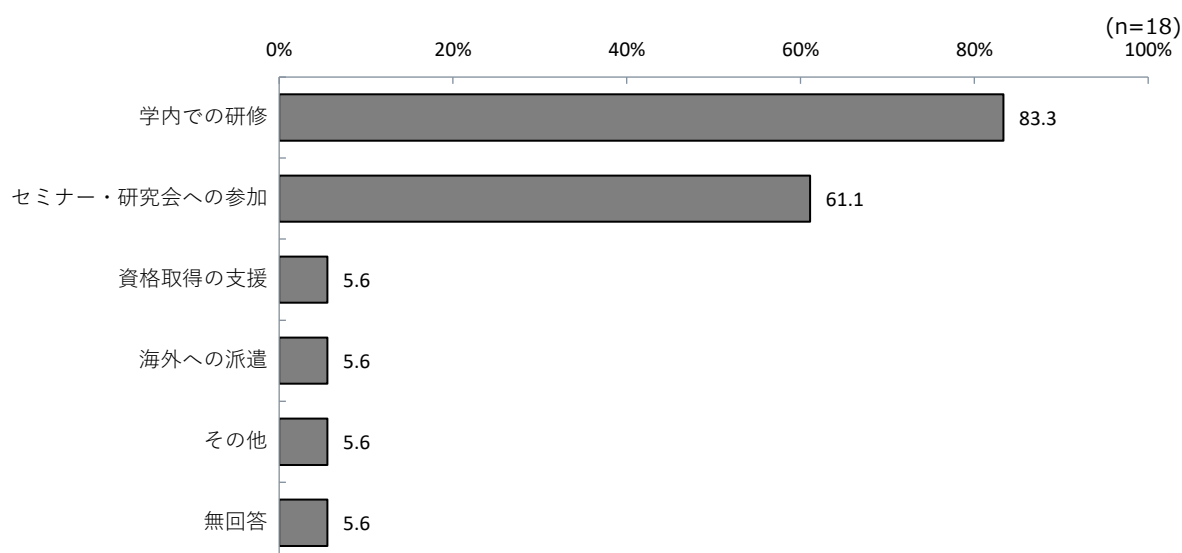
職種・雇用形態	0人	1～5人	6～10人	11～20人	21人以上
日本語教師・正規職員		11	3	3	1
日本語教師・非正規職員		4	4	6	4
事務職員・正規職員		12	5	1	
事務職員・非正規職員	14	4			

(10) 日本語教師のスキルアップのために実施していること

日本語教師のスキルアップのために実施していることは、「学内での研修」が83.3%と最も高く、次いで「セミナー・研究会への参加」が61.1%となっている。

「その他」の回答では、「自己研鑽」との回答が挙げられている。

図表 85 日本語教師のスキルアップのために実施していること〔複数回答〕

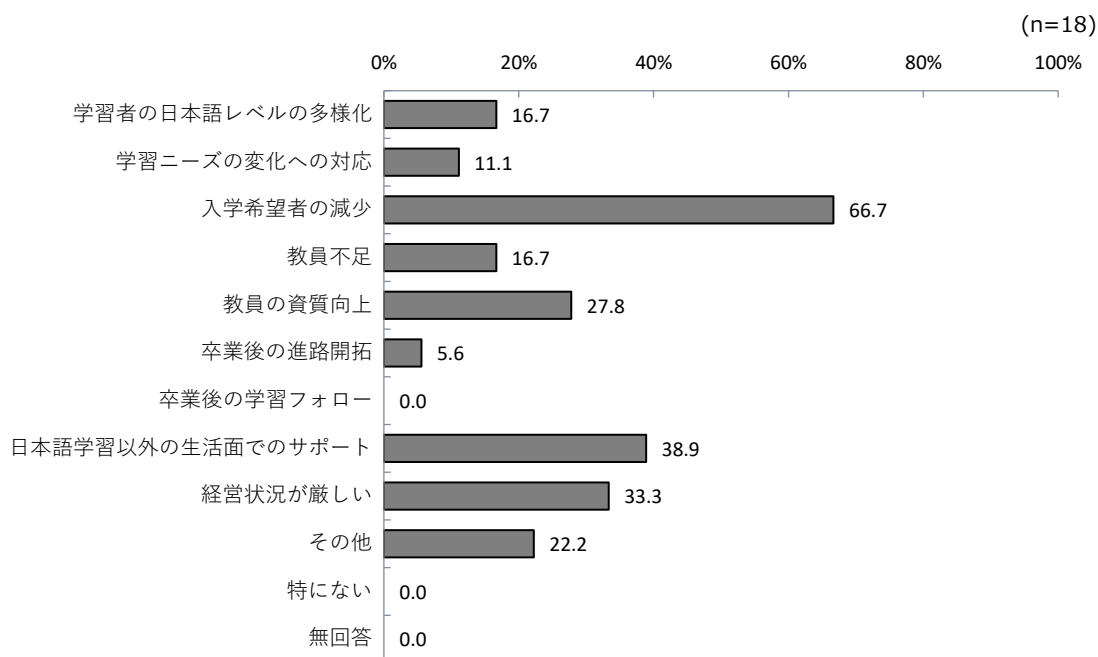


(11) 日本語学校の運営にあたって困っていること

日本語学校の運営にあたって困っていることは、「入学希望者の減少」が66.7%、次いで、「日本語学習以外の生活面でのサポート」が38.9%、「経営状況が厳しい」が33.3%、「教員の資質向上」が27.8%となっている。

「その他」の回答では、「コロナ禍による入国制限」、「卒業後、就職してからの学生同士の繋がり」といった回答が挙げられている。

図表 86 日本語学校の運営にあたって困っていること〔複数回答・上位3位まで〕



(12) コロナ禍で困っていること、工夫していること

18 校中 14 校からの回答があり、コロナ禍で困っていることとしては、「学生が入国できないこと」、「経営難」、「オンラインへの対応」などが挙げられている。工夫していることとしては、「オンライン授業」や「コロナ対策」が挙げられている。

カテゴリ		意見
困っていること	学生が入国できない	学生が来ない。
		来日できない。
		学生が入国しないこと。
	経営難	経営難。
		学生の新規募集に多大な影響が出ており、又入国待機の学生も多くいるため、学校運営が厳しい状態。
		入国時期が定まらず、経営状況が安定しない。雇用の継続。
		学生数、収入の大幅減。
		2022 年 3 月末で休校。
	オンラインへの対応	オンライン授業の進め方が試行錯誤。
		オンラインが長い学生の進路指導。
		対面授業とオンライン授業併用による教育の負担増、地域交流事業ができないこと。
	その他	入国待機の学生のモチベーションの維持。
		ワクチン接種の引率や予約サポートなどの負担が大きい。
支援が少ないこと。		
工夫を越える打撃。		
工夫していること	オンライン授業	入国できない学生に対して、オンライン授業をしている。
		オンライン授業。
		オンラインによる初級授業での定着化。
		オンライン授業の諸問題、工夫や対策の共有、レクチャーの場を作って進めている。
	コロナ対策	①加湿器にウイルスウォーター（薬品）を入れて噴霧している。これはコロナ以前から実施している。
		②コロナウイルス感染症対策としては、3密を避ける、登校時の検温、手指の消毒、授業終了後の机の消毒を徹底、継続している。
		検温、手指アルコール消毒、マスク着用、換気、仕切りの設置、定期消毒、在校生へのコロナ対策徹底。
		消毒等、換気も徹底している。

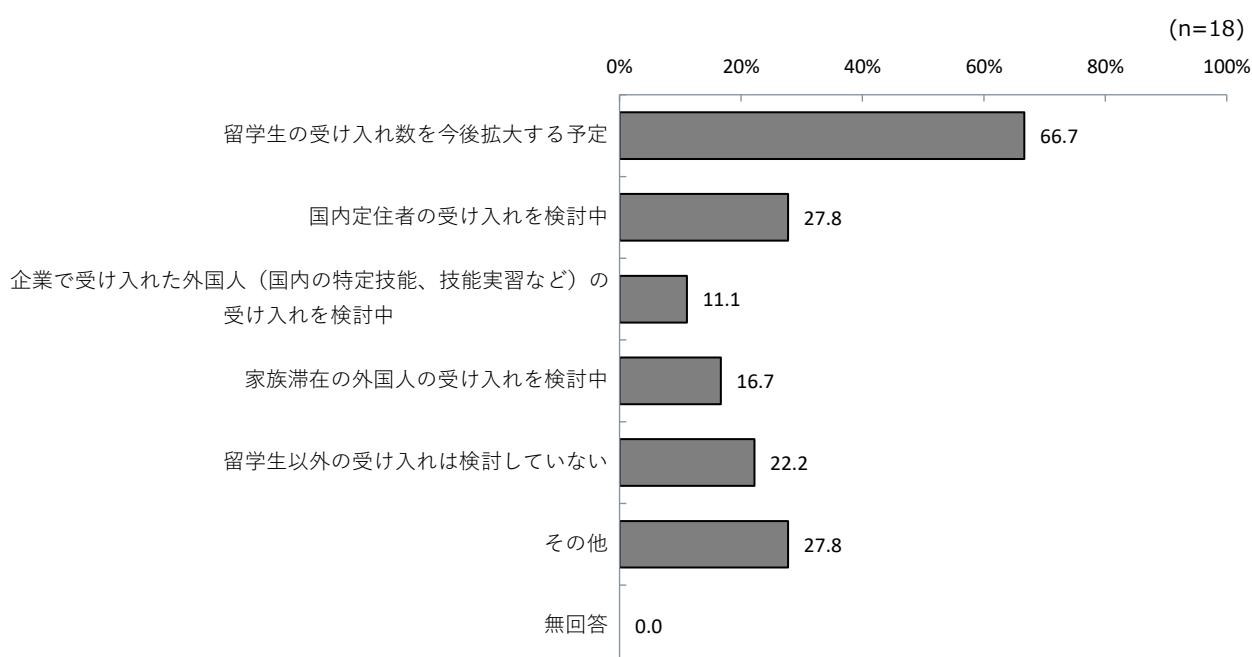
※1 校から複数のカテゴリにまたがる意見がある場合は、それぞれのカテゴリに分類して掲載している。

(13) 今後の学生の受け入れ方針に関する考え方

今後の学生の受け入れ方針に関する考え方は、「留学生の受け入れ数を今後拡大する予定」が66.7%、「国内定住者の受け入れを検討中」が27.8%、「留学生以外の受け入れは検討していない」が22.2%となっている。

「その他」の回答では、「企業新人研修」、「留学生だけでなく、既に国内定住する者、企業で受け入れた外国人、家族滞在の外国人も受け入れている」、「進学コース以外の日本語コースの拡充の検討（オンライン含む）」、「受け入れを停止」、「状況により柔軟に判断」といった回答が挙げられている。

図表 87 今後の学生の受け入れ方針に関する考え方〔複数回答〕

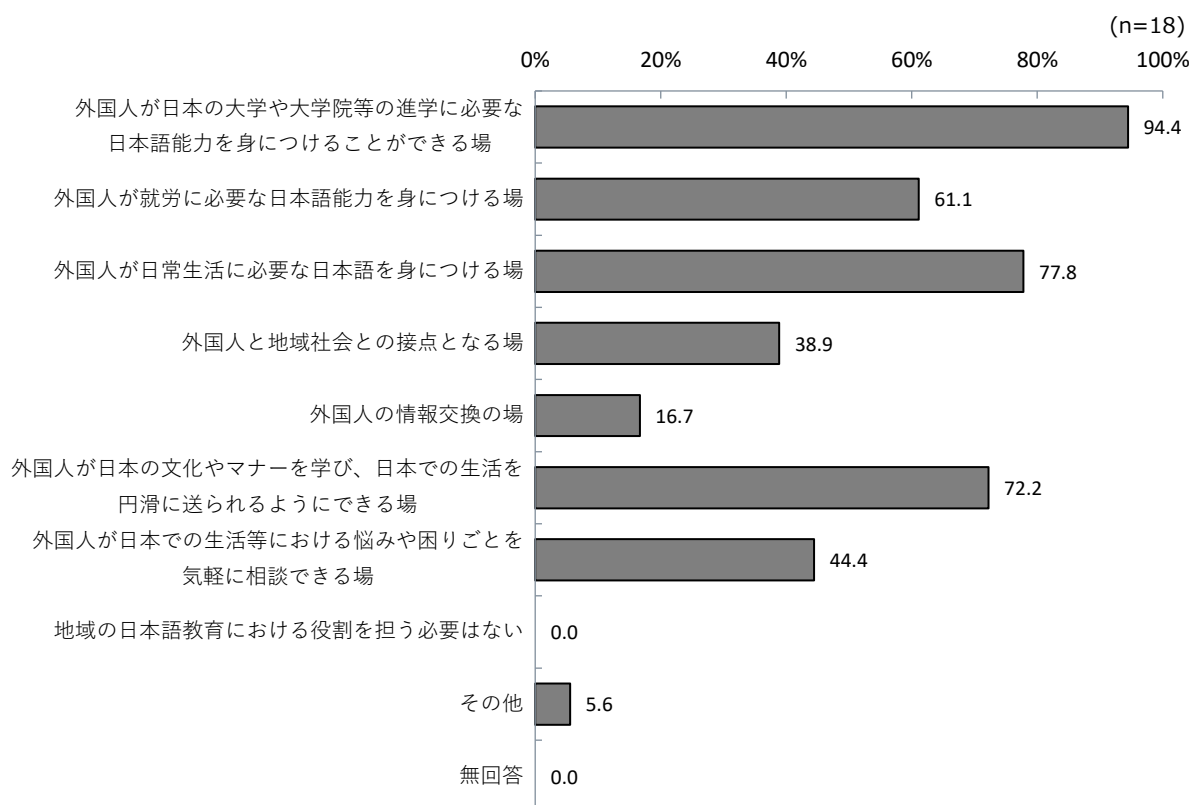


(14) 日本語学校が地域の日本語教育において果たす役割

日本語学校が地域の日本語教育において果たす役割は、「外国人が日本の大学や大学院等の進学に必要な日本語能力を身につけることができる場」が94.4%と最も高く、次いで「外国人が日常生活に必要な日本語を身につける場」が77.8%、「外国人が日本の文化やマナーを学び、日本での生活を円滑に送られるようにできる場」が72.2%、「外国人が就労に必要な日本語能力を身につける場」が61.1%となっている。

「その他」の回答では、「地域の日本語教室のサポート」が挙げられている。

図表 88 日本語学校が地域の日本語教育において果たす役割〔複数回答〕

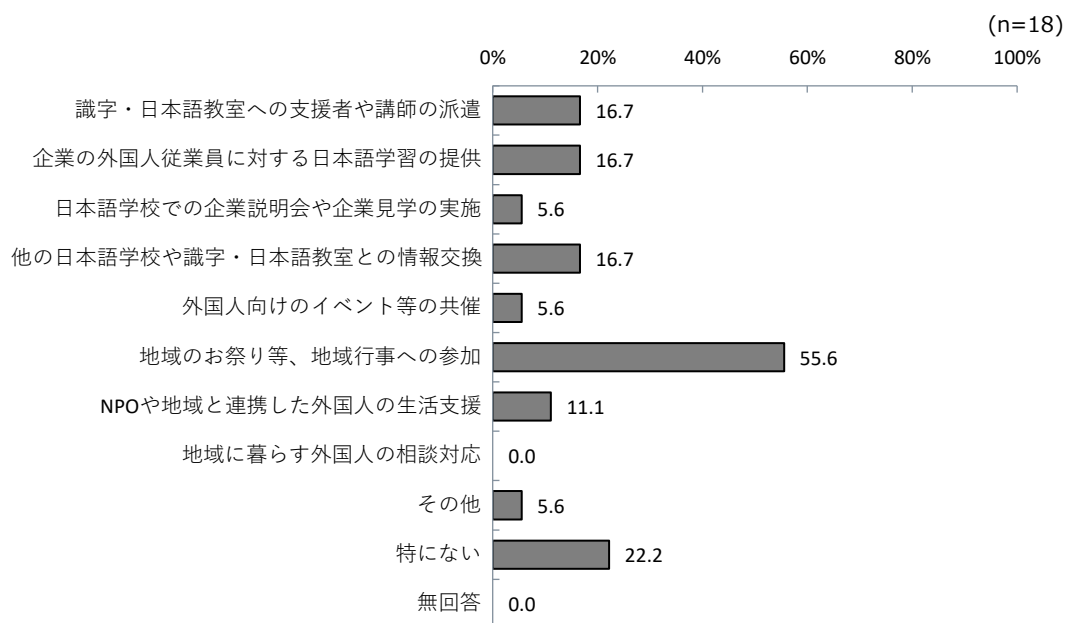


(15) 現在、地域の日本語教育に対して行っている活動

現在、地域の日本語教育に対して行っている活動は、「地域のお祭り等、地域行事への参加」が55.6%と最も高く、次いで、「識字・日本語教室への支援者や講師の派遣」、「企業の外国人従業員に対する日本語学習の提供」、「他の日本語学校や識字・日本語教室との情報交換」が16.7%となっている。また、「特にない」が22.2%となっている。

「その他」の回答では、「地域の小中高への在校生の派遣」が挙げられている。

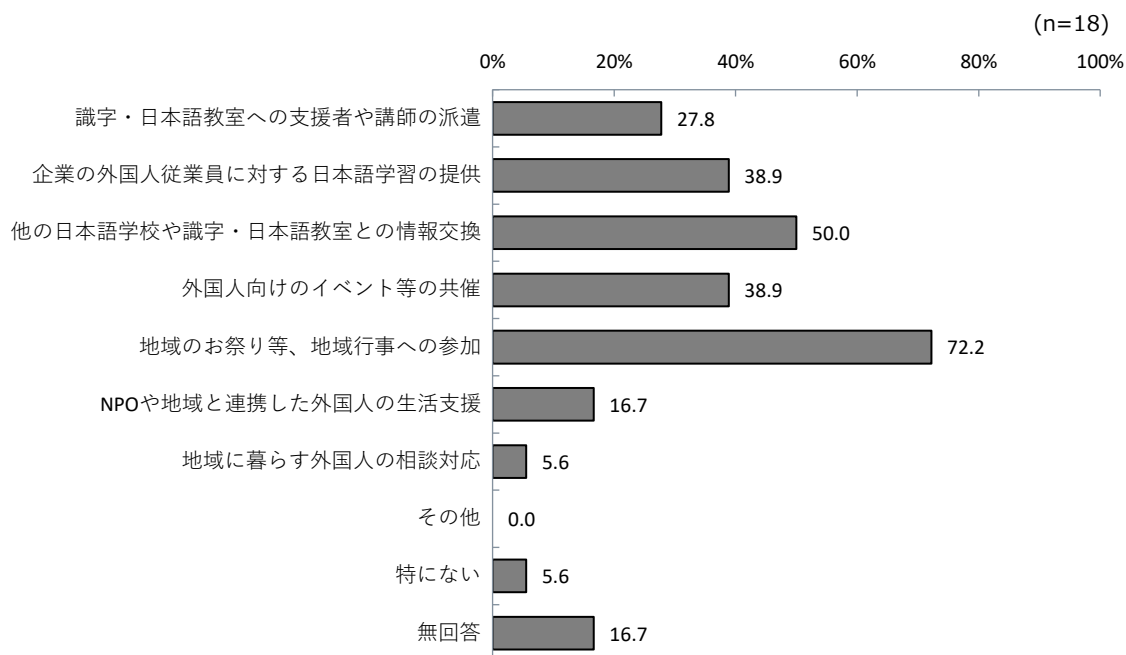
図表 89 現在、地域の日本語教育に対して行っている活動〔複数回答〕



(16) 今後、地域の日本語教育に対して協力が可能と思われる活動

今後、地域の日本語教育に対して協力が可能と思われる活動は、「地域のお祭り等、地域行事への参加」が72.2%と最も高く、次いで「他の日本語学校や識字・日本語教室との情報交換」が50.0%、「企業の外国人従業員に対する日本語学習の提供」、「外国人向けのイベント等の共催」が38.9%となっている。

図表 90 今後、地域の日本語教育に対して協力が可能と思われる活動〔複数回答〕



(17) 外国人への日本語教育（特に成人向け）の課題

18校中11校からの回答があり、日本語教師不足等の教える側の環境整備の課題や、学生の意識面など学生側の課題も挙げられている。

カテゴリ	意見
教育者側の環境整備	各々のレベルやニーズが異なるので、一律の教育をすることが難しく、相当数の人員や予算が必要。
	経営環境の確立。
	資格を持っている専門家が少ない。
	日本語教師になって安定した生活ができるという安心感がないことによる日本語教師不足。
	指導する場所の問題。
学生側の課題	成人であるため、学生として扱いが難しい。お金を払っているからお客様として認識する者もあり、日本でのルール、学校の規制を軽視しがちな点。
	勉強をする時間がないこと。
	外国人コミュニティ内での生活が完結しており、日本語能力が向上しない。日本人との交流の場が必要。
その他	定住者への識字教育、子どもの保護者としての必要な日本語力。
	日本語学習が義務づけられていない事。
	共生を見据えた日本語教育。
	コロナの終息をみるまで、在校生以外の対面授業（生活日本語含む）をいつから再開できるか。

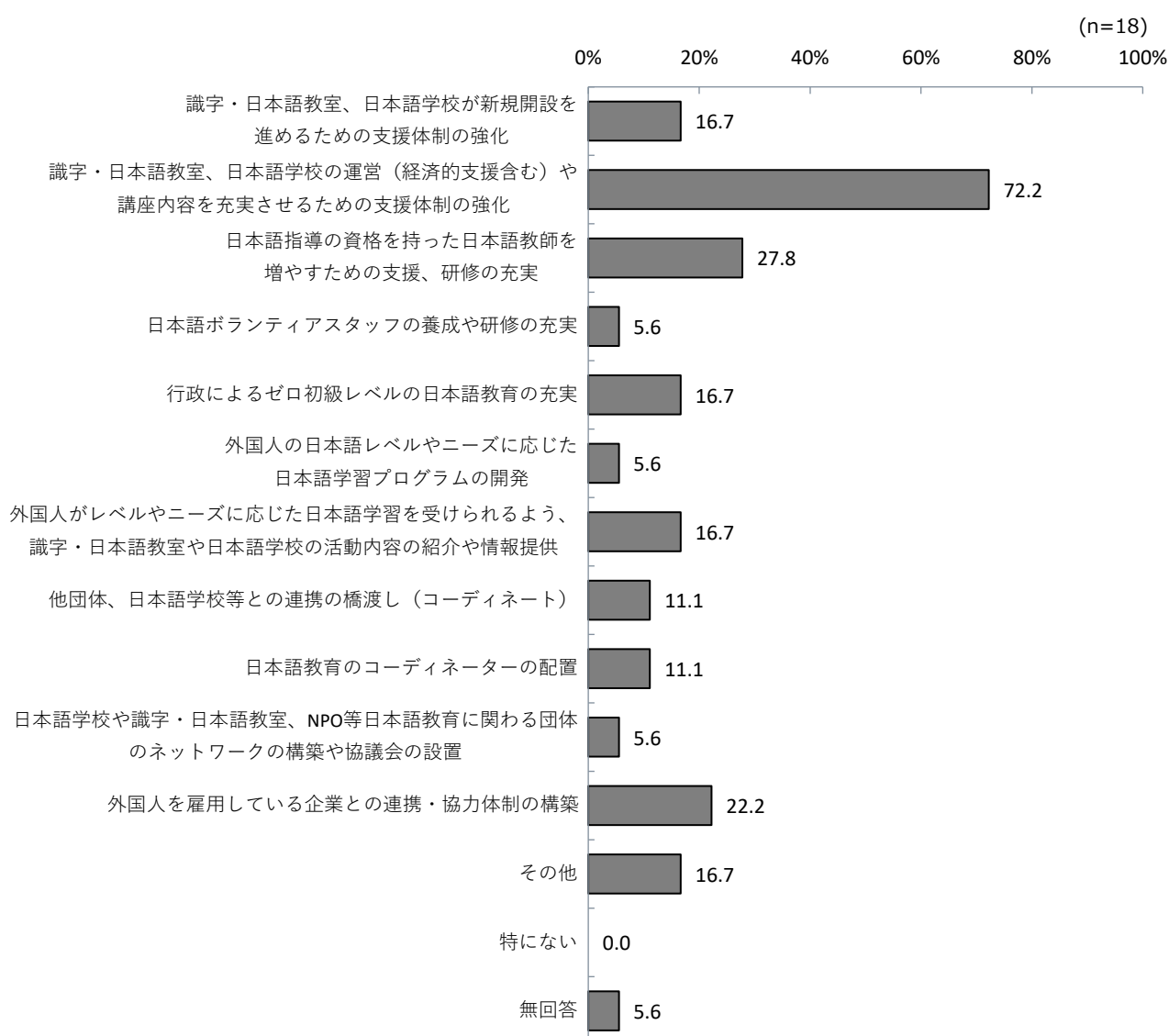
※1校から複数のカテゴリにまたがる意見がある場合は、それぞれのカテゴリに分類して掲載している。

(18) 今後の日本語教育の充実に向けて、行政が行うべき環境整備

今後の日本語教育の充実に向けて、行政が行うべき環境整備は、「識字・日本語教室、日本語学校の運営（経済的支援含む）や講座内容を充実させるための支援体制の強化」が72.2%と最も高く、次いで「日本語指導の資格を持った日本語教師を増やすための支援、研修の充実」が27.8%、「外国人を雇用している企業との連携・協力体制の構築」が22.2%となっている。

「その他」の回答では、「公立小中高で日本語教育を外部委託で可能にすること」、「日本語ボランティアスタッフの登録制も用いる（広く市民に呼びかけて）」、「①生活者の日本語、特に公立の小中高にいる児童、学生の日本語教育のフォロー、②ボランティアで行っている日本語教育の補助」といった回答が挙げられている。

図表 91 今後の日本語教育の充実に向けて、行政が行うべき環境整備〔複数回答・上位3つまで〕



(19) 日本語教育に関する行政（大阪市）の役割や環境整備に関する意見

18校中8校からの回答があり、意見の内容は以下の通りである。

意見
外国人の生活面でのサポート（住所登録や医療機関での通訳など）が手厚くなれば、学校としては大変助かる。
役所や公共施設の多言語化の促進。「やさしい日本語」の認知度を上げることと、その普及。
国際化についての理解を広めてほしい。
ボランティアの活動だけに頼らず、行政からの支援をもっと増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none">・現在会社法人の日本語学校は、大学、専門学校のように学校法人として扱われず、大阪メトロなど公共交通機関での割引が適用されない。同じ留学生として差別化せず、通学定期が使えるよう切に望む。・日本国内で生活している外国人で日本語学習を希望する方を紹介するサービス（又は本人が学校を紹介する）。
健全な経営、適正な運営に対する監視、指導等。
地域の日本人と外国人が交流できる場を設けてほしい。行政の主催わかりませんが、外国の絵本を外国人が日本人に読み聞かせたり、その逆も行うイベントがありましたが、良い交流の場だった。
コロナ禍での外国人留学生受入れにおける、留学生に対する隔離期間中の費用援助や滞在先の確保。

VI. 中学校夜間学級調査

1. アンケート調査概要

(1) 調査の目的

中学校夜間学級は、様々な理由で義務教育を修了できなかった人たちが学ぶ場として整備され、大阪市では4校に設置されている。一般に、中学校夜間学級には外国人が多数在籍しているが、対応している教師は当該校の教員職がほとんどで、日本語教育の研修などを受けていない場合も見受けられる。また日本人や特に日本語教育を必要としない外国人が通学していることもあり、カリキュラムの工夫が必要となっている。

本調査は、市内4校での実態を把握し、課題抽出につなげることを目的として実施した。

(2) 調査対象

本市に立地する夜間学級を設置している市立中学校

(3) 調査方法

大阪市教育委員会より各校に送付、郵送で回収した。

(4) 調査時期

令和3年11月30日(火)～12月10日(金)

(5) 回収状況

発送数	回収数	回収率
4件	4件	100%

2. アンケート調査結果

(1) 教員体制について

教員体制は以下のとおりである。

図表 92 教員体制

	A 中学校	B 中学校	C 中学校	D 中学校
校長	1	1	1	1
教頭	1	1	1	1
教諭	4	3	6	6
期限付講師	2	2	3	1
非常勤講師	7	5	4	6
養護教諭	1	1	1	1

(2) 生徒の属性について

回答校には、いずれも特別永住外国人はいない。

A 中学校、B 中学校、D 中学校は「日本の義務教育未修了者」と回答しており、このなかには外国人も含まれていると考えられる。B 中学校のみ「特別永住外国人以外の外国人」がいると回答している。A 中学校では、そのほか「不登校等により日本の義務教育を十分に受けられなかった義務教育修了者」を回答しており、「学齢期に海外で通学していたが、不十分だった人を含む」と補記している。D 中学校では、その他として「新渡日の義務教育未修了者」を回答している。

*C 中学校は無回答

図表 93 生徒の属性 [複数回答]

	国 特 人 別 永 住 外	外 国 特 人 別 永 住 外 の 外 人	人 不 非 特 明 明 別 の 別 永 外 住 国 住	者 教 日 育 本 未 の 修 義 了 務	修 たら十義よ不 了 義務なに教日校 者 務か受育本等 教 つけをのに 育	そ の 他
A 中学校				○	○ 学齢期に海外で 通学していたが 不十分だった人 を含む	
B 中学校		○		○		
C 中学校						
D 中学校				○		○ 新渡日の義務教 育未修了者

(3) 生徒の学年別人数について

B 中学校は、在籍生徒総数に対する外国籍の生徒の割合が 4 割程度となっているが、他の 3 中学校は 8 割から 9 割を占めている。4 校とも学年によって外国籍の生徒数割合は異なっている。

A 中学校は外国籍の生徒数割合は高いものの、日本語指導が必要な生徒数割合は 36.4% と 4 校の中で最も低い。B 中学校の外国籍の生徒数自体は少ないが、外国籍の生徒の全員が、日本語指導が必要な生徒となっている。C 中学校は、外国籍の生徒数割合が最も高いが、日本語指導が必要な生徒の割合は半数程度となっている。D 中学校は外国籍の生徒数割合が 8 割と高く、そのうち日本語指導が必要な生徒数割合も 87.3% と 4 校中、日本語指導のニーズが最も高いと言える。

図表 94 生徒の学年別人数

		1年	2年	3年	合計
A中学校	在籍生徒総数（人）	8	12	36	56
	外国籍の生徒数（人）	8	12	24	44
	比率	100.0%	100.0%	66.7%	78.6%
	うち日本語指導が必要な生徒数（人）	3	6	7	16
	外国籍での比率	37.5%	50.0%	29.2%	36.4%
B中学校	在籍生徒総数（人）	3	7	4	14
	外国籍の生徒数（人）	2	3	1	6
	比率	66.7%	42.9%	25.0%	42.9%
	うち日本語指導が必要な生徒数（人）	2	3	1	6
	外国籍での比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
C中学校	在籍生徒総数（人）	13	5	54	72
	外国籍の生徒数（人）	10	4	48	62
	比率	76.9%	80.0%	88.9%	86.1%
	うち日本語指導が必要な生徒数（人）	7	3	20	30
	外国籍での比率	70.0%	75.0%	41.7%	48.4%
D中学校	在籍生徒総数（人）	9	25	45	79
	外国籍の生徒数（人）	8	25	30	63
	比率	88.9%	100.0%	66.7%	79.7%
	うち日本語指導が必要な生徒数（人）	8	25	22	55
	外国籍での比率	100.0%	100.0%	73.3%	87.3%

(4) 生徒の年齢別人数について

A 中学校、C 中学校は、外国籍の生徒数では 60 歳以上が最も多い。A 中学校、D 中学校は各年代とも外国籍の生徒が数名は在籍している。B 中学校、C 中学校は 15～19 歳、20 代において外国籍の生徒は在籍しておらず、30 代、40 代、50 代は、人数は少ないがほぼ全員が外国籍となっている。

図表 95 生徒の年齢別人数

		15～19歳	20代	30代	40代	50代	60歳以上	合計
A中学校	全体人数（人）	9	10	4	5	7	21	56
	うち外国籍の生徒数（人）	8	8	4	4	4	16	44
	比率	88.9%	80.0%	100.0%	80.0%	57.1%	76.2%	78.6%
B中学校	全体人数（人）	1	0	1	1	4	7	14
	うち外国籍の生徒数（人）	0	0	1	1	3	1	6
	比率	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	75.0%	14.3%	42.9%
C中学校	全体人数（人）	0	0	1	1	8	62	72
	うち外国籍の生徒数（人）	0	0	1	1	8	52	62
	比率	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.9%	86.1%
D中学校	全体人数（人）	14	21	3	8	8	25	79
	うち外国籍の生徒数（人）	14	19	3	7	7	13	63
	比率	100.0%	90.5%	100.0%	87.5%	87.5%	52.0%	79.7%

【外国籍の生徒への支援について】

(5) 学級編成・指導体制上の工夫について

A 中学校、D 中学校は「日本語指導が必要な生徒に対する特別の教育課程の編成・実施（取り出し授業）」を実施している。B 中学校は「複数の教職員による個に応じた指導」、C 中学校は「日本国籍含め教科によって習熟度別に学級編成」を実施している。①の教員体制と照応すると、A 中学校、D 中学校ともに日本語指導の資格を有する教員が配置されていたり、日本語指導者が配置されていたり、ボランティアも確保している。C 中学校は日本語の指導が必要な生徒数は 30 名と多いが、職員体制と照応すると教員一人あたりの人数が相対的に少ない。日本語指導資格のある教員や日本語指導者の配置はなく、ボランティア 2 名のみとなってはいるが、それでも「日本国籍含め教科によって習熟度別に学級編成」での対応が可能となっている背景かと考える。B 中学校は、日本語指導が必要な生徒数がそもそも少ないため、「複数の教職員による個に応じた指導」が可能となっていると推察される。

図表 96 学級編成・指導体制上の工夫

	外国籍の生徒を対象とした学級の設置	日本国籍含め教科によって習熟度別に学級編成	日本語指導が必要な生徒に対する特別の教育課程の編成・実施（取り出し授業）	複数の教職員による個に応じた指導	高校受験を希望するなど、特別な支援を必要とする生徒への個別の対応	日本語指導が必要な生徒への日常生活での日本語使用場面を想定した練習	生徒同士のコミュニケーション活動の取り入れ（各種行事含む）	その他	特に行っていない
A 中学校			○						
B 中学校				○					
C 中学校		○							
D 中学校			○						

図表 97 教員一人あたりの日本語指導が必要な生徒数

	教員数 (常勤、非常勤、講師等) (人)	日本語指導の必要な外国籍の生徒数 (人)	教員一人あたりの日本語指導が必要な生徒数 (人)	
			教員全体	特支を含まない場合
A 中学校	6	16	2.7	—
B 中学校	11	6	0.5	—
C 中学校	14	30	2.1	2.3
D 中学校	13	55	4.2	—

(6) 教職員の研修について

A 中学校、D 中学校では、「日本語教師の資格取得を目指す教員がいる」と回答している。A 中学校は「資格取得者がいるので研修も可能」と回答しており、校内で研修対応が出来る様子がうかがえる。D 中学校は他に、「校内で講師を招聘するなど学ぶ機会を設けている」と回答している。両校とも学校内に研修の場を設けるなどで対応している。

B 中学校と C 中学校では、「近畿夜間中学校連絡協議会の部会活動などに参加している教員がいる」という回答となっており、教職員の自主的な取組が中心となっている。

図表 98 日本語指導のための取組 [複数回答]

	校内で講師を招聘するなど 学ぶ機会を設けている	近畿夜間中学校連絡協議会 の部会活動などに参加して いる教員がいる	日本語教師の資格取得を目 指す教員がいる	その他
A 中学校			○	○ 資格取得者がいるので研修も可能
B 中学校		○		
C 中学校		○		
D 中学校	○		○	

(7) 自宅学習のためのタブレット・スマートフォンなどの保有状況

A 中学校、C 中学校は「ほとんどの生徒が保有していない」、B 中学校は「保有している生徒としていない生徒がおおむね半々である」と回答している。D 中学校は「分からない」という回答であった。いずれにせよ自宅学習のためのタブレット・スマートフォンの保有が十分ではない様子が見えてくる。

図表 99 自宅学習のためのタブレットの保有

	ほとんどの生徒が保有している	保有している生徒としていない生徒がおおむね半々である	ほとんどの生徒が保有していない	分からない
A 中学校			○	
B 中学校		○		
C 中学校			○	
D 中学校				○

(8) 今後授業等で ICT を活用する場合の不安点について

最も多かった回答は「慣れるまでに時間がかかる」「今までの教え方に慣れているので新しい教え方に対応できるか不安がある」、次いで「ICT 環境や教材作成に関する講師の質問に対応できる人材が不足している」「効果的な使い方が分からない。何が出来るのか分からないので語彙や文法提示以外の使い方を知りたい」であった。また B 中学校からは「デジタルデータの管理に不安がある」、C 中学校からはその他として「高齢の生徒にとって本当に必要か」という意見が寄せられた。C 中学校は 60 歳以上が全生徒の 86%を占め、60 歳以上の外国人も、全外国人生徒数の 84%を占めるなど、60 歳以上が多いことも意見の背景にあると考える。

全体に、ICT を使い慣れていないことが不安の要因となっていることがうかがえる。

図表 100 今後授業で ICT を活用する場合の不安点 [複数回答・上位3つ]

	機器の不具合や、教室間の設備の違いにより均質な授業ができなくなってしまうことが心配	ICT 環境や教材作成に関する講師の質問に対応できる人材が不足している	慣れるまでに時間がかかる	デジタルデータの管理に不安がある	今までの教え方に慣れているので新しい教え方に対応できるか不安がある	電子教材（イラストなど）よりレリア（本当のものを使った教材）を使ったほうが良い	効果的な使い方が分からない。何が出来るのか分からないので語彙や文法提示以外の使い方を知りたい	デジタル化された効果があればすぐに導入したいが、ICT を導入したことによる具体的な効果が示された資料が不足している	プレゼンテーションソフトを使うことで学生とのやりとりを活かした授業ができなくなってしまうことが心配	その他
A 中学校			○		○		○			
B 中学校		○	○	○						
C 中学校			○		○					○ 高齢の生徒にとって本当に必要なのか？
D 中学校		○			○		○			

(9) 外国籍の生徒の夜間学級での学習ニーズについて

すべての中学校が、「読み書きができるようになるため」及び「日本語が話せるようになるため」を選択した。そのほかでは B 中学校と D 中学校が「高等学校に入学するため」、A 中学校が「中学校教育を修了しておきたいため」、C 中学校が「職業資格を取得するため」と回答しており、少しニーズが異なっている様子が見える。

図表 101 外国籍生徒の夜間学級での学習ニーズ [複数回答・上位3つ]

	高等 学校に 入学す るため	職業 資格を 取得す るため	中学 校教育 を修了 し ておき たいた め	中学 校の学 力を身 につけ たいた め	読み 書きが できる よ うに なる ため	日本 語が話 せるよ うに なる ため	その他
A 中学校			○		○	○	
B 中学校	○				○	○	
C 中学校		○			○	○	
D 中学校	○				○	○	

(10) 他の日本語教室や組織、団体等との交流・連携状況について

A 中学校はその他のみで、「大阪府外の昼の中学校と定期的に交流している」と回答している。

B 中学校、C 中学校、D 中学校では「大阪市内の他の夜間学級と定期的に情報交換をしている」「大阪市内の他の夜間学級と勉強会などを開催している」「大阪市以外の夜間学級と交流している」と回答している。また B 中学校と C 中学校では、「昼間部と定期的な情報交換をしている」と回答している。

D 中学校では、「外国人支援団体と連携して生徒を支援している」を選択し、具体的な連携先として「こども広場」、具体的な交流内容は「中学を修了していない生徒を受け入れ、高校進学へつなげている」としている。またその他の回答として「大阪市総合学習センターの「にほんごこんにちは」のパンフレットを送ってもらっている」と回答している。

図表 102 他の日本語教室や組織、団体等との交流・連携状況〔複数回答〕

	大阪市内の他の夜間学級と定期的に情報交換をしている	大阪市内の他の夜間学級と勉強会などを開催している	大阪市以外の夜間学級と交流している	小学校と情報交換会をしている	昼間部と定期的な情報交換をしている	外国人支援団体と連携して生徒を支援している	企業や個人事業者などと情報交換など連携している	連合振興長会や地域活動協議会、各種団体と交流している	その他
A 中学校									○ 大阪府外の昼の中学校と定期的に交流している
B 中学校	○	○	○		○				
C 中学校	○	○	○		○				
D 中学校	○	○	○			○ ①具体的な連携先：こども広場 ②交流内容：中学を修了していない生徒を受け入れ、高校進学へつなげている			○ 大阪市総合学習センターの「にほんごこんにちは」のパンフレットを送ってもらっている

(11) 今後交流・連携していきたい他の日本語教室や組織、団体について

B 中学校のみが、「本校に近い日本語教室があれば、どの団体（しっかりとした体制や認可がおりていることが条件）でもいいと考える」と回答している。

図表 103 今後、交流・連携していきたい他の日本語教室や組織、団体

A 中学校	—
B 中学校	本校に近い日本語教室があればどの団体（しっかりとした体制や認可がおりていることが条件）でもいいと考える。
C 中学校	—
D 中学校	—

(12) 今後、市内の夜間学級で外国人生徒を受け入れるにあたり支援してほしいこと、市内の日本語教育体制を強化するにあたり、貴校が協力できることについて

【支援してほしいこと】

A 中学校と B 中学校は、「日本語教師の資格者の確保、配置」と回答している。また A 中学校は「現職の教員が日本語教師の資格を取得できる支援」と回答している。C 中学校と D 中学校は「ボランティアの確保・派遣（コーディネーター含む）」と回答している。

【協力できること】

D 中学校のみが回答している。「近隣の日本語教室を紹介することができる」ということであつた。

図表 104 今後夜間学級で支援してほしいこと、協力できること

	支援してほしいこと	協力できること
A 中学校	日本語教師の資格者の人数を確保してほしい。現職の教員が働きながら日本語教師の資格を取得できるよう支援してほしい。	—
B 中学校	日本語指導の資格を持った人材の配置	—
C 中学校	通学ボランティア	—
D 中学校	週 1 回程度の日本語教室をしたいので、コーディネーターとボランティアを派遣してほしい	近隣の日本語教室を紹介する

VII. 外国人支援団体調査

1. アンケート調査概要

(1) 調査の目的

外国人の相談対応などを行っている団体に対し、実態及び課題を把握するため調査を実施した。

(2) 調査対象

本市に立地する外国人相談実施団体

(3) 調査方法

郵送発送・郵送回収

(4) 調査時期

令和4年1月18日(火)～1月31日(月)

(5) 回収状況

発送数	回収数	回収率
8件	3件	37.5%

2. アンケート調査結果

(1) 運営主体

アンケートに回答されたのは3団体で、財団法人が2つ、ボランティア団体が1つであった。そのほか、市内では各区社会福祉協議会、NPO 団体などが相談対応を実施している。

図表 105 運営主体

団体名/機関名	運営主体
団体A	ボランティア
団体B	財団法人
団体C	財団法人

(2) 活動内容

3 団体とも実施しているのは「外国人の相談対応」「外国人への生活情報の提供」であった。日本語学習の支援は団体Bのみであった。「外国人への就職支援」については、回答3団体はいずれも対応していない。

図表 106 活動内容〔複数回答〕

	外国人の相談対応	外国人への生活情報の提供	外国人への生活支援	日本語学習の支援	外国人への就職支援	地域住民との交流の企画	通訳派遣 翻訳	日本文化を紹介するための活動（節分や七夕などのイベントなど）	外国の文化を紹介する活動（衣装や料理、風習、言葉など）	その他
団体A	○	○	○			○		○		
団体B	○	○	○	○		○	○		○	
団体C	○	○					○		○	○

(その他：留学生寮運営 国際理解教育、災害時外国人支援、やさしい日本語研修)

(3) 支援をしている、または相談を受ける相談者について

3団体とも中国籍の方への支援を実施している。他はベトナム、フィリピンとなり、団体Cのみ「その他」と回答があった。

対象とする年代では、団体Aは、子どもの居場所としての学習支援や食事支援を目的に活動していることもあり、19歳までを対象としている。団体Bは20～49歳が主な対象となっている。

※在留資格は、団体Aが「定住者」「家族滞在」と回答。他2団体は無回答のため、表は掲載せず

図表 107 国籍 [複数回答・上位3つまで]

	韓国・朝鮮	中国	ベトナム	フィリピン	台湾	ネパール	インドネシア	アメリカ	タイ	ブラジル	インド	その他
団体A		○		○								
団体B		○	○	○								
団体C		○	○									○

(その他：英語圏、スペイン語圏)

図表 108 年齢 [複数回答・上位3つまで]

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～
団体A	○							
団体B		○	○	○				
団体C								

(4) 相談内容

相談内容では、3 団体とも「行政手続きについて」相談があるとの回答であった。そのほか、「ビザ（在留資格の変更や日本国籍の取得等）について」「医療、福祉、介護について」は団体B、団体Cが、「経済的支援について」は団体Aがそれぞれ回答している。

図表 109 相談内容〔複数回答・上位3つまで〕

	日本語学習について	ビザ（在留資格の変更や日本国籍の取得等）について	地域の生活ルールやマナーについて	地域住民との交流、付き合いについて	仕事について（職探し含む）	子育て、教育について	住まいについて	医療、福祉、介護について	経済的支援について	行政手続きについて	その他
団体A									○	○	
団体B		○						○		○	
団体C		○						○		○	

※アンケートには、日本語学習に関する相談対応についての設問があるが、相談内容で「日本語学習について」と回答した団体がなかったため、日本語学習に関する相談対応についての設問に該当する団体はなし。

(5) 外国人のニーズに対する、現在の大阪市の日本語教育資源の過不足感

団体Bのみ「足りていない」との回答であった。

「足りていない」と回答した団体Bに、大阪市内にどのような日本語教育資源が充実すればよいと思うかをきいたところ、「夜間・土日に学べる日本語教室・学校」、「家や職場の近くで学べる日本語教室・学校」、「ゼロ初級レベルの日本語が学べる日本語教室・学校」、「業種別の専門的な日本語が学べる教室・学校」、「オンライン（Zoomなど）日本語学習の場」、「託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室・学校」との回答であった。

図表 110 外国人のニーズに対する、現在の大阪市の日本語教育資源の過不足感

	足りている	足りていない	分からない
団体A			○
団体B		○	
団体C			○

(6) 今後の日本語教育の充実に向けて必要な環境整備

団体Aは「日本語指導の資格を持った日本語教師を増やすための支援、研修の充実」「外国人がレベルやニーズに応じた日本語学習を受けられるよう、識字・日本語教室や日本語学校の活動内容の紹介や情報提供」と回答した。

団体Bは「行政によるゼロ初級レベルの日本語教育の充実」「日本語学校や識字・日本語教室、NPO等日本語教育に関わる団体のネットワークの構築や協議会の設置」と回答した。また団体B、団体Cともに「その他」を選択している。意見としては、日本語学習の機会を提供する様々な資源の役割分担とシームレスな学習環境の整備、また学びやすい時間・場所の設定などであった。

図表 111 今後の日本語教育の充実に向けて必要な環境整備 [複数回答]

	識字・日本語教室、日本語学校が新規開設を進めるための支援体制の強化	識字・日本語教室、日本語学校の運営(経済的支援含む)や講座内容を充実させるための支援体制の強化	日本語指導の資格を持った日本語教師を増やすための支援、研修の充実	日本語ボランティアスタッフの養成や研修の充実	行政によるゼロ初級レベルの日本語教育の充実	外国人の日本語レベルやニーズに応じた日本語学習プログラムの開発	外国人がレベルやニーズに応じた日本語学習を受けられるよう、識字・日本語教室や日本語学校の活動内容の紹介や情報提供	他団体、日本語学校等との連携の橋渡し(コーディネーター)	日本語教育のコーディネーターの配置	日本語学校や識字・日本語教室、NPO等日本語教育に関わる団体のネットワークの構築や協議会の設置	外国人を雇用している企業との連携・協力体制の構築	その他	特になし
団体A			○				○						
団体B					○					○		○	
団体C												○	

(その他)

団体B	現在ある日本語学習の機会を提供する資源(教室等)の役割分担を明確にし、外国人住民の様々なニーズに応えられる体制づくり
団体C	外国人が学びやすい時間・曜日・場所の設定

(7) 日本語教育に関して、今後必要な取組や環境整備に関する自由意見

自由記述では、団体 B が回答している。日本語習得の重要性を踏まえ、生活に必要な最低限の日本語を学ぶ機会を行政として提供する仕組みの構築が必要であるという意見であった。

図表 112 日本語教育に関して、今後必要な取組や環境整備に関する自由意見（原文）

団体B	外国人が大阪（日本）で暮らすうえで、日本語の習得は非常に重要である。コロナの影響によりその機会が制限されているが、生活に必要な最低限の日本語を学ぶ機会を行政として提供することが必要である。外国人住民にとって日本語教室は日本社会との接点であり、唯一の接点である者も少なくない。また、行政として外国人住民に必要な情報や支援を直接伝えることができる場でもある。外国人住民が安心、安全に大阪で暮らせるよう、これを有効に活用した行政サービスの提供を行う仕組み作りが必要である。
-----	---

VIII. 仲介事業者調査

1. アンケート調査概要

(1) 調査の目的

技能実習や特定技能などの受入れ支援を行っている仲介事業者に対して、日本語教育の実態及び課題を把握するため調査を実施した。

(2) 調査対象

本市に立地する監理団体・登録支援機関等

(3) 調査方法

郵送発送・Web回収

(4) 調査時期

令和3年12月21日(火)～令和4年1月14日(金)

(5) 回収状況

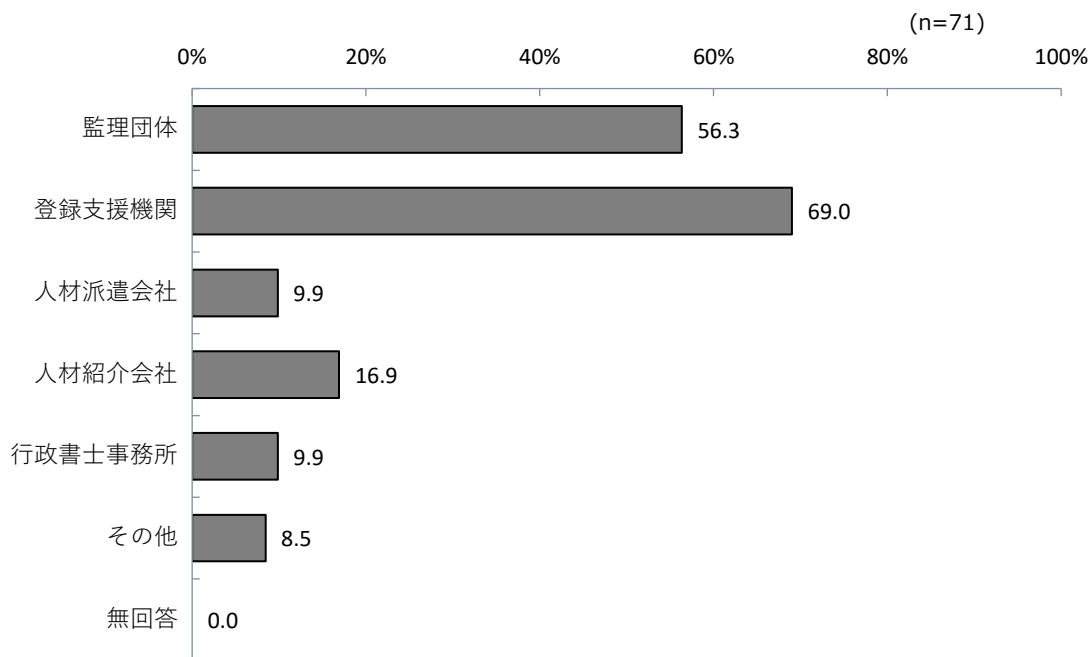
発送数	回収数	回収率
476件	71件	14.9% (未着除く 15.4%)

2. アンケート調査結果

(1) 団体属性

団体属性は、「登録支援機関」が69.0%と最も高く、「監理団体」が56.3%となっている。

図表 113 団体属性〔複数回答〕



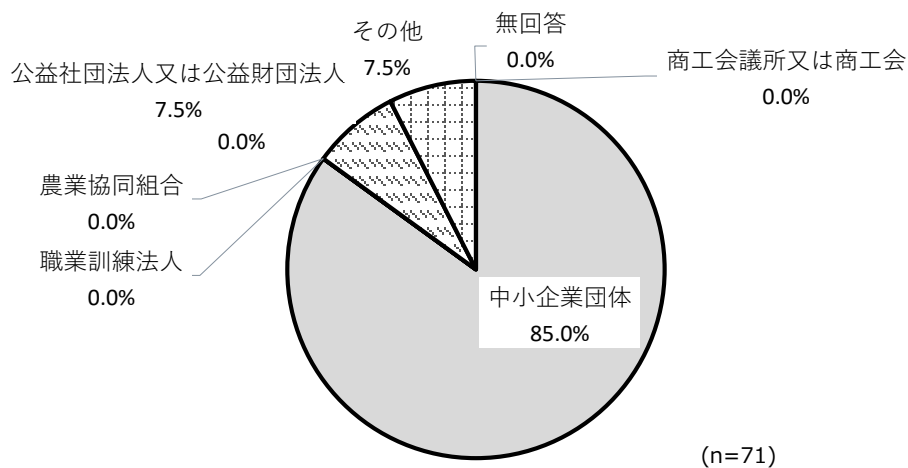
<その他>

日本語学校、社労士事務所、旅行会社、不動産仲介など

(2) 団体の母体

監理団体に対して、団体の母体を聞いたところ、「中小企業団体」が85.0%と最も高くなっている。

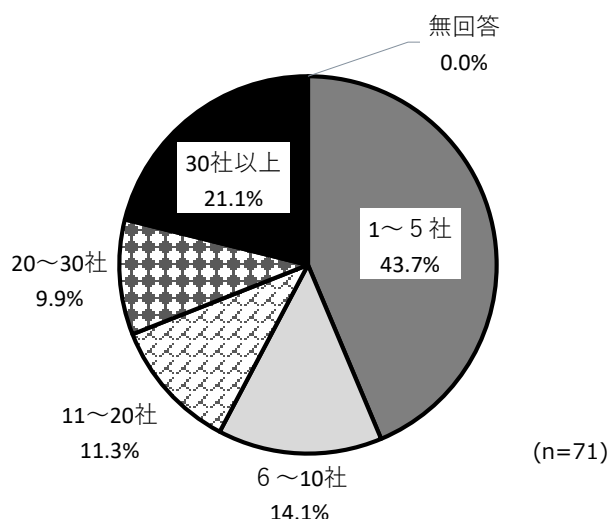
図表 114 団体の母体



(3) 支援・監理している企業数

支援・監理している企業数は、「1～5社」が43.7%と最も高く、次いで「30社以上」が21.1%、「6～10社」が14.1%となっている。

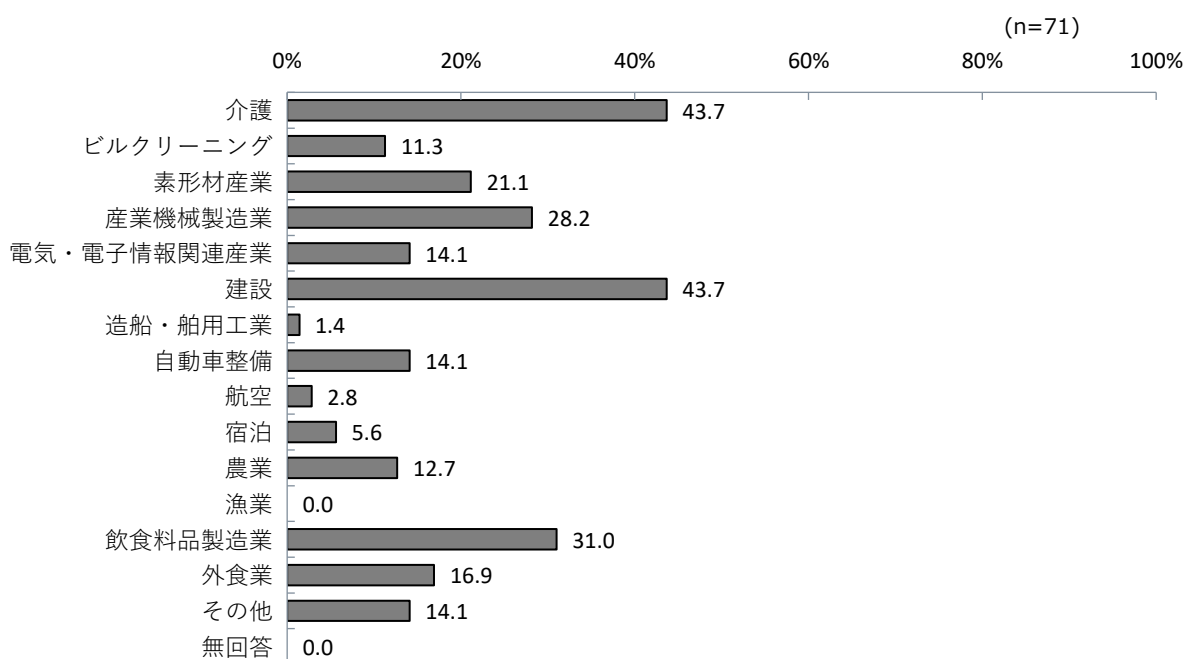
図表 115 支援・監理している企業数



(4) 支援・監理している企業の主な業種

支援・監理している企業の主な業種は、「介護」、「建設」がともに43.7%と最も高く、次いで「飲食料品製造業」が31.0%、「産業機械製造業」が28.2%となっている。

図表 116 支援・監理している企業の主な業種〔複数回答〕



<その他>

繊維、縫製業など

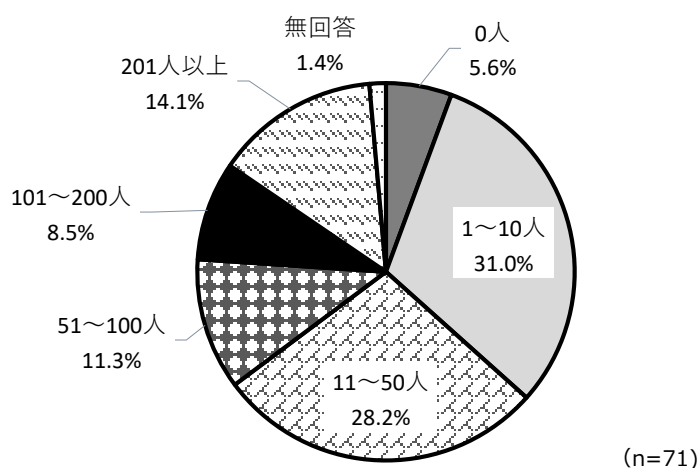
(5) 延べ支援人数（国籍別、在留資格別）（2020 年度）

2020 年度の延べ支援人数は、「1～10 人」が 31.0%と最も高く、次いで「11～50 人」が 28.2%となっている。一方で 1,000 人以上を支援する大規模な団体もあり、ばらつきが大きい。平均は 171.5 人、最大値 5,270 人、最小値 0 人となっている。

国籍別では、1 人以上支援している団体数の割合は、ベトナムが 76.1%と最も高く、次いで中国が 32.4%となっている。各団体での支援人数はばらつきが大きい。1 団体の支援人数の平均では中国が 76.6 人と最も多く、次いでベトナムが 69.1 人、ミャンマーが 17.8 人となっている。

在留資格別では、1 人以上支援している団体数の割合は、技能実習が 52.1%と最も高く、次いで特定技能が 43.7%となっている。各団体の支援人数はばらつきが大きい。1 団体の支援人数の平均では技能実習が 152.5 人と最も多く、次いで留学が 14.2 人となっている。

図表 117 延べ支援人数

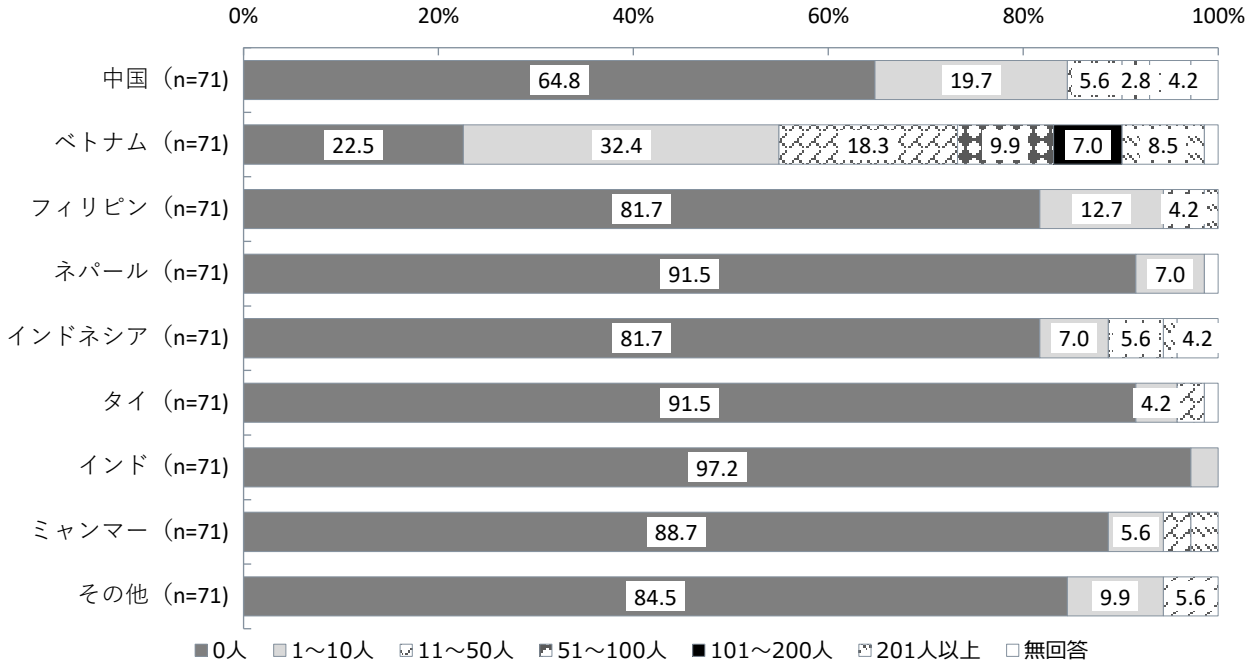


図表 118 国籍別延べ支援人数（平均）

	平均	最大値	最小値
中国 (n=69)	76.6	4,200	0
ベトナム (n=70)	69.1	1,000	0
フィリピン (n=71)	5.5	250	0
ネパール (n=70)	0.2	4	0
インドネシア (n=68)	7.7	400	0
タイ (n=70)	0.7	20	0
インド (n=71)	0.0	1	0
ミャンマー (n=71)	17.8	600	0
その他 (n=71)	2.4	40	0

※平均は無回答を除いている

図表 119 国籍別延べ支援人数 (割合)

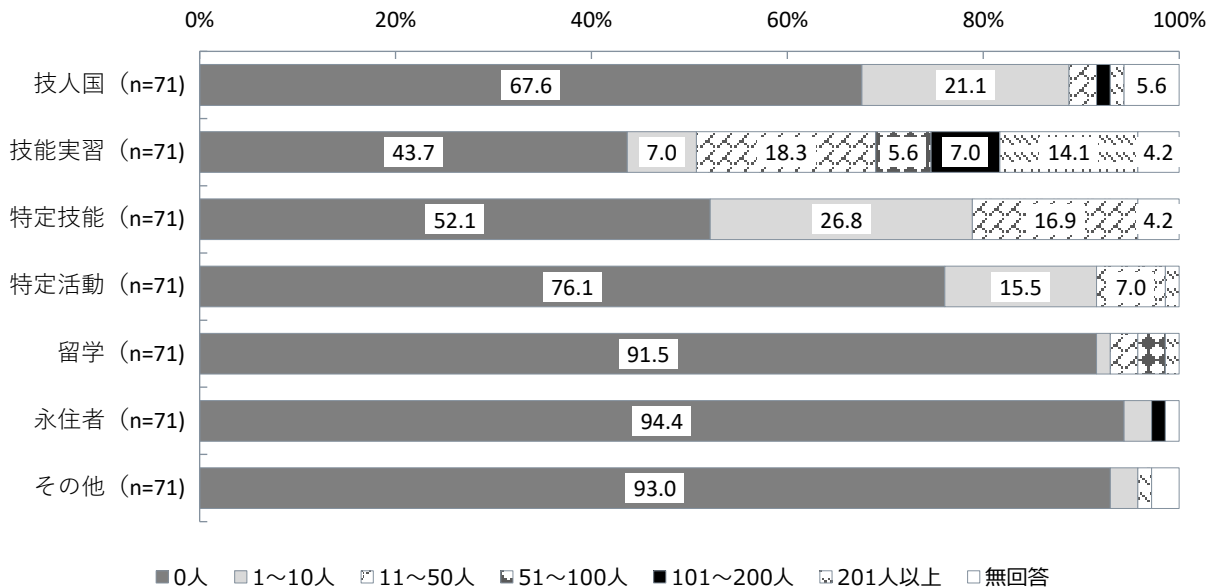


図表 120 在留資格別延べ支援人数 (平均)

	平均	最大値	最小値
技術・人文知識・国際業務 (n=67)	8.8	360	0
技能実習 (n=68)	152.5	5,000	0
特定技能 (n=68)	6.7	50	0
特定活動 (n=70)	5.6	250	0
留学 (n=71)	14.2	800	0
永住者 (n=70)	2.1	139	0
その他 (n=69)	4.6	314	0

※平均は無回答を除いている

図表 121 在留資格別延べ支援人数 (割合)

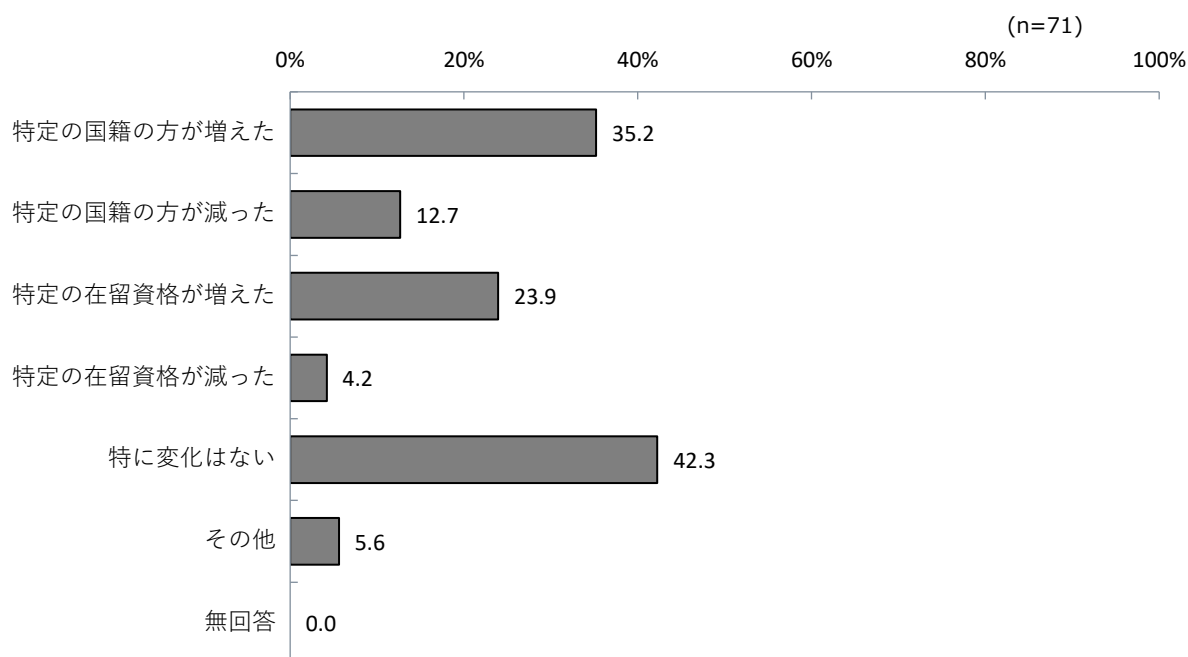


※技人国：技術・人文知識・国際業務の略

(6) ここ5年間で、支援した外国人の国籍、在留資格の変化

ここ5年間で、支援した外国人の国籍、在留資格の変化は、「特に変化はない」が42.3%と最も高くなっている。それ以外では、「特定の国籍の方が増えた」が35.2%、「特定の在留資格が増えた」が23.9%となっている。

図表 122 ここ5年間で、支援した外国人の国籍、在留資格の変化〔複数回答〕



<増えた国籍>

ベトナム (23 件)、中国、インドネシア (2 件)、フィリピン、ミャンマー (1 件)

<減った国籍>

中国 (6 件)、ベトナム (3 件)、インドネシア、韓国 (1 件)

<増えた在留資格>

特定技能 (10 件)、特定活動 (7 件)、技能実習 (5 件)、技術・人文知識・国際業務 (2 件)、永住者 (1 件)

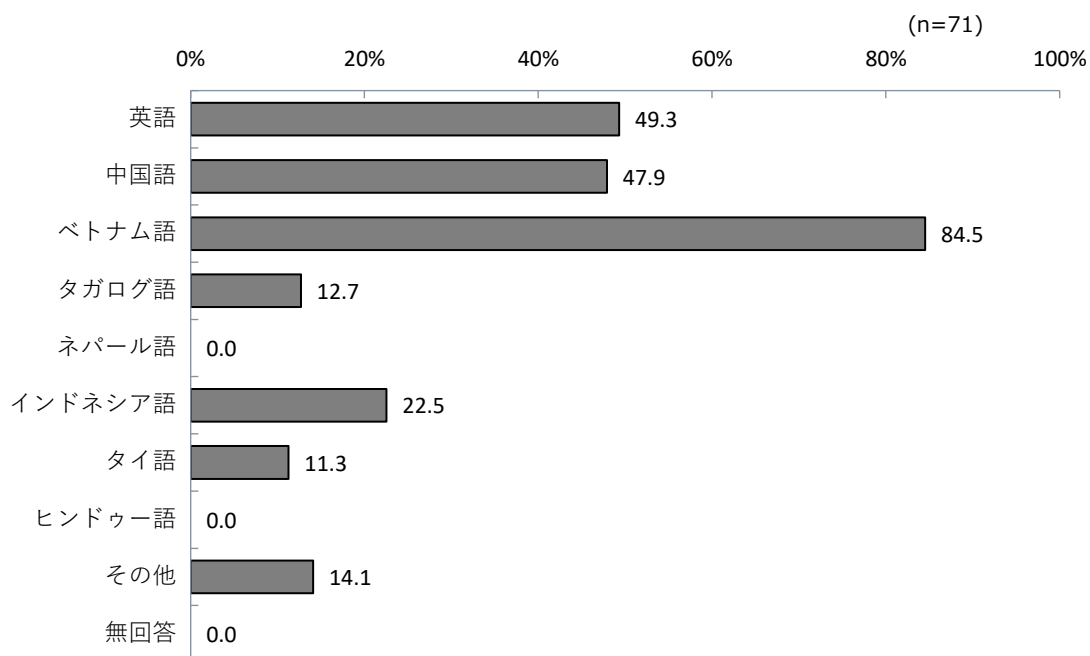
<減った国籍>

技能実習 (2 件)、留学 (1 件)

(7) 団体で対応している言語

団体で対応している言語は、「ベトナム語」が84.5%と最も高く、次いで「英語」が49.3%、「中国語」が47.9%、となっている。

図表 123 団体で対応している言語 [複数回答]



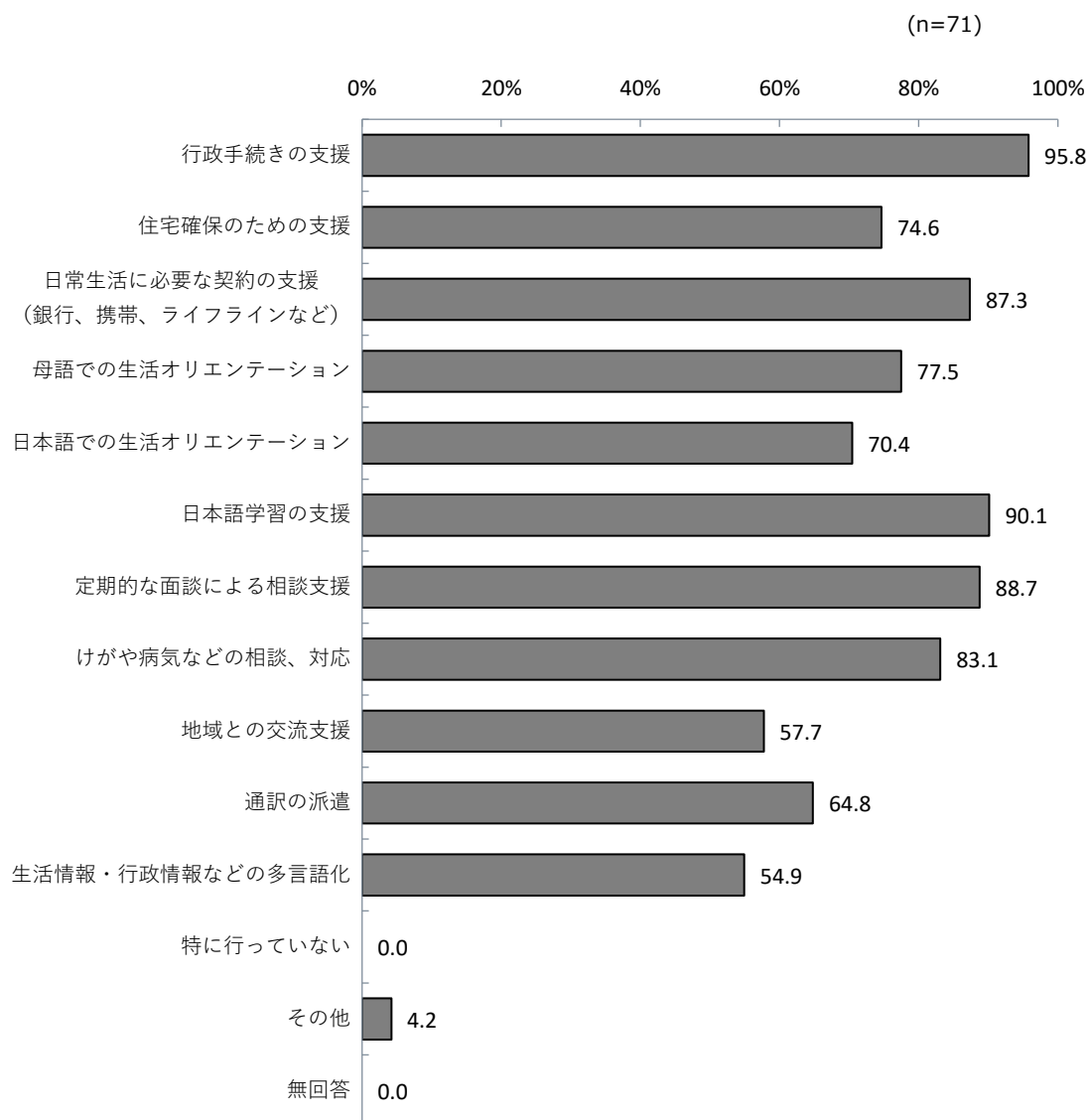
<その他>

ミャンマー語、モンゴル語、カンボジア語、韓国語

(8) 外国人に対して行っている支援

外国人に対して行っている支援についてみると、多くの支援内容で 70%以上となっている。特に、「行政手続きの支援」、「日本語学習の支援」については 90%以上となっており、ほとんどの団体が実施している。

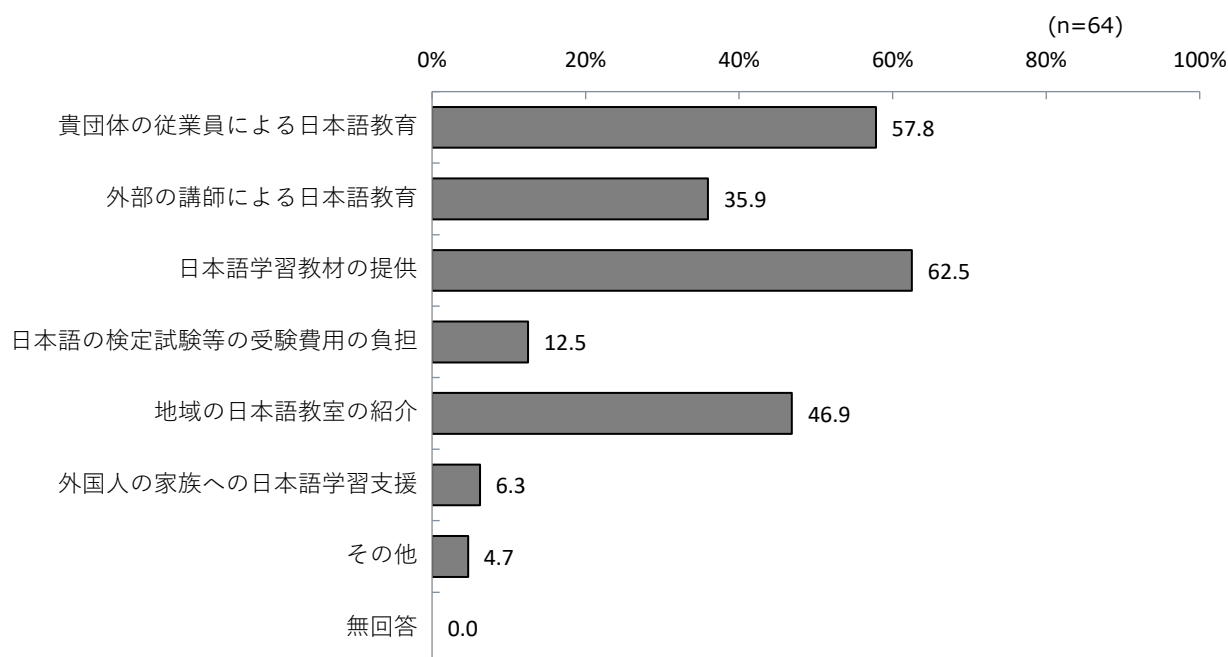
図表 124 外国人に対して行っている支援〔複数回答〕



(9) 具体的な日本語学習の支援

外国人へ日本語学習の支援を行っている団体に対して、具体的な日本語学習の支援を聞いたところ、「日本語学習教材の提供」が62.5%と最も高く、次いで「貴団体の従業員による日本語教育」が57.8%、「地域の日本語教室の紹介」が46.9%となっている。

図表 125 具体的な日本語学習の支援 [複数回答]



(10) 外国人の日本語学習の支援にあたって工夫していること、課題に感じていること

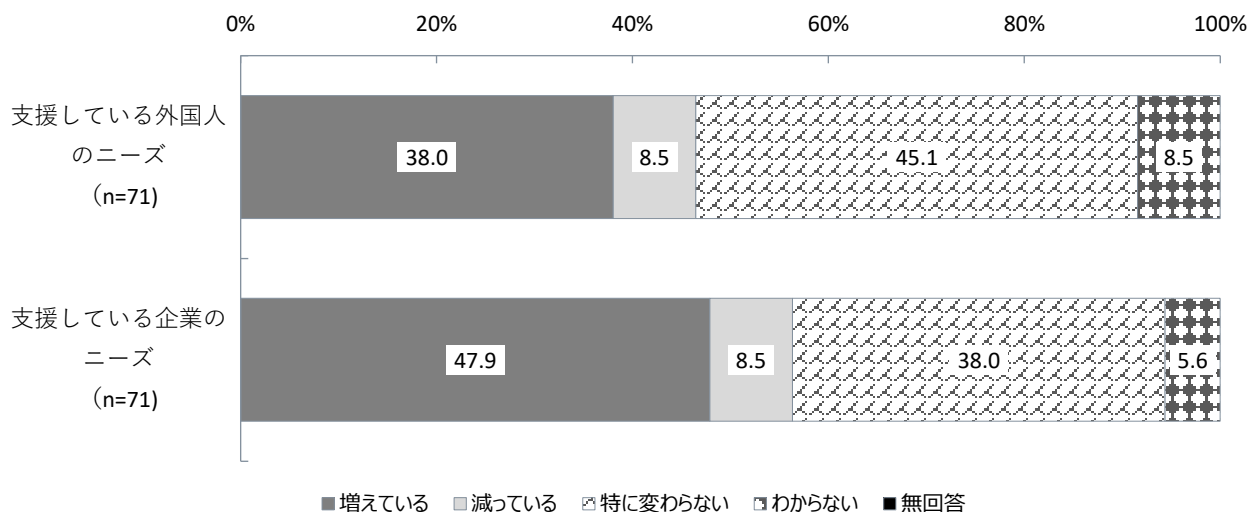
24の団体から、以下のような回答があった。

カテゴリ	内容
工夫していること	
オンライン学習、eラーニング	コロナ禍ということもあり、外部講師によるオンライン日本語授業を実施。配布テキストの使用だけでなく、音声や映像などを織り交ぜながら学習者が退屈しないように工夫 Zoom やメッセージなどを利用した教育を実施 eラーニング
実践的な教育	日常の業務中に使える教材を揃えている 生活に直結するような日本語の指導
効率的な指導	母語の特性を理解した効率的指導 文化心理学に基づく支援
自前の研修センターの活用	自前の研修センターを使い日本語の先生に依頼
インセンティブの付与	受入れ企業に対して、少しのインセンティブで良いので、資格取得と同じように日本語能力を上げると、給料が上がるようにしてもらっている 日本語検定合格者に褒賞金を支給し日本語に対する意識向上
日本語に触れる機会の増加	出来るだけ多国籍にして母語ではなく日本語でコミュニケーションを取らせている 行政の情報等は母語とやさしい日本語で提供し、少しでも多く日本語に接する機会を提供 本人達が通いやすいように、居住地による学習支援団体の選定
課題に感じていること	
時間が少ない	日本語学習にかける時間が少ない 定期に学習する時間の確保が難しい。特に COVID-19 の影響で会社自体が多人数での集会等を控えているため、現在は日本語の教本を実習生に渡し、勉強を促すことぐらいである 仕事が忙しく、勤務時間が長い場合、オンラインで実施したが、双方の時間が合いにくく、実施が難しい 就労と日本語学習の両立、日本語学習時間の確保が難しい
費用がかかる	日本語の勉強に費用がかかる 外部学習塾や WEB 講習は外国人にとって費用が高い。しかし監理団体に教育するには人員と時間に限界がある
レベルにあった日本語教育の難しさ	日本語学習の時間を技能実習生に任せているため、解説による理解やレベルに沿った学習ができていないか不安
日本人との交流の機会が少ない	職場により日本語での交流に差がある為、もっと日本人と会話する環境を作りたい
ボランティアでの限界	ボランティアでは限界があり、公的な支援が今後の課題
モチベーションの違い	本人達にやる気がない 日々の努力だと思いが、途切れ途切れで身につかない時が多い 技能実習生のモチベーションがそれぞれ違うこと

(11) ここ5年間での、日本語学習ニーズの変化

ここ5年間での、日本語学習ニーズの変化について、支援している外国人のニーズは「特に変わらない」が45.1%と最も高くなっているが、支援している企業のニーズについては「増えている」が47.9%と最も高くなっている。

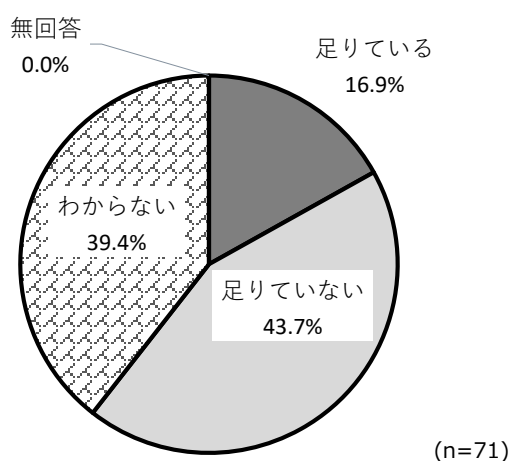
図表 126 ここ5年間での、日本語学習ニーズの変化



(12) 外国人や企業からのニーズに対する大阪市内の日本語教育資源の充足度

外国人や企業からのニーズに対して、大阪市内の日本語教育資源は足りているか聞いたところ、「足りていない」が43.7%、「分からない」が39.4%となっている。

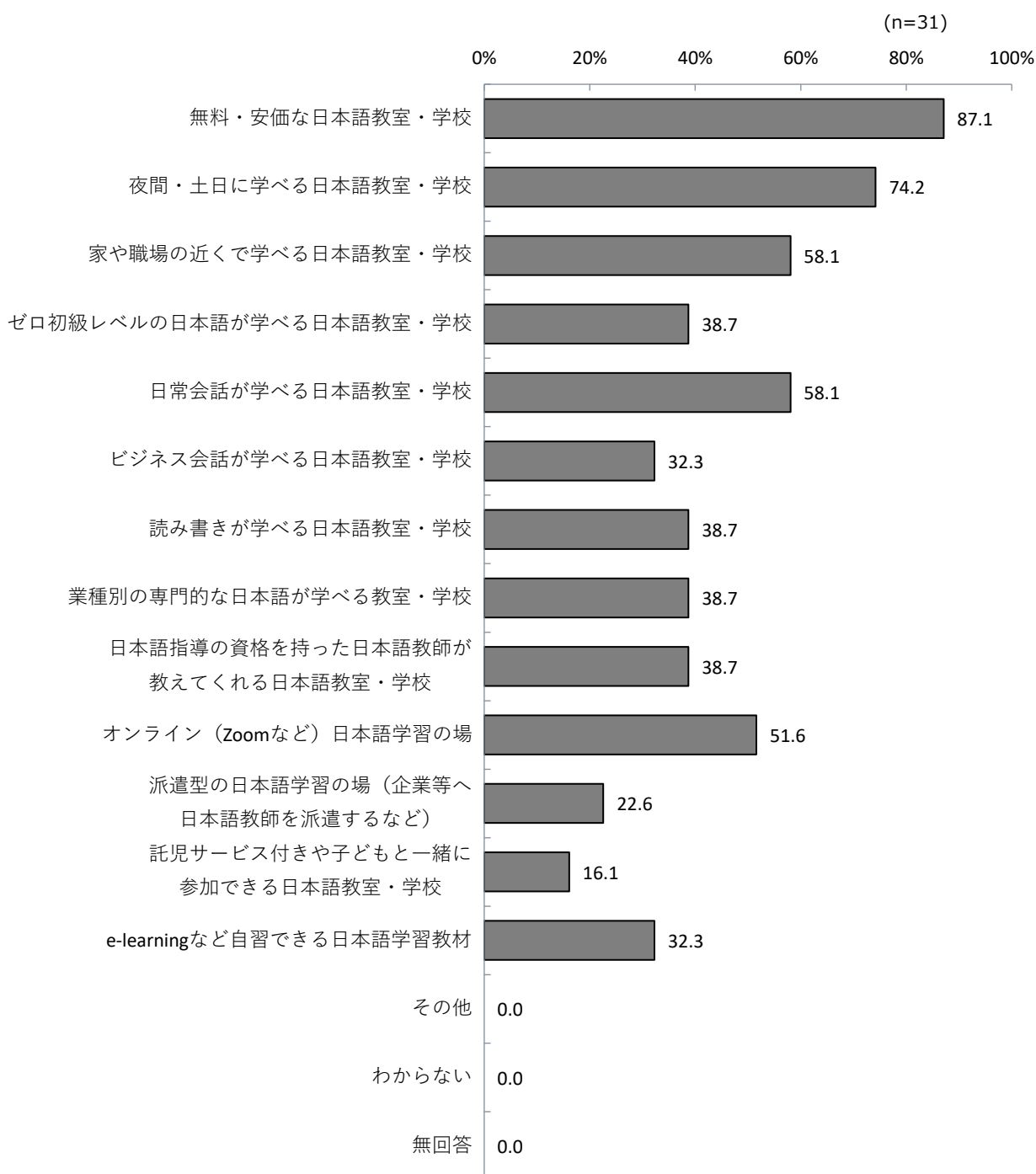
図表 127 外国人や企業からのニーズに対する大阪市内の日本語教育資源の充足度



(13) 大阪市内で充実すればよい日本語教育資源

日本語教育資源が足りていないと回答した団体に対して、大阪市内で充実すればよい日本語教育資源を聞いたところ、「無料・安価な日本語教室・学校」が87.1%と最も高く、次いで「夜間・土日に学べる日本語教室・学校」が74.2%、「家や職場の近くで学べる日本語教室・学校」、「日常会話が学べる日本語教室・学校」が58.1%となっている。

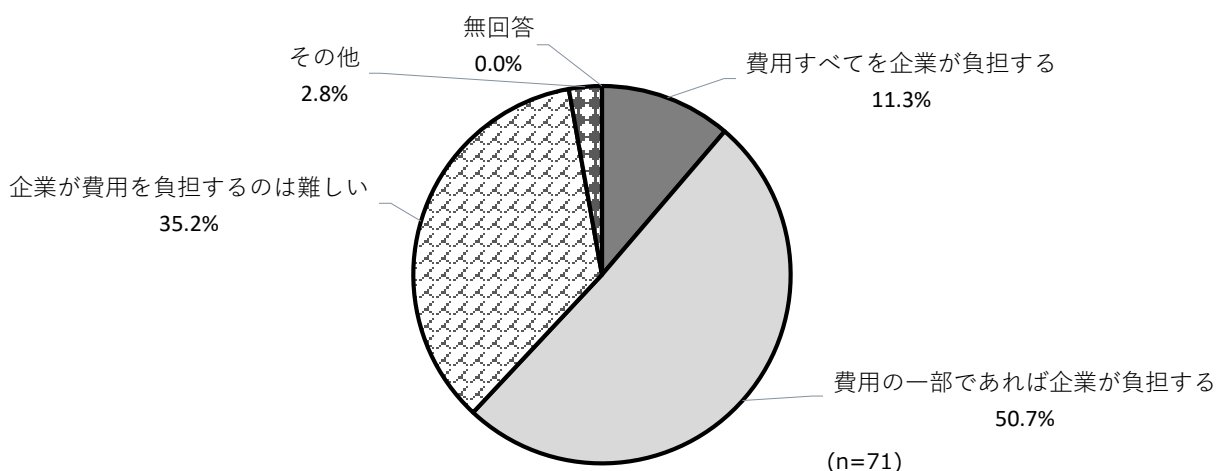
図表 128 大阪市内で充実すればよい日本語教育資源〔複数回答〕



(14) 企業の雇用外国人に関する、日本語学習の費用負担の考え方

企業は、雇用している外国人が日本語学習の場に参加するにあたり、必要となる費用について、どの程度負担が可能と考えている場合が多いか聞いたところ、「費用の一部であれば企業が負担する」が50.7%と最も高く、「費用すべてを企業が負担する」と合わせると、約6割の団体で、企業が費用負担と考えている。

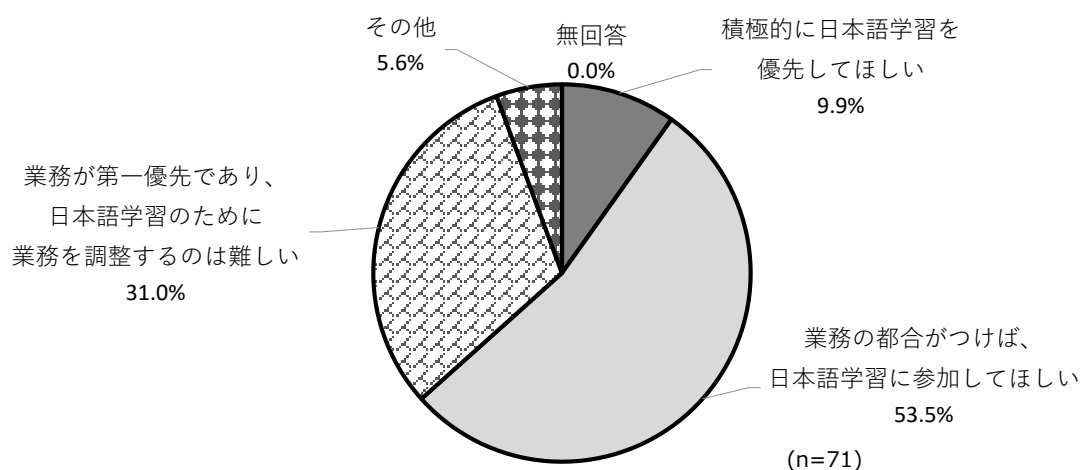
図表 129 企業の雇用外国人に関する、日本語学習の費用負担の考え方



(15) 企業の雇用外国人に関する、日本語学習と仕事との時間のバランスの考え方

企業は雇用している外国人が日本語学習の場に参加するにあたり、仕事との時間のバランスについて、どの程度の配慮が可能と考えている場合が多いか聞いたところ、「業務の都合がつけば、日本語学習に参加してほしい」が53.5%と最も高くなっている。

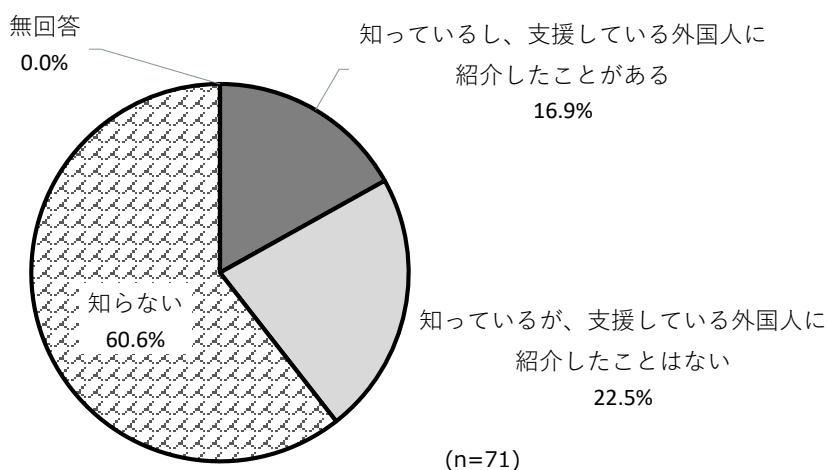
図表 130 企業の雇用外国人に関する、日本語学習と仕事との時間のバランスの考え方



(16) 大阪市が運営する識字・日本語教室の認知状況

大阪市が運営する識字・日本語教室の認知状況は、「知らない」が60.6%と最も高くなっている。「知っているし、支援している外国人に紹介したことがある」が16.9%となっている。

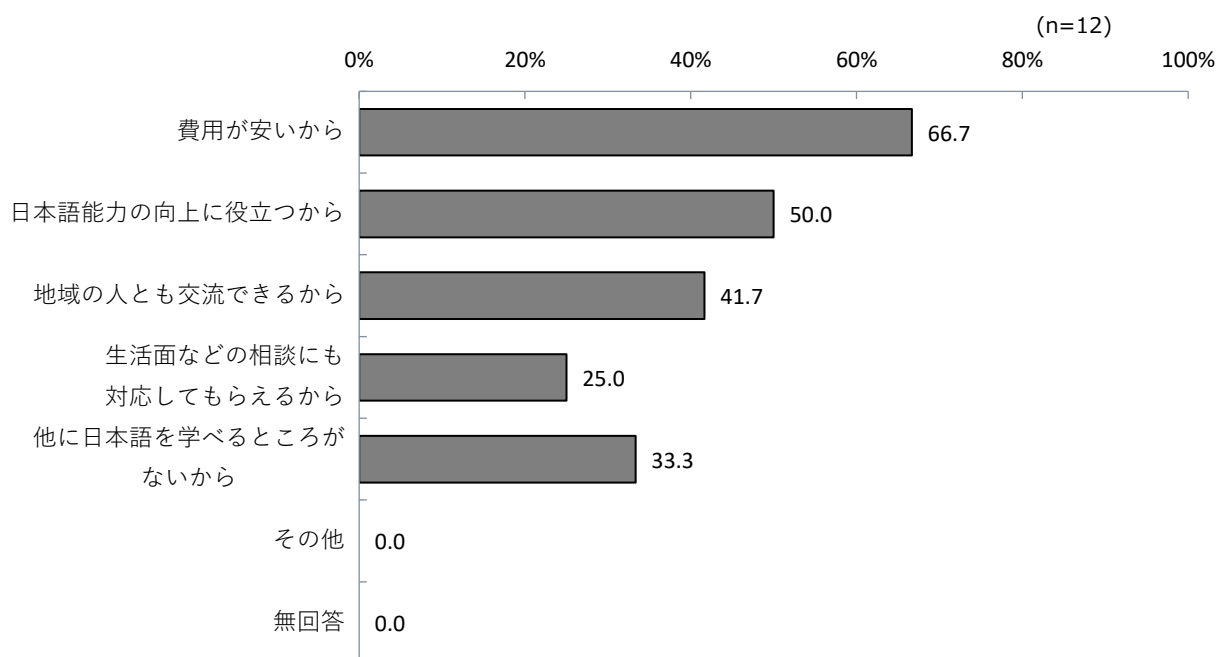
図表 131 大阪市が運営する識字・日本語教室の認知状況



(17) 支援している外国人に紹介している理由

大阪市が運営する識字・日本語教室を「知っているし、支援している外国人に紹介したことがある」と回答した団体に対して、支援している外国人に紹介している理由を聞いたところ、「費用が安いから」が66.7%と最も高く、次いで「日本語能力の向上に役立つから」が50.0%となっている。

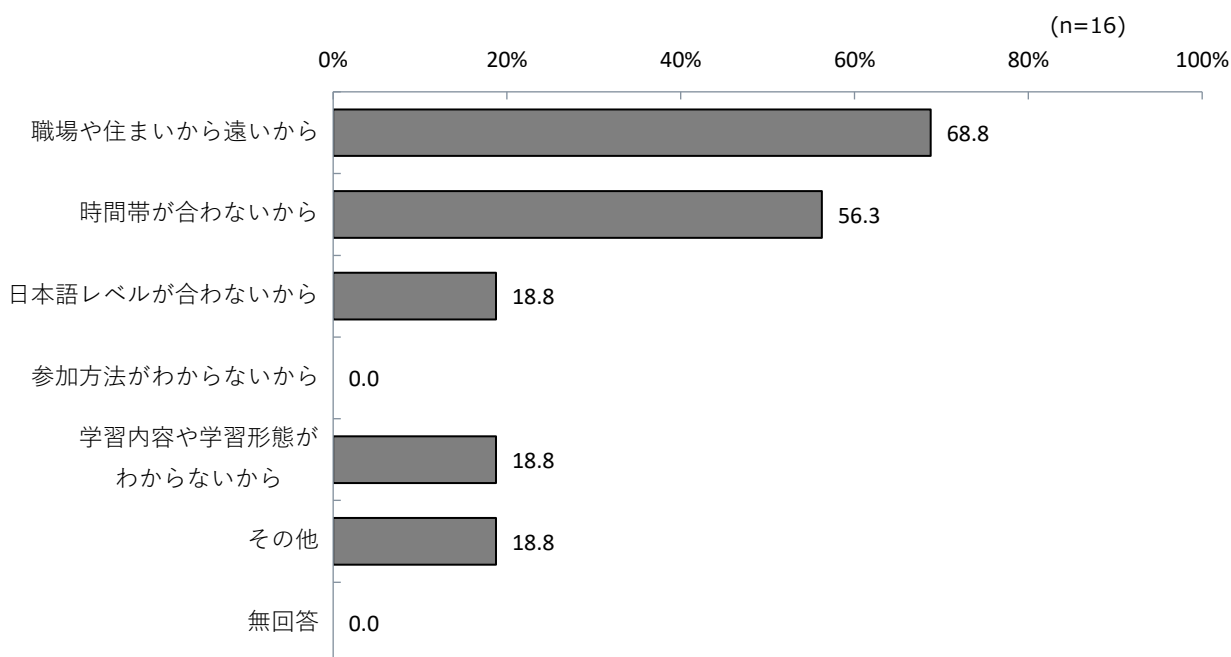
図表 132 支援している外国人に紹介している理由〔複数回答〕



(18) 支援している外国人に紹介したことがない理由

大阪市が運営する識字・日本語教室を「知っているが、支援している外国人に紹介したことはない」と回答した団体に対して、紹介したことがない理由を聞いたところ、「職場や住まいから遠いから」が68.8%と最も高く、次いで「時間帯が合わないから」が56.3%となっている。

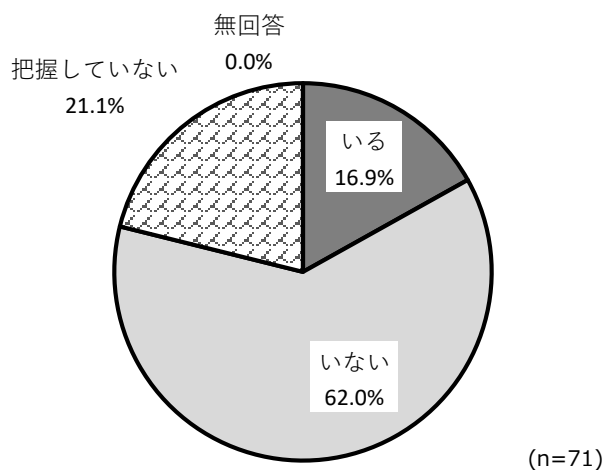
図表 133 支援している外国人に紹介したことがない理由 [複数回答]



(19) 支援している外国人で実際に識字・日本語教室に参加している人の有無

支援している外国人で実際に識字・日本語教室に参加している人がいるか聞いたところ、「いない」が62.0%、「いる」が16.9%となっている。

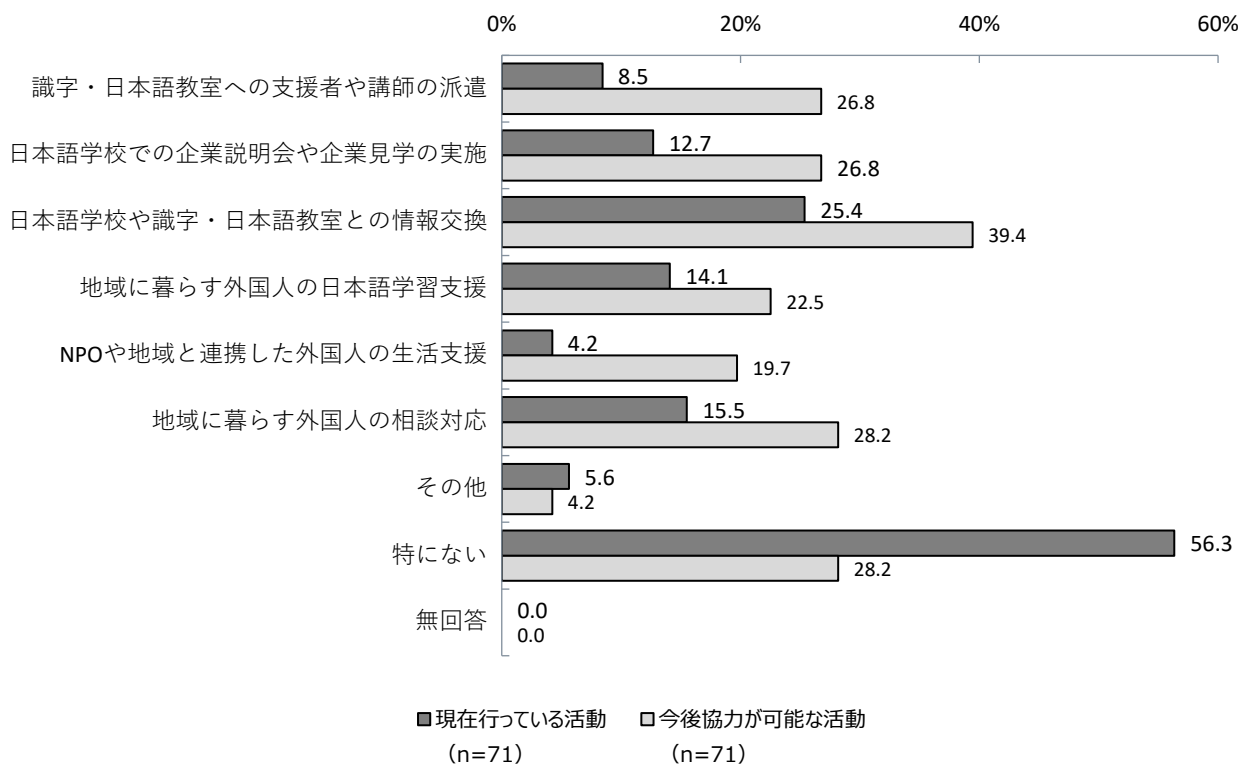
図表 134 支援している外国人で実際に識字・日本語教室に参加している人の有無



(20) 地域の日本語教室に対して現在行っている活動、今後協力可能な活動

地域の日本語教室に対して行っている活動について、現在行っている活動については「特にない」が56.3%と最も高いが、今後協力可能な活動については「日本語学校や識字・日本語教室との情報交換」が39.4%と最も高く、次いで「地域に暮らす外国人の相談対応」が28.2%となっている。

図表 135 地域の日本語教室に対して現在行っている活動、今後協力可能な活動〔複数回答〕



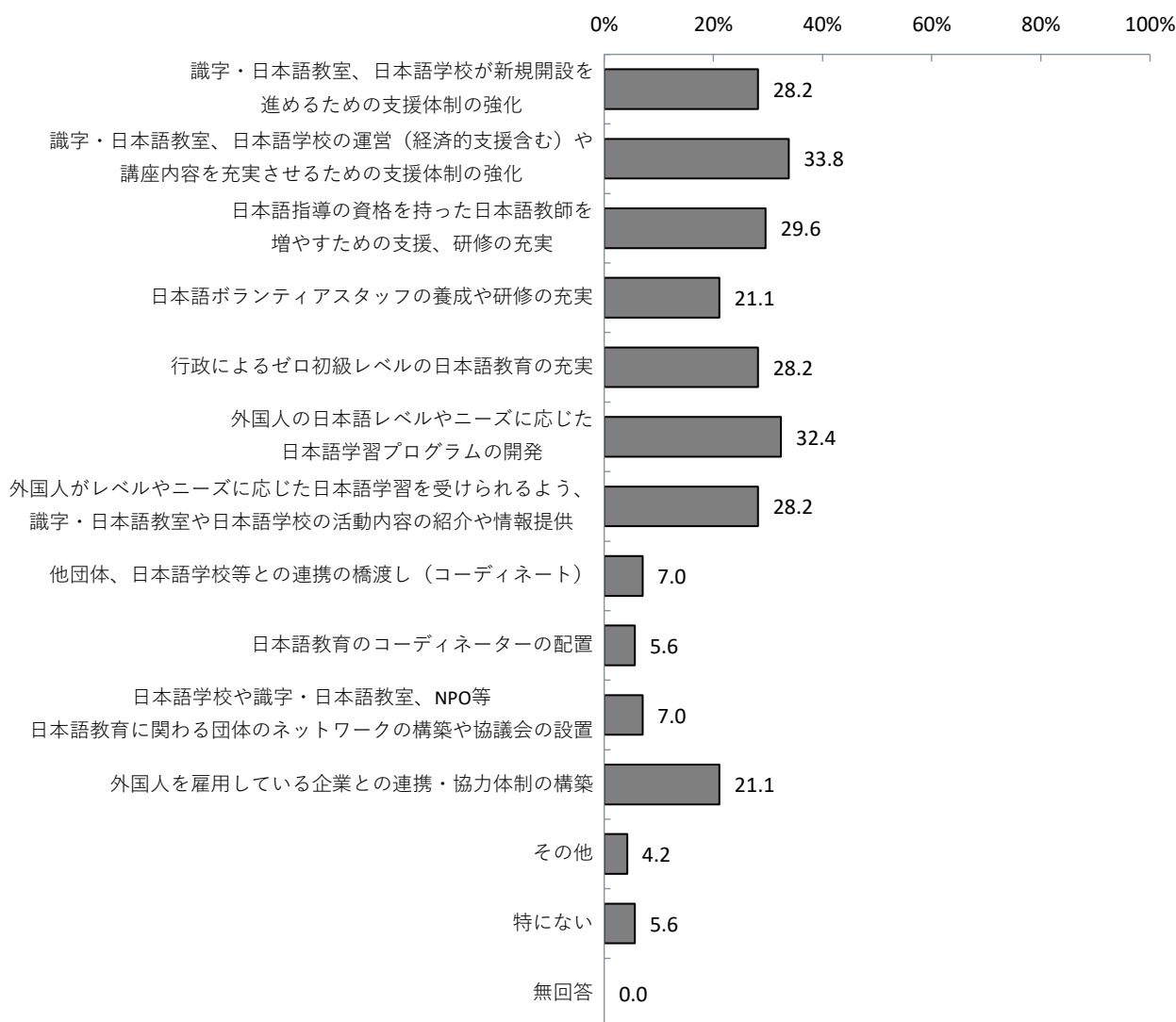
<その他：現在の取組み>

SUCCESS-Osaka コンソーシアムへの参画
やさしい日本語オンラインセミナーの実施 など

(21) 今後の日本語教育の充実に向けて、行政が行うべき環境整備

今後の日本語教育の充実に向けて、行政が行うべき環境整備について聞いたところ、「識字・日本語教室、日本語学校の運営（経済的支援含む）や講座内容を充実させるための支援体制の強化」が33.8%と最も高く、次いで「外国人の日本語レベルやニーズに応じた日本語学習プログラムの開発」が32.4%、「日本語指導の資格を持った日本語教師を増やすための支援、研修の充実」が29.6%となっている。

図表 136 今後の日本語教育の充実に向けて、行政が行うべき環境整備〔複数回答〕



(22) 日本語教育に関する行政（大阪市）の役割や環境整備に関するご意見

17の団体から、以下のような意見が挙げられた。

カテゴリ	意見
外国人への情報発信	外国人への日本語教育支援の情報発信（市区町村や大阪入管など外国人が立ち寄る場所での）が必要
	国ごとのインフォーマルな社会資源の調査およびその資源へのアプローチとネットワーク化がなされれば、外国人へのアウトリーチ活動が進められると考える
時間に関わらず学習できる日本語プログラム	仕事をしていても時間に関わらずレッスンを受けられる環境を作っていただくことが有用。オンラインでいつでも日本語レッスンを受けることができ、日本語レベルごとの講座構成、技能実習の職種ごとの業界専門用語、方言（関西弁、泉州弁）を意識した内容にしていると実効性があるとする
	WEBによる日本語学習プログラムなど、いつでも、どこでも学習できる環境を作してほしい
ビジネス文化の教育	日本語教育と同様に日本のビジネス文化も同時に教育すべき。母国と違うビジネス環境で日本企業の働き方や考え方を教育しないと長続きしないのが現状
日本語教室の増加	ボランティアの日本語教室の機会の創出
	日本語を無料で教える教室を行政で開講してほしい
企業や団体への補助	環境整備を行うなら企業や日本語支援している団体への補助が必要
企業の知識の向上	企業向けにも、やさしい日本語にそった外国人とのコミュニケーションの回り方をレクチャーするようなオンライン教材があると外国人の日本語勉強の努力が結実しやすくなると考える
地域住民との交流促進	行政が日本語教育に関わるのであれば、生活者として外国人が住みやすくなる（地域住民とのコミュニケーション・文化習慣、地域特性の理解など）手助けをしてほしい
	日本語教育と同時に、日本人の持つ常識と母国の常識の違いを教えて、日常の細かいトラブルを解消していく必要がある
外国人の交流の場づくり	グローバルなコミュニティを作してほしい
	大阪国際交流センターを活用してグローバルな交流の場を設けてほしい
日本語教師の交流の場づくり	大阪市内の日本語教師が集まる場やコミュニティがほしい

IX. 考察

1. 外国人の日本語学習の現状

(1) 属性

- ・ 外国人住民アンケートでは、回答者の出身地別の属性として、他の出身地と比べると以下のような特徴がみられた。
 - 「韓国・朝鮮」では、年代は「50代」、「60代」、「70代」、在留資格は「永住者」、在日期間は「15年以上」の割合が他の出身地と比べて高い。
 - 「中国」では、年代は「40代」、在留資格は「永住者」、「永住者の配偶者」、在日期間は「5年以上～10年未満」、「10年以上～15年未満」の割合が他の出身地と比べて高い。
 - 「ベトナム」では、性別は「男性」、年代は「20代」、在留資格は「技能実習」「特定技能」「留学」、在日期間は「1年以上～3年未満」、「3年以上～5年未満」の割合が他の出身地と比べて高い。
 - 「フィリピン」では、性別は「女性」、年代は「40代」、在留資格は「定住者」の割合が他の出身地と比べて高い。
 - 「台湾」では、性別は「女性」、年代は「30代」、在留資格は「技術・人文知識・国際業務」の割合が他の出身地と比べて高い。

(2) 日本語能力

- ・ 外国人住民アンケートでは、出身地では「韓国・朝鮮」や「中国」、「台湾」、在留資格では「永住者」や「技術・人文知識・国際業務」では日本語能力が高い傾向にあるが、出身地別では「ベトナム」や「フィリピン」、在留資格別では「技能実習」や「家族滞在」、仕事の有無別では「仕事をしていない（探していない）」において、日本語能力がやや低い傾向がうかがえた。

(3) 日本語学習の状況

- ・ 外国人住民アンケートでは、約90%の人が日本語学習の経験が「ある」と回答している。一方で、日本語学習の経験が「ない」と回答した人は、年代では「40代」、「50代」、在留資格では「永住者」、出身地では「フィリピン」で割合が高い。また、日本語学習の経験の「ある」人に比べて、日本語能力がやや低く、日本語が不自由で困った経験も多い傾向がうかがえるため、日本語学習の経験が「ない」人の方が日本語学習ニーズは高いと考えられる。
- ・ 現在の日本語学習の状況については、「学んでいる」と回答した人と「学んでいない」と回答した人が半数程度である。現在日本語を「学んでいる」人は、出身地では「ベトナム」、在留資格では「留学」で割合が高く、現在日本語を「学んでいない」人に比べて、在日期間が短く、日本語能力が低い

傾向がうかがえる。また、日本語が不自由で困った経験も多い傾向にあり、日本語学習ニーズが高いと考えられる。

- ・ 日本語を学んでいない理由では、現在「学んでいない」人、日本語を学んだ経験が「ない」人別にみると、現在日本語を「学んでいない」人は、「もう十分に日本語ができるから」学んでいないという割合が比較的高いのに対して、日本語学習の経験が「ない」人は、「仕事のために、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから」、「日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから」の割合が高く、日本語を学習するのが難しい環境にあることがうかがえる。
- ・ しかし、現在日本語を「学んでいない」人の中でも、出身地や在留資格によって日本語を学んでいない理由が異なる傾向があり、「仕事のために、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから」（「ベトナム」で割合が高い）、「日本語教室の情報がないから」（「ベトナム」、「フィリピン」で割合が高い）、「日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから」（「ベトナム」、「フィリピン」で割合が高い）、「育児や介護などのため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから」（「家族滞在」で割合が高い）などの理由が挙げられている。現在日本語を学んでいない人の中にも、日本語学習は必要であるが日本語学習の機会を得られていない人がいることもうかがえる。

2. 外国人の日本語学習ニーズ

(1) 外国人全体のニーズ

- ・ 外国人住民アンケートでは、日本語学習の経験が「ない」人や現在日本語を「学んでいない」人のうち、約70%が「日本語を学びたい」と回答している。出身地では「フィリピン」で、在留資格では「家族滞在」で、「日本語を学びたい」と回答した割合が高くなっている。
- ・ 「日本語を学びたい」人の日本語を学んでいない理由としては、「仕事のため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから」が44.3%、「日本語教室の情報がないから」が31.4%となっている。
- ・ 学びたい日本語は、属性によって異なっており、学びたい日本語別にみると以下のような特徴がみられる
 - 「初級会話」（「家族滞在」で割合が高い）
 - 「中級会話」（「家族滞在」で割合が高い）
 - 「ビジネス日本語」（出身地では「中国」、在留資格では「技術・人文知識・国際業務」で割合が高い）
 - 「日本語能力試験に向けた学習」（「ベトナム」で割合が高い）
 - 「漢字の書き」（「韓国、朝鮮」で割合が高い）
- ・ 日本語を学ぶために必要な環境は、全体として「時間的な余裕があれば学びたい」、「無料・安価な日本語教室があれば学びたい」の割合が高くなっている。学ぶために必要な環境を属性別にみると、次のような特徴がみられる。

- 「金銭的な余裕があれば学びたい」（出身地では「韓国・朝鮮」、在留資格では「留学」で割合が高い）
- 「日本語を勉強する教室について、もっと詳しい情報があれば学びたい」（出身地では「ベトナム」で割合が高い）
- 「無料・安価な日本語教室があれば学びたい」（「フィリピン」で割合が高い）
- 「日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい」（出身地では「フィリピン」、在留資格では「留学」、仕事の有無では「仕事をしている」で割合が高い）
- 「自分の学びたいことと、日本語教室の教え方や内容、レベルが合えば学びたい」（出身地では「中国」、在留資格では「技術・人文知識・国際業務」で割合が高い）
- 「良い教科書があれば学びたい」（出身地では「中国」で割合が高い）
- 「アプリやテレビ番組など1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい」（「日本人の配偶者等」で割合が高い）
- 「オンライン（Zoom など）で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい」（「韓国・朝鮮」、 「ベトナム」で割合が高い）
- 「託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい」（出身地では「フィリピン」、在留資格では「家族滞在」、子どもの有無別で「いる」で割合が高い）

（2）基礎レベルの日本語学習ニーズ

- ・ 外国人住民アンケートでは、前述のとおり、在留資格では「技能実習」や「家族滞在」、出身地では「フィリピン」、 「ベトナム」などで、日本語能力が低い状況がうかがえる。また、現在学習できておらず、日本語を学びたいという人としても、在留資格では「家族滞在」、出身地では「フィリピン」で学びたいの割合が高くなっている。基礎レベルの日本語学習が必要な人が一定数みられる状況である。
- ・ 大阪市が提供している日本語教育体制についてみると、識字・日本語教室では教室運営の課題として、「日本語がほとんど話せない学習者の対応が難しい」の割合が高くなっているが、そもそも識字・日本語教室は、基本的にはボランティアが運営していることから、基礎レベルの日本語学習への対応が困難であり、基礎レベルの学習者の受け皿になることは難しい状況となっている。
- ・ 日本語学校の中には、「定住者」や「家族滞在」なども対象にしているところがあり、一定の受け皿になっていると考えられるが、基礎レベルの日本語学習を必要としている人の中には、「フィリピン」、 「ベトナム」などで、日本語を学んでいない理由として「日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから」の割合が高くなっていたり、「フィリピン」で日本語を学ぶために必要な環境として「無料・安価な日本語教室があれば学びたい」の割合が高くなっていたりしており、日本語学校の学費を払うことが難しい人もいると考えられる。仲介事業者のアンケートでも、外国人にとって日本語学習の費用が高いことなどの意見が挙げられている。そのため、金銭的な負担の少ない日本語学習の場が必要

といえる。

- ・ 現状、大阪市の運営する事業で、基礎レベルの日本語を学べる機会はあるものの、教室の数は限られており、学習機会も限られている。技能実習、家族滞在は、近年増加している在留資格でもあり、基礎レベルの日本語学習ができる機会を拡充する必要がある。

(3) 「読み」「書き」のニーズ

- ・ 「読み」「書き」のニーズは、会話ほどではないが全体に「漢字」について高くなっている。出身地別では「韓国・朝鮮」で「漢字の書き」の割合が高くなっている。
- ・ 同居している小学生以上の子どもがいる人に、子どもの日本語学習で支援してほしいことを聞いたところ、「読み書きの練習をする機会がほしい」という割合が25.3%となっている。
- ・ 外国人住民へのヒアリングでは、「役所からもらった書類は分からないことが多い」、「年金、健康保険、年末調整の書類などは何度みても難しい」、「書くことは難しい。毎日、仕事の終わりに日報を書いており、それを先輩に直してもらっている」、「読み書きは1人で勉強できないので、勉強したい。もっと日本語を読めるようになって、いろいろなことを知りたい」などの意見があった。
- ・ 漢字は「読み」「書き」が難しいと感じる外国人が多い文字であるが、日常的に使用されるものであり、重要な情報を伝える書類などにも使われることから、「読み」「書き」の学習機会の充実が求められる。

(4) 日本人との交流による日本語学習ニーズ

- ・ 日本語学校のアンケートでは、学生のニーズとして、「日本文化に触れる機会」、「日本人との交流による日本語学習」を挙げる割合が高い。また、日本語学校卒業後についても、「日本人と交流できる場」、「さらなる学習の場」を求める意見が挙げられている。仲介事業者のアンケートでも、仲介事業者が支援する外国人の日本語学習の課題として、日本人との交流の機会を求める意見が挙げられている。
- ・ また、外国人住民へのヒアリングでも、「日本語学校で日本語を勉強したが、大学では関西弁がわからずに困った」という声や、「日本人と話す機会が少ないので、日本人との交流の場がほしい」という声が聞かれた。
- ・ 加えて、外国人住民へのヒアリングでは、基本的な日本語ができる人であっても、「話すスピードが速くて、職場での同僚との会話についていけない」、「日本のドラマや歌などの日本文化が分からない」、「若者の文化や若者言葉が分からない」、「どのような話題がでてくるか分からない近所の人との会話に難しい」という声が聞かれた。そのため、「日常会話を練習できる場や同じ年代の若い人と話す機会がほしい」という意見が挙げられた。
- ・ このような実践的な日本語を学ぶためには、日本人との会話の練習の場が必要である。現状では、識字・日本語教室が日常会話を練習する場としての役割を果たしており、外国人住民ヒアリングでは、

「識字・日本語教室に通って日本語で話す自信がついた」という声も聞かれている。引き続き、識字・日本語教室での活動を進めていくとともに、外国人のニーズに合わせた学習ができるよう、学習内容や体制を検討していく必要がある。

(5) 多様な日本語学習機会のニーズ

- ・ 外国人住民アンケートでは、日本語を学びたい時間帯として、「土日の午前 10~12 時頃」や「土日の午後 7~9 時」、「平日の午後 7~9 時」を希望する割合が高くなっている。
- ・ また、外国人住民アンケートでは、日本語を学んでいない理由の 1 つとして、「仕事のため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから」と、時間的な余裕がないことが理由として挙げられている。仲介事業者のアンケートでも、仲介事業者が支援する外国人の日本語学習の課題として、仕事が忙しく、日本語学習の時間がないことが意見として挙げられている。
- ・ 外国人住民へのヒアリングでも、「育児や家事、仕事などで時間が限られており、識字・日本語教室に参加したくてもできないので、オンラインであれば参加しやすい」という声や、技能実習生で、「仕事が忙しく、日本語を勉強する時間が限られているため、オンラインで日本語を学習したい」という声が聞かれた。
- ・ しかし、現状では、識字・日本語教室は「平日夜 6 時以降」に開催しているところが多く、土日に開催している教室の割合は低い。また、学習形態についても、「マンツーマン (対面)」か「少人数のグループレッスン (対面)」での教室の割合が高く、オンラインで実施している教室の割合は低いことから、外国人のニーズに十分にこたえられていない状況である。
- ・ 忙しい人であっても日本語学習ができるようにするためには、オンライン学習の機会や、仕事などが休みの土日の学習機会の増加が望まれる。
- ・ その他、外国人のニーズとして、子どものいる人では、外国人住民アンケートで「託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい」の割合が高くなっている。
- ・ 働く人については、外国人住民アンケートでは、「技術・人文知識・国際業務」で「ビジネス日本語」を学びたいという割合が高くなっていることや、仲介事業者では、「外国人の日本語レベルやニーズに応じた日本語学習プログラムの開発」を求める割合も高く、働く人に合わせた日本語プログラム、ビジネス文化を学べるプログラムも望まれている。
- ・ その他、外国人住民ヒアリングでは、「演劇やダンスを通じて日本語を学ぶ機会があるといい」や、「ハイキング、美術館、博物館に行き学ぶ機会があるといい」など、多様な学びの方法を求める意見も挙げられた。
- ・ このような多様な日本語学習環境・学習内容を作ることで、学習支援者 (ボランティア) として、学生や働く世代の担い手のすそ野もひろがり、識字・日本語教室の運営課題として挙げられている学習支援者の不足の解決にもつながると考えられる。

3. 子どもの日本語学習の場の提供

- ・ 外国人へのアンケートでは、同居の18歳以下の子どもが「いる」人は約2割となっており、出身地では「中国」、在留資格では「永住者」「日本人の配偶者等」、「家族滞在」で「いる」割合が高い。
- ・ このうち、同居している小学生以上の子どもが「いる」人では、子どもの日本語学習で支援してほしいこととして、「子どもの宿題をサポートしてくれる人がほしい」、「学校での日本語学習の時間を増やしてほしい」、「読み書きの練習をする機会がほしい」など割合が高く、これらの支援を必要としている傾向がうかがえる。
- ・ 外国人住民へのヒアリングでは、「小学校に日本語の先生が来てくれるのが1年間だけでは少ないので、もっと増やしてほしい」ということや、「他の子どもが体育や図工の時間に、日本語を学ぶのではなく、他の子どもと一緒に授業を受けたうえで、放課後などに日本語を勉強できる形にしてくれるとありがたい」という声が聞かれた。
- ・ また、「保護者も正しい日本語を使えているか分からないので、子どもに日本語を教えるのが難しい」ということや、「保護者が算数以外の宿題をみるのが難しい」という声が聞かれ、「学校以外で平日の夜や土日に通える子どもの日本語教室があるといい」という意見が挙げられた。
- ・ 日本語が母語でない保護者が、子どもの日本語や学校の勉強を指導することは難しい状況がうかがえるため、学校での学習機会の拡充とともに、子どものための日本語教室など家庭学習をサポートする仕組みの充実が必要である。

4. 日本語学習に関する情報発信の強化

- ・ 大阪市の運営している識字・日本語教室の認知度について、外国人住民アンケートでは22.3%、仲介事業者アンケートでは39.4%となっており、十分に認知されていない状況である。
- ・ 外国人へのアンケートでは、日本語学習の経験が「ない」人や現在日本語を「学んでいない」人のうち、約70%が「日本語を学びたい」と回答しているにもかかわらず、「学習者が増えない」という課題を抱えている識字・日本語教室もみられる状況であることから、多くの外国人住民に識字・日本語教室を知ってもらうことが重要である。
- ・ 現状、識字・日本語教室の学習者の募集方法としては、「自治体の広報やホームページ」が72.3%と最も高くなっているが、認知度を上げるためには、現在の自治体の広報やホームページだけでは情報発信が不十分だと考えられる。また、識字・日本語教室のアンケートでも、行政に対して「識字・日本語教室の広報・PR」の支援を求める割合が高く、仲介事業者のアンケートや外国人住民ヒアリングからも、「外国人への情報発信が必要である」との意見が挙げられている。
- ・ 外国人住民ヒアリングでは、情報発信の方法として、「日本語教室のアプリ」や「InstagramなどのSNS」の活用、「外国人の多い地域や会社への宣伝」、「区役所での手続きの際のチラシの配布」などが意見として挙げられており、これらを1つの方法として検討していく必要がある。

5. 日本語教育人材の確保・育成支援

- ・ 日本語学校のアンケートでは、外国人への日本語教育の課題として、日本語教師が不足しているという意見が挙げられているほか、行政が行うべき環境整備として、「日本語指導の資格を持った日本語教師を増やすための支援、研修の充実」を求める割合も高くなっている。また、中学校夜間学級からも、日本語教師の資格者の確保や配置、教員が日本語教師の取得できる支援を求める意見が挙げられている。
- ・ 仲介事業者においても、行政が行うべき環境整備として、「日本語指導の資格を持った日本語教師を増やすための支援、研修の充実」を求める割合は高い。
- ・ 特に基礎レベルの日本語学習にあたっては、専門的な知識を持った日本語教師が不可欠であるが、日本語学校など基礎的な日本語教育を行う機関等において、日本語教師が十分でない状況がみられることは課題であり、必要な日本語教師を確保できるように支援が必要である。
- ・ 加えて、前述のとおり、外国人住民アンケートで、現在日本語を学習しておらず、基礎レベルの日本語学習を必要とする層がみられることから、今後基礎レベルの日本語学習支援を充実させる必要があると考えられるが、そのためにはさらなる日本語教師の人材育成にも取り組んでいく必要がある。
- ・ また、仲介事業者からは、日本語教師の交流の場を求める意見もみられており、日本語学校で教える日本語教師、識字・日本語教室の学習支援者、仲介事業者等で日本語を教える教師などが情報交換、交流する場をつくり、日本語教師のサポート体制やスキルアップなどに取り組むことも重要である。

6. 関係機関の役割分担・連携と必要な資源の確保・配置

(1) 日本語教育資源の充実に向けた関係機関の役割の明確化

- ・ 大阪市内の日本語教育資源の充足度について、仲介事業者のアンケートでは、「足りている」との回答は16.9%にとどまり、「足りていない」との回答が43.7%となっている。大阪市内で充実すればよい日本語教育資源について、「無料・安価な日本語教室・学校」、「夜間・土日に学べる日本語教室・学校」、「家や職場の近くで学べる日本語教室・学校」、「日常会話が学べる日本語教室・学校」を挙げる割合が高い。
- ・ また、行政が行うべき環境整備として、日本語学校、仲介事業者ともに、「識字・日本語教室、日本語学校の運営（経済的支援含む）や講座内容を充実させるための支援体制の強化」を求める割合が高くなっている。
- ・ このように、大阪市の日本語教育資源を量・質ともに充実することが求められているが、前述のとおり、外国人の日本語学習ニーズは、学習レベル、学習内容、学習方法などさまざまであり、かつ外国人の数も増えている中で、現状の大阪市の運営する識字・日本語教室だけで対応するのは難しいと考えられる。
- ・ 大阪市には、本調査のとおり、識字・日本語教室、日本語学校、中学校夜間学級、仲介事業者等と日

本語教育に携わるさまざまな機関、団体があり、それぞれ強みを持っているが、市全体としてそれぞれがどのような役割を果たしていくのかは明確になっていない。大阪市の日本語教育資源の充実に向けては、まず関係機関・団体の役割を明確化することが必要である。そのうえで、必要な資源をどのように配置して、日本語教育資源を充実させるかを検討する必要がある。

(2) 関係機関の連携の強化

- ・ 現状では、識字・日本語教室では、他の教室や団体との交流を「行っている」割合は、42.6%となっている。中学校夜間学級でも、他の夜間学級との交流・情報交換や同じ中学校の昼間部との情報交換などはみられるものの、識字・日本語教室や日本語学校などとの連携はあまりみられない。また、日本語学校において、地域の日本語教育に対して現在行っている活動について、「地域のお祭り等、地域行事への参加」が55.6%となっている以外はあまり行われておらず、仲介事業者においても、現在行っている活動がない団体の割合が高い。
- ・ しかし、今後協力が可能と思われる活動については、日本語学校では、「地域のお祭り等、地域行事への参加」以外にも、「他の日本語学校や識字・日本語教室との情報交換」が50.0%、「企業の外国人従業員に対する日本語学習の提供」、「外国人向けのイベント等の共催」が38.9%などと割合が高くなっている。また、仲介事業者では、「日本語学校や識字・日本語教室との情報交換」が39.4%、「地域に暮らす外国人の相談対応」が28.2%などの割合が高くなっている。このように、日本語学校、仲介事業者ともに、地域の日本語教育に対して、前向きな連携の可能性を示しており、今後連携を進めていく必要がある。

(3) 外国人雇用企業との連携

- ・ 仲介事業者のアンケートでは、ここ5年間での日本語学習ニーズの変化として、企業における日本語学習支援のニーズが高くなっていることがうかがえる。
- ・ また、仲介事業者のアンケートで、企業の日本語学習に関する費用負担の考え方について聞いたところ、企業が日本語学習の「費用の一部を負担する」または「費用をすべて負担する」と回答した仲介事業者が約60%となっており、日本語学習支援ニーズがあることがうかがえる。
- ・ 現状では、識字・日本語教室や日本語学校と企業が連携している状況はあまりみられず、アンケートにおいても、行政が行うべき環境整備として、「外国人を雇用している企業との連携・協力体制の構築」を求める割合が高い。
- ・ 各企業だけで外国人の日本語学習環境を整えるのは難しいと考えられることから、今後、企業と資金面も含めて連携しながら、日本語教育資源を充実させていくことが重要である。

日本語学習についてのアンケート調査

あなたご自身についておたずねします

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つだけ)

1. 男 2. 女 3. その他

問2 あなたの年齢は次のどれですか。(あてはまるもの1つだけ)

1. ～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳～

問3 あなたの出身は次のどれですか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 韓国・朝鮮 2. 中国 3. ベトナム 4. フィリピン 5. 台湾
6. ネパール 7. インドネシア 8. アメリカ 9. タイ 10. ブラジル
11. インド 12. その他 ()

問4 あなたの在留資格は次のどれですか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 永住者 2. 定住者 3. 日本人の配偶者等
4. 永住者の配偶者等 5. 技術・人文知識・国際業務 6. 技能実習
7. 特定技能 8. 技能 9. 留学
10. 家族滞在 11. 特定活動 12. その他 ()

問5 あなたの出生地はどこですか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 日本 2. 日本以外

問6 あなたはどのくらい日本で生活していますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 6か月未満 2. 6か月以上～12か月未満 3. 1年以上～3年未満
4. 3年以上～5年未満 5. 5年以上～10年未満 6. 10年以上～15年未満
7. 15年以上

問7 あなたはこれから、日本でどのくらい生活する予定ですか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 6か月未満 2. 6か月以上～12か月未満 3. 1年以上～3年未満
4. 3年以上～5年未満 5. 5年以上 6. 住み続ける
7. まだ決めていない

問8 あなたが日常でよく使う言語は次のどれですか。(あてはまるものいくつかでも)

1. 韓国・朝鮮語 2. 中国語 3. 英語 4. フィリピン語
5. ベトナム語 6. ポルトガル語 7. スペイン語 8. ネパール語
9. タイ語 10. インドネシア語 11. ミャンマー語 12. 日本語
13. その他 ()

問9 今、どこに住んでいますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 北区 2. 都島区 3. 福島区 4. 此花区 5. 中央区
6. 西区 7. 港区 8. 大正区 9. 天王寺区 10. 浪速区
11. 西淀川区 12. 淀川区 13. 東淀川区 14. 東成区 15. 生野区
16. 旭区 17. 城東区 18. 鶴見区 19. 阿倍野区 20. 住之江区
21. 住吉区 22. 東住吉区 23. 平野区 24. 西成区
25. 区名がわからない方は、町名をご記入ください。大阪市 町

問10 仕事をしていますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. している 2. していない(今、探している) 3. していない(探していない)

問11 インターネットに接続できるスマートフォン、タブレット、PCなどは持っていますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 持っている 2. 持っていない

問12 あなたはオンラインでのミーティングツール (Zoom、Skype、WeChatなど) を操作できますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 操作できる 2. 操作できない 3. わからない

日本語能力と使用状況についておたずねします

問13 【聞くことについて】あなたは日本語がどのくらいできますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる
2. 相手の言うことを聞いて、大体理解できる
3. 相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる
4. 単語だけ聞き取れる
5. ほとんど聞き取れない

問14 【話すことについて】あなたは日本語がどのくらいできますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 自分の言いたいことが問題なく話せる
2. 自分の言いたいことが大体話せる
3. 簡単な日常会話ができる
4. 自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる
5. ほとんど話せない

問15 【読むことについて】あなたは日本語がどのくらいできますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる
2. 役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる
3. 新聞の雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる
4. 絵の付いた簡単な指示(ごみの捨て方、料理の作り方)が分かる
5. ほとんど読めない

問16 【書くことについて】あなたは日本語がどのくらいできますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 仕事の報告書や学校の先生に子どもの状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる
2. 日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる
3. 職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる
4. 名前や国名、住所などが書ける
5. ほとんど書けない

問17 次のようなとき、あなたは日本語を使いますか。(あてはまるものいくつか)

- | | | |
|------------|----------------|---------------|
| 1. 近所付き合いで | 2. 電車やバスに乗るとき | 3. 日常生活や買い物で |
| 4. 役所の手続きで | 5. 郵便局・銀行の手続きで | 6. 仕事を探すとき |
| 7. 仕事で | 8. 病気になったとき | 9. 学校の先生と話すとき |
| 10. その他() | | |

問18 次のようなとき、あなたは日本語が不自由なために、困ったことがありますか。最近1年間に困った経験があるものを選んでください。(あてはまるものいくつか)

- | | | |
|------------|----------------|---------------|
| 1. 近所付き合いで | 2. 電車やバスに乗るとき | 3. 日常生活や買い物で |
| 4. 役所の手続きで | 5. 郵便局・銀行の手続きで | 6. 仕事を探すとき |
| 7. 仕事で | 8. 病気になったとき | 9. 学校の先生と話すとき |
| 10. その他() | 11. 困ったことはない | |

問19 困ったときに誰に相談しますか。(あてはまるものいくつか)

1. 友人・知り合い(日本人)
2. 友人・知り合い(同じ国籍・同じルーツの人)
3. 友人・知り合い(日本人以外の他の国の人)
4. 家族(配偶者)
5. 家族(子どもなど)
6. 会社・学校
7. 近所の日本人・町会(町内会)の人
8. 日本語教室の先生やボランティア
9. 外国人を支援する(困っている人を助ける)団体
10. 役所(大阪市役所や区役所)の電話や窓口
11. 大阪国際交流センター(アイハウス)にある外国人のための相談窓口
12. 大使館・領事館
13. 教会・宗教の施設(建物や場所)
14. その他()
15. 相談する人はいない

【問19で「外国人を支援する(困っている人を助ける)団体」を選んだ方におたずねします】
よろしければ、その団体名を教えてください。

日本語学習についておたずねします

問20 大阪市が運営している日本語教室があることを知っていますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 知っている → 問21へ | 2. 知らない → 問22へ |
|-----------------|----------------|

問21 大阪市が運営している日本語教室に通ったことがありますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | | |
|----------|-----------------------|-------------|
| 1. 通っている | 2. 通ったことがあるが現在は通っていない | 3. 通ったことはない |
|----------|-----------------------|-------------|

問22 あなたは日本語を学んだことがありますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ある → 問23へ | 2. ない → 問28へ |
|--------------|--------------|

問23 あなたは、今、日本語を学んでいますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 学んでいる → 問24へ | 2. 学んでいない → 問28へ |
|-----------------|------------------|

【問 23 で「学んでいる」を選んだ方におたずねします】

問24 あなたは何のために日本語を学んでいますか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 日本で生活していくために必要だから | 2. 日本人との付き合いを広げるため |
| 3. 仕事で必要だから | 4. より良い条件の仕事を探すため |
| 5. 進学や勉強のため | 6. その他 () |

問25 あなたは今、どうやって日本語を学んでいますか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 独学で(教科書やテレビ等) | 2. 独学で(インターネットやアプリ等) |
| 3. 通信教育で | 4. 日本語学校で |
| 5. 無料の日本語教室で | 6. 有料の日本語教室で |
| 7. 家族から学んでいる | 8. 職場で学んでいる |
| 9. 友達(日本人)から学んでいる | 10. 友達(日本人以外)から学んでいる |
| 11. 周りの会話を聞いて覚えている | 12. その他 () |

【問25で「無料の日本語教室で」「有料の日本語教室で」を選んだ方におたずねします】

問26 よろしければ、現在通っている日本語教室の名前を教えてください。

--

問27 現在通っている日本語教室はどこから知りましたか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 大阪市のホームページ (HP) | 2. 市役所・区役所でのお知らせ、紹介 |
| 3. 大阪市HP以外のHP | 4. 日本語教室等のチラシ |
| 5. 会社 | 6. 学校 |
| 7. 家族や親せき | 8. 友だち、知っている人 |
| 9. SNS、インターネット | 10. その他 () |

【問 22 で「ない」、又は問 23 で「学んでいない」を選んだ方におたずねします】

問28 現在学んでいないのはなぜですか。(あてはまるものいくつかでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. もう十分に日本語ができるから |
| 2. 日本語を使う必要がないから(日本語以外の言語で十分生活ができるから) |
| 3. 育児や介護などのため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから |
| 4. 仕事のため、日本語を学ぶ時間的な余裕がないから |
| 5. 日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから |
| 6. 日本語教室の情報がないから |
| 7. 日本語教室の曜日や時間帯が合わないから |
| 8. 日本語教室が遠くて通うことができないから |
| 9. 日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから |
| 10. どうやって勉強したらいいかわからないから |
| 11. 学ぶ意欲が湧かないから |
| 12. その他 () |

問29 日本語を学びたいですか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 日本語を学びたい | 2. 日本語を学びたいとは思わない |
|-------------|-------------------|

問30 どのような日本語を学びたいですか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 初級会話 | 2. 中級会話 |
| 3. ビジネス日本語 | 4. 日本語能力試験に向けた学習 |
| 5. かな(ひらがな・カタカナ)の読み | 6. かな(ひらがな・カタカナ)の書き |
| 7. 漢字の読み | 8. 漢字の書き |
| 9. その他 () | |

問31 どのような環境があれば、日本語を学びたいですか。上位3位まで選んでください。

- | |
|---|
| 1. 時間的な余裕があれば学びたい |
| 2. 金銭的な余裕があれば学びたい |
| 3. 日本語を勉強する教室について、もっと詳しい情報があれば学びたい |
| 4. 無料・安価な日本語教室があれば学びたい |
| 5. 日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい |
| 6. 日本語教室が家や職場の近くなど都合の良い場所にあれば学びたい |
| 7. 自分の学びたいことと、日本語教室の教え方や内容、レベルが合えば学びたい |
| 8. 良い教科書があれば学びたい |
| 9. 日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれるのであれば学びたい |
| 10. アプリやテレビ番組など1人で学べる学習プログラムがあれば学びたい |
| 11. オンライン (Zoomなど) で自宅などで教えてもらえるのであれば学びたい |
| 12. 託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室があれば学びたい |
| 13. その他 () |

【問31で「日本語教室の曜日や時間帯が合えば学びたい」を選んだ方におたずねします】

問32 日本語を学びたい時間帯はいつですか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 平日 午前 8～9 時頃 | 2. 平日 午前 10～12 時頃 |
| 3. 平日 午後 1～3 時頃 | 4. 平日 午後 4～6 時頃 |
| 5. 平日 午後 7～9 時頃 | 6. 土日 午前 8～9 時頃 |
| 7. 土日 午前 10～12 時頃 | 8. 土日 午後 1～3 時頃 |
| 9. 土日 午後 4～6 時頃 | 10. 土日 午後 7～9 時頃 |
| 11. その他 () | |

地域などでの活動についておたずねします

問33 あなたは次の活動に参加していますか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 1. 母文化を伝える活動 | 2. 外国人等に日本語を教える活動 |
| 3. 母語を教える活動 | 4. 同じ国籍・ルーツ等の人の通訳(コミュニティ通訳) |
| 5. 同じ国籍・ルーツ等の人のコミュニティ内での生活支援・相談 | |
| 6. 同じ国籍・ルーツ等の人への日本語情報の翻訳・発信 | |
| 7. 地域のお祭り・イベント | 8. 地域の清掃活動 |
| 9. 地域の防犯活動、防災活動 | |
| 10. 保護者会・PTA など子どもに関わる活動 | |
| 11. その他 () | |
| 12. 特にない | |

問34 次の活動で、あなたが参加したいと思うものはありますか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 1. 母文化を伝える活動 | 2. 外国人等に日本語を教える活動 |
| 3. 母語を教える活動 | 4. 同じ国籍・ルーツ等の人の通訳(コミュニティ通訳) |
| 5. 同じ国籍・ルーツ等の人のコミュニティ内での生活支援・相談 | |
| 6. 同じ国籍・ルーツ等の人への日本語情報の翻訳・発信 | |
| 7. 地域のお祭り・イベント | 8. 地域の清掃活動 |
| 9. 地域の防犯活動、防災活動 | |
| 10. 保護者会・PTA など子どもに関わる活動 | |
| 11. その他 () | |
| 12. 特にない | |

子どもの日本語能力についておたずねします

問35 今、一緒に住んでいる18歳以下の子どもはいますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | | |
|-------|--------|-------|
| 1. いる | 2. いない | →問44へ |
|-------|--------|-------|

【問35で「いる」を選んだ方におたずねします】

問36 一緒に住んでいる18歳以下の子どもの人数をそれぞれについて教えてください。(あてはまるもの1つずつ)

	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上
1. 乳児(0歳)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 幼児(1～6歳)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 小学生以上 18歳以下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【問36の「小学生以上18歳以下」で1人～5人以上を選んだ方におたずねします】

それぞれの子どもの年齢と日本語能力を教えてください。(5人以上いる場合は、上から5人お答えください)

問37 1番上の子どもについて教えてください。

【1番上の子ども】

問37① 子どもの年齢を教えてください。

歳

問37② 子どもの学校の種類を教えてください。(あてはまるもの1つだけ)

- | | | | |
|--------|--------|---------|------------|
| 1. 小学校 | 2. 中学校 | 3. 高等学校 | 4. その他 () |
|--------|--------|---------|------------|

問37③ 【聞くことについて】1番上の子どもは日本語がどのくらいできますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | |
|---------------------------|
| 1. テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる |
| 2. 相手の言うことを聞いて、大体理解できる |
| 3. 相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる |
| 4. 単語だけ聞き取れる |
| 5. ほとんど聞き取れない |

問37④ 【話すことについて】1番上の子どもは日本語がどのくらいできますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 自分の言いたいことが問題なく話せる |
| 2. 自分の言いたいことが大体話せる |
| 3. 簡単な日常会話ができる |
| 4. 自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる |
| 5. ほとんど話せない |

問37⑤ 【読むことについて】1番上の子どもは日本語がどのくらいできますか。(あてはまるものの1つだけ)

1. 学校からの手紙やお知らせを読んで、理解できる
2. 学校からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる
3. 学校のポスターや掲示物を見て、欲しい情報が取れる
4. 絵の付いた簡単な指示(ごみの捨て方、料理の作り方)が分かる
5. ほとんど読めない

問37⑥ 【書くことについて】1番上の子どもは日本語がどのくらいできますか。(あてはまるものの1つだけ)

1. 学校の先生への連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる
2. 日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる
3. 学校の先生や、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる
4. 名前や国名、住所などが書ける
5. ほとんど書けない

問38 2番目の子どもについて教えてください。【2番目の子ども】

(※以下①～⑥同じ)

問39 3番目の子どもについて教えてください。【3番目の子ども】

(※以下①～⑥同じ)

問40 4番目の子どもについて教えてください。【4番目の子ども】

(※以下①～⑥同じ)

問41 5番目の子どもについて教えてください。【5番目の子ども】

(※以下①～⑥同じ)

子どもの日本語学習についておたずねします

問42 あなたの子どもは学校以外で日本語を勉強していますか。(あてはまるものいくつか)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 独学で(教科書やテレビ等) | 2. 独学で(インターネットやアプリ等) |
| 3. 通信教育で | 4. 無料の日本語教室で |
| 5. 有料の日本語教室で | 6. 家族から学んでいる |
| 7. 特に勉強していない | |

問43 子どもの日本語学習について支援してほしいことはなんですか。(あてはまるものいくつか)

1. 学校での日本語学習の時間を増やしてほしい
2. 放課後などに日本語教室を開催してほしい
3. 日本人と日常会話を練習する機会がほしい
4. 読み書きの練習をする機会がほしい
5. 親と子どもが日本語を一緒に学べる機会がほしい
6. 子どもの宿題をサポートしてくれる人がほしい
7. その他()

ヒアリング調査へのご協力

問44 日本語学習の状況やニーズについて、詳しく状況をお聞きし、政策に反映するためヒアリングを行いたいと思っています。協力可能な方はメールアドレスとお名前、日本語でのインタビュー可否を教えてください。ヒアリングの日時や場所は、改めて連絡します。(※協力可能な方から地域バランス等を考慮して対象者を選びます。全員にお願いできるとは限りません。)

1. ヒアリング調査に協力できる
2. ヒアリング調査に協力できない

【協力可能な方】メールアドレスとお名前を教えてください。

- | |
|------------|
| メールアドレス() |
| 名前() |

日本語でのインタビューは可能ですか。

1. できる
2. できない

【個人情報等の取扱いについて】

- ・回答いただいた個人情報は、調査目的以外には使いません。それぞれの回答内容が、承諾なく他に知られることはありません。
- ・回答いただいた内容は、調査を担当している三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が集計・分析します。
- ・回答いただいた個人情報は、当社の「個人情報保護方針」及び、「個人情報の取り扱いについて」<<http://www.murc.jp/corporate/privacy>>に従い適切に取扱います。
- ・個人情報の記入は自由です。個人情報を記入してなくても、回答が集計から除外されることはありません。
- ・いただいた個人情報の開示、削除等の申出、その他の問合せについては、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社までお願いします。

ご協力ありがとうございました。

識字・日本語学習についてのアンケート調査

教室名	
-----	--

問1 教室で実施している学習は何ですか。(○は1つだけ)

1. 識字学習 2. 日本語学習 3. どちらも実施

問2 教室の運営主体は何ですか。(○は1つだけ)

1. 自治体 2. NPO 3. 任意団体 4. 財団法人 5. ボランティア

問3 教室の開催曜日と開催している時間帯それぞれに○をつけてください。(○はいくつでも)

①開催曜日	②時間帯
1. 平日(月～金) 2. 土日 3. 不定期開催	1. 午前中 4. 18時以降 2. 13時～15時 5. 決まっていない 3. 15時～18時

問4 教室の学習内容を教えてください。(○はいくつでも)

1. 日常会話 2. 読み書き(かな・漢字) 3. 読み書き(文章・作文)
4. 文法 5. 日本語能力試験対策 6. 生活に必要な日本語
7. 仕事や就職に必要な日本語 8. 参加者の交流
9. 日本の文化 10. その他()

問5 教室での学習形態を教えてください。(○はいくつでも)

1. マンツーマン(対面) 2. 少人数のグループレッスン(対面)
3. 講義形式(対面) 4. マンツーマン(オンライン)
5. 少人数のグループレッスン(オンライン) 6. 講義形式(オンライン)

問6 過去3年程度において、教室で識字・日本語学習以外で実施した活動があれば教えてください。

(○はいくつでも)

1. 地域住民との交流(イベントなどの開催) 2. 教室参加者どうしの交流会
3. 生活等に関する相談対応 4. 学習支援者(ボランティア)の研修
5. 教室の運営委員会など 6. 人権学習(同和問題・多文化共生など)
7. 日本文化を紹介するための活動(節分や七夕などのイベントなど)
8. 学習者の国・地域の文化を紹介する活動(衣装や料理、風習、言葉など)
9. その他()
10. 特になし

問7 教室の受講費用について教えてください。(○は1つだけ)

1. 無料 2. 有料

問8 現在、教室に在籍している学習者について、国籍別の人数を教えてください。

(2021年10月1日時点)

国籍	人数	国籍	人数	国籍	人数
日本	人	ネパール	人	インド	人
韓国及び朝鮮	人	アメリカ	人	その他	人
中国	人	インドネシア	人	不明	人
ベトナム	人	タイ	人	合計(不明含む)	人
フィリピン	人	ブラジル	人		

問9 現在、教室に在籍している学習者について、分かる範囲で年齢別の人数を教えてください。

(2021年10月1日時点)

年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数
16歳未満	人	30代	人	60代以上	人
16～19歳	人	40代	人	不明	人
20代	人	50代	人		

問10 現在、教室に在籍している学習者の在留資格等について分かる範囲で教えてください。

(2021年10月1日時点)

在留資格等	人数	在留資格等	人数	在留資格等	人数
日本人	人	日本人の配偶者等	人	特定活動	人
特別永住者	人	家族滞在	人	永住者の配偶者等	人
留学	人	技術・人文知識・国際業務	人	その他	人
技能実習	人	特定技能	人	不明	人
定住者	人	技能	人		

問11 ここ5年程度において、教室に参加する学習者において変化はありますか(コロナ禍による影響除く)。(○はいくつでも)

1. 識字学習者の数が増えた 2. 識字学習者の数が減った
3. 日本語学習者の数が増えた 4. 日本語学習者の数が減った
5. 特定の国籍の方が増えた ⇒ 具体的な国籍()
6. 特定の在留資格の方が増えた ⇒ 具体的な在留資格()
7. その他() 8. 特になし

問12 教室に通う学習者より以下のような要望が出されることはありますか。(○はいくつでも)

1. 難しいレベルの学習内容にしてほしい 2. 易しいレベルの学習内容にしてほしい
3. 学習内容を変えてほしい(増やしてほしい) ⇒ 具体的内容()
4. オンラインでの学習を行ってほしい 5. 教室の開催回数を増やしてほしい
6. 1回あたりの教室の実施時間を長くしてほしい
7. 教室を開催する時間帯を変更してほしい ⇒ 具体的内容()
8. 学習の間、子どもを見られる場所がほしい
9. その他の要望 ⇒ 具体的内容()
10. 特になし

問13 学習支援者（ボランティア）の登録人数および、実際の活動人数を教えてください。（2021年

10月1日時点）

※登録人数と活動人数が同じ場合は、両方に同じ人数を記載ください。登録制を取られていない場合は、活動人数のみ記載ください。

登録人数	人	実際の活動人数	人
------	---	---------	---

問14 教室では、下記のような学習支援者（ボランティア）は在籍していますか。

1. 日本語教師有資格者※ ¹	① いる（ 人 ）	② いない
2. 外国語を話せるスタッフ	① いる（ 人 ）	② いない
3. 学習者から学習支援者（ボランティア）になった方	① いる（ 人 ）	② いない

※1：次の3つの条件のうち1つ以上を満たす者

（日本語教育能力試験合格者／420 時間養成講座修了者／大学で日本語教育を専攻もしくは副専攻で修めた者）

問15 学習者、および学習支援者（ボランティア）の募集方法について、それぞれ教えてください。

各回答欄にあてはまるものすべての番号を下の欄にご記入ください。

①学習者	②学習支援者（ボランティア）
------	----------------

選択肢

1. 自治体の広報やホームページ
2. 教室のホームページやブログ、Facebook等インターネット媒体
3. 役所や学校、図書館などの教室周辺施設等へのチラシの設置
4. スーパーやお店にチラシを設置
5. インターネット上の掲示板等に情報提供
6. 他の教室参加者からの紹介や口コミ
7. その他（ ）

問16 教室を運営するにあたって、困っていることはありますか。（○は3つまで）

1. 学習支援者（ボランティア）が不足している
2. 支援者のスキルアップ
3. 学習者が長続きしない
4. 学習者が増えない
5. 日本語学習者のレベルの差が大きい
6. 日本語がほとんど話せない学習者の対応が難しい
7. 学習者のニーズにあう指導を行うのが難しい
8. 学習者のレベルがばらばらのため、指導が難しい
9. 運営費用が確保できない
10. 教室の場所の確保が難しい
11. 学習者や学習支援者（ボランティア）の効果的な募集方法がわからない
12. 学習者の増加により、教室のキャパシティが追い付かない
13. 運営に関する事務を行う人手が足りない
14. その他（ ）
15. 特になし

問17 問16でお答えいただいた困りごとに対して、教室として取り組まれていることや工夫されていることがあれば教えてください。

問18 教室において、コロナ禍で困っていること、工夫していることがあれば、お教えてください。

問19 学習支援者（ボランティア）のスキルアップに向け、必要なことは何だと思えますか。（○はいくつでも）

1. 学習支援者（ボランティア）研修用の教材・マニュアルの作成
2. 既存の学習支援者（ボランティア）を対象とした研修の充実
3. 新規の学習支援者（ボランティア）の養成講座の実施
4. 他の識字・日本語教室との交流・情報交換
5. 日本語学校や大学等からの支援・協力
6. 行政との日常的な情報交換の機会の実施
7. 日本語教師資格取得のための支援
8. その他（ ）

問20 教室の運営費をどのように調達していますか。（○はいくつでも）

1. 行政や主催団体等が負担
2. 運営者・スタッフ等が運営費を負担
3. 助成金
4. 学習者からの受講料
5. ボランティア会員の登録費
6. 企業などからの寄付
7. その他（ ）

問21 他の識字・日本語教室や団体（NPO、日本語学校、企業、地域活動など）との連携や交流を行っていますか。（○は1つだけ）

1. 行っている ⇒具体的内容（ ）
2. 行っていない

問22 今後、識字・日本語教育の充実に向けて、行政はどのような環境整備を行うべきだと思いますか。（○は3つまで）

1. 識字・日本語教室等の新規開設
2. 教室の運営や教室活動の充実に向けた支援（マニュアルの作成、ノウハウの共有など）
3. 教室参加者に対する学習方法などについての研修等の充実
4. 教室参加者に対する人権問題についての研修等の充実
5. 識字・日本語教室への経済的な支援
6. 学習支援者（ボランティア）の養成や研修の充実
7. 日本語指導の資格を持った日本語教師を増やすための支援、研修の充実
8. 識字・日本語学習に関する指導教材等の配布
9. 識字・日本語教室における日本語学習プログラムの開発
10. 日本語指導の資格を持った日本語教師による入門レベルの日本語学習機会の充実
11. 識字・日本語教室の広報・PR
12. 他の識字・日本語教室の活動内容の紹介・情報提供
13. 他団体（NPO、日本語学校、企業、地域活動など）との連携の橋渡し（コーディネート）
14. 教室運営や学習方法等に関する相談体制の充実
15. 日本語学校や識字・日本語教室、NPO等日本語教育に関わる団体のネットワークの構築や協議会の設置
16. 外国人を雇用している企業との連携・協力体制の構築
17. その他（ ）
18. 特になし

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

日本語学習についてのアンケート調査

貴日本語学校名

貴校に在籍する学生についておたずねします

【現在、在籍している学生の状況についておたずねします】

問1 学生の人数を教えてください。(令和3年10月1日現在)

人

問2 学生数が多い①国籍、および②在留資格の上位5位までの人数を教えてください。(令和3年10月1日現在)

①国籍

	国籍	人数
1		人
2		人
3		人
4		人
5		人

②在留資格

	在留資格	人数
1		人
2		人
3		人
4		人
5		人

問3 年齢別の学生の人数を教えてください。(令和3年10月1日現在)

	年齢	人数
1	18～19歳	人
2	20代	人
3	30代	人
4	40代	人
5	50代	人
6	60代以上	人

問4 ここ5年程度で、学生の国籍、進路等に変化はありますか。(〇はいくつでも)

1. 特定の国籍の方が増えた ⇒ 具体的な国籍 ()
2. 特定の国籍の方が減った ⇒ 具体的な国籍 ()
3. 卒業後に特定技能での就職を目指す人が増えた
4. 卒業後に専門学校・大学等への進学を目指す人が増えた
5. 卒業後に専門学校・大学等への進学を目指す人が減った
6. 特に変化はない
7. その他 ()

問5 学習者の募集方法を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 学校のホームページやブログ、Facebookなどのインターネット媒体
2. テレビやラジオ、新聞・雑誌広告などのメディアを利用
3. 外国人が見ると思われるホームページに情報を提供
4. チラン配布 (主な配布場所:)
5. 学習者からの紹介や口コミ
6. 日本留学フェアなどのイベント
7. 提携している機関・団体からの紹介 (海外を含む)
8. その他 ()

問6 日本語学習や交流などについて、学生にとってニーズがあるものを教えてください。(〇はいくつでも)

1. 日本人との交流による日本語学習
2. 日本語・外国語スキルを生かしたボランティア
3. 企業へのインターン
4. 日本語学校卒業後の日本語学習の場
5. 日本文化に触れる機会
6. 日本語能力試験などの受検対策
7. 就労につながる日本語学習
8. 地域で生活する上で必要な情報提供や体験の機会
9. その他 ()

問7 日本語学校卒業後の日本語学習の場として、どのようなものがあればよいと思いますか。

--

貴校の教育体制についておたずねします

問8 教員、スタッフの人数をお聞かせください。(令和3年10月1日現在)

	正規職員	非正規職員
日本語教師	人	人
事務職員	人	人

問9 日本語教師のスキルアップのために実施していることがあればお聞かせください。(〇はいくつでも)

1. 学内での研修
2. セミナー・研究会への参加
3. 資格取得の支援
4. 海外への派遣
5. その他 ()

問10 日本語学校の運営にあたって困っていることは何ですか。上位3位をお答えください。(〇は3つまで)

1. 学習者の日本語レベルの多様化
2. 学習ニーズの変化への対応
3. 入学希望者の減少
4. 教員不足
5. 教員の資質向上
6. 卒業後の進路開拓
7. 卒業後の学習フォロー
8. 日本語学習以外の生活面でのサポート
9. 経営状況が厳しい
10. その他 ()
11. 特にない

問11 貴校において、コロナ禍で困っていること、工夫していることがあれば、お教えてください。

問12 貴校における今後の学生の受け入れ方針に関するお考えをお教えてください。(〇はいくつでも)

1. 留学生の受け入れ数を今後拡大する予定
2. 国内定住者の受け入れを検討中
3. 企業で受け入れた外国人（国内の特定技能、技能実習など）の受け入れを検討中
4. 家族滞在の外国人の受け入れを検討中
5. 留学生以外の受け入れは検討していない
6. その他（ ）

地域の日本語教育に対するお考えや活動についておたずねします

問13 日本語学校が地域の日本語教育において果たす役割にはどのようなものがあるとお考えですか。(〇はいくつでも)

1. 外国人が日本の大学や大学院等の進学に必要な日本語能力を身につけることができる場
2. 外国人が就労に必要な日本語能力を身につける場
3. 外国人が日常生活に必要な日本語を身につける場
4. 外国人と地域社会との接点となる場
5. 外国人の情報交換の場
6. 外国人が日本の文化やマナーを学び、日本での生活を円滑に送られるようにできる場
7. 外国人が日本での生活等における悩みや困りごとを気軽に相談できる場
8. 地域の日本語教育における役割を担う必要はない
9. その他（ ）

問14 貴校では、現在、地域の日本語教育に対して下記のような活動を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 識字・日本語教室への支援者や講師の派遣
2. 企業の外国人従業員に対する日本語学習の提供
3. 日本語学校での企業説明会や企業見学の実施
4. 他の日本語学校や識字・日本語教室との情報交換
5. 外国人向けのイベント等の共催
6. 地域のお祭り等、地域行事への参加
7. NPOや地域と連携した外国人の生活支援
8. 地域に暮らす外国人の相談対応
9. その他（ ）
10. 特にない

問15 今後、貴校において、地域の日本語教育に対して協力が可能と思われる活動はどれですか。

(〇はいくつでも)

1. 識字・日本語教室への支援者や講師の派遣
2. 企業の外国人従業員に対する日本語学習の提供
3. 他の日本語学校や識字・日本語教室との情報交換
4. 外国人向けのイベント等の共催
5. 地域のお祭り等、地域行事への参加
6. NPOや地域と連携した外国人の生活支援
7. 地域に暮らす外国人の相談対応
8. その他（ ）
9. 特にない

問16 貴校では、現在の「外国人への日本語教育（特に成人向け）」にはどのような課題があると認識されていますか。

問17 今後の日本語教育の充実に向けて、行政はどのような環境整備を行うべきだと思いますか。

(〇は3つまで)

1. 識字・日本語教室、日本語学校が新規開設を進めるための支援体制の強化
2. 識字・日本語教室、日本語学校の運営（経済的支援含む）や講座内容を充実させるための支援体制の強化
3. 日本語指導の資格を持った日本語教師を増やすための支援、研修の充実
4. 日本語ボランティアスタッフの養成や研修の充実
5. 行政によるゼロ初級レベルの日本語教育の充実
6. 外国人の日本語レベルやニーズに応じた日本語学習プログラムの開発
7. 外国人がレベルやニーズに応じた日本語学習を受けられるよう、識字・日本語教室や日本語学校の活動内容の紹介や情報提供
8. 他団体、日本語学校等との連携の橋渡し（コーディネート）
9. 日本語教育のコーディネーターの配置
10. 日本語学校や識字・日本語教室、NPO等日本語教育に関わる団体のネットワークの構築や協議会の設置
11. 外国人を雇用している企業との連携・協力体制の構築
12. その他（ ）
13. 特にない

問18 日本語教育に関する行政（大阪市）の役割や環境整備に関するご意見を自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

日本語学習についてのアンケート調査

貴校の概要についておたずねします

問1 貴校名

問2 貴校における夜間学級の教職員体制を教えてください。【別紙の表に記入ください】

問3 生徒の属性について教えてください。(○はいくつでも)

1. 特別永住外国人
2. 特別永住外国人以外の外国人
3. 特別永住・非特別永住不明の外国人
4. 日本の義務教育未修了者
5. 不登校等により日本の義務教育を十分に受けられなかった義務教育修了者
6. その他

【※問4~5について、学校要覧等があれば添付いただいても構いません】

問4 生徒の学年別の人数を教えてください。(2021年5月1日現在)

	1年	2年	3年	合計
在籍生徒総数(人)				
外国籍の生徒数(人)				
うち日本語指導が必要な生徒数(人)				

問5 生徒の年齢別の人数を教えてください。

	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
全体人数							
うち外国籍の生徒数							

外国籍の生徒への支援についておたずねします

問6 学級編成・指導体制上の工夫を行っていますか。(○は1つだけ)

1. 外国籍の生徒を対象とした学級の設置
2. 日本国籍含め教科によって習熟度別に学級編成
3. 日本語指導が必要な生徒に対する特別の教育課程の編成・実施(取り出し授業)
4. 複数の教職員による個に応じた指導
5. 高校受験を希望するなど、特別な支援を必要とする生徒への個別の対応
6. 日本語指導が必要な生徒への日常生活での日本語使用場面を想定した練習
7. 生徒同士のコミュニケーション活動の取り入れ(各種行事含む)
8. その他
9. 特に行っていない

問7 教職員の研修についておたずねします。日本語指導のために、教職員はどのような取組を実施していますか。(○はいくつでも)

1. 校内で講師を招聘するなど学ぶ機会を設けている
2. 近畿夜間中学校連絡協議会の部会活動などに参加している教職員がいる
3. 日本語教師の資格取得を目指す教員がいる
4. その他()

問8 生徒は自宅などで学習するためのタブレット・スマートフォンなどは保有していますか。(○は1つだけ)

1. ほとんどの生徒が保有している
2. 保有している生徒としていない生徒がおおむね半々である
3. ほとんどの生徒が保有していない
4. わからない

問9 今後授業等でICTを活用する場合の不安点があれば教えてください。(上位3つに○)

1. 機器の不具合や、教室間の設備の違いにより均質な授業ができなくなってしまうことが心配
2. ICT環境や教材作成に関する講師の質問に対応できる人材が不足している
3. 慣れるまでに時間がかかる
4. デジタルデータの管理に不安がある
5. 今までの教え方に慣れているので新しい教え方に対応できるか不安がある
6. 電子教材(イラストなど)よりレリア(本当のものを使った教材)を使ったほうが良い
7. 効果的な使い方が分からない。何が出来るのか分からないので語彙や文法提示以外の使い方を知りたい
8. 数字化された効果があればすぐに導入したいがICTを導入したことによる具体的な効果が示された資料が不足している
9. プレゼンテーションソフトを使うことで学生とのやりとりを活かした授業ができなくなってしまうことが心配
10. その他()

問10 外国籍の生徒の夜間学級での学習ニーズは何でしょうか。(上位3つに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 高等学校に入学するため | 2. 職業資格を取得するため |
| 3. 中学校教育を修了しておきたいため | 4. 中学校の学力を身につけたいため |
| 5. 読み書きができるようになるため | 6. 日本語が話せるようになるため |
| 7. その他 () | |

問11 現在の、他の日本語教室や組織、団体等との交流・連携状況をお聞かせください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 大阪市内の他の夜間学級と定期的に情報交換をしている。 | |
| 2. 大阪市内の他の夜間学級と勉強会などを開催している | |
| 3. 大阪市以外の夜間学級と交流している | |
| 4. 小学校と情報交換会をしている | |
| 5. 昼間部と定期的な情報交換をしている | |
| 6. 外国人支援団体と連携して生徒を支援している | |
| ⇒①具体的な連携先： () | |
| ②交流内容： () | |
| 7. 企業や個人事業者などと情報交換など連携している | |
| ⇒①具体的な連携先： () | |
| ②交流内容： () | |
| 8. 連合振興長会や地域活動協議会、各種団体と交流している。 | |
| ⇒①具体的な連携先： () | |
| ②交流内容： () | |
| 9. その他 () | |

問12 今後交流・連携していきたい他の日本語教室や組織、団体があれば、その名称(組織、団体)と具体的な内容をお聞かせください。

--

問13 今後、市内の夜間学級で外国人生徒を受け入れるにあたり支援してほしいこと、市内の日本語教育体制を強化するにあたり、貴校が協力できることは何でしょうか。

- | |
|--------------|
| 1. 支援してほしいこと |
| |
| 2. 協力できること |

別紙

問2 貴校における夜間学級の教職員体制を教えてください。

それぞれの教職員について該当するものに○、または記入をお願いします。

教諭、講師については、同じ職種で複数いらっしゃる場合は、

A、B、Cなどの表記をつけて記入をお願いします

(行が足りなければ追加してください)。

それぞれの定義については、下記を参照ください。

職名	専任	兼任	担当教科	日本語学級の受持ち	日本語指導資格の有無
(記入例) 教諭A	○		国語、社会	○	○
校長					
教頭					
教諭A					
教諭B					
教諭C					
講師A					
講師B					
養護教諭					
日本語指導者					
通訳					
ボランティア					

○「専任」とは、主として当該夜間中学に勤務する者をいう

○「兼任」は、下記に例示するようなケース

- ・週2日勤務、1日4時間の臨時職員として勤務
- ・臨時の養護教諭が週1日(4時間)弱夜間で勤務し、その他の時間他校で勤務
- ・他の学校で勤務するが、担当教科の授業時のみ夜間学級に出勤
- ・校長が本務校と兼務校(夜間学級あり)を兼任しており、曜日により勤務校を決定
- ・昼間の勤務に引き続き勤務し、時間外勤務として対応

○ボランティアとは、学校外の人で、通訳を含め何らかの支援を行う人を指す

日本語学習ニーズについてのアンケート調査

団体名/機関名

貴団体および貴機関についておたずねします

問1 貴団体および貴機関の運営主体は何ですか。(〇は1つだけ)

1. 自治体 2. NPO 3. 任意団体 4. 財団法人 5. ボランティア

問2 貴団体および貴機関で行っている活動内容を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 外国人の相談対応 2. 外国人への生活情報の提供
 3. 外国人への生活支援 4. 日本語学習の支援
 5. 外国人への就職支援 6. 地域住民との交流の企画
 7. 通訳派遣、翻訳
 8. 日本文化を紹介するための活動(節分や七夕などのイベントなど)
 9. 外国の文化を紹介する活動(衣装や料理、風習、言葉など)
 10. その他()

外国人住民からの相談状況等についておたずねします

問3 貴団体および貴機関が支援をしている、または、相談を受ける相談者について、以下の項目を教えてください。

①支援をしている、または相談を受ける相談者の国籍について、多いもの上位3つを教えてください。(〇は3つまで)

1. 韓国・朝鮮 2. 中国 3. ベトナム 4. フィリピン 5. 台湾
 6. ネパール 7. インドネシア 8. アメリカ 9. タイ 10. ブラジル
 11. インド 12. その他()

②支援をしている、または相談を受ける相談者の在留資格について、多いもの上位3つを教えてください。(〇は3つまで)

1. 特別永住者 2. 永住者 3. 定住者 4. 日本人の配偶者等
 5. 永住者の配偶者等 6. 技術・人文知識・国際業務 7. 技能実習
 8. 特定技能 9. 技能 10. 留学 11. 家族滞在
 12. 特定活動 13. その他()

③支援をしている、または相談を受ける相談者の年齢について、多いもの上位3つを教えてください。(〇は3つまで)

1. ~19歳 2. 20~29歳 3. 30~39歳 4. 40~49歳
 5. 50~59歳 6. 60~69歳 7. 70~79歳 8. 80歳~

問4 外国人からの相談内容について、多いもの上位3つを教えてください。(〇は3つまで)

1. 日本語学習について 2. ビザ(在留資格の変更や日本国籍の取得等)について
 3. 地域の生活ルールやマナーについて 4. 地域住民との交流、付き合いについて
 5. 仕事について(職探し含む) 6. 子育て、教育について
 7. 住まいについて 8. 医療、福祉、介護について
 9. 経済的支援について 10. 行政手続きについて
 11. その他()

問5 問4で「1. 日本語学習について」と回答された方におかがいします。日本語学習に関する相談があった際に、どのような対応をされていますか。(〇はいくつでも)

1. 貴団体、貴機関で対応 2. 行政機関を紹介する
 ⇒具体的に()
 3. 行政主催の日本語教室を紹介する 4. 行政以外が運営している日本語教室を紹介する
 5. 市内の日本語学校を紹介する 6. 市内の夜間学級を紹介する
 7. その他()

問6 外国人のニーズに対して、現在の大阪市の日本語教育資源は足りていると思いますか。(〇は1つだけ)

1. 足りている 2. 足りていない
 3. わからない

問7 問6で「2. 足りていない」と回答された方におかがいします。大阪市内にどのような日本語教育資源が充実すればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 無料・安価な日本語教室・学校
 2. 夜間・土日に学べる日本語教室・学校
 3. 家や職場の近くで学べる日本語教室・学校
 4. ゼロ初級レベルの日本語が学べる日本語教室・学校
 5. 日常会話が学べる日本語教室・学校
 6. ビジネス会話が学べる日本語教室・学校
 7. 読み書きが学べる日本語教室・学校
 8. 業種別の専門的な日本語が学べる教室・学校
 9. 日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれる日本語教室・学校
 10. オンライン(Zoomなど)日本語学習の場
 11. 派遣型に日本語学習の場(企業等へ日本語教師を派遣するなど)
 12. 託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室・学校
 13. e-learningなど自習できる日本語学習教材
 14. その他()
 15. わからない

問8 今後の日本語教育の充実に向けて、どのような環境整備が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 識字・日本語教室、日本語学校が新規開設を進めるための支援体制の強化
2. 識字・日本語教室、日本語学校の運営（経済的支援含む）や講座内容を充実させるための支援体制の強化
3. 日本語指導の資格を持った日本語教師を増やすための支援、研修の充実
4. 日本語ボランティアスタッフの養成や研修の充実
5. 行政によるゼロ初級レベルの日本語教育の充実
6. 外国人の日本語レベルやニーズに応じた日本語学習プログラムの開発
7. 外国人がレベルやニーズに応じた日本語学習を受けられるよう、識字・日本語教室や日本語学校の活動内容の紹介や情報提供
8. 他団体、日本語学校等との連携の橋渡し（コーディネート）
9. 日本語教育のコーディネーターの配置
10. 日本語学校や識字・日本語教室、NPO等日本語教育に関わる団体のネットワークの構築や協議会の設置
11. 外国人を雇用している企業との連携・協力体制の構築
12. その他（ ）
13. 特になし

問9 日本語教育に関して、今後必要な取組や環境整備に関するご意見をご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご回答いただいた調査票は1月31日（月）までに下記までご提出ください。

【提出先】 日本語学習ニーズに関する調査事務局

メールアドレス : nihongo2021@murc.jp

日本語学習ニーズについてのアンケート調査

貴団体についておたずねします

問1 貴団体の属性について教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 監理団体 | 4. 人材紹介会社 |
| 2. 登録支援機関 | 5. 行政書士事務所 |
| 3. 人材派遣会社 | 6. その他 () |

問1で「1. 監理団体」と回答した方のみおたずねします

問2 貴団体の母体について教えてください。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 商工会議所又は商工会 | 4. 農業協同組合 |
| 2. 中小企業団体 | 5. 漁業協同組合 |
| 3. 職業訓練法人 | 6. 公益社団法人又は公益財団法人 |
| | 7. その他 () |

全員におたずねします

問3 支援・監理している企業は何社程度ありますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 1~5社 | 4. 20~30社 |
| 2. 6~10社 | 5. 30社以上 |
| 3. 11~20社 | |

問4 支援・監理している企業の主な業種は何ですか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| 1. 介護 | 6. 建設 | 11. 農業 |
| 2. ビルクリーニング | 7. 造船・舶用工業 | 12. 漁業 |
| 3. 素形材産業 | 8. 自動車整備 | 13. 飲食料品製造業 |
| 4. 産業機械製造業 | 9. 航空 | 14. 外食業 |
| 5. 電気・電子情報関連産業 | 10. 宿泊 | 15. その他 () |

問5 外国人雇用支援の実績について、延べ支援人数を教えてください。(2020年度実績)

人

問 5-1 外国人雇用支援の実績について、上位 5 位までの国籍とその延べ人数を教えてください。(2020 年度実績)

①上位 1 位の国籍

- | | |
|----------|------------|
| 1. 中国 | 5. インドネシア |
| 2. ベトナム | 6. タイ |
| 3. フィリピン | 7. インド |
| 4. ネパール | 8. その他 () |

①上位 1 位の国籍の延べ人数

人

②~⑤も上記と同様

問5-2 外国人雇用支援の実績について、上位5位までの在留資格とその延べ人数を教えてください。(2020年度実績)

①上位 1 位の在留資格

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 技術・人文知識・国際業務 | 5. 留学 |
| 2. 技能実習 | 6. 永住者 |
| 3. 特定技能 | 7. 定住者 |
| 4. 特定活動 | 8. その他 () |

① 上位 1 位の在留資格の延べ人数

人

②~⑤も上記と同様

問6 ここ5年間で、支援した外国人の国籍、在留資格に変化はありますか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 特定の国籍の方が増えた | 4. 特定の在留資格が減った |
| 2. 特定の国籍の方が減った | 5. 特に変化はない |
| 3. 特定の在留資格が増えた | 6. その他 () |

問6-1 増えた国籍について、下記からお選びください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 中国 | 5. インドネシア |
| 2. ベトナム | 6. タイ |
| 3. フィリピン | 7. インド |
| 4. ネパール | 8. その他 () |

問6-2 減った国籍について、下記からお選びください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 中国 | 5. インドネシア |
| 2. ベトナム | 6. タイ |
| 3. フィリピン | 7. インド |
| 4. ネパール | 8. その他 () |

問6-3 増えた在留資格について、下記からお選びください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 技術・人文知識・国際業務 | 5. 留学 |
| 2. 技能実習 | 6. 永住者 |
| 3. 特定技能 | 7. 定住者 |
| 4. 特定活動 | 8. その他 () |

問6-4 減った在留資格について、下記からお選びください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 技術・人文知識・国際業務 | 5. 留学 |
| 2. 技能実習 | 6. 永住者 |
| 3. 特定技能 | 7. 定住者 |
| 4. 特定活動 | 8. その他 () |

外国人への支援について

問7 貴団体では対応している言語について教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 英語 | 6. インドネシア語 |
| 2. 中国語 | 7. タイ語 |
| 3. ベトナム語 | 8. ヒンドゥー語 |
| 4. タガログ語 | 9. その他 () |
| 5. ネパール語 | |

問8 貴団体が外国人に対して行っている支援について教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 行政手続きの支援 | 7. 定期的な面談による相談支援 |
| 2. 住宅確保のための支援 | 8. けがや病気などの相談、対応 |
| 3. 日常生活に必要な契約の支援(銀行、携帯、ライフラインなど) | 9. 地域との交流支援 |
| 4. 母語での生活オリエンテーション | 10. 通訳の派遣 |
| 5. 日本語での生活オリエンテーション | 11. 生活情報・行政情報などの多言語化 |
| 6. 日本語学習の支援 | 12. 特に行っていない |
| | 13. その他 () |

問8で「6. 日本語学習の支援」と回答した方にのみおたずねします

問9 具体的にどのような日本語学習の支援を行っていますか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 貴団体の従業員による日本語教育 | 5. 地域の日本語教室の紹介 |
| 2. 外部の講師による日本語教育 | 6. 外国人の家族への日本語学習支援 |
| 3. 日本語学習教材の提供 | 7. その他 () |
| 4. 日本語の検定試験等の受験費用の負担 | |

問10 外国人の日本語学習の支援をするにあたって工夫していること、課題に感じていることがあれば教えてください。

日本語学習・支援のニーズについておたずねします

問11 ここ5年間で支援している外国人の日本語学習ニーズに変化はありますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 増えている | 3. 特に変わらない |
| 2. 減っている | 4. わからない |

問12 ここ5年間で企業からの日本語学習支援ニーズに変化はありますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 増えている | 3. 特に変わらない |
| 2. 減っている | 4. わからない |

問13 外国人や企業からのニーズに対して、現在、大阪市内の日本語教育資源は足りていると思いますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 足りている | 3. わからない |
| 2. 足りていない | |

問13で「2. 足りていない」と回答した方にのみお伺いします。

問14 大阪市内にどのような日本語教育資源が充実すればよいと思いますか。(あてはまるものいくつかでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 無料・安価な日本語教室・学校 |
| 2. 夜間・土日に学べる日本語教室・学校 |
| 3. 家や職場の近くで学べる日本語教室・学校 |
| 4. ゼロ初級レベルの日本語が学べる日本語教室・学校 |
| 5. 日常会話が学べる日本語教室・学校 |
| 6. ビジネス会話が学べる日本語教室・学校 |
| 7. 読み書きが学べる日本語教室・学校 |
| 8. 業種別の専門的な日本語が学べる教室・学校 |
| 9. 日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれる日本語教室・学校 |
| 10. オンライン (Zoom など) 日本語学習の場 |
| 11. 派遣型の日本語学習の場 (企業等へ日本語教師を派遣するなど) |
| 12. 託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室・学校 |
| 13. e-learning など自習できる日本語学習教材 |
| 14. その他 () |
| 15. わからない |

全員におたずねします

問15 企業は、雇用している外国人が日本語学習の場に参加するにあたり、必要となる費用について、どの程度負担が可能と考えている場合が多いと思いますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 費用すべてを企業が負担する
2. 費用の一部であれば企業が負担する
3. 企業が費用を負担するのは難しい
4. その他 ()

問16 企業は、雇用している外国人が日本語学習の場に参加するにあたり、仕事との時間のバランスについて、どの程度配慮が可能と考えている場合が多いと思いますか。(あてはまるものは1つだけ)

1. 積極的に日本語学習を優先してほしい
2. 業務の都合がつけば、日本語学習に参加してほしい
3. 業務が第一優先であり、日本語学習のために業務を調整するのは難しい
4. その他 ()

地域の日本語教育に対する活動やお考えについておたずねします

問17 大阪市が運営する識字・日本語教室があることを知っていますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 知っているし、支援している外国人に紹介したことがある
2. 知っているが、支援している外国人に紹介したことはない
3. 知らない

問17で「1. 知っているし、支援している外国人に紹介したことがある」と回答した方のみお伺いします。

問18 支援している外国人に紹介している理由は何ですか。(あてはまるものいくつか)

1. 費用が安いから
2. 日本語能力の向上に役立つから
3. 地域の人とも交流できるから
4. 生活面などの相談にも対応してもらえるから
5. 他に日本語を学べる場所がないから
6. その他 ()

問17で「2. 知っているが、支援している外国人に紹介したことはない」と回答した方のみお伺いします。

問19 支援している外国人に紹介したことがない理由は何ですか。(あてはまるものいくつか)

1. 職場や住まいから遠いから
2. 時間帯が合わないから
3. 日本語レベルが合わないから
4. 参加方法がわからないから
5. 学習内容や学習形態がわからないから
6. その他 ()

全員におたずねします

問20 支援している外国人で実際に識字・日本語教室に参加している方はいますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. いる
2. いない
3. 把握していない

問21 貴団体では、現在、地域の日本語教育に対して下記のような活動を行っていますか。(あてはまるものいくつか)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 識字・日本語教室への支援者や講師の派遣 | 5. NPOや地域と連携した外国人の生活支援 |
| 2. 日本語学校での企業説明会や企業見学の実施 | 6. 地域に暮らす外国人の相談対応 |
| 3. 日本語学校や識字・日本語教室との情報交換 | 7. その他 () |
| 4. 地域に暮らす外国人の日本語学習支援 | 8. 特にない |

問22 今後、貴団体において、地域の日本語教育に対して協力が可能と思われる活動はどれですか。

(あてはまるものいくつか)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 識字・日本語教室への支援者や講師の派遣 | 5. NPOや地域と連携した外国人の生活支援 |
| 2. 日本語学校での企業説明会や企業見学の実施 | 6. 地域に暮らす外国人の相談対応 |
| 3. 日本語学校や識字・日本語教室との情報交換 | 7. その他 () |
| 4. 地域に暮らす外国人の日本語学習支援 | 8. 特にない |

問23 今後の日本語教育の充実に向けて、行政はどのような環境整備を行うべきだと思いますか。

(あてはまるもの3つまで)

1. 識字・日本語教室、日本語学校が新規開設を進めるための支援体制の強化
2. 識字・日本語教室、日本語学校の運営（経済的支援含む）や講座内容を充実させるための支援体制の強化
3. 日本語指導の資格を持った日本語教師を増やすための支援、研修の充実
4. 日本語ボランティアスタッフの養成や研修の充実
5. 行政によるゼロ初級レベルの日本語教育の充実
6. 外国人の日本語レベルやニーズに応じた日本語学習プログラムの開発
7. 外国人がレベルやニーズに応じた日本語学習を受けられるよう、識字・日本語教室や日本語学校の活動内容の紹介や情報提供
8. 他団体、日本語学校等との連携の橋渡し（コーディネート）
9. 日本語教育のコーディネーターの配置
10. 日本語学校や識字・日本語教室、NPO等日本語教育に関わる団体のネットワークの構築や協議会の設置
11. 外国人を雇用している企業との連携・協力体制の構築
12. その他 ()
13. 特にない

問24 日本語教育に関する行政（大阪市）の役割や環境整備に関するご意見をご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。